

miratap

取付設置説明書 バスルーム 【本体編】

Novum

ノウム

マンション リフォーム用



- 取付設置業者の安全と使用者の安全確保のために、この説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」(5～10 ページ)は取付設置前に必ずお読みいただき、安全で正しく取付設置を行ってください。
- この商品には「保証書」「取扱説明書」を添付しています。「保証書」には販売店名、または工事店名、お引き渡し日を記入し、取付設置説明書の最後のチェックリストは必要事項を記入のうえ、「取扱説明書」と共に必ずお施主様または建築工事責任者にお渡しください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 混合水栓やその他の機器に添付の「取扱説明書」も紛失しないよう大切に保管し、取付設置完了後、お施主様または建築工事責任者にお渡しください。
- カウンター・機能商品などの取付設置説明書は、分冊になっていますので、それぞれの分冊をお読みのうえ安全で正しく取付設置を行ってください。
- この取付設置説明書に記載されていない方法で取付設置され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

もくじ

大切なお知らせ

●安全上のご注意.....	5	●構成図.....	13
●改訂履歴.....	11	●使用工具類.....	14
●バスルームの取付設置工事区分.....	12		

図面集

●躯体スペースの確認.....	15	● クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)・ メタルスクエアサーモ水栓 L 勝手	29
●アジャスターボルト位置の確認.....	16	● 壁付水栓	30
●壁パネル展開図.....	17	● 兼用壁付水栓	31
● 壁パネル展開図		● 浴槽側水栓	31
● 壁目地・シーリングの色について		● 壁裏配管	32
●追焚釜接続位置図.....	22	● サークル LED 照明.....	33
●ドア納まり図.....	23	● ガラス調収納棚	34
● 2 枚折りドア		● シャワーフック	34
● スイングドア		● シャワースライドバー	35
● 2 枚引き込戸		● 握りバー兼用スライドバー	35
●器具取り付け穴開口位置図.....	24	● タオル掛け A(ホワイト)・B タイプ(メタル)	36
● 鋼板用樹脂アンカー(白)(GVR238)を 使用した部材の取り付け方法	25	● タオル掛け C タイプ(メタル)	38
● 浴槽バックハンガー・エプロン水返し	26	● 巻きフタフック	40
● クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)・ メタルスクエアサーモ水栓 R 勝手	28	● 組みフタフック	41
		● 組みフタ 3 点フック	42
		● 物干しバー	43
		● 追焚配管(壁接続)	43
		● オートルーパー暖房換気乾燥機 リモコン	44

取付設置のしかた

1. 取付設置前の準備

1 取付設置前の準備45

- 部材搬入～間配り
- 部材チェック
- トラップと排水フレキ管の接続
- 排水フレキ管、排水勾配の確保

2. 床の設置

1 床パン(洗い場パン・浴槽パン)の設置 ...49

- ユニット墨出し
- 床パン設置

- 床パン据え付け高さとアジャスターボルトの確認
- 位置出し
- 床パンレベル調整
- 浴槽パンへの給水給湯配管・追い焚き配管接続の確認
- 浴槽パンへの給水・給湯・追い焚き配管用の穴加工
- 給水・給湯裏配管の前加工
- 連結部の加工
- 洗い場パンと排水トラップの取り付け
- 浴槽パンの据え付け
- 床パンの連結
- 給水・給湯・追い焚き配管用ブーツの取り付け
- アジャスター調整穴キャップの取り付け
- 床点検口ふたの取り付け(オプション)
- 給水・給湯用裏配管 A および床下裏配管先端部の取り付け
- 浴槽パンと排水トラップの取り付けと本締め
- 水張りテスト
- 封水筒・ヘアキャッチ取り付け

2 床パンの固定67

- 躯体チェック
- 床固定

3. 壁の組み立て

1 壁パネル加工の注意事項69

- 壁パネル加工の注意事項

2 壁パネルの前加工70

- 補強合板のはり付け
- 水栓固定金具・裏配管 A の取り付け
- 握りバー取り付け
- 壁パネルの開口
- 平ジョイナーの切断
- 床パン壁載せ面へのパッキンはり付け
- 照明の取り付け
- 補強合板の取り付け

3 壁パネルの建て込み79

- コーナー下ブロックと平下ブロックとジョイナーの配置
- 壁パネル組立て順序
- 壁掛けハンガーの取り付け
- 薄納まり配管用ジョイナーの組み立て
- 最初の壁パネルの建て込み
- 壁パネルコーナー部の接続
- 壁パネル平部の接続
- 壁の建て込み
- 給水・給湯裏配管と壁出し金具の接続
- 現場開口した壁パネルの建て込み
- ドア平ジョイナーの取り付け
- ドアコーナージョイナーの取り付け
- 壁裏配管の取り付け
- 浴槽の設置

4. ドア枠の取り付け

1 2 枚折りドア・スイングドア95

- ドア本体の取り外し
- 縦枠の仮固定

2 2 枚引き込戸97

- ドア枠の組み立て
- ドア枠のレベル出し
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア下枠の発泡テープはり付けとドア枠の取り付け
- 縦枠の仮固定
- 下枠レール・下枠前カバーの取り付け

5. 天井の設置

1 天井組み立て前の作業 104

- 天井養生フィルム取り外し
- 換気グリル取り付け
- オートルーバー暖房換気乾燥機の取り付け
- ダウンライトの取り付け
- 電気器具類の取り付け準備
- 換気扇の取り付け

2 フラット天井の組み立て 109

- 天井取り付け
- ジョイントボックス取り付け
- 2 枚割り天井の接続

3 壁パネル・ドア枠と天井の接続 111

- 天井固定順序
- ドアの建て起こし(ドア枠鉛直度の調整)

4 壁と天井の仕上げ 113

- 壁パネルの目地打ち込み
- 天井回し縁取り付け

6. 浴槽の設置

1 浴槽の据え付け 117

- 浴槽据え付け前作業
- 浴槽バックハンガー取り付け
- 排水パッキンの取り付けと浴槽の据え付け
- ポップアップ排水栓の取り付け
- 先行シーリング処理

2 浴槽目地の取り付け 123

- 長手用目地の取り付け
- コーナー用目地の取り付け
- 浴槽目地取り付け後のシーリング材充てん
- 短手用目地の取り付け

7. 浴槽周辺部材の取り付け

1 エプロンの取り付け 128

- エプロン水返し取り付け
- エプロン取り付け
- エプロン支持具取り付け
- エプロン高さ調整

2 排水口部品の取り付け 133

- 排水目皿取り付け
- 排水口ふた取り付け

8. 水栓の取り付け

1 クリーンスクエアサーモ水栓 (ホワイト・ブラック)、 メタルスクエアサーモ水栓の 取り付け 134

- 水栓本体の組み立て

9. ドア本体の取り付け

1 2枚折りドア 140

- ドア本体の取り付け
- 引き手の取り付け
- 可動ラッチの調整

2 スイングドア 143

- ドア本体の取り付け
- ハンドルの取り付け
- サムターンとコインロックの取り付け
- 枠の取り付け確認
- ラッチ受けの調整
- ローラーの調整
- ピボットヒンジの調整
- アームストッパーの調整
- 開閉の確認

3 2枚引き込戸 148

- 戸袋パネルの取り付け
- 取っ手・サムターンの取り付け
- 障子のつり込み
- 建て付け調整

10. 器具の取り付け

1 ミラー・スライドバー 151

2 天井周辺器具 151

- 照明用カバーの取り付け
- 物干しバー(オプション)の取り付け
- 天井点検口ふたの取り付け

3 その他器具 152

- タオル掛け A・B の取り付け
- タオル掛け B 【2024 年 10 月 2 日発売以降仕様】の取り付け
- タオル掛け C タイプの取り付け
- オートルーパー暖房換気乾燥機 リモコンの取り付け
- 組みフタフックの取り付け
- 3 点フックの取り付け

4 収納関連器具 156

- 握りバー兼用スライドバーの取り付け
- シャワースライドバーの取り付け
- シャワーフックの取り付け
- ガラス調収納棚の取り付け

11. 仕上げ・清掃・検査

1 最終仕上げ 159

- ラベルはり付け
- 社名ラベル・件名管理ラベルのはり付け
- シーリング材の準備
- その他のシーリング材充てん指定箇所

2 最終チェック・清掃と後片付け... 163

- 清掃と仕上げ
- 通水(排水)チェック
- 最終チェック

12. 付録

1 天井回し縁の取り外しかた 164

- 天井回し縁の取り外しかた

2 浴槽目地の取り外しかた 165

- コーナー用目地の取り外しかた
- 平目地部の取り外しかた

3 目地の取り外しかた 166

- 目地の取り外しかた

4 ドア外タオル掛けの標準取り付け位置 ... 167

- ドア外タオル掛けの標準取り付け位置

取付設置後のチェック..... 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

  してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

全体的なこと



アース線接続

- ・アース工事は、電気設備技術基準に関連する法令・規制などに従って、必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事を行う
誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電する原因となります。



禁止

- ・電気機器の配線に付属部品の固定ねじで傷を付けない
傷が付くと、火災や漏電の原因となります。



分解禁止

- ・商品の改造や仕様変更は絶対にしない
商品の改造や仕様変更は事故の原因となります。



必ず守る

- ・本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。
- ・電気工事・水道工事は、関連する法令・規制に従って、必ず「有資格者」が行う
火災、感電、水漏れの原因となります。
- ・開口部のバリ取りは確実に行う
バリ取りをしないとけがや水漏れの原因となります。

- ・暖房換気乾燥機・換気扇・照明器具・ミラー・握りバー・混合水栓などの付属部品は、取付設置説明書に従い、指定位置に確実に取り付ける
思わぬ事故や故障の原因となります。
- ・電気機器は、その機器の定格電圧で使用する
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
- ・電気接続の際は、使用電線のサイズ、本数と圧着部のサイズとが適切な組み合わせになっていることを確認する
また、そのサイズに合った専用工具で締める
適切な組み合わせになっていなかったり、専用工具以外で締め付けると、火災の原因となります。
- ・結線は緩みのないように確実に接続する
過熱・火災の原因となります。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

壁



必ず守る

- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。

照明器具



必ず守る

- グロメットは確実に取り付ける
確実に取り付けないと、火災や感電の原因となります。
- 電球を覆っている保護カバーは、器具取り付け時に必ず外す
保護カバーを付けたまま点灯させると、火災の原因となります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

全体的なこと



禁止

- 重量物は一人で運ばない
一人で運ぶと、けがをするおそれがあります。
- ねじの締め付け後は、空回りさせない
パッキンがねじ切れたり、ねじ山が破損し、締め付け不良や水漏れの原因となります。

- 清掃時に、溶剤（シンナーなど）は使用しない
変色・変形やひび割れによる水漏れの原因となります。



必ず守る

- 運搬や取付設置は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う
守らないと、けがをするおそれがあります。
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となったり、補強合板が十分に固定されません。
- 工事に使う溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示に従って正しく使う
誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、部品の損傷や劣化の原因になります。

- 専用工具の使用個所では、必ず専用工具を使用する
専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。
- ねじはまっすぐ垂直に締め付ける
斜めに締め付けると最後まで締め付けられず、水漏れの原因となります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

壁・天井



必ず守る

- ・壁・天井の運搬、取付設置は必ず耐切削手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う
壁・天井のエッジが露出している箇所ではけがをするおそれがあります。

エプロン



必ず守る

- ・ねじは、必ず手回しドライバーで固定する
電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に固定フランジの取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。
- ・エプロン支持具（ラッチ）は指示どおりに正しく取り付ける
正しく取り付けないと、エプロンがはまりにくい、落下するなどの原因となります。

浴槽



必ず守る

- ・浴槽を据え付ける際に、ポップアップ排水栓のリリースや排水管を破損しないように注意する
破損すると、水漏れの原因となります。
- ・水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する
専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。
- ・浴槽バックハンガーは、取り付け指定位置に確実に取り付ける
確実に取り付けないと、使用中にはずれたりしてけがの原因となります。

天井



必ず守る

- ・シーリング材充填は天井パネル連結部に合わせて確実に行う
確実に施されていないと、水漏れの原因となります。
- ・天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する
落下し、けがや破損のおそれがあります。

床・浴槽



禁止

- ・床や浴槽の端には乗らない
バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。

浴槽・カウンター



禁止

- ・浴槽やカウンターなどに乗って作業をしない
足を滑らせ、けがをするおそれがあります。

照明器具



必ず守る

- ・照明カバーは確実に取り付ける
守らないと落下し、けがをするおそれがあります。

握りバー



必ず守る

- ・握りバーの裏補強は確実に行う
確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- ・握りバーの取付座は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。
- ・握りバーの受け具は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

壁



禁止

- **目地の再利用は絶対にしない**
破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。
- **潤滑剤を噴きつけた目地は、たとえ外観に問題のない場合でも、再使用しない**
目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。



必ず守る

- **シリコンバックアップ材の取り付けを確実にを行う**
水漏れの原因となります。
- **パネルに開口がある場合は必ず裏補強する**
- **開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する**
裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されず、水漏れのおそれがあります。
- **平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む**
すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。
- **床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける**
必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをすることがあります。
- **コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく**
壁パネルが倒れて、けがをすることがあります。
- **コーナー上ブロックは確実にはめる**
コーナーブロックが外れると、壁パネルが倒れて、けがをすることがあります。
- **壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける**
しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをすることがあります。
- **鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付け**
確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- **目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る**
目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。

ミラー



禁止

- **ミラーの落下防止金具の解体は絶対にしない**
落下して、けがをすることがあります。



必ず守る

- **ミラー裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす**
はがさないと、ミラーが落下してけがをすることがあります。
- **ミラー受け具は確実に固定する**
ずれていたり曲がっていると、ミラーが落下してけがをすることがあります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

洗い場床パン



禁止

- ・床パンコーナー部のパッキンは、重ねばりしない
壁パネルと壁パネルの目地高さなどが合わなくなります。



必ず守る

- ・パッキンは床パンの指定位置に合わせて、**確実にはり付ける**
確実にはり付けしないと、水漏れの原因となります。

排水トラップ



禁止

- ・排水トラップを締め付ける際にトラップ締付工具の下端でトラップ底を傷付けない
トラップが割れると、水漏れの原因となります。
- ・トラップのねじ込み部分およびUパッキンには、**シーリング材を使用しない**
トラップやUパッキンが変形し、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける
守らないと、水漏れするおそれがあります。

混合水栓



禁止

- ・メンテナンスカバーを踏まない
メンテナンスカバーが破損して、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・混合水栓は、ニップルにシールテープを7～8回巻いてねじ接続する
シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。

浴槽パン



禁止

- ・シーリング材を架橋ポリエチレン管に付着させない
シーリング材の成分が架橋ポリエチレン管を侵食してひび割れし、水漏れの原因となります。

- ・点検口ふたを踏まない
点検口ふたが破損して、水漏れの原因となります。

- ・浴槽床パンの据え付け時に、洗い場床パンのトラップにぶつけない
トラップが破損して、水漏れの原因となります。

- ・アジャスター調整穴の周囲を清掃する
ごみなどが付着したままキャップをすると、水漏れの原因となります。

- ・浴槽床パンの上で作業したり、脚立などを置く際は、**開口・凹凸部に注意する**
足を踏み外したり、脚立が倒れてけがをするおそれがあります。

- ・先行シーリングは確実に行う
守らないと、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・防水テープの接着面は汚さない。汚した場合はリグロインで拭き取る
守らないと、テープの接着が弱くなり、水漏れの原因となります。

- ・防水テープはしわにならないようにはり付ける。はり付け後はテープ全面を押さえつけて、**接着面に空気だまりなどないよう**にする
守らないと、テープの接着が弱くなり、水漏れの原因となります。

- ・アジャスターキャップなどにがたつきのないことを確認する
確実に取り付けしないと、水漏れの原因となります。

壁・床



必ず守る

- ・壁・床などのシーリング材充てんは、**シーリング材で確実に行う**
水漏れにより家財を汚したり腐らせる原因となります。

- ・壁下パッキンは、床のケガキに合わせて、正しい位置にはり付ける
守らないと、水漏れの原因となります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

配管・混合水栓



禁止

- ・配管は急角度に曲げない
配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。
- ・継ぎ手部分での無理な曲げ配管をしない
配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。

- ・放り投げなど、外面に変形を起こすような取り扱いはいししない
変形して水漏れの原因となります。
- ・継ぎ手は絶対に分解しない
水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・継ぎ手内部に異物が入らないように保管する
また、直射日光が当たる場所や有機溶剤を扱う場所で保管しない
- ・排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側
全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
守らないと、水漏れの原因となります。
- ・給水・給湯配管を正しく接続する
逆に接続すると、高温の湯が出てやけどの原因になります。

- ・排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着
剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
守らないと、水漏れの原因となります。
- ・給水・給湯管、排水管、混合水栓は確実に接続する
確実に接続しないと、水漏れの原因となります。
- ・パッキン類がよじれないようにナットを締め付ける
パッキン類がよじれると、水漏れの原因となります。

ドア



禁止

- ・ターンナットは重量物を固定しない
落下によるけがの原因になります。



必ず守る

- ・下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを
確認する
パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。
- ・外したドアは、上下逆さにして縦置きする
ドアの下部・縦部のエアタイト材（パッキン）が損
傷すると、水漏れの原因となります。
- ・ドアの下枠は必ず水平になるよう取り付け
傾きがあると、水漏れや走行不良の原因となります。

- ・穴隠しキャップはドア枠ねじ穴に確実にはめる
取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因とな
ります。
- ・ラッチの確認・調整は必ず行う
ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因とな
ります。
- ・ドア吊り込みは、上下の回転部品を正しくセットする
正しくセットしないと、ドアがはずれ、けがをする
おそれがあります。

握りバー



必ず守る

- ・握りバーの裏補強は確実に行う
確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- ・握りバーの取付座は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。

- ・握りバーの受け具は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。

※商品を開梱したら外観に損傷がないことをご確認ください。
(取り付け済商品の損傷は、保証対象外となりますので、取り付け前に必ずご確認ください。)

[illegible]

バスルームの取付設置工事区分



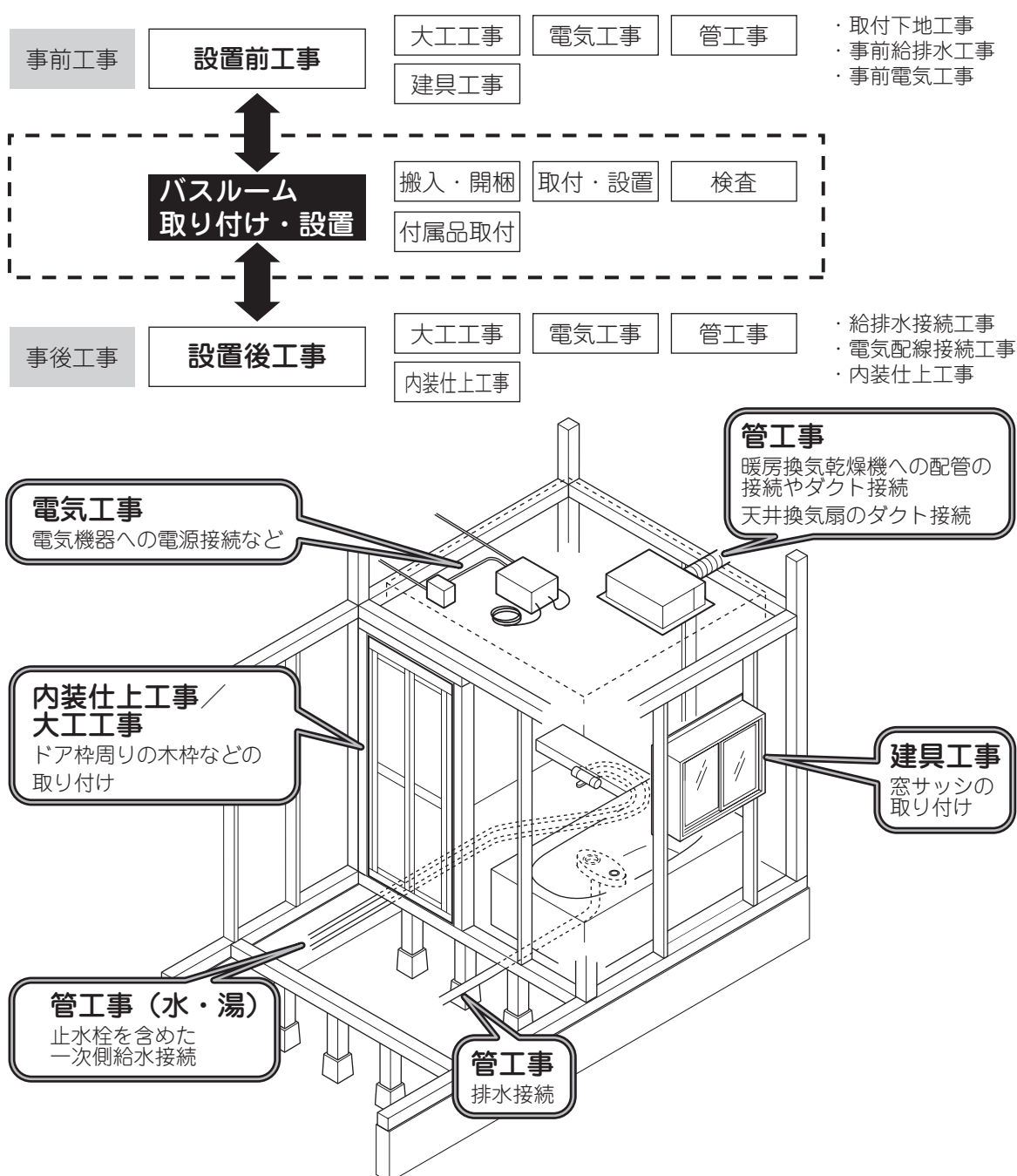
警告



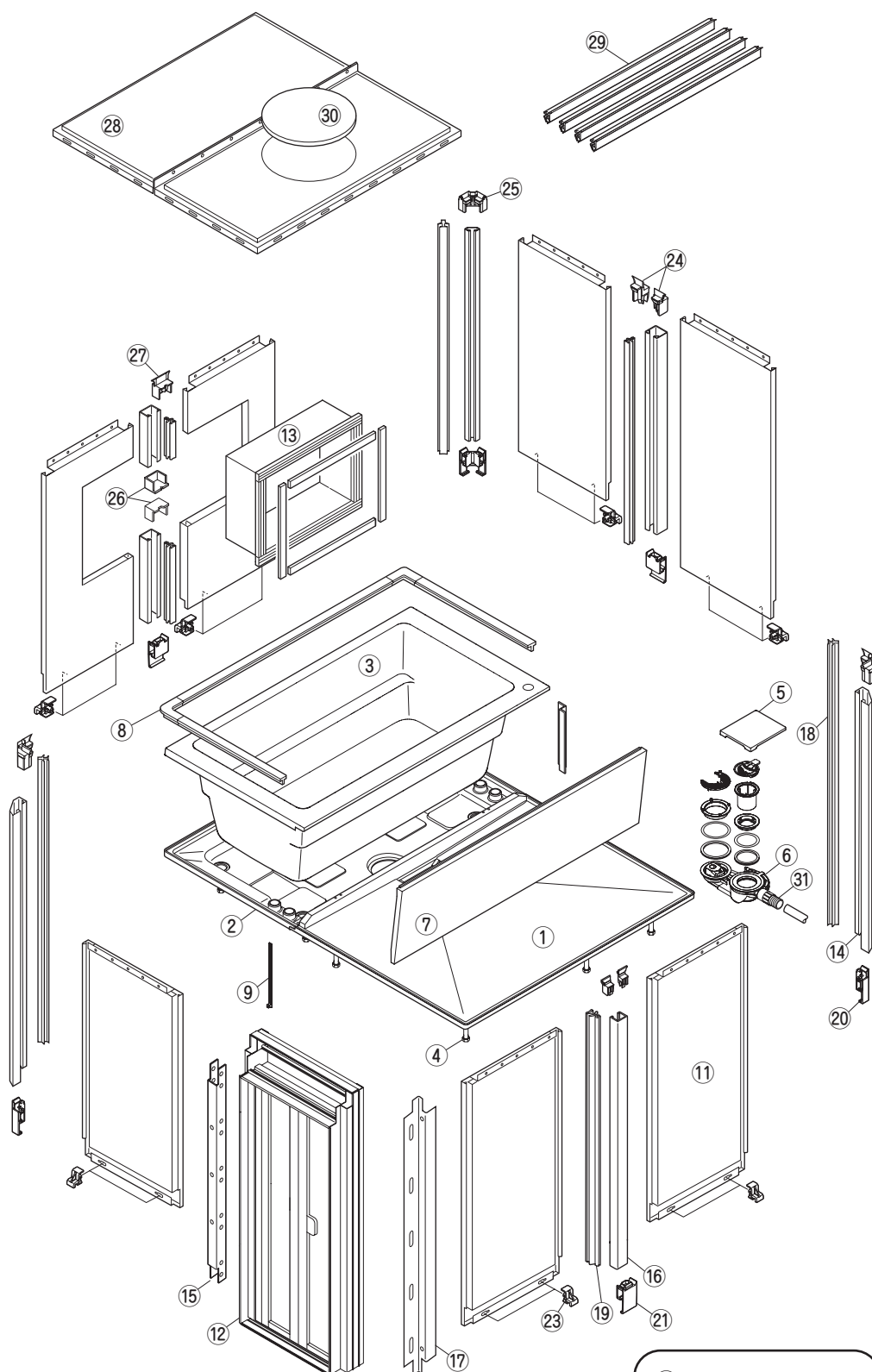
必ず守る

- 本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています
（建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。）

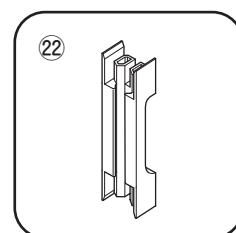
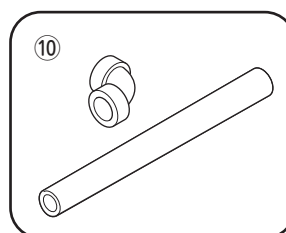
■「バスルームの取り付け設置」と工事区分



構成図

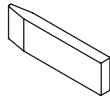
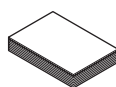
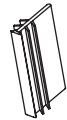
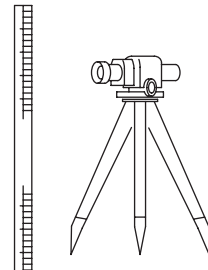
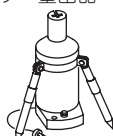
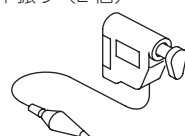
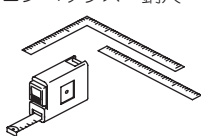
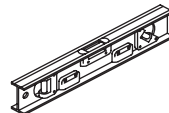
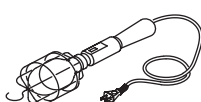
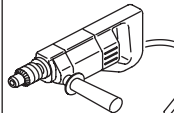
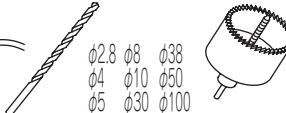
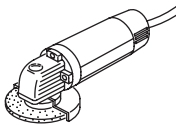
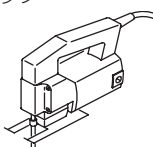
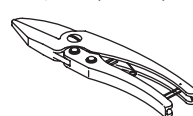
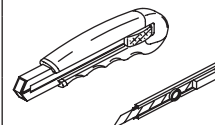
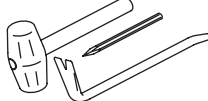
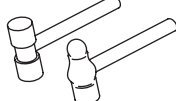
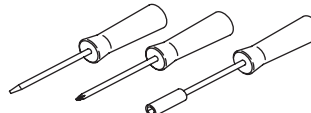
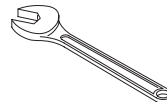
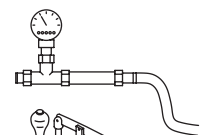
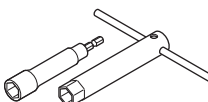
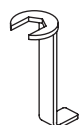
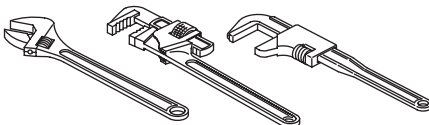
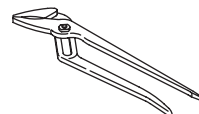
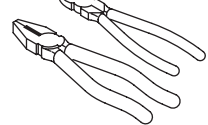
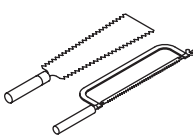
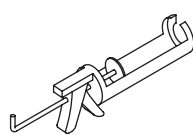
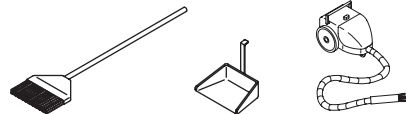
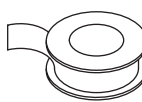
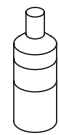
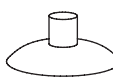


①	洗い場パン
②	浴槽パン
③	浴槽
④	アジャスターボルト
⑤	排水口カバー
⑥	排水トラップ
⑦	エプロン
⑧	浴槽目地
⑨	エプロン水返し
⑩	雑排水管
⑪	壁パネル
⑫	ドア本体
⑬	窓枠
⑭	コーナージョイナー
⑮	ドア平ジョイナー
⑯	平ジョイナー
⑰	ドアコーナージョイナー
⑱	目地(コーナー用)
⑲	目地(平用)
⑳	コーナー下ブロック
㉑	平下ブロック
㉒	薄納まり配管用ジョイントブロック
㉓	壁掛けハンガー
㉔	平上ブロック R/L
㉕	コーナー上ブロック
㉖	窓開口用ブロック
㉗	開口用天井平ブロック
㉘	天井パネル
㉙	天井回し縁
㉚	天井点検口ふた
㉛	排水フレキ管



※この構成図は一例です。プランによって構成部材やサイズは異なります。

使用工具類

専用工具	目地打ち込み治具  (品番: GVR7107)	平目地打ち込み治具  (品番: GRYGD9111)	浴槽目地打ち込み治具  (品番: GVDY765)	浴槽下用スペーサーt1.0×8  (品番: GN7810)	仮固定目地  (品番: GVP3269)	トラップ締め付け工具  (品番: GRYGVR7106)
	水栓固定金具締め付け工具  (品番: GRYGR818188)					
必要工具	レベル 	レーザー墨出器 	下振り (2 個) 	コンベックス・鋼尺 	鉛筆 (ケガキ用具) 	墨つぼ・墨さし 
		水平器 	キャブタイヤドラム 	作業灯 	電気ドリル 	ストレートドリル ホールソー 
	充電ドライバー ドライバービット先端サイズ No.2・No.3 	サンダー 	ジグソー 	天井回し縁目地用 カッター (ハサミ) 	カッター (大・小) 	ヤスリ (中目・細目) 
	チス・ハツリハンマー パール (1.5m) 	プラスチックハンマー ・片手ハンマー 	ドライバー・ボックスドライバー 	スパナ (17mm) 	水圧テストポンプ 	
	ボックスレンチ (対辺寸法 24mm) 	水栓用 L 型レンチ 	モンキーレンチ・パイプレンチ・モーターレンチ 	アンギラス 		
	ペンチ・ニッパー 	鋸 	バケツ・スポンジ・ウエス 	脚立 	コーキングガン 	
	ほうき・ちりとり・掃除機 					
事前準備品	シールテープ 	塩ビ管接着剤 (青色着色) 	リグロイン 	吸盤 (耐荷重 2Kg 以上) 	アルミテープ 	

躯体スペースの確認

単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

水栓固定金具

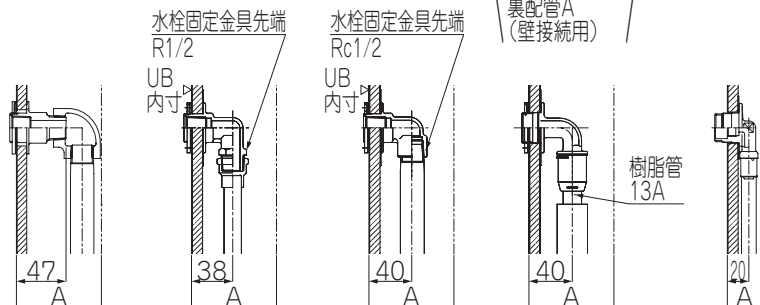
〈水栓固定金具：ストレート〉

〈水栓固定金具：エルボオス〉

〈水栓固定金具：エルボメス〉

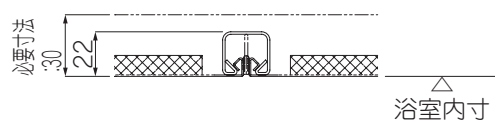
〈水栓固定金具：ワンタッチ裏配管A（壁接続用）〉

〈壁裏配管（浴槽下接続用）〉

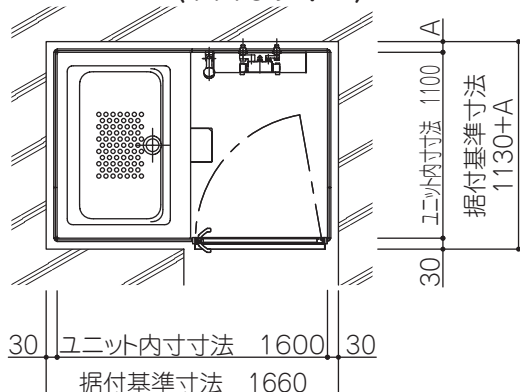


	A寸法
水栓固定金具ストレート仕様	80
水栓固定金具エルボ仕様	60
【オス・メス・ワンタッチ】	
浴槽下接続	30

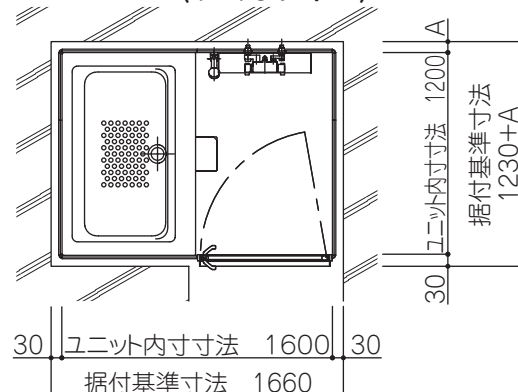
壁ジョイント裏



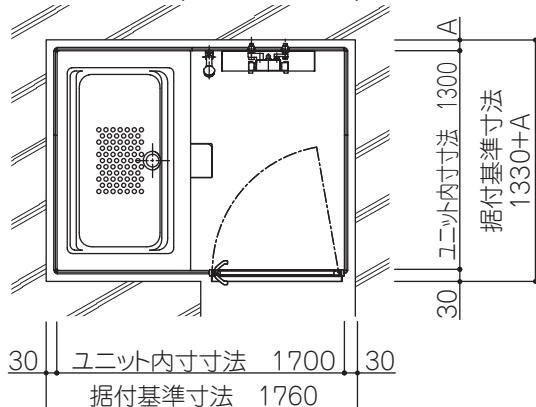
〈1116サイズ〉



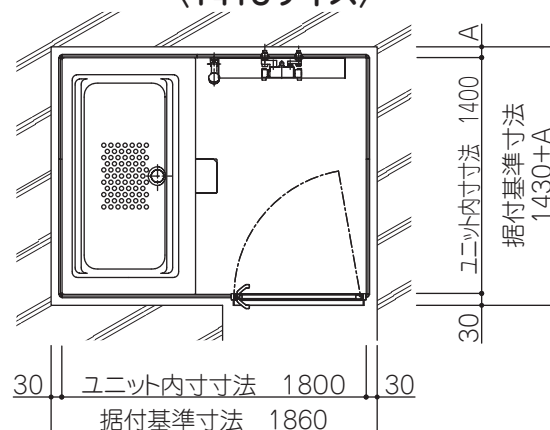
〈1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

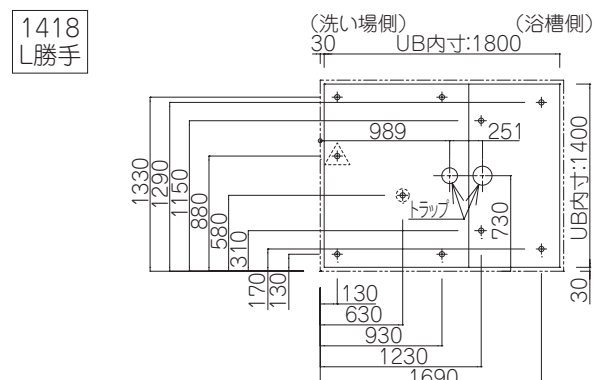
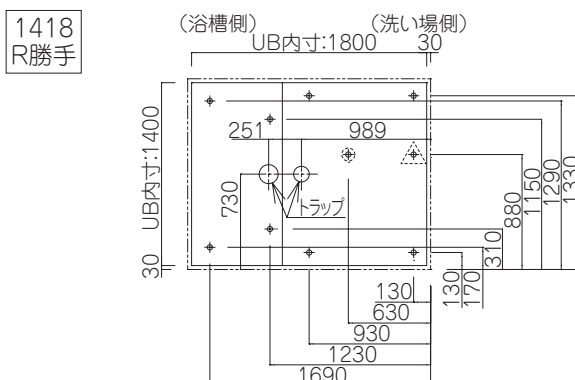
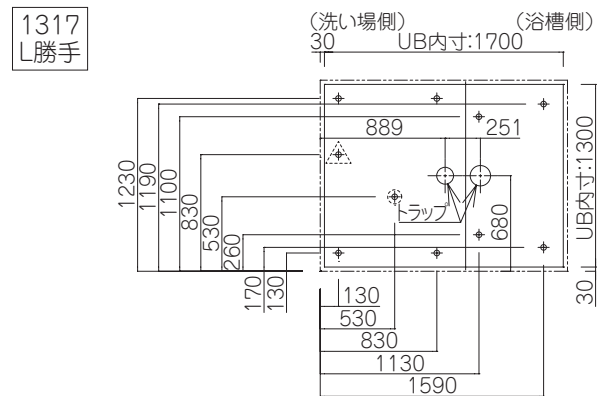
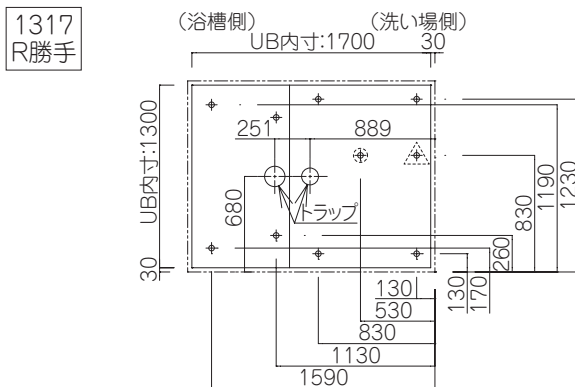
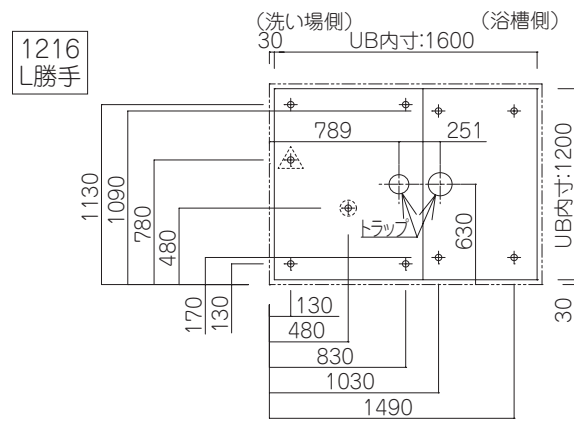
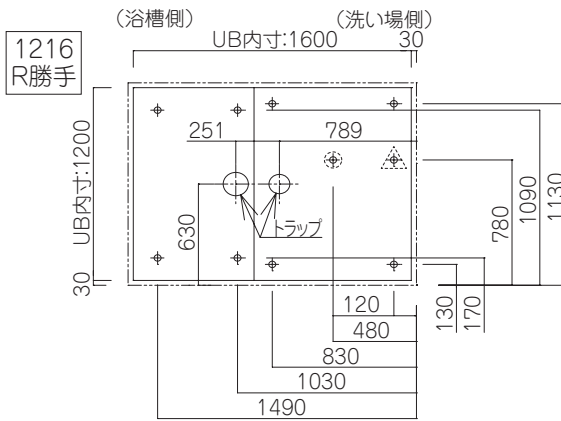
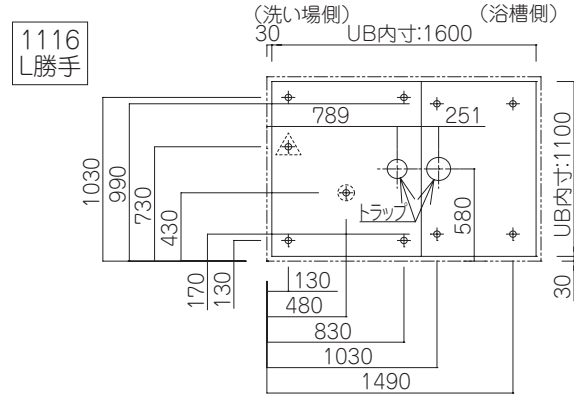
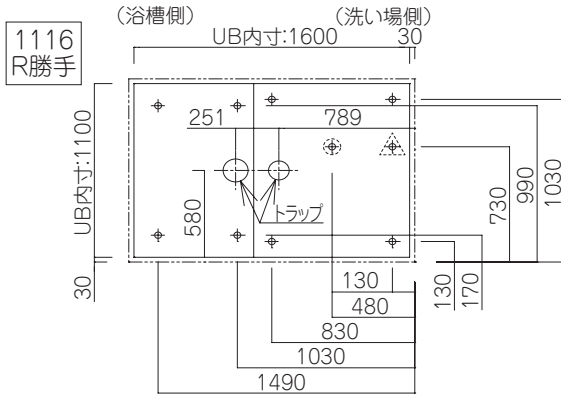


アジャスターボルト位置の確認

単位：mm

※本図は上から見た図です。 ※○囲みのアジャスターボルトはゴムキャップを取り付けます。

※【2024年8月発売仕様以降】△囲みのアジャスターボルトはゴムシートをはり付けます。



壁パネル展開図

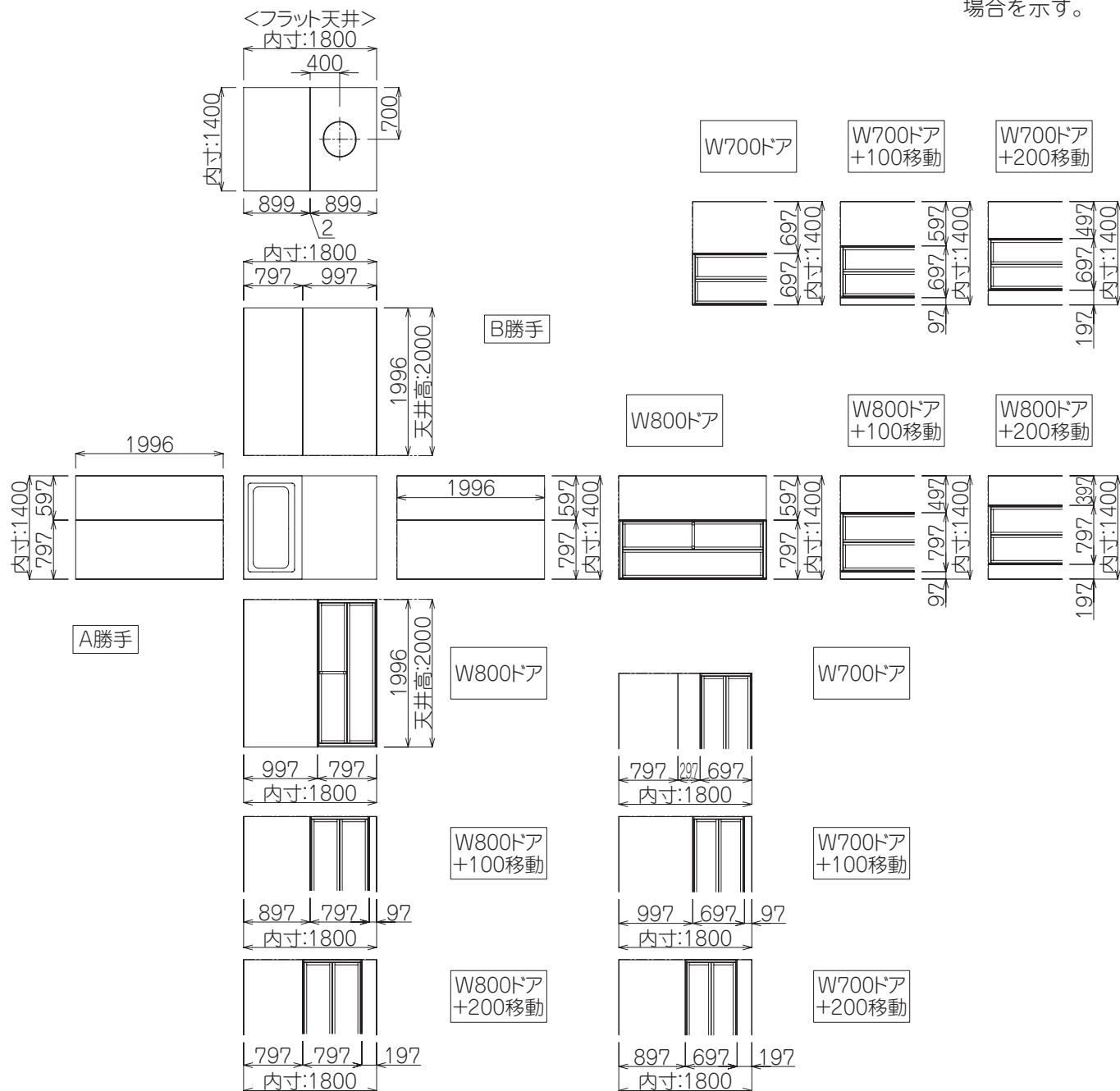
単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

壁パネル展開図

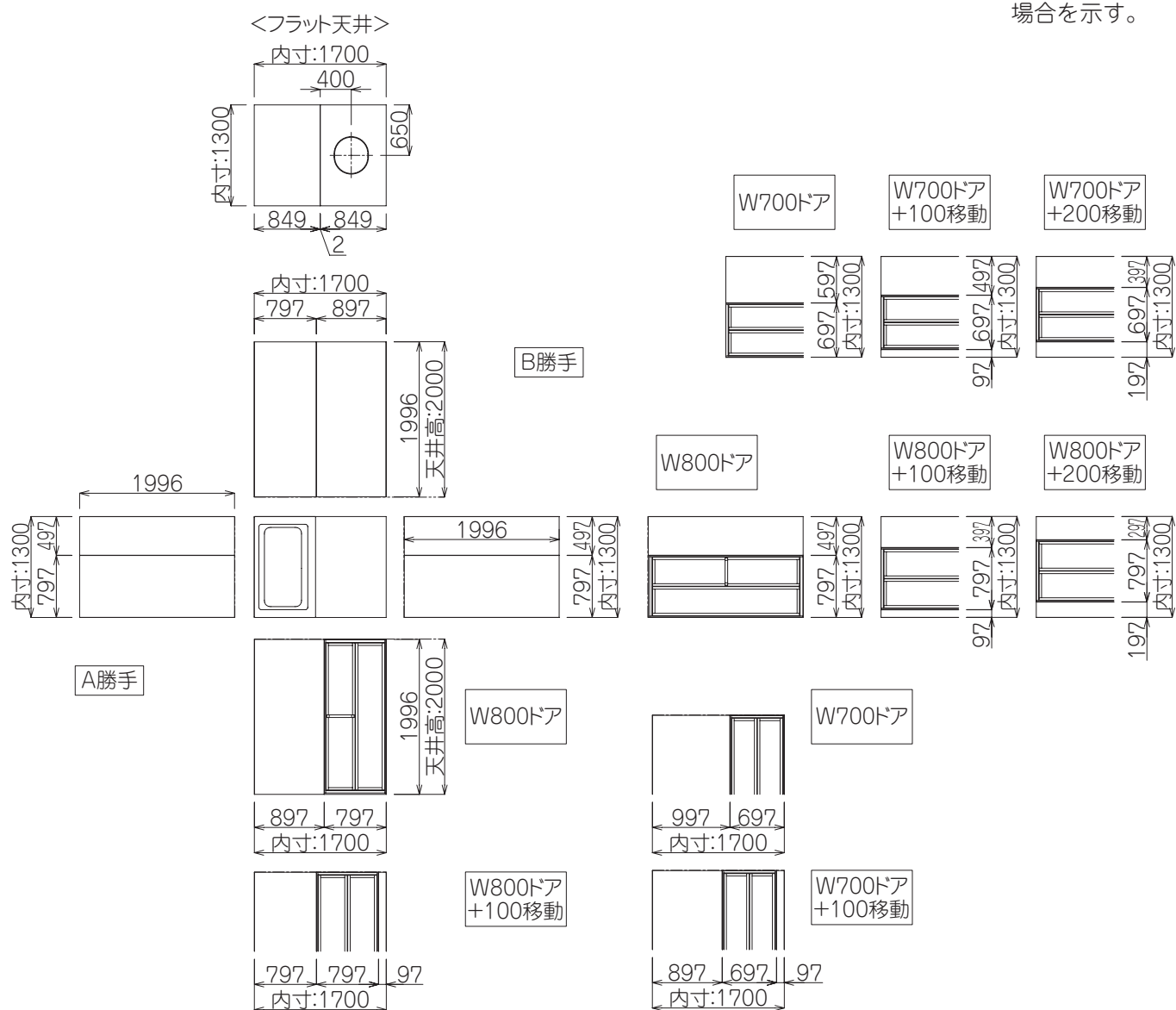
●1418サイズ

※本図はR勝手の場合を示す。



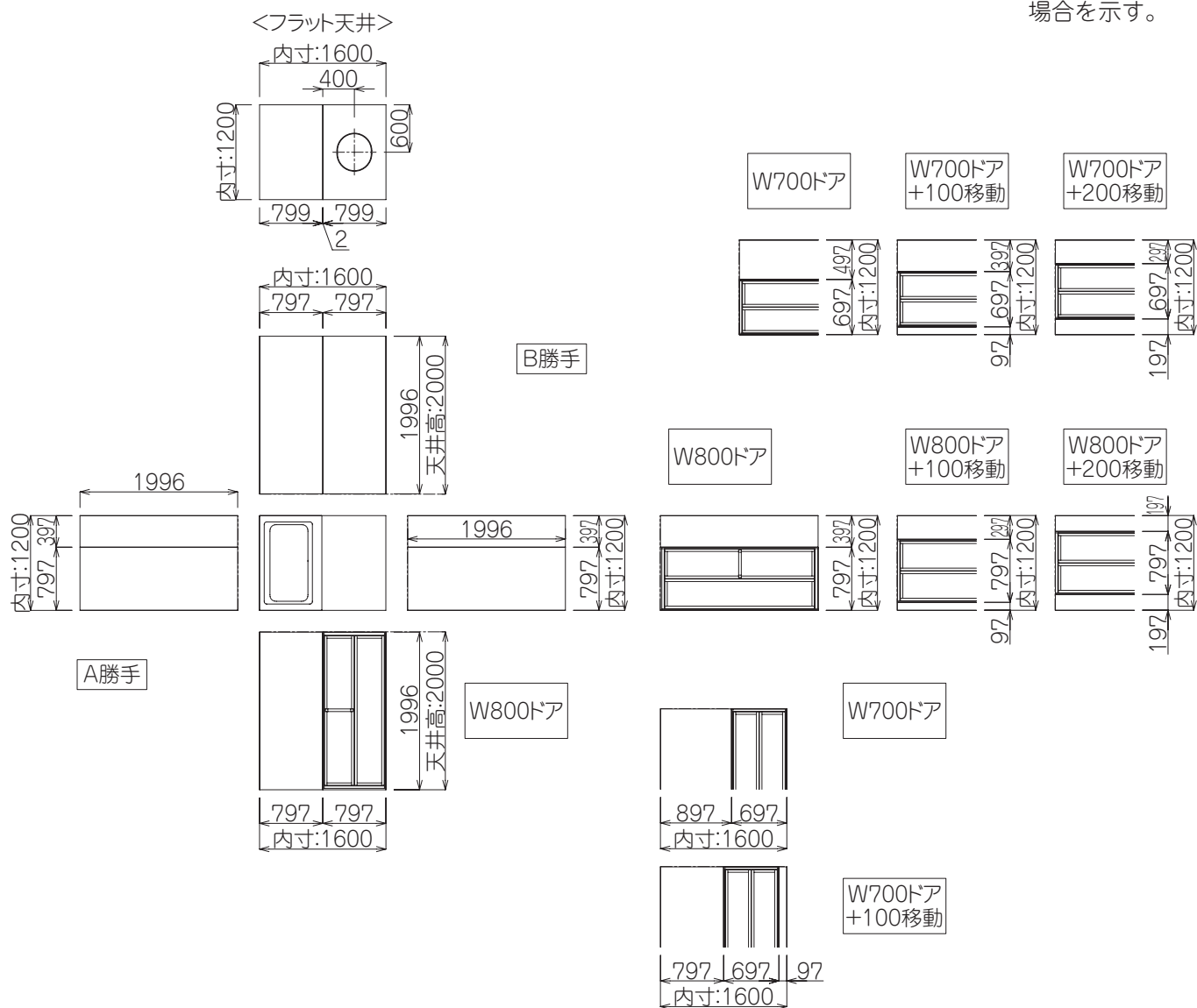
●1317サイズ

※本図はR勝手の
場合を示す。



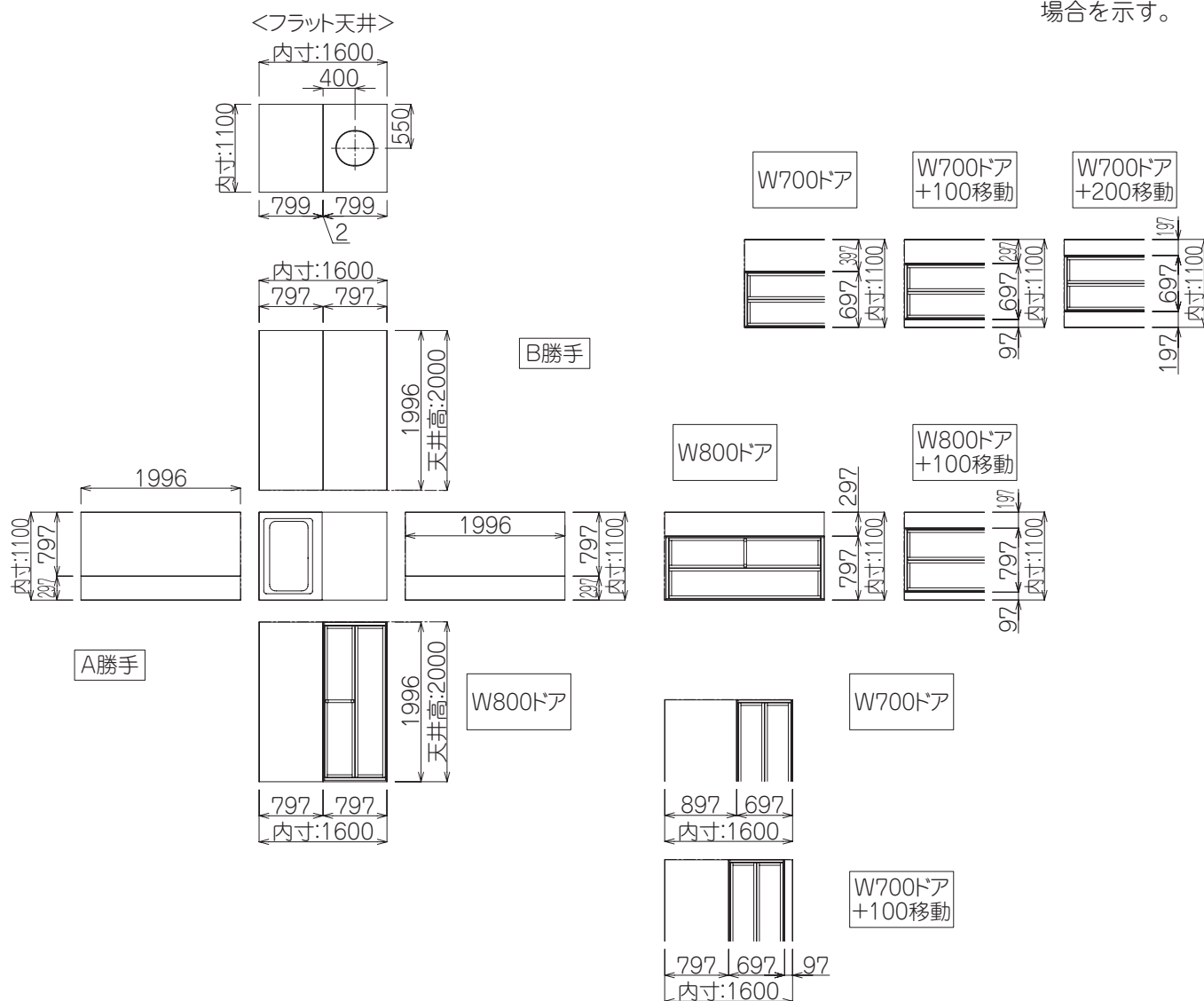
●1216サイズ

※本図はR勝手の
場合を示す。



●1116サイズ

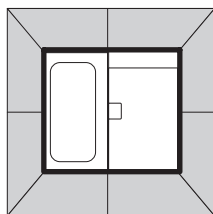
※本図はR勝手の
場合を示す。



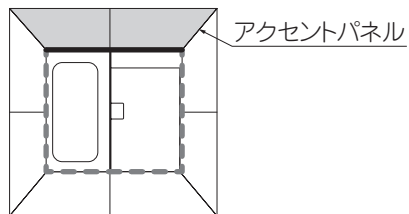
壁目地・シーリングの色について

壁目地、シーリングは壁柄により異なる色を使用します。詳細は下記を参照ください。

〈全面同柄パネル〉



〈正面アクセント〉



※アクセントパネルと周囲パネルで目地色が異なる場合、アクセントパネルの平目地のみ異なる色を使用します。

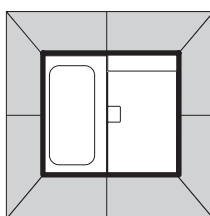
柄	シーリング分類	壁目地
ロウライト	薄色系	ホワイト
ロウグレイ	濃色系	グレー
墨モルタル	濃色系	ディープグレー
トラバーチンクラシコ	薄色系	ホワイト
グレイスホワイト	薄色系	ホワイト

〈床パンのシーリング充てん〉

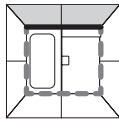
※その他シーリング充てんについては、162ページの「その他のシーリング材充てん指定個所」を参照ください。

〈 全面同柄
パネル 〉

— ①部



床色		壁柄（正面パネル色）		シーリング色
・ ミディアムホワイト	⇒	全壁柄	⇒	ホワイト
	+		⇒	
	+	薄色系	⇒	ホワイト
	+	濃色系	⇒	ブラック

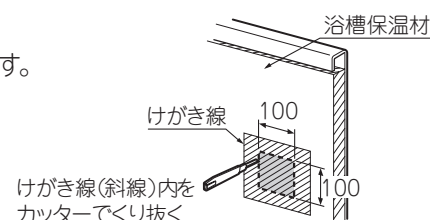
		〈正面アクセント〉			
		— ①部			
		--- ②部			
床色		⇒	壁柄（正面パネル色）	⇒	シーリング色
・ ミディアムホワイト	+	全壁柄	⇒	ホワイト	
・ ミディアムグレー	+	アクセントパネル：薄色系 周囲パネル：薄色系	⇒	ホワイト	
	+	アクセントパネル：濃色系 周囲パネル：濃色系	⇒	ブラック	
	+	アクセントパネル：濃色系 周囲パネル：薄色系	⇒	①部：ブラック ②部：ホワイト	
	+	アクセントパネル：薄色系 周囲パネル：濃色系	⇒	①部：ホワイト ②部：ブラック	

追焚釜接続位置図

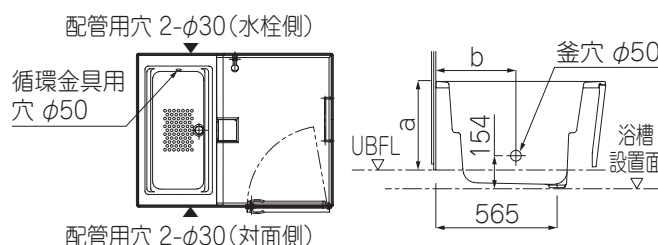
単位：mm

■保温浴槽に釜穴を開ける場合は、下記の手順で行ってください。

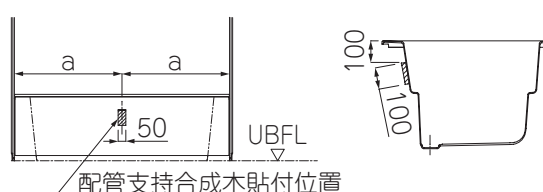
- ・保温材（発泡スチロール）に釜穴取り付け位置を示すけがき線（斜線）があります。
 - けがき線内の100mm×100mmをカッターなどで切り取ってください。
 - ・保温材を切り取った後、穴開け作業を行ってください。
- ※保温材が循環器具や配管と干渉する場合は、干渉部分をカッターなどで切り欠いてください。ただし、切り欠く量は、最小限にとどめてください。



- 浴槽穴開口は浴槽種類、サイズによって異なります。
- 配管タイプや経路によって現場毎に、合成木の位置は調整してください。
- 貼付面は完全なフラットではありません。
- 追焚釜の穴開けは、必ず浴槽据え付け前に行ってください。
- 自然循環釜（2穴開口）は設置できません。
- 追焚釜の穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。



サイズ	a	b
1418	432	370
1317	432	370
1216	436	373
1116	436	373



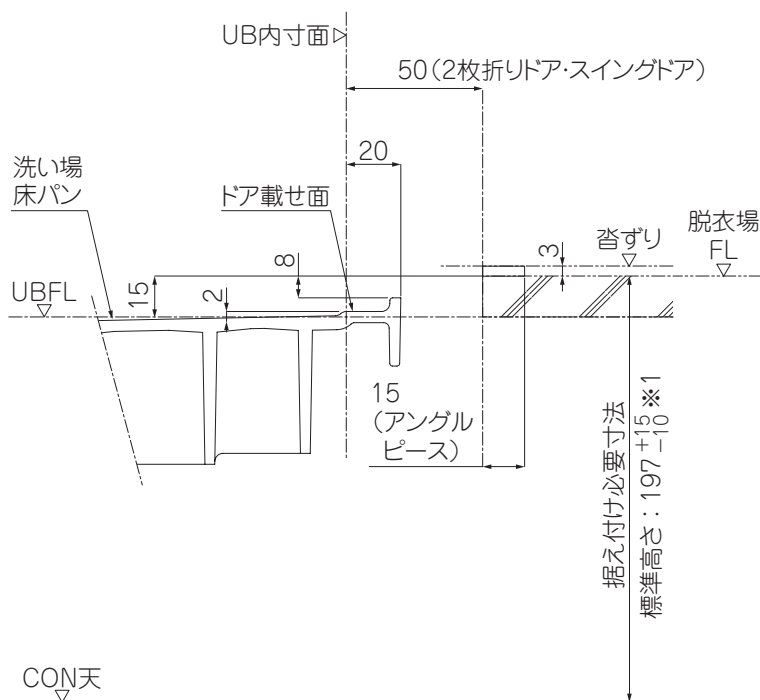
サイズ	a
1400	700
1300	650
1200	600
1100	550

納まりの確認

●ドアの納まり

〈2枚折りドア・スイングドアの場合〉

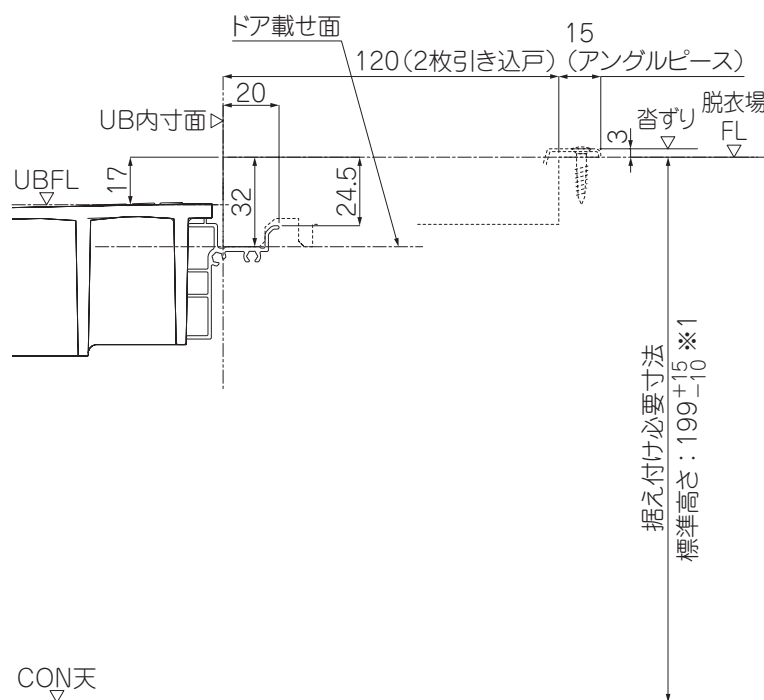
・バスルームの内寸および外寸については、15ページの「躯体スペースの確認」を参照ください。



アジャスター ボルト	CON天 ～ UBFL	CON天 ～ 脱衣場FL	CON天 ～ 沓ずり
標準高さ	182	197	200
+10mm	192	207	210
+20mm	202	217	220
+30mm	212	227	230
+40mm	222	237	240
+50mm	232	247	250
+60mm	242	257	260
+70mm	252	267	270
+80mm	262	277	280

〈2枚引き込戸の場合〉

・バスルームの内寸および外寸については、15ページの「躯体スペースの確認」を参照ください。



アジャスター ボルト	CON天 ～ UBFL	CON天 ～ 脱衣場FL	CON天 ～ 沓ずり
標準高さ	182	199	202
+10mm	192	209	212
+20mm	202	219	222
+30mm	212	229	232
+40mm	222	239	242
+50mm	232	249	252
+60mm	242	259	262
+70mm	252	269	272
+80mm	262	279	282

器具取り付け穴開口位置図

単位：mm

部位	部材	開口径	直打 固定	樹脂 アンカー	補強 合板	補強 鉄板	同梱
浴槽	バックハンガー	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は床小物セットに付属
水栓	壁付水栓	φ30	-	-	-	-	回り止プレートはプレートセットに付属
	クリーンスクエアサーモ水栓 (ホワイト・ブラック)・ メタルスクエアサーモ水栓	φ30	-	-	-	-	回り止プレートはプレートセットに付属
	兼用壁付水栓・浴槽側水栓	φ30	-	-	-	-	回り止プレートはプレートセットに付属
	壁裏配管(浴槽下)	φ30	-	-	-	-	回り止プレートはプレートセットに付属
ミラー	ミラーシェルフ	φ4.0	-	-	-	-	ミラーシェルフ用補強プレート固定
フック	シャワーフック	φ5.0	-	○	-	-	樹脂アンカーは製品に付属
	シャワースライドバー	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は製品に付属
	握りバー兼用スライドバー	φ10	-	-	-	○	補強鉄板は製品に付属
収納棚	ガラス調収納棚	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は製品に付属
照明	サークルLED照明	φ2.8、φ30	○	-	-	-	
タオル掛け	タオル掛けA・タオル掛けB	φ2.8	○	-	-	-	
	タオル掛けC	φ5.0	-	○	-	-	樹脂アンカーは製品に付属
物干しバー	物干しバー受け具	φ2.8	○	-	-	-	
風呂フタ フック	組みフタ用	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は製品に同梱
	巻きフタ用	φ2.8	○	-	-	-	
	3点フック	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は製品に同梱
リモコン	オートルーバー暖房換気 乾燥機浴室内スイッチ	φ2.8	○	-	-	-	
握りバー	握りバー I型	φ10	-	-	-	○	補強鉄板は製品に付属

※補強はり付け方法については、70ページを参照ください。

※ミラーシェルフ・シャワーバーは部品同梱の取付設置説明書を参照ください。

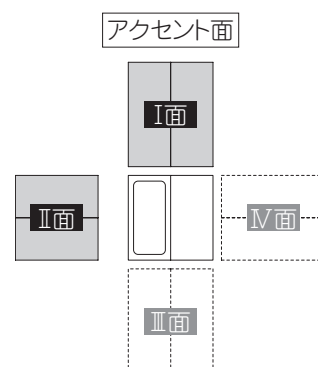
●プレ穴加工について

洗い場水栓、ミラー等の取付穴位置を工場できがいて出荷するプレ穴加工が
ございます。

※ミラーなしプランの場合、収納棚・スライドバーのみスタンプ表示となります。

※壁付照明は対象外です。

対象面	I 面	II 面
下穴加工 (φ2.8)	浴槽バックハンガー、 エプロン水返し、 洗い場側水栓、兼用壁付水栓、 ミラーシェルフ、シャワーバー	浴槽バックハンガー
スタンプ表示	シャワーフック、 シャワースライドバー、 ガラス調収納棚、 握りバー兼用スライドバー	なし



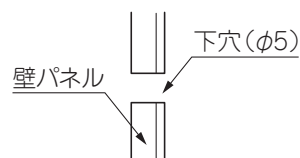
鋼板用樹脂アンカー（白）（GVRY238）を使用した部材の取り付け方法

取付設置上のお願い

- ねじを締め込みすぎると、ねじが空回りして、取り付けできなくなるおそれがあります。
以下のように注意してください。
- 〈電動ドライバーの場合〉
弱めにクラッチ目盛りを合わせて、最後まで強い力で締め込まないようにしてください。
（クラッチの目安：パナソニック（株）製充電ドライバー品番：EZ6402Nにてクラッチ21段階の2～3レベル）
- 〈インパクトドライバーの場合〉
手順③に示すよう締め終わりに注意してください。

①下穴（φ5）を開ける。

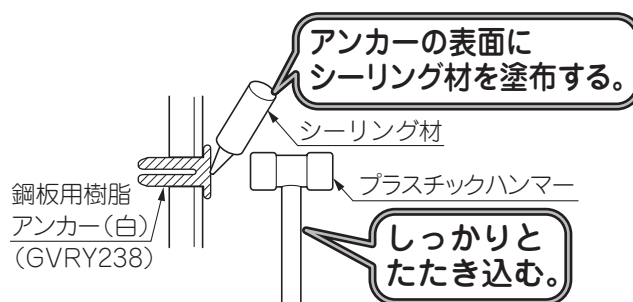
- ・壁パネル表面にバリが出ないように注意してください。



②プラスチックハンマーで鋼板用樹脂アンカーをしっ かりとたたき込み、表面にシーリング材を塗布する。

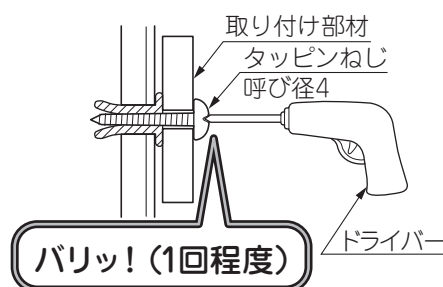
取付設置上のお願い

- しっかりとたたき込まないと、部材が浮いてしまうおそれがあります。



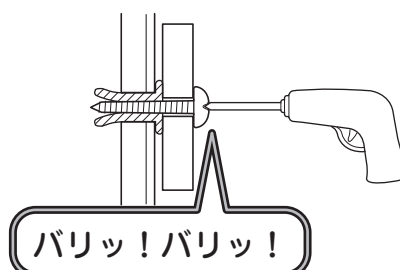
③取り付け部材を固定する。

- ・締め終わりと同時に、ドライバーをねじから離してください。



④軽く増し締めする。

- ・締め込みすぎないように注意してください。



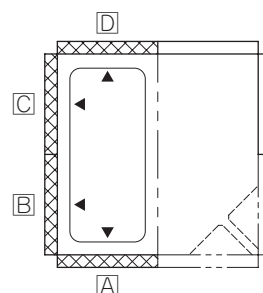
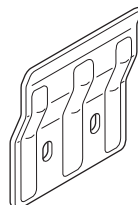
浴槽バックハンガー・エプロン水返し

・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

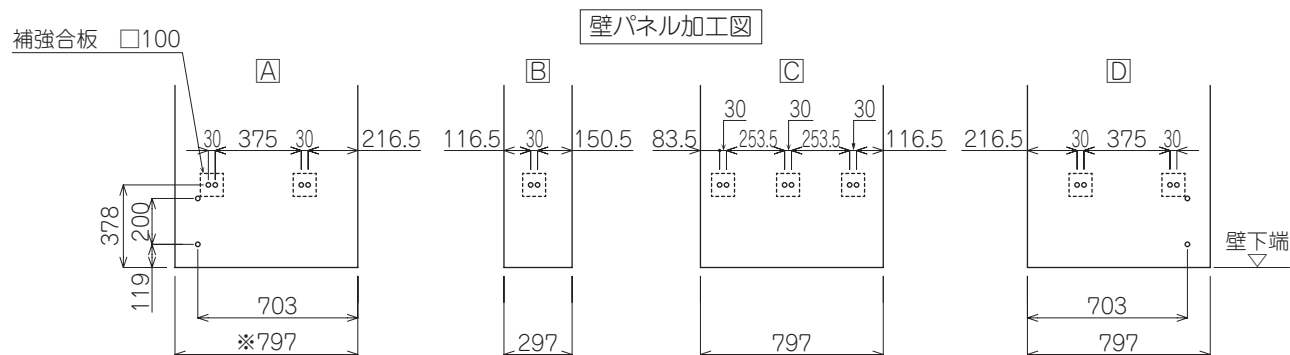
※壁幅はドア幅カット、ドア位置移動により異なる場合があります。

下穴サイズ

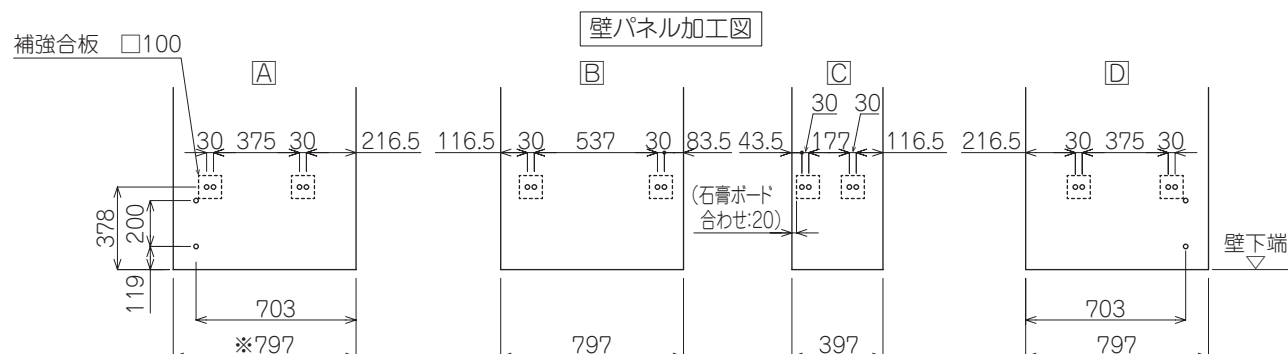
○：φ2.8



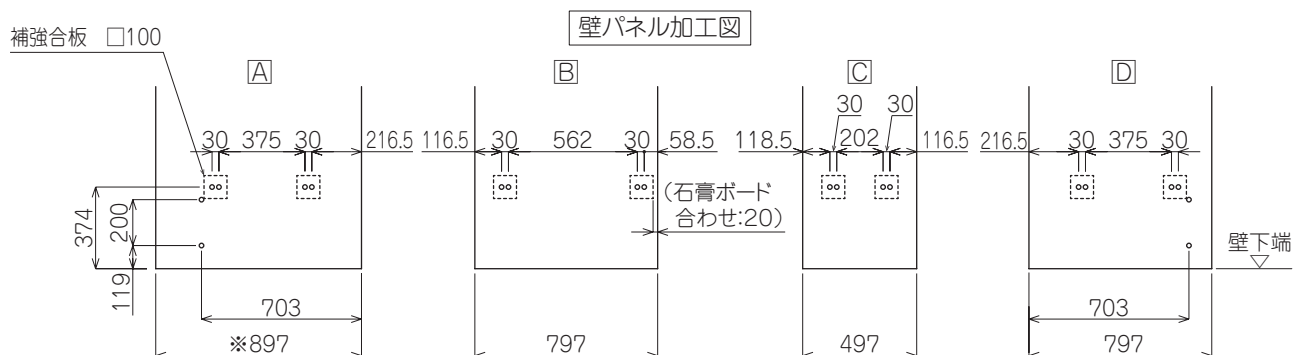
〈1116サイズ〉



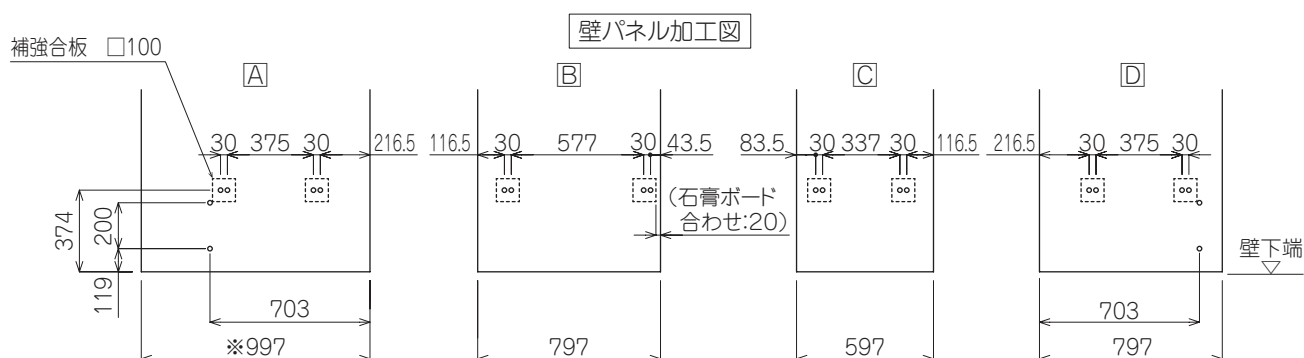
〈1216サイズ〉



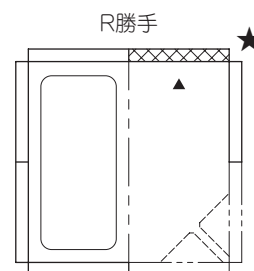
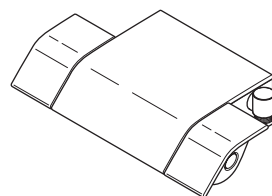
〈1317サイズ〉



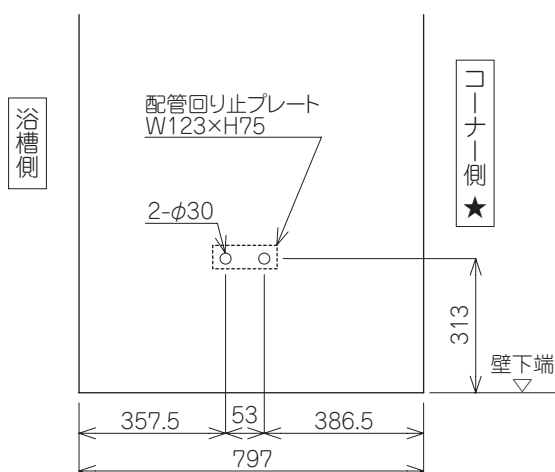
〈1418サイズ〉



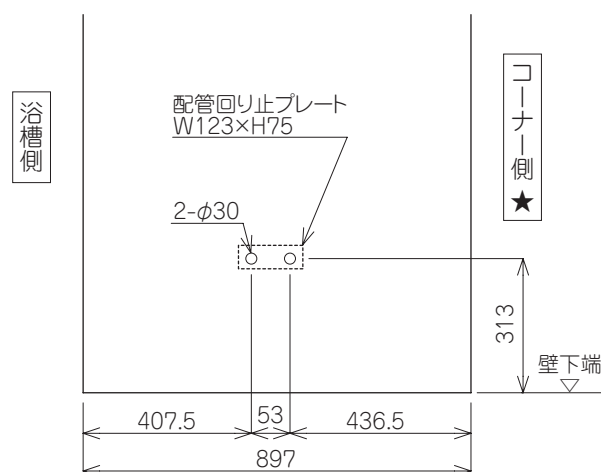
クリーンスクエアサーモ水栓（ホワイト・ブラック）・メタルスクエアサーモ水栓 R勝手



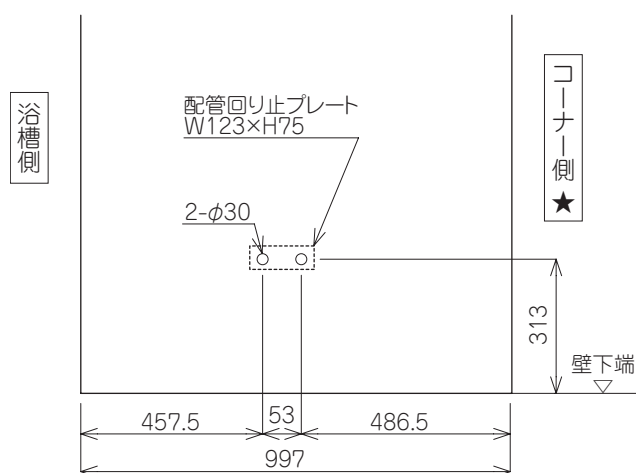
〈1116・1216サイズ〉



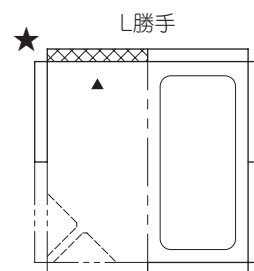
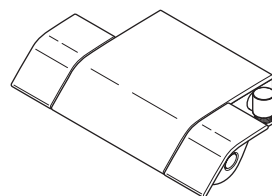
〈1317サイズ〉



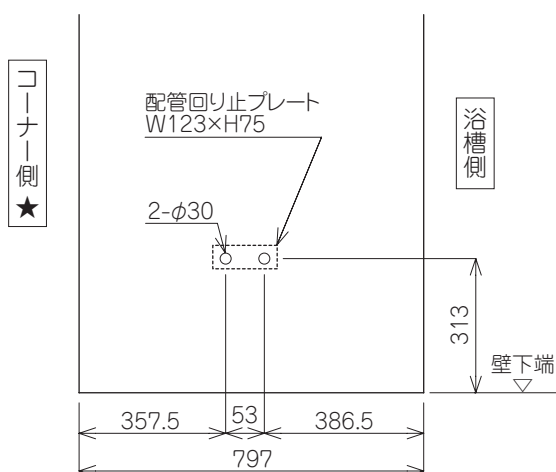
〈1418サイズ〉



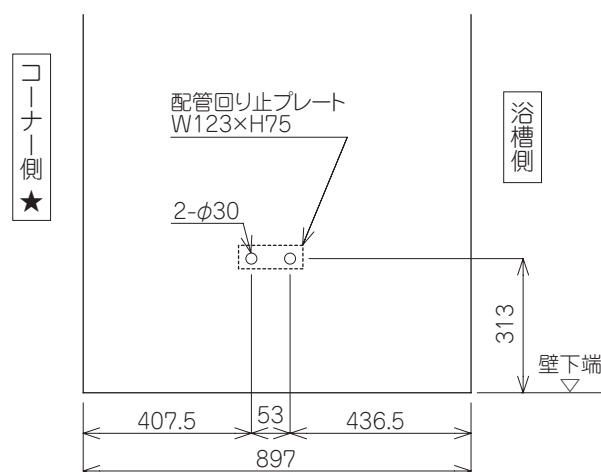
クリーンスクエアサーモ水栓（ホワイト・ブラック）・メタルスクエアサーモ水栓 L勝手



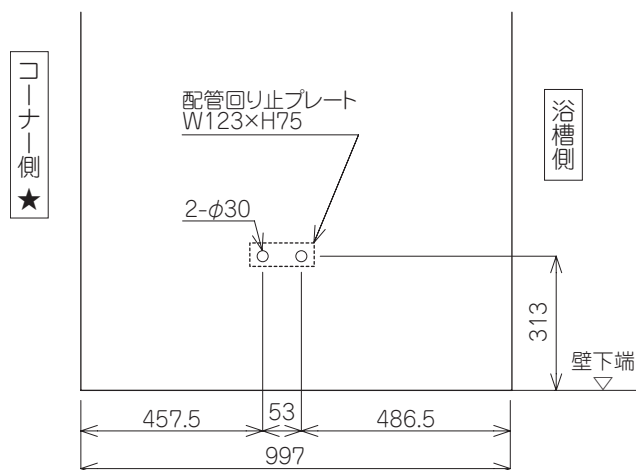
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉

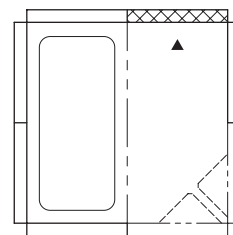
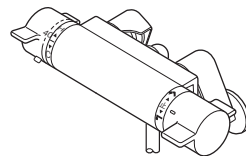


〈1418サイズ〉

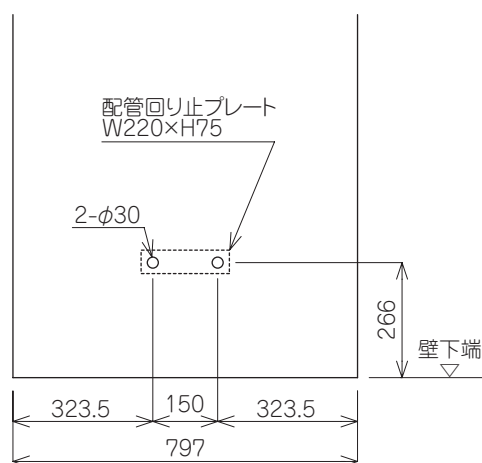


壁付水栓

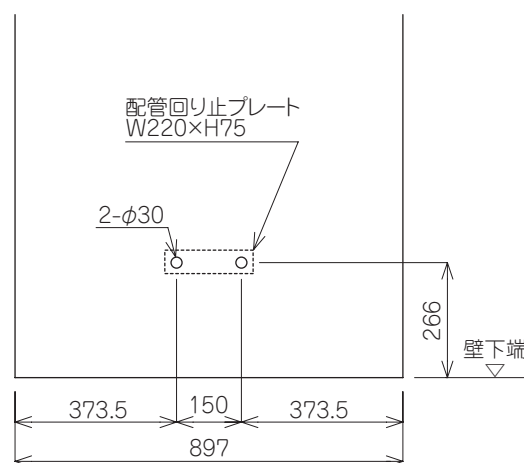
・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。



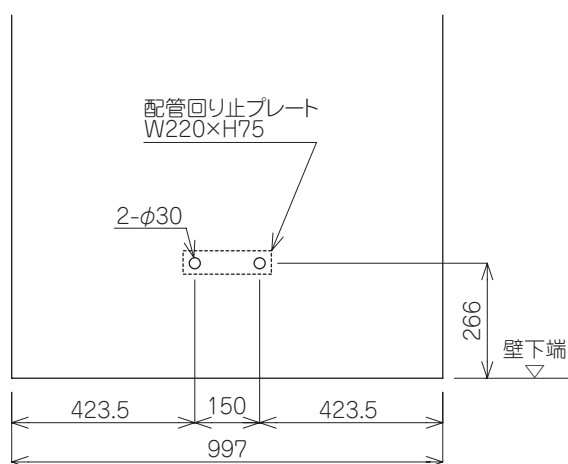
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉

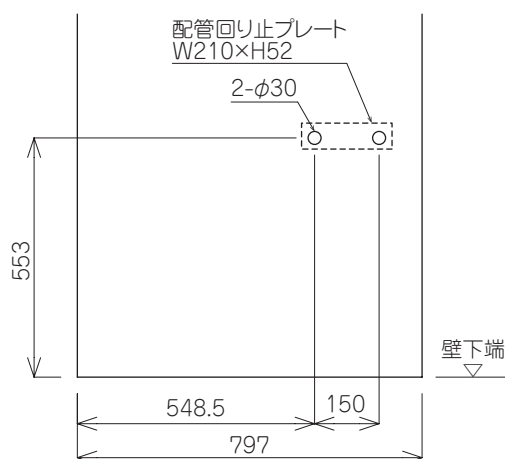
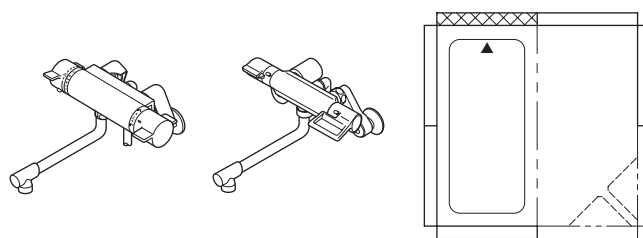


〈1418サイズ〉



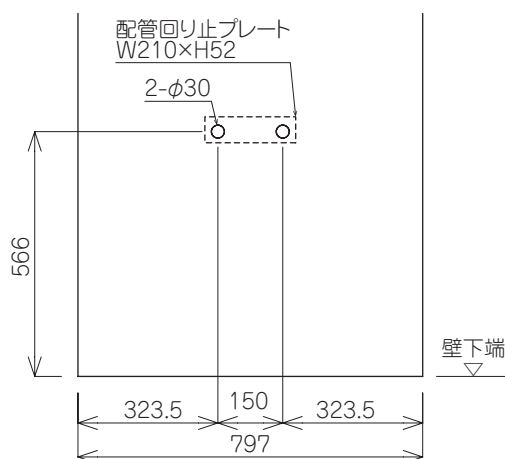
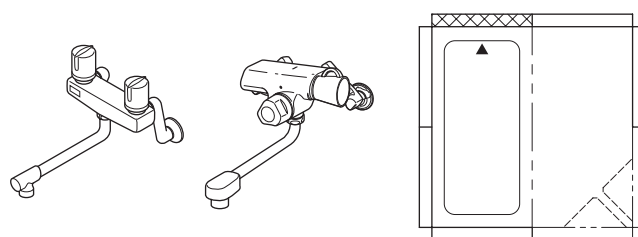
兼用壁付水栓

・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。



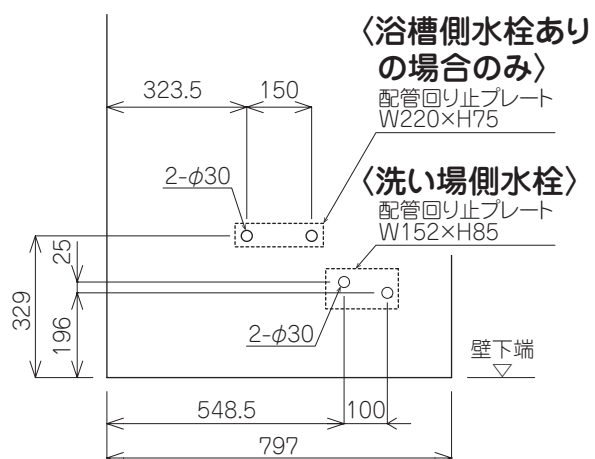
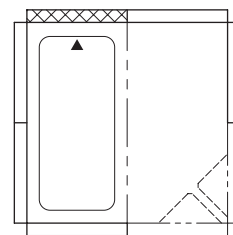
浴槽側水栓

・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。



壁裏配管

・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

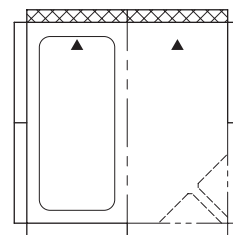


サークルLED照明

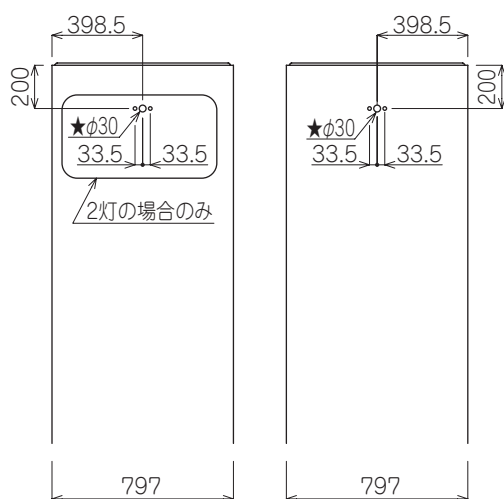
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

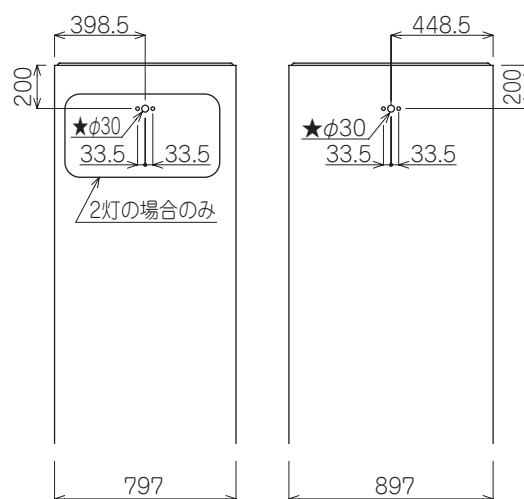
○：φ2.8



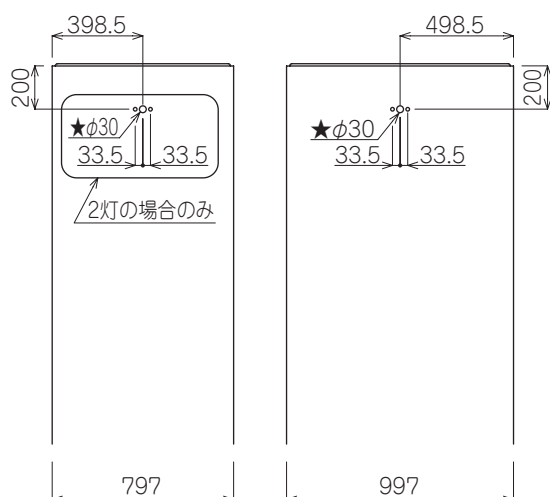
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

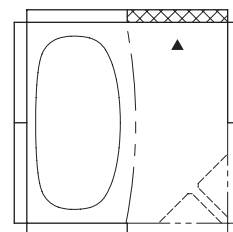
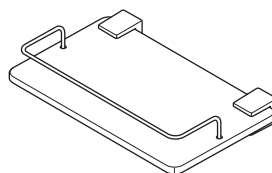


ガラス調収納棚

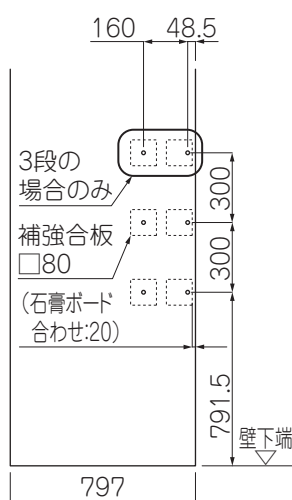
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

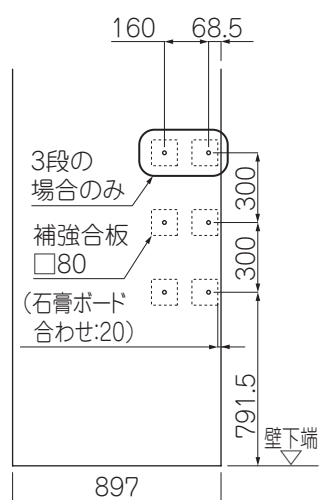
○：φ2.8



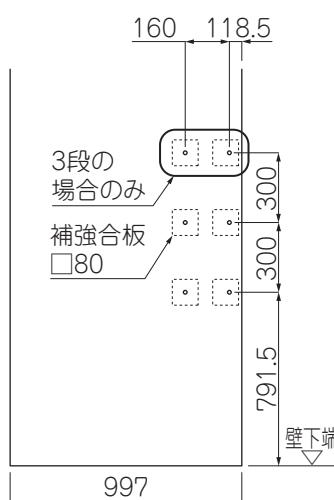
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

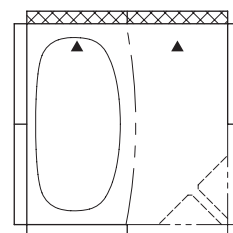
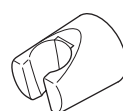


シャワーフック

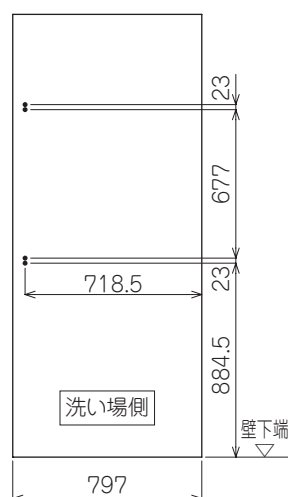
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

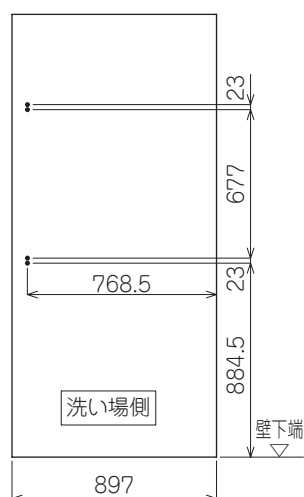
●：φ5.0（樹脂アンカーを使用）



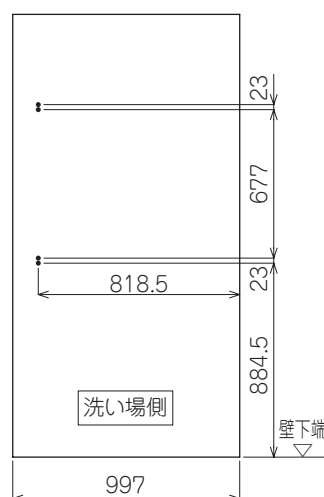
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

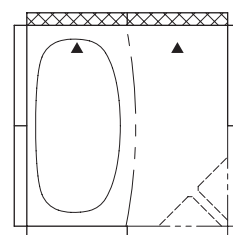
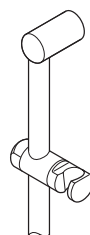


シャワースライドバー

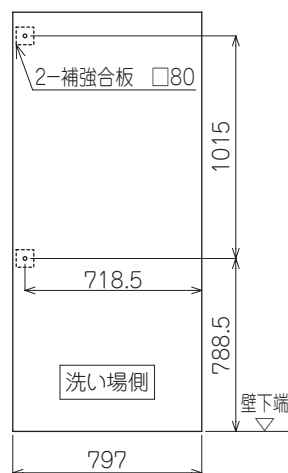
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

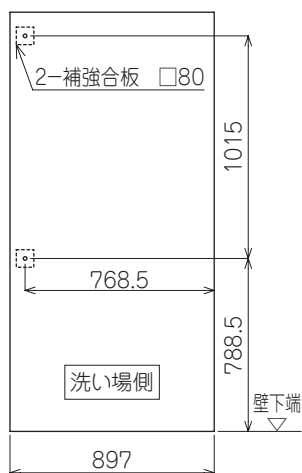
○：φ2.8



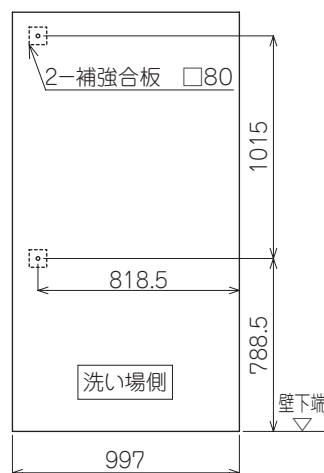
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

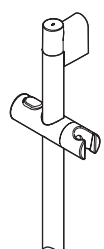


握りバー兼用スライドバー

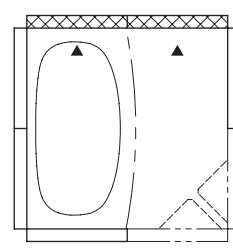
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

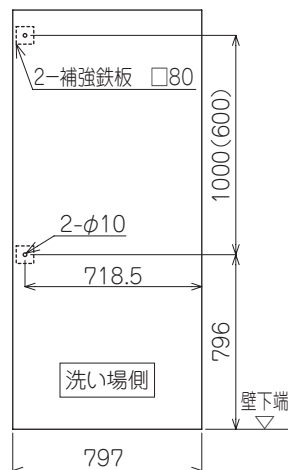
○：φ10



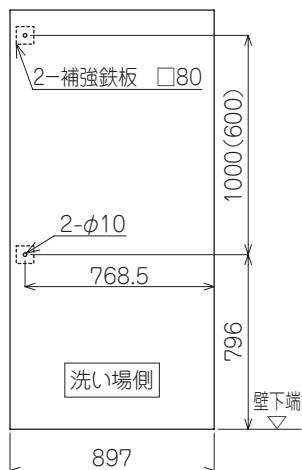
L1000
L600



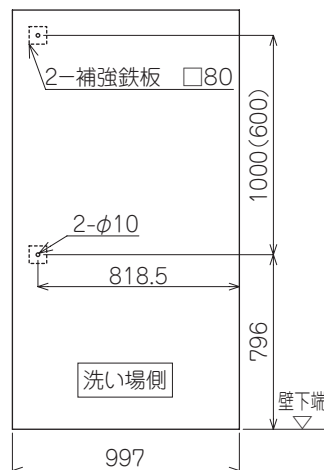
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉



※ () 内寸法は
L600の場合です。

タオル掛けA（ホワイト）・Bタイプ（メタル）

●A勝手の場合

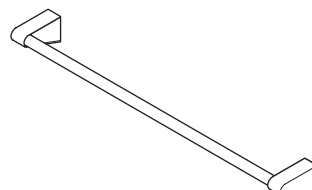
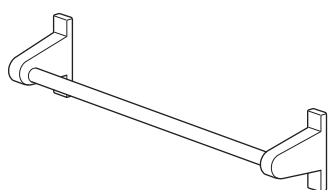
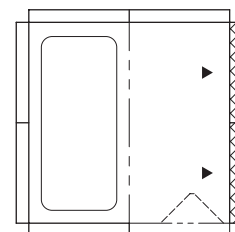
- ・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。
- ・〈 〉 寸法は【2024年10月2日発売以降仕様】Bタイプ（メタル）の場合です。

下穴サイズ

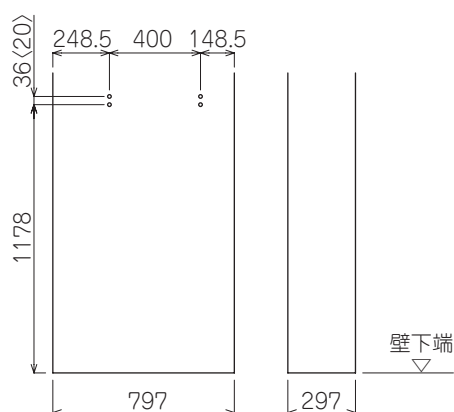
○：φ2.8

〈タオル掛けA（ホワイト）・
【従来仕様】Bタイプ（メタル）〉

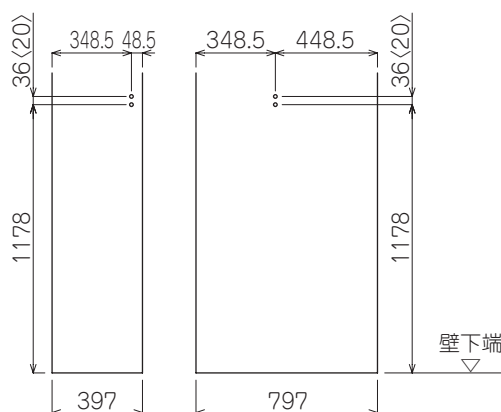
〈【2024年10月2日発売以降仕様】
Bタイプ（メタル）〉



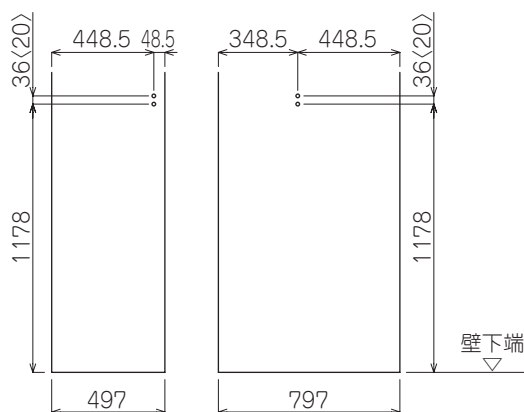
〈1116サイズ〉



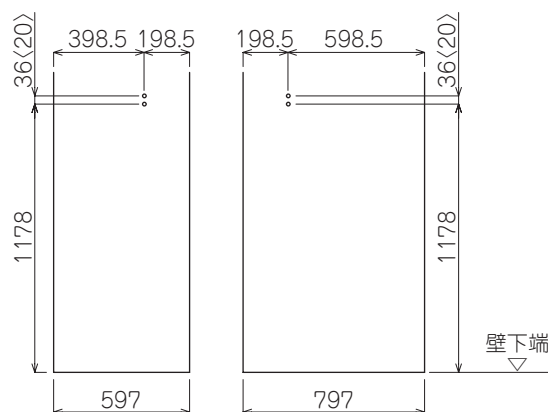
〈1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

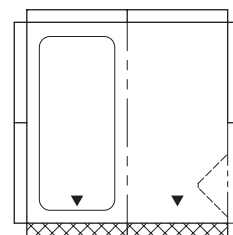


●B勝手の場合

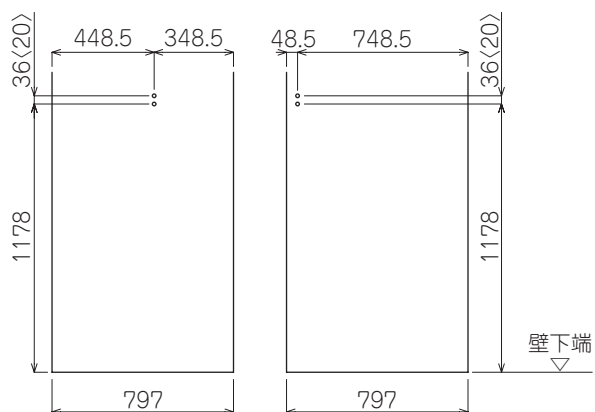
- ・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。
- ・〈 〉 寸法は【2024年10月2日発売以降仕様】Bタイプ（メタル）の場合です。

下穴サイズ

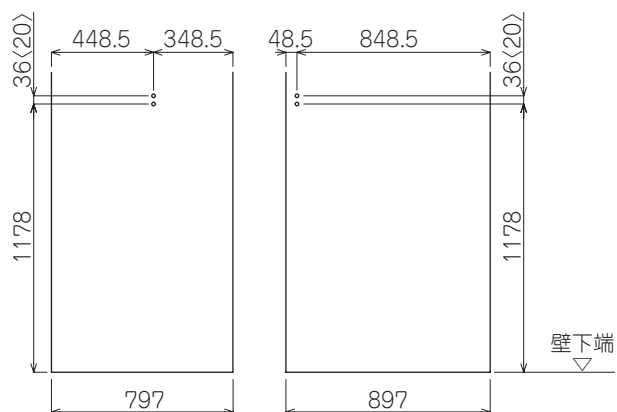
○：φ2.8



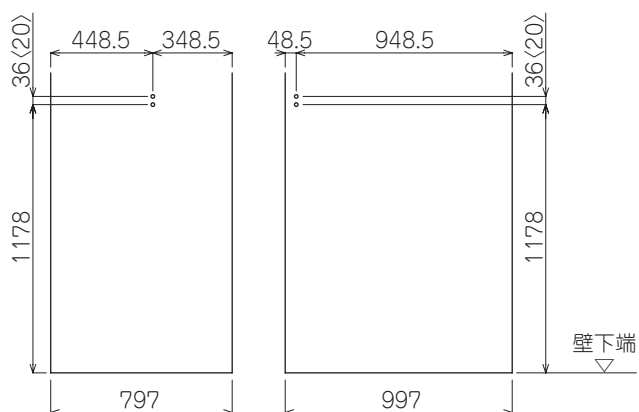
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉



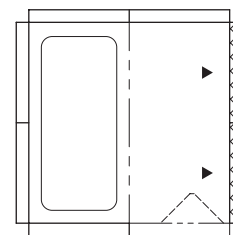
タオル掛け Cタイプ（メタル）

●A勝手の場合

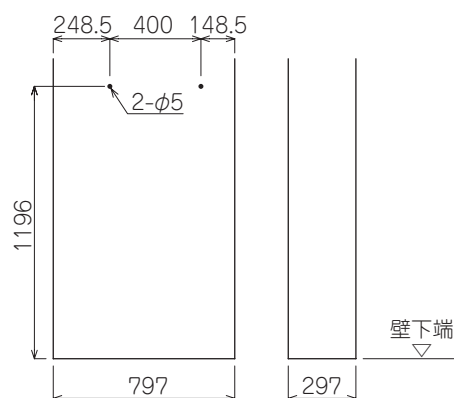
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

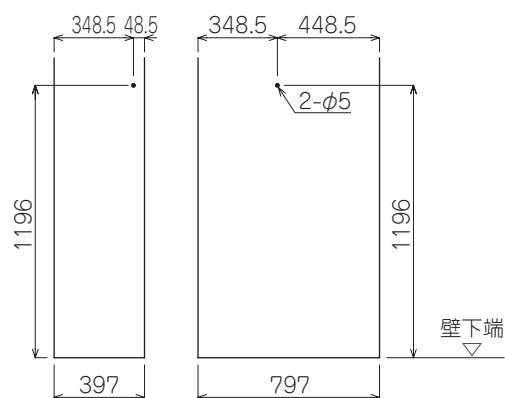
●：φ5.0（樹脂アンカーを使用）



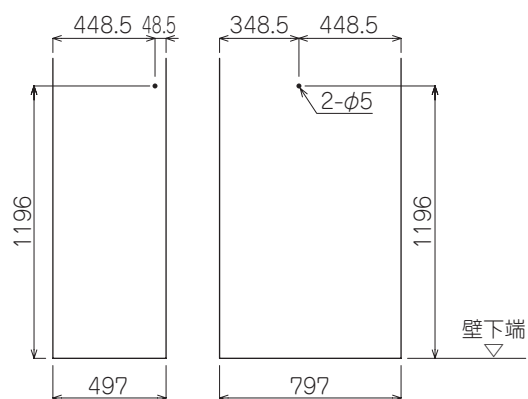
〈1116サイズ〉



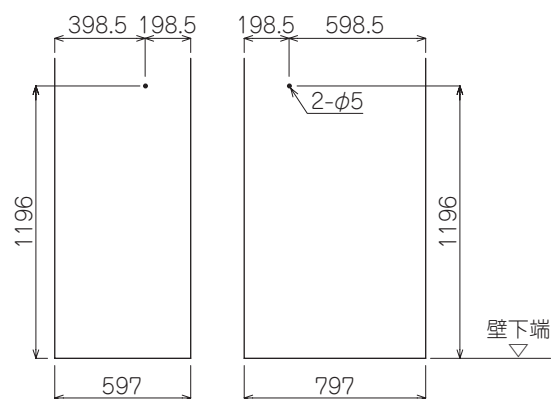
〈1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉

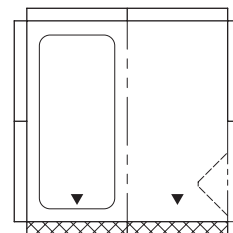


●B勝手の場合

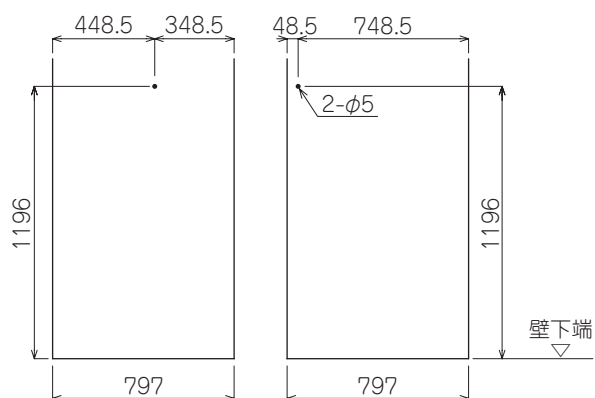
・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ*

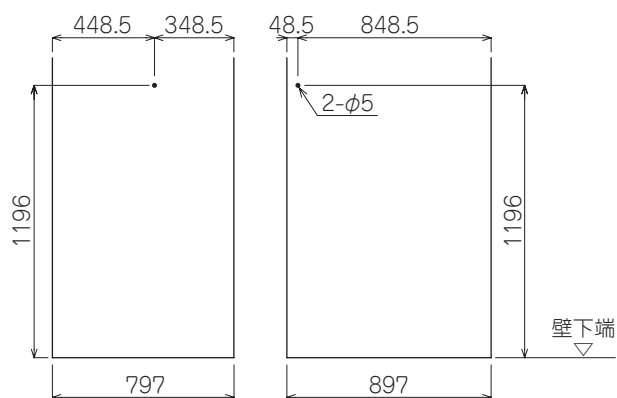
●：φ5.0（樹脂アンカーを使用）



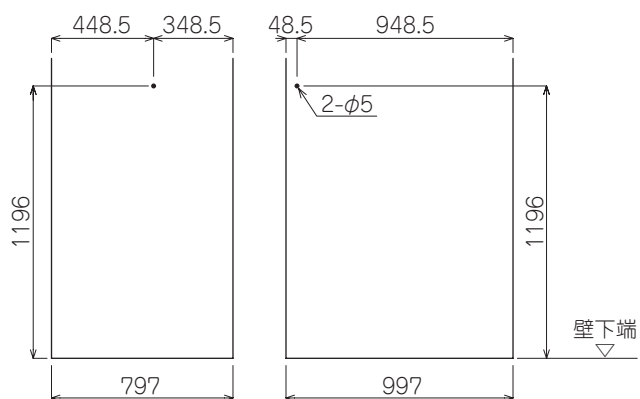
〈1116・1216サイズ〉



〈1317サイズ〉



〈1418サイズ〉



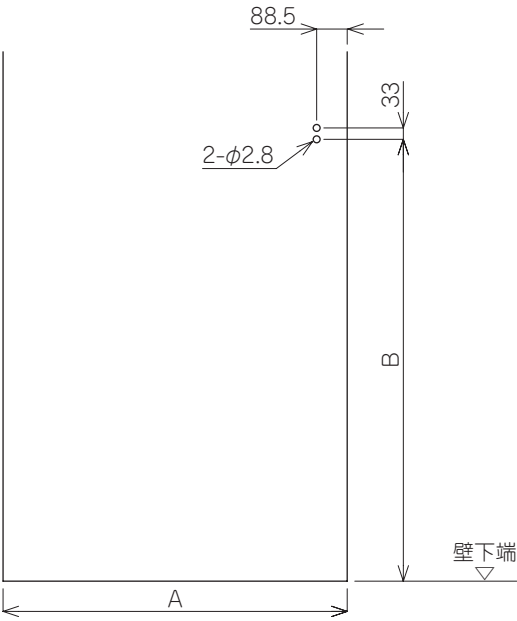
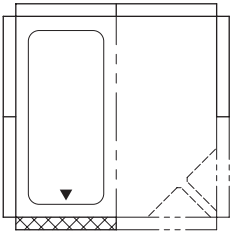
巻きフタフック

・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

○：φ2.8

サイズ	A寸法	B寸法
1116	797	1217
1216	797	
1317	897	1213
1418	997	

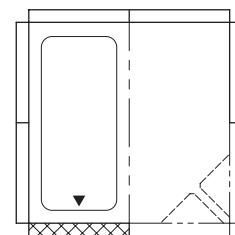


組みフタフック

・本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

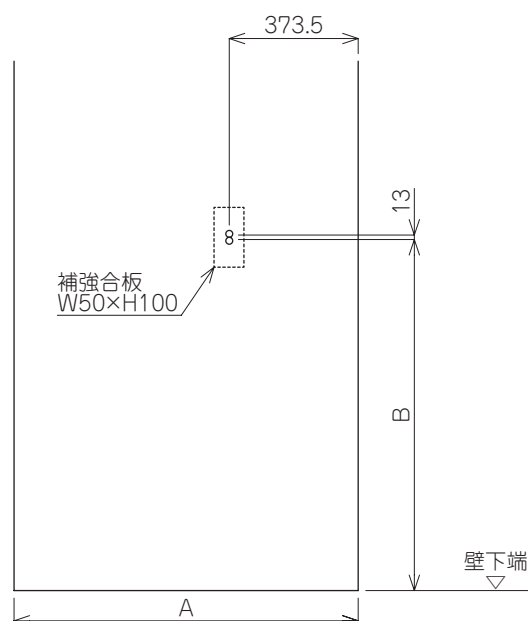
下穴サイズ

○：φ2.8



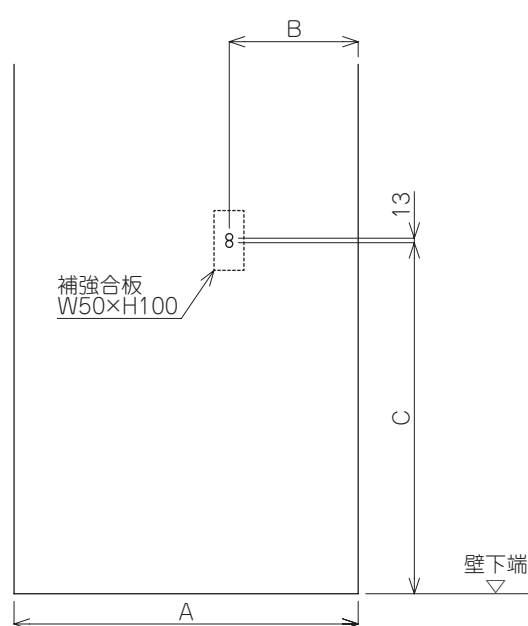
(標準取り付け位置)

サイズ	A寸法	B寸法
1116	797	989
1216	797	1039
1317	897	1085
1418	997	1135



(設置面に縦付け握りバーがある場合)

サイズ	A寸法	B寸法	C寸法
1116	797	263.5	1200.5
1216	797	288.5	1200.5
1317	897	313.5	1196.5
1418	997	338.5	1196.5

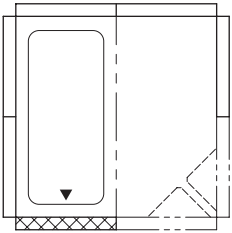


組みフタ3点フック

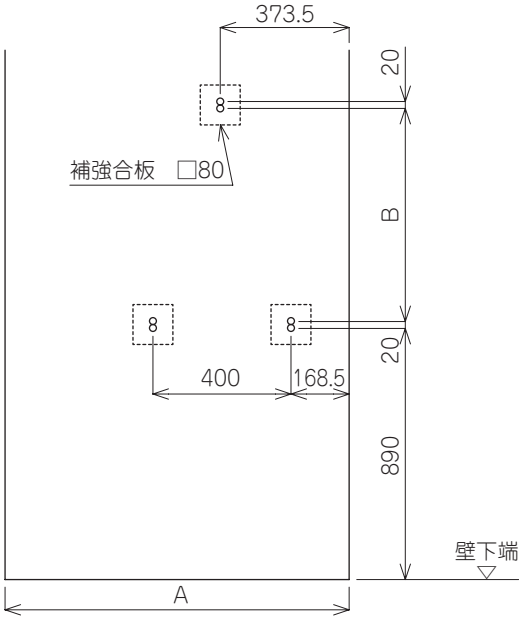
・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

下穴サイズ

○：φ2.8



サイズ	A寸法	B寸法
1116	797	581
1216	797	631
1317	897	681
1418	997	731

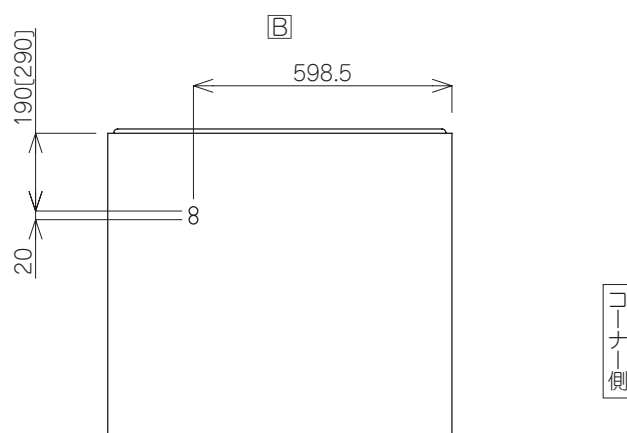
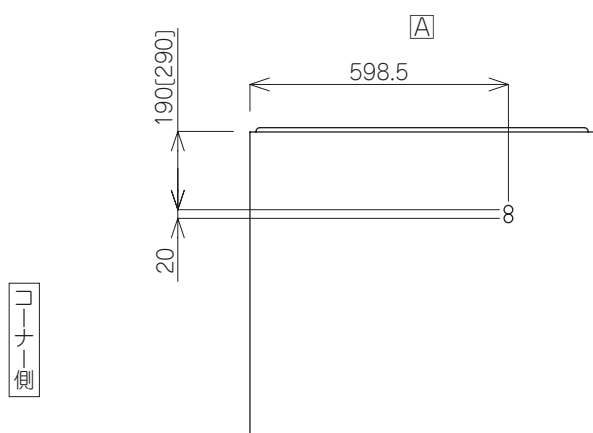
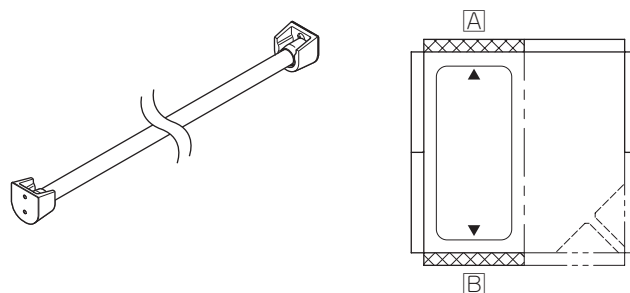


物干しバー

- ・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。
- ・ [] 寸法はH2100の場合の寸法です。

下穴サイズ

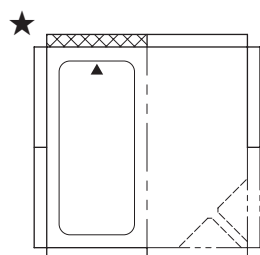
○：φ2.8



追焚配管（壁接続）

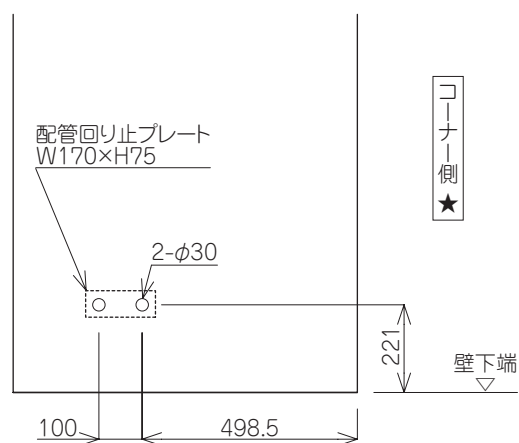
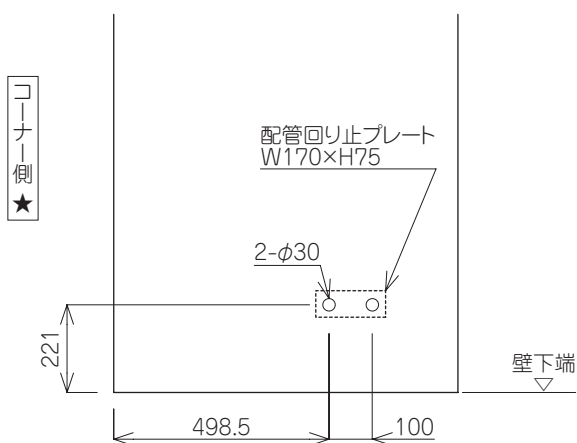
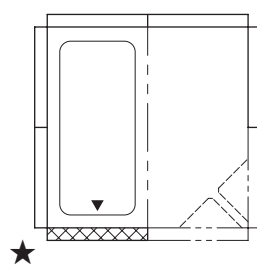
- ・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

〈正面パネル〉



〈背面パネル〉

※背面側は、美泡湯併設時は取り付け不可。



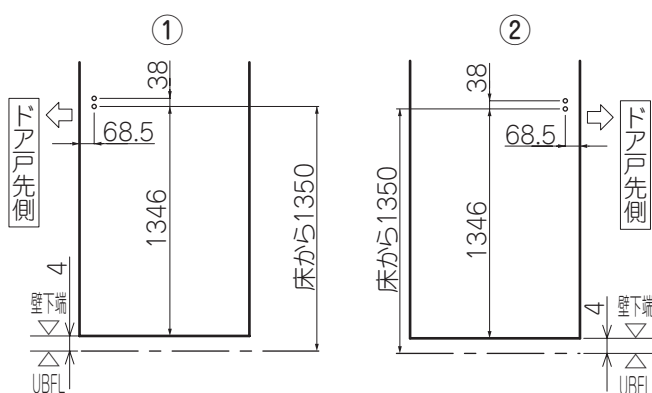
オートルーパー暖房換気乾燥機 リモコン

- ・オートルーパー暖房換気乾燥機のリモコンの標準取り付け位置は、ドアの戸先側から寄り70mm（壁端部から68.5mm）、床から高さ1350mm（壁下端から1346mm）です。
- ・右表の通り、サイズ・勝手・ドア種類により、ドアの左右どちら側に付くか異なります。

下穴サイズ

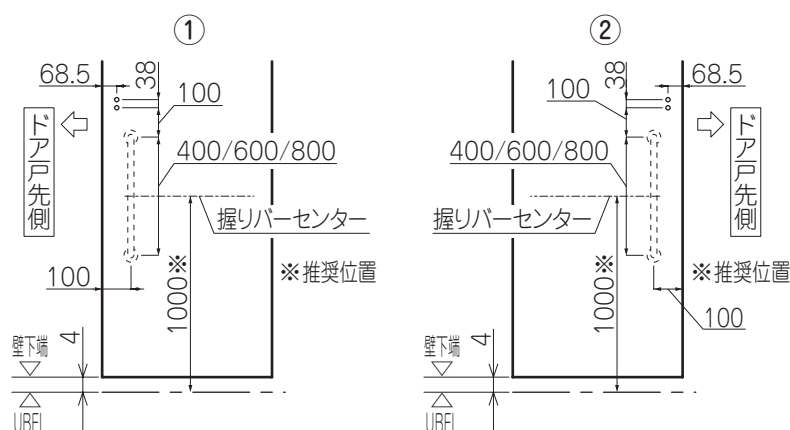
○：φ2.8

●標準取り付け位置

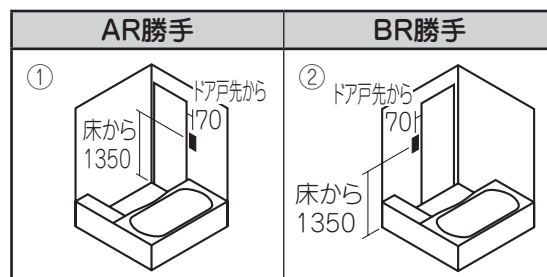


●ドア戸先側の縦握りバーと干渉する場合

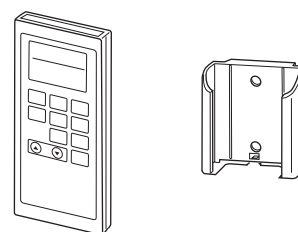
- ・握りバーの固定部芯から100mmの高さとしてください。



■取り付け位置図

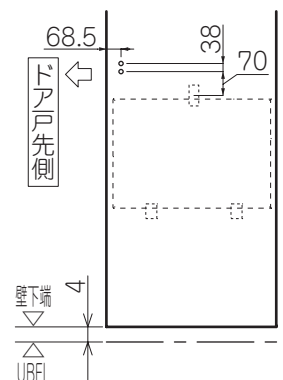


※AL勝手、BL勝手の場合は、それぞれ対称位置となります。



●3点フックの風呂フタと干渉する場合【A勝手】

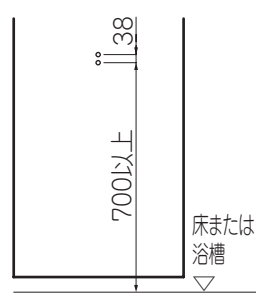
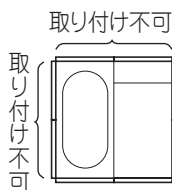
- ・3点フックの固定部芯から70mmの高さとしてください。



指定位置以外に取り付ける場合

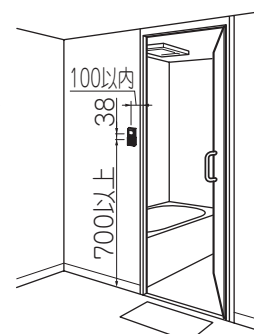
【浴室内】

- ・正面には取り付けしないでください。
- ・浴槽長手面には取り付けしないでください。
- ・床または浴槽から700mm以上高くしてください。



【浴室外（脱衣室）】

- ・浴室のドアを開け機器本体に向けて無理なく操作できる、ドアの戸先付近に取り付けてください。
- ・床から700mm以上高くしてください。



1. 取付設置前の準備

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 取付設置前の準備

1 部材搬入～間配り

①部材の搬入は事前に打ち合わせ、確認した“時間”“方法”で行う。

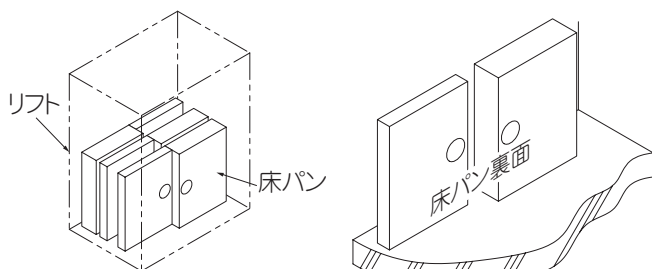
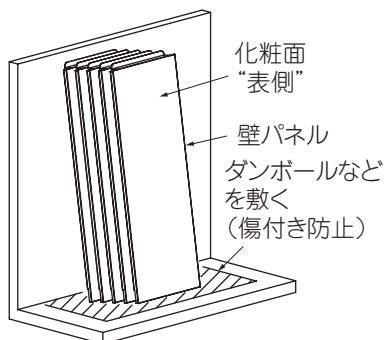
- ・仮置場所（ストックヤード）は他の作業を防げ、損傷、雨水、溶接火花などに注意してください。
- ・揚重機の運転操作が必要な場合は必ず有資格者が行ってください。

②壁パネルの間配りは“取付設置図”または“壁パネル配置図”で品番（配置番号）を確認して行う。

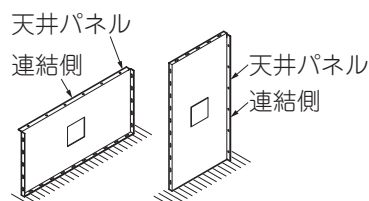
- ・積み降し～持ち運びは化粧面にすり傷を付けないように、ずらしたり、すべらせないでください。
- ・化粧面を内側にして持ち運びしてください。
- ・化粧面を表側にそろえて仮置してください。

③床パン・揚上リフトの積み込み・建て掛けの注意。

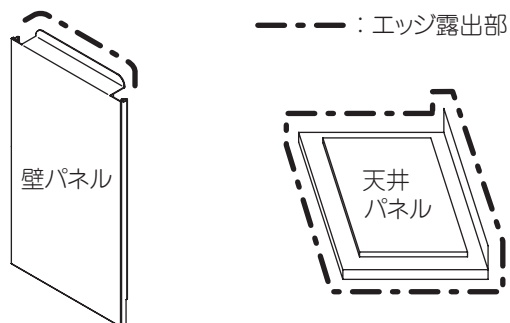
- ・ドア取り付け部（アルミ部材側）を必ず上側にし床の積み込み・建て掛けを行ってください。



- ・天井パネルは、連結側を上または横にして仮置きしてください。



- ・壁パネル・天井パネルは、鋼板のエッジが一部露出している部分があります。運搬や取付設置時はけがをしないようご注意ください。



⚠ 注意

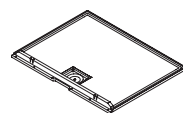


必ず守る

- 運搬や取付設置時は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う（守らないと、けがをするおそれがあります。）

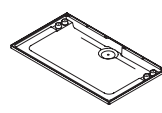
④主要部材の質量は下記参照。揚重～間配り作業の基準にする。

洗い場側床パン



max≒30kg/枚

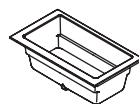
浴槽側床パン



max≒28kg/枚



天井パネル
15kg/枚
(2枚割り)



FRP浴槽≒20kg/台
スゴピカ浴槽≒30kg/台



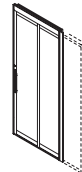
壁パネル
max≒22kg/枚
(11kg/m²)



2枚折りドア
≒12kg/枚



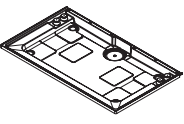
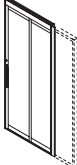
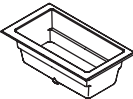
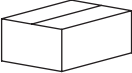
開き戸
≒12kg/枚



2枚引き込戸
≒20kg/枚

2 部材チェック

①各部材の員数確認と種類（タイプ）を出荷明細表（品番：数量）で照合する。

洗い場パン	浴槽パン	壁・天井パネル	ドア			器具・アクセサリー
						 小物部品セット 
● 台数 ● 勝手確認 (2枚引き込戸の場合のみ)	● 台数	● ユニットタイプ(勝手) ↳ ● 配置番号 → 枚数	● 本数			● 必要個数 R・L勝手のあるものは個数とあわせて確認してください。

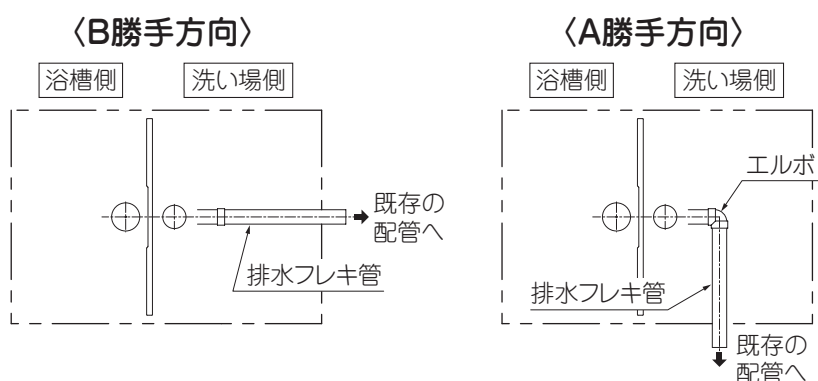
3 トラップと排水フレキ管の接続

※トラップの取り付け方法については、57ページを参照してください。

※排水フレキ管を使用する際には、下記の点に注意してください。

1. 配管の流れ勾配は、確保されているか。（排水フレキ管の部分は、特に逆勾配に注意してください。）
2. 排水フレキ管と既存の配管との接続部に、高さ調整用のスチレンポートが、固定されているか。
3. 各接続部は、確実に接続されているか。
4. 配管取り付け後に、接続部より水漏れはないか、確認する。

【排水管の取り出し例】

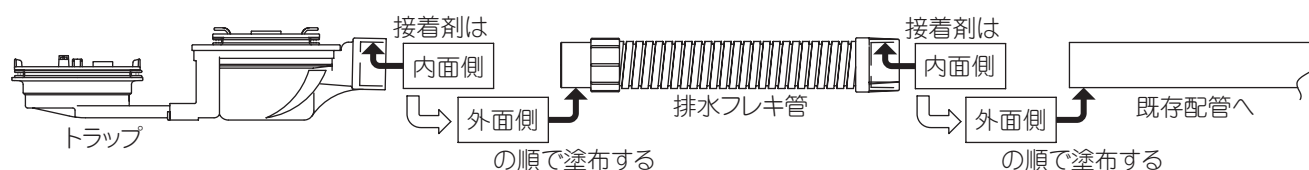


①接着剤を塗布する。（内面側→外面側の順）

- ・塩ビ管接着剤（青色着色）は接続部の全周からはみ出す程度に塗布してください。

②確実にまっすぐに挿入する。

③そのまま30秒以上保持する。



取付設置上のお願い

- 接着に関しては塩ビ管接着剤の使用方法に従い取付接続ください。

⚠ 注意



必ず守る

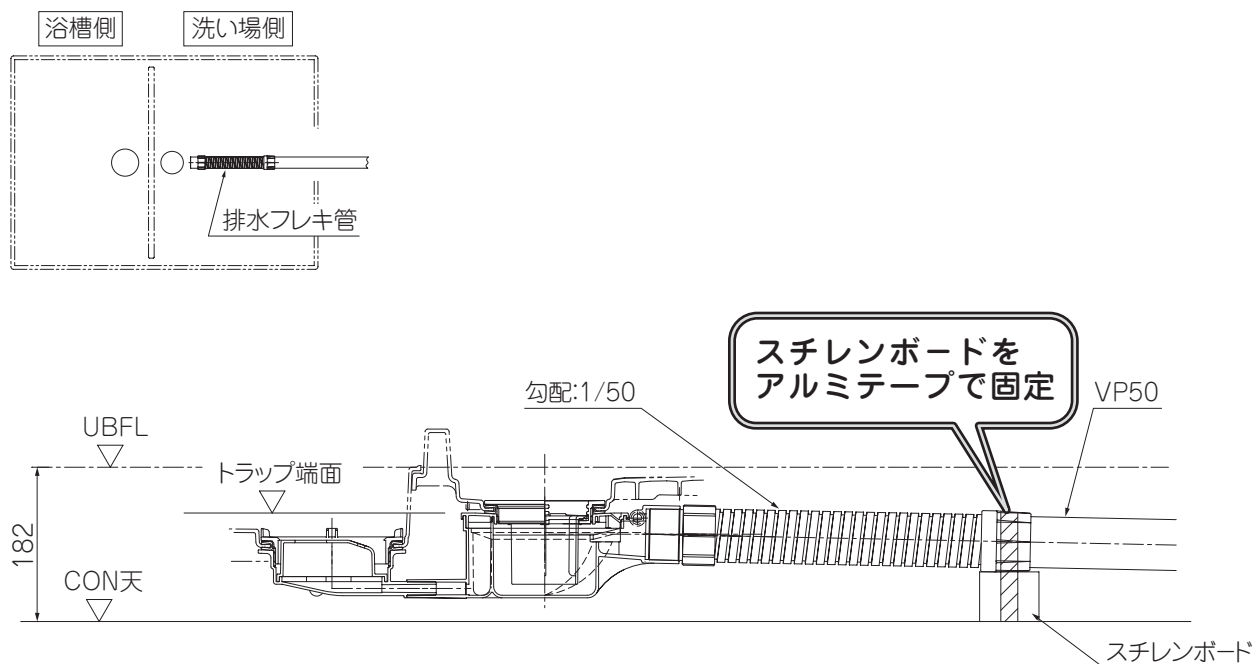
- トラップ差込み口および、排水フレキ管・VP管差し込み部・雑排水管差し込み部に塩ビ管接着剤を、各両面全周塗布する
（水漏れの原因となります。）

4 排水フレキ管、排水勾配の確保

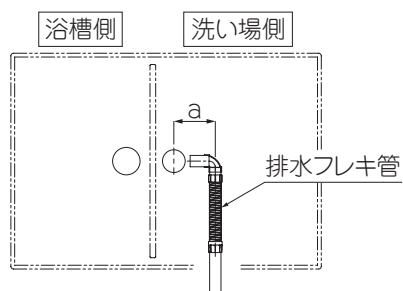
①排水トラップ取り付け高さを確認し、排水フレキ管の勾配が1/50以上確保できるようにスチレンボードを調整して取り付ける。

・排水フレキ管の端部（ソケット部）にスチレンボードを取り付けテープで固定してください。

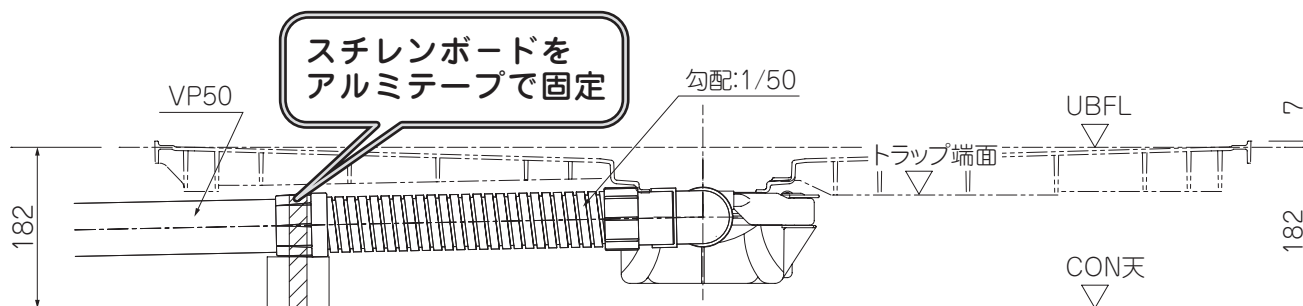
〈B勝手方向〉



〈A勝手方向〉



	a寸法
1317・1418サイズ	280
1116・1216サイズ	219



2. 床の設置

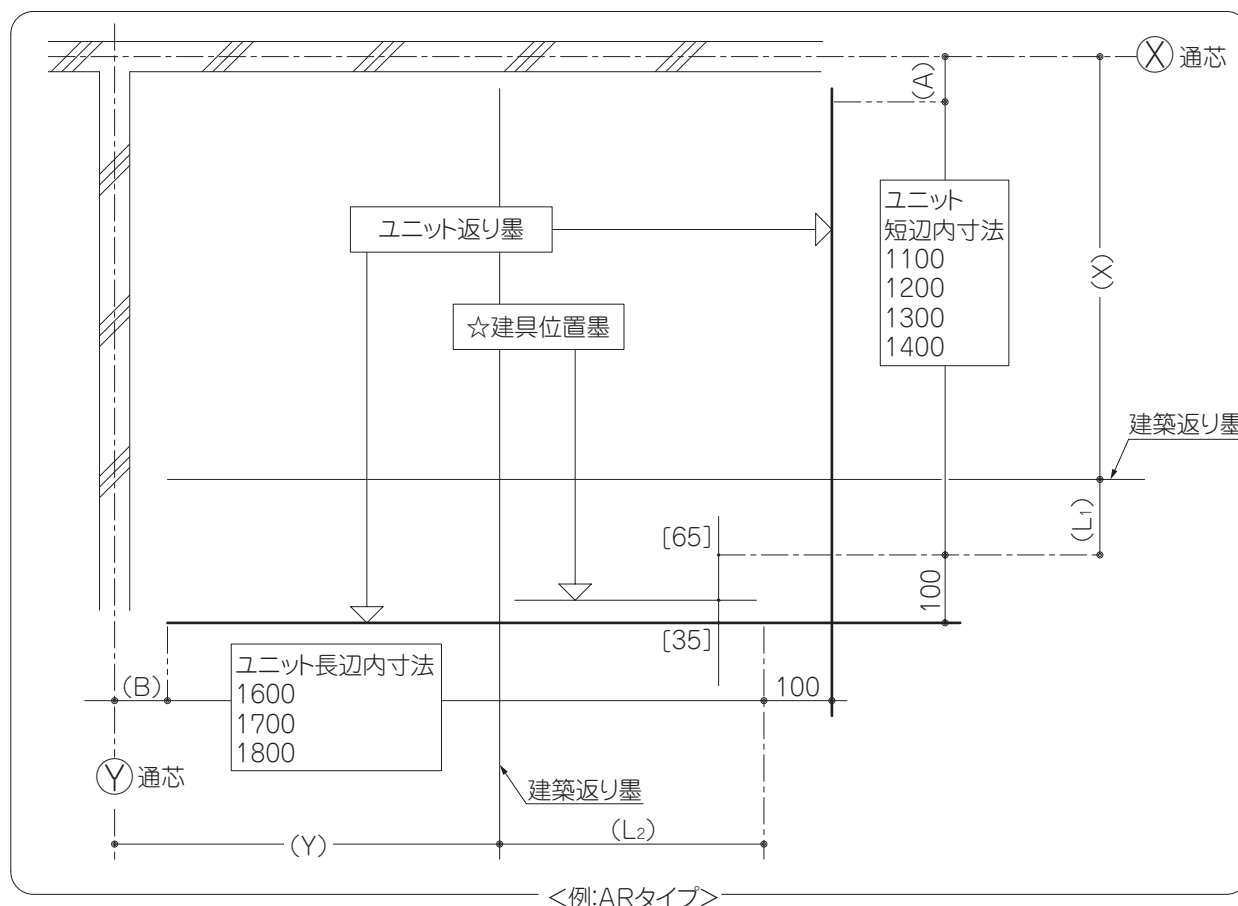
単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 床パン（洗い場パン・浴槽パン）の設置

1 ユニット墨出し

①建築平面図面およびユニット納まり図面に基づきユニット墨出しを行う。



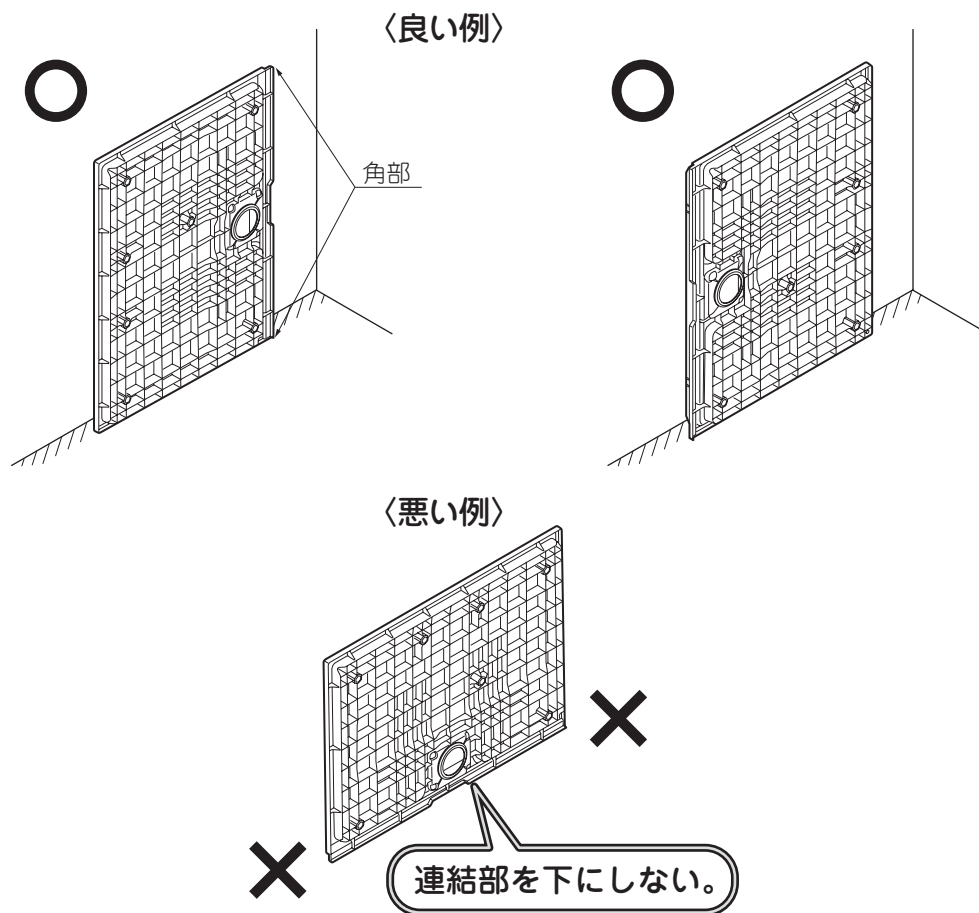
(X)	(A)	(L1)
(Y)	(B)	(L2)
建築返り墨の寸法		通芯からユニット内寸までの寸法 (取付設置図を参照)
		建築返り墨からユニット内寸までの追い寸法

②ユニット返り墨は床位置出し確認時の間違い防止のため、区切りの良い寸法（例：100）を用いる。

・建具位置墨はドア枠の位置寸法確認時の最終的な重要寸法です。特に注意して墨出しを行ってください。

2 床パン設置

①アジャスターボルトを取り付けるために、床パンを仮置きする。

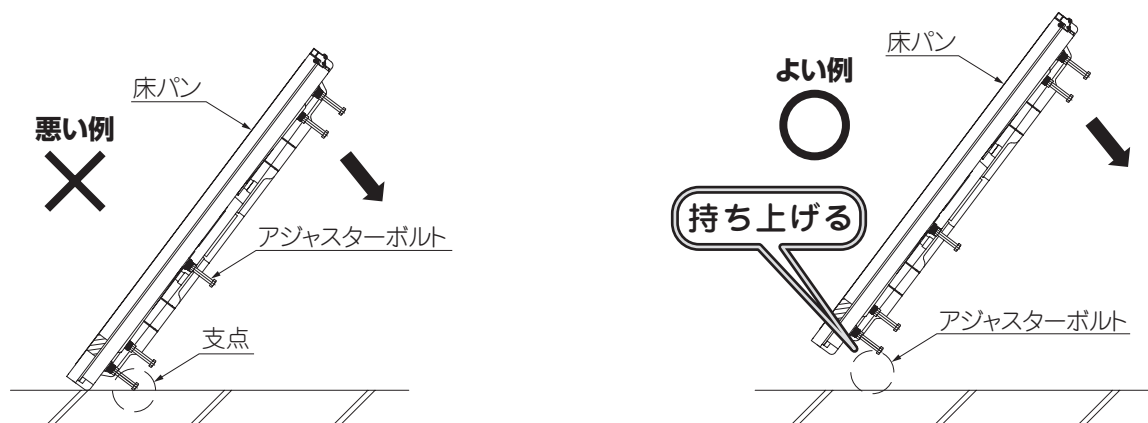


取付設置上のお願い

・床パンを立て掛けるときは、下の「よい例」のように置いてください。
(「悪い例」のように立て掛けると、角部が破損するおそれがあります。)

・床パンを設置するときは、アジャスターボルトを
支点にして倒さないでください。

・床パンを持ち上げ、アジャスターボルトに負荷を
かけないでください。



3 床パン据え付け高さのアジャスターボルトの確認

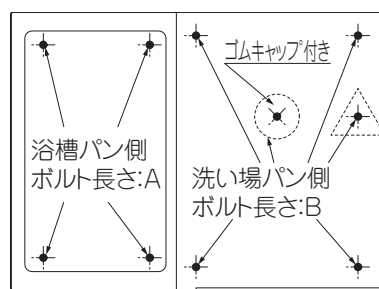
①アジャスターボルトの長さを確認し床パンに取り付ける。

- ・本図はR勝手を示し、L勝手は本図と対称とするが、×部の位置は対称としない。
- ・本説明はアジャスターボルト（標準高さ）の場合を示す。アジャスターボルト（標準高さ）以外の場合は、「各寸法」＋「高さアップ分の寸法」となります。

		脱衣室FL		ボルト調整代	調整範囲		UBFL まで	ボルト長さ()	
		2枚折りドア スイングドア	2枚引き込戸		2枚折りドア スイングドア	2枚引き込戸		①	②
標準高さ	±0mm	197	199	+15、-10	187～212	189～214	182	L=100	L=140
	+10mm	207	209	+15、-10	197～222	199～224	192	L=110	L=150
	+20mm	217	219	+15、-10	207～232	209～234	202	L=120	L=160
	+30mm	227	229	+15、-10	217～242	219～244	212	L=130	L=170
	+40mm	237	239	+15、-10	227～252	229～254	222	L=140	L=180
	+50mm	247	249	+15、-10	237～262	239～264	232	L=150	L=190
	+60mm	257	259	+15、-10	247～272	249～274	242	L=160	L=200
	+70mm	267	269	+15、-10	257～282	259～284	252	L=170	L=210
	+80mm	277	279	+15、-10	267～292	269～294	262	L=180	L=220

【ボルト位置】

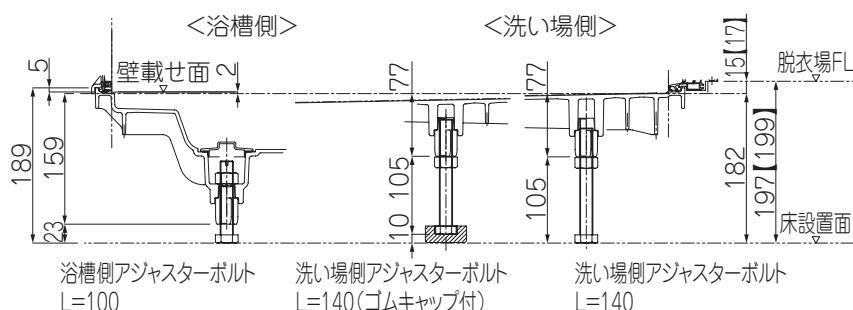
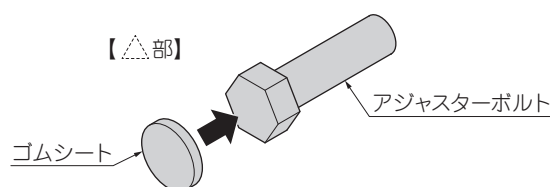
※本図は上から見た図です。



※詳細は16ページの「アジャスターボルト位置の確認」を参照してください。

※○囲みのアジャスターボルトはゴムキャップを取り付けます。

※△囲みのアジャスターボルトはゴムシートをはり付けます。



※【 】寸法は
2枚引き込戸の場合を示す。

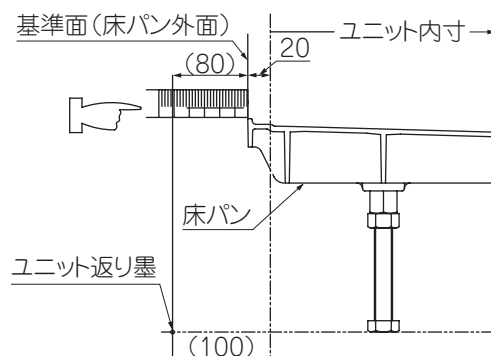
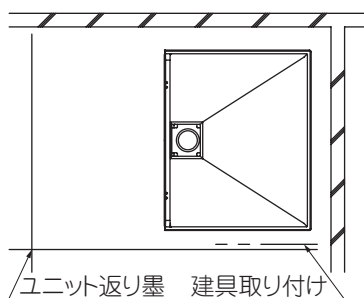
②周囲のアジャスターボルトは床パン据え付け時にレベル調整し、洗い場中央部およびゴムキャップ取り付け部のアジャスターボルトは壁・天井組み立てあとの床パン固定のときに調整する。

- ・床パン中央のアジャスターボルトが、カタカタと床鳴りしないようにしてください。

4 位置出し

- ①床パン外面を基準にユニット
 返し墨までの位置出し（寸法
 調整）を行う。

※位置出しは、長辺、短辺の二
 面で行い、位置出し後、建具
 取り出し部の位置出しを最終
 確認してください。



取付設置上のお願ひ

- 床パンにはり付けた養生フィルムは、引き渡し直前まで外さないようお願いします。

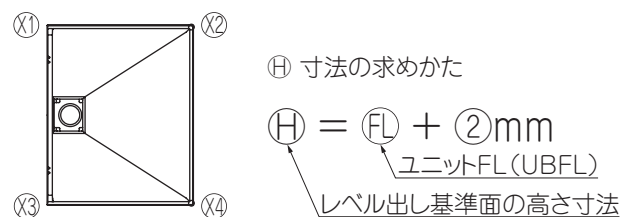
5 床パンレベル調整

- ①陸墨を墨基準として、レベルの設置高さ寸法⑧を測定する。

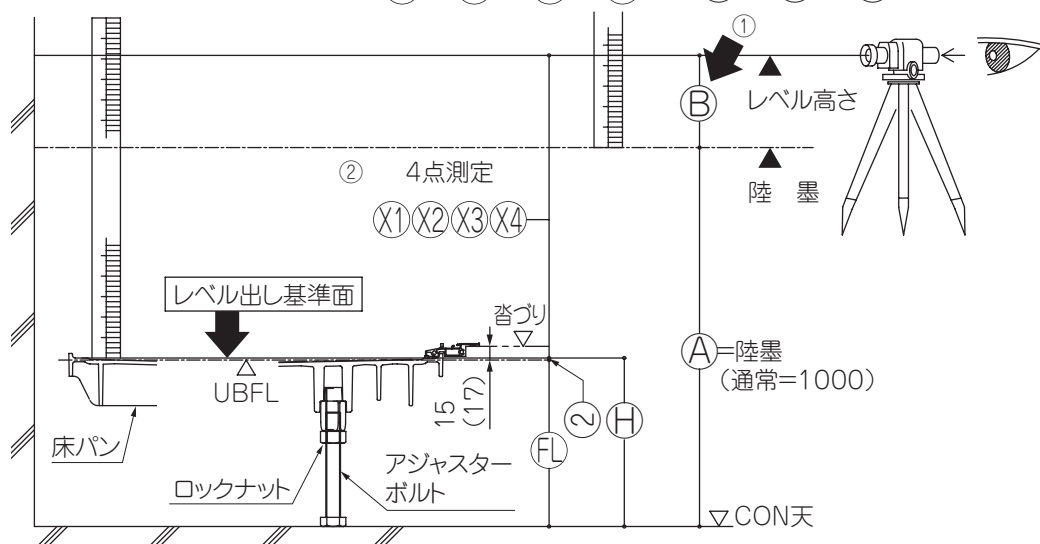
- ②レベル出し基準面から、レベルの設置高さの寸法：
 4点（X① X② X③ X④）を測定し、床パンを4隅のアジャ
 スターボルトで高さを調整しロックナットを固定する。

- ③4隅以外のアジャスターボルトを仮設置する。

・この部分は、洗い場側床パンと浴槽床パンの連結後に調整します。



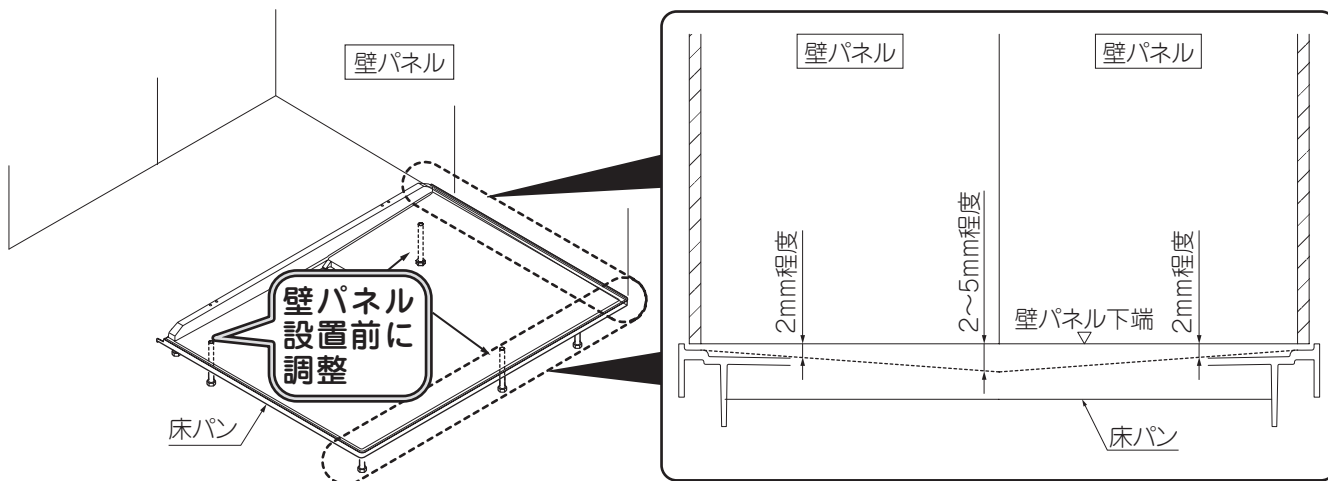
高さ調整の計算式 測定値：(X① = X② = X③ = X④) = A + B - H



※図は1418サイズ
 を示す。

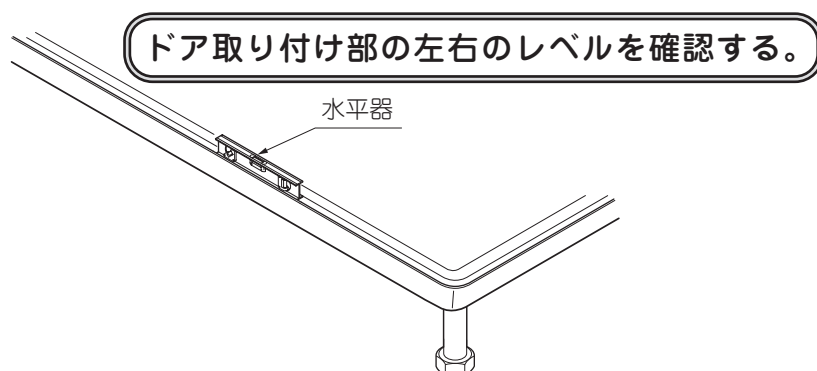
※ () 寸法は、2
 枚引き込戸の場
 合を示す。

- ④壁パネル設置後に床パンと壁パネル下端の隙間が、ほぼ均一（2mm～5mm）になるように仮設置したアジャスターボルトを調整する。



- ⑤ドア取り付け部は、レベルが水平になるように調整する。

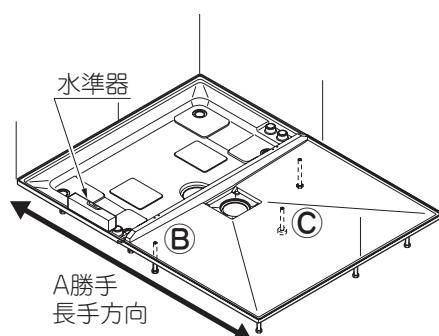
- ⑥仮設置部のロックナットを固定する。
・ただし、ゴムキャップ付き、もしくはゴム板敷きアジャスターボルトのロックは床固定のときに行います。



取付設置上のお願い

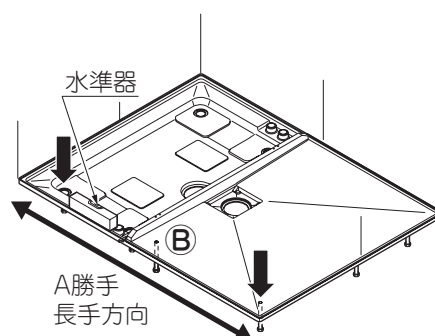
〈排水フレキ管標準取り付けの場合〉

- ③④のアジャスターボルトは壁・天井組み立て後トラップを取り付け前に（排水フレキ管を曲げてトラップを避けて）トラップ開口穴部より調整してください。
- ※③のアジャスターボルトがカタカタと床鳴りしないようにしてください。
- ※床パン成形品のA勝手長手方向の製品の水平がでていない場合は④のアジャスターボルトを突き上げて調整してください。



〈トラップ～VP管直接接続の場合〉

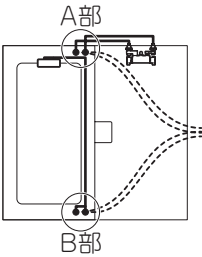
- 壁・天井組み立て後の調整ができませんので、床据付時にA勝手長手方向の水平出しを行ってください。
- 床パン成形品のA勝手長手方向の水平出しが困難な場合は ↓部を押えて④のアジャスターボルトを突き上げて水平出しを行ってください。



6 浴槽パンへの給水給湯配管・追い焚き配管接続の確認

給水給湯配管・追い焚き配管が浴槽下接続の場合、床パンへの事前加工が必要となります。

本図はR勝手の場合を示します。L勝手の場合は本図と対称となります。

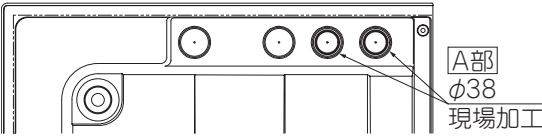


サイズ	追い焚きフレキ管長さ (L)
1317・1418	L=1200+500 L=1300+500
1116・1216	L=1000+500 L=1100+500

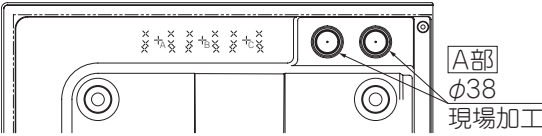
床パンの穴加工

※対面側に追い焚き配管
※**B部**は本図と対称

〈1317・1418サイズ〉



〈1116・1216サイズ〉



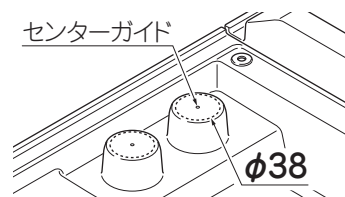
※浴槽設置後は、床パンへの穴加工が不可となるのでご注意ください。

7 浴槽パンへの給水・給湯・追い焚き配管用の穴加工

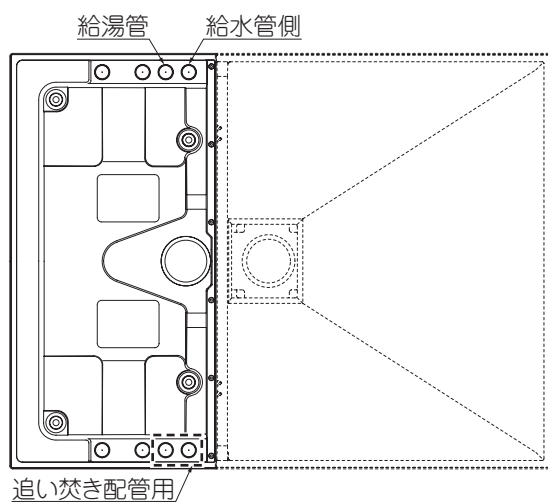
- ①浴槽パンの配管立ち上げ部に、給水・給湯管と（追い焚きがある場合のみ）
追い焚き配管用のφ38の穴開口をする。

（給水・給湯管のみの場合、計2か所、追い焚きがある場合は計4か所）

・キリで浴槽パン表面にあるセンターガイドに従い穴を開けてください。

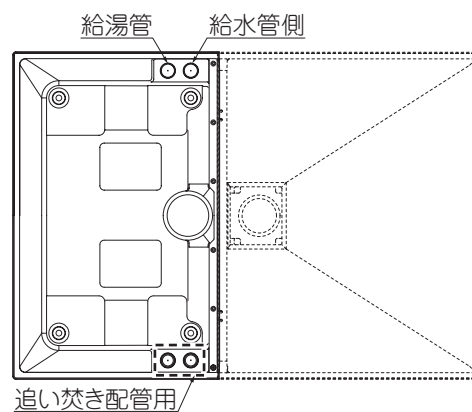


〈1317・1418サイズの場合〉



（図はR仕様を示す）

〈1116・1216サイズの場合〉



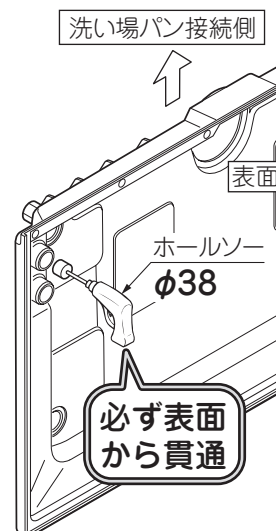
（図はR仕様を示す）

取付設置上のお願

- 穴開口の際の芯ずれをなくすために、ホールソー穴加工の前にφ3～4のキリで下穴を開いてください。
- 追い焚き配管用の穴開口は、追い焚きの有無をご確認のうえ行ってください。
- ドリルガイドは床パン短辺の両側にあります。L勝手、R勝手をご確認のうえ開口を行ってください。
- 床パンの穴開口は、φ38のホールソーを用いてください。

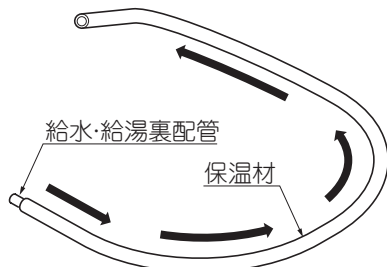
- ②浴槽パン「表面」のセンターガイドに対し、φ3～4のキリで下穴を開く。

- ③ホールソーを使用して「表面」から開口する。

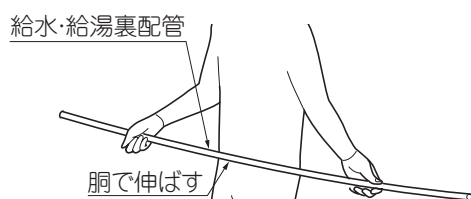


8 給水・給湯裏配管の前加工

①配管の保温材をいったん取り外す。



②配管を腹部にあてて、胴でまっすぐに伸ばす。



⚠ 注意



必ず守る

●配管は手や金具で急角度に曲げない
(無理に曲げると、配管に亀裂が入って水
もれの原因となります。)

③給水・給湯管接続位置図を参照して、配管を取り出し方向に合わせて曲げる。



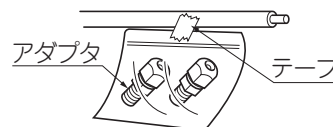
④保温材を取り付ける。



⑤配管の取り出し方向を確認の上、洗い場パンの下に配置する。

⑥アダプタが入ったビニール袋を配管の先端にテープで止めておく。

・ここから先は水道工事業者様の取付設置範囲となります。



9 連結部の加工

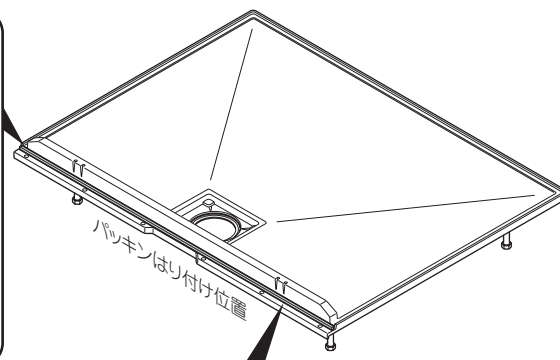
①浴槽パンとの連結部に、パッキンを
はり付ける。

⚠ 注意



必ず守る

●パッキンは床パンの指定
位置に合わせて、確実に
はり付ける
(確実にはり付けしないと、水
漏れの原因となります。)



②浴槽パンとパッキンの境目にシーリ
ング材（5mm程度）を塗布する。

⚠ 注意

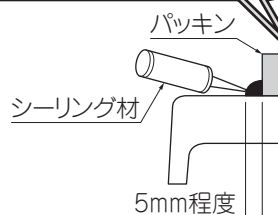


必ず守る

●シーリング材充てんは指
定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充て
んしないと、水漏れの原因
となります。)

床パンにパッキンをはる。

10×10のパッキンを、
はり付ける。



洗い場側

拡大図

パッキン

せきに突き
当てる。

5mm程度

10 洗い場パンと排水トラップの取り付け

⚠ 注意



- トラップのねじ込み部分およびUパッキンには、シーリング材を使用しない
(トラップやUパッキンが変形し、水漏れの原因となります。)

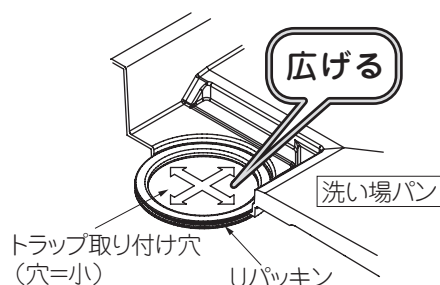


- トラップ取り付けの際、Uパッキン（2か所）を、確実に取り付ける
(Uパッキンを確実に取り付けないと、水漏れの原因となります。)
- 専用工具の使用個所では必ず専用工具を使用する
(専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。)

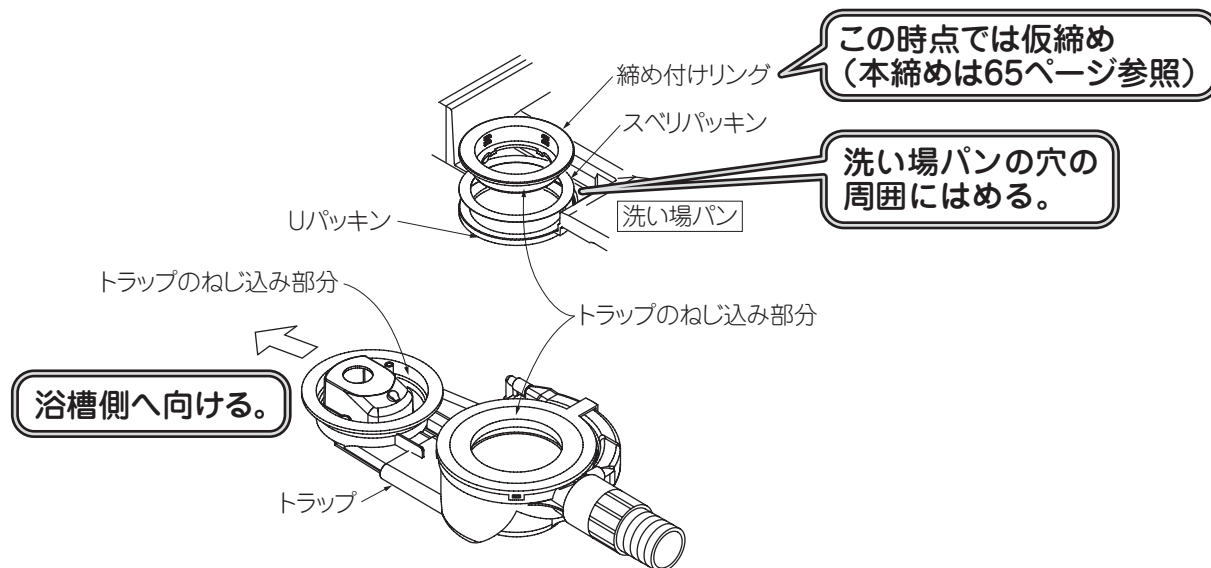
① Uパッキンを洗い場パンに取り付ける。

取付設置上のお願い

- Uパッキンを取り付ける際、矢印のように外側へ押し広げて取り付けてください。
(締め付けリングが、入りにくい場合があります。)
- トラップ内にゴミおよび異物がないことを確認してから取り付けてください。
(トラップ排水性能が低下します。)



② 洗い場パンに排水トラップを仮固定する。



11 浴槽パンの据え付け

①配管を引き込みながら、浴槽パンを据え付ける。

⚠ 注意



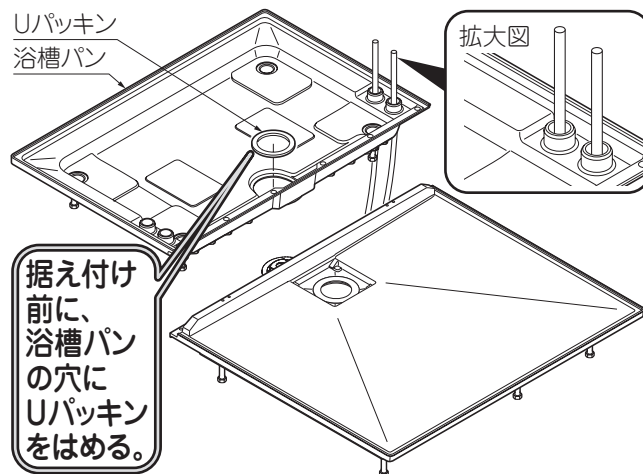
禁止

- 浴槽パンの据え付け時に、洗い場パンのトラップにぶつけない
(トラップが破損して、水漏れの原因となります。)



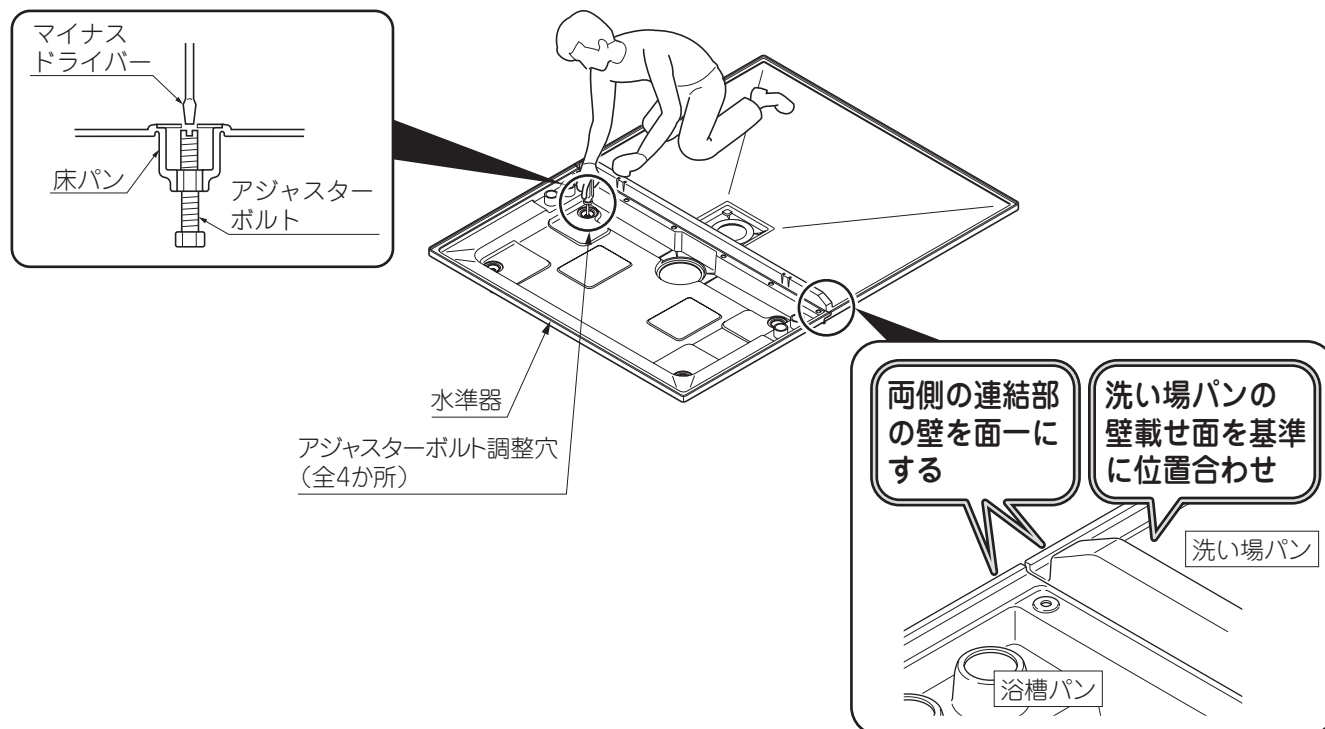
必ず守る

- トラップ取り付けの際、Uパッキンを、確実に取り付ける
(Uパッキンを確実に取り付けないと、水漏れの原因となります。)



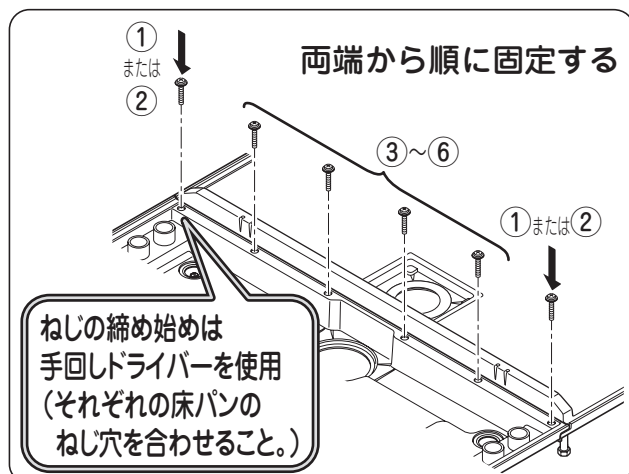
②浴槽パンの位置合わせとレベル調整を行う。

- ・浴槽側と洗い場側の床パン連結部の端が浮いていないか確認してください。
- ・床パンのアジャスターボルト調整穴からマイナスドライバーを差し込んで調節してください。

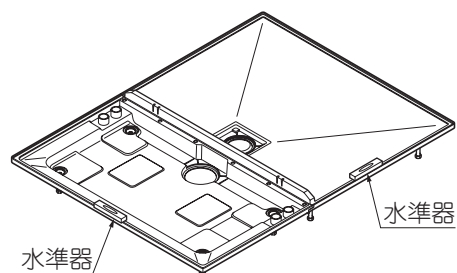


12 床パンの連結

- ①浴槽パンと洗い場パンをパッキン座金つき小ねじ（M5×30）（床小物セットに付属）で連結する。（6か所）
・ 両端のねじから順に手回しドライバーで固定してください。



- ②連結後の浴槽パンと洗い場パンのレベル調整を行う。



- ③ロックナットを締め付ける。

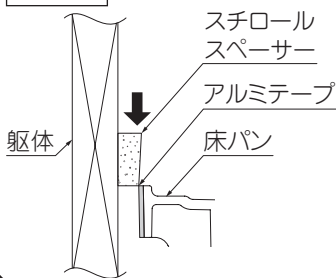
・ アジャスターボルト調整穴からボックスレンチ（16mmナット用（対角24mm））で締め付けてください。



④連結部壁載せ部分の裏側にアルミテープ（床小物セットに付属）をはる。

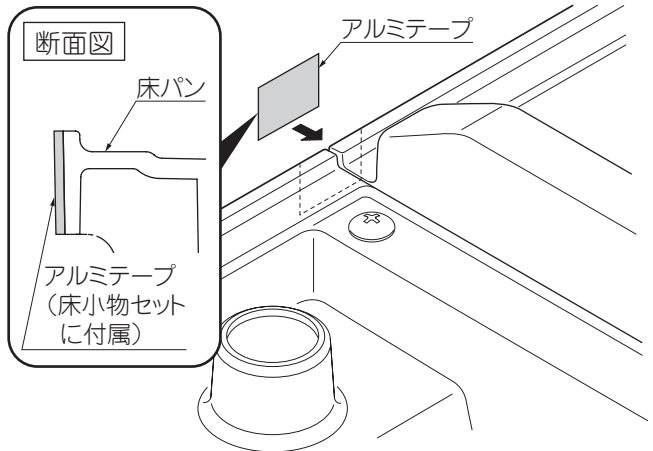
〈設置スペースが狭く指が入らない場合〉

断面図



スチロールスペーサーをカットし、十分にアルミテープがはり付くように押し込んでください。

断面図



⑤床パンの連結部にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意



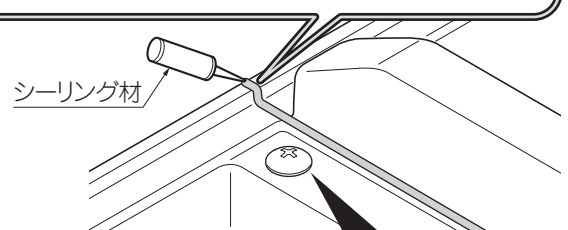
必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

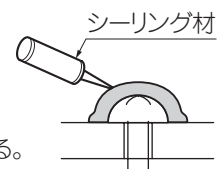
- 壁載せ部分からはみ出たシーリング材は段差が出ないようにふき取ってください。
- この時点で、「連結部の加工」(56ページ)で行ったシーリング材充てんのはみ出したシーリング材を指でならしてください。

シーリング材充てん後、段差がないようにシーリング材をふき取る。



ねじ留め部分も浴槽据え付け前に増し締めしてシーリング材を充てんする。

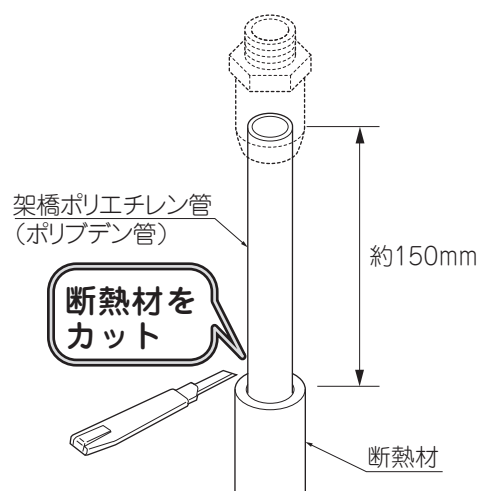
※ねじ部全体にシーリング材を塗布する。



13 給水・給湯・追い焚き配管用ブーツの取り付け

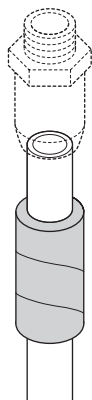
- ①必要に応じて、架橋ポリエチレン管（ポリブデン管）の断熱材をカットする。

・先端より150mm程度のところでカットしてください。



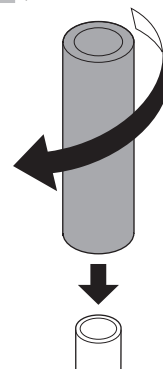
- ②架橋ポリエチレン管（ポリブデン管）に止水材を取り付ける。

止水材（ポリエチレンシート）を巻く。
（白色）



〈事前にアダプタがない場合〉

止水材（ポリエチレン筒形状）を通す。
（内径13A用：灰色）

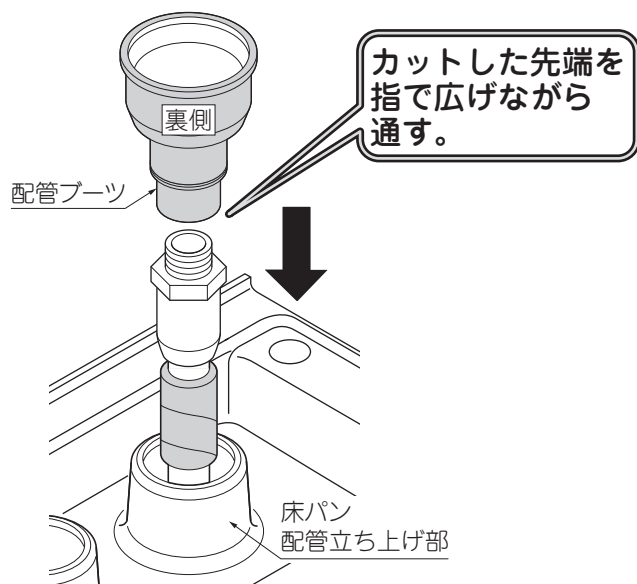


- ③配管ブーツ先端をカットする。



④床パン配管立ち上げ部に配管ブーツをかぶせる。

〈アダプタがついている場合〉



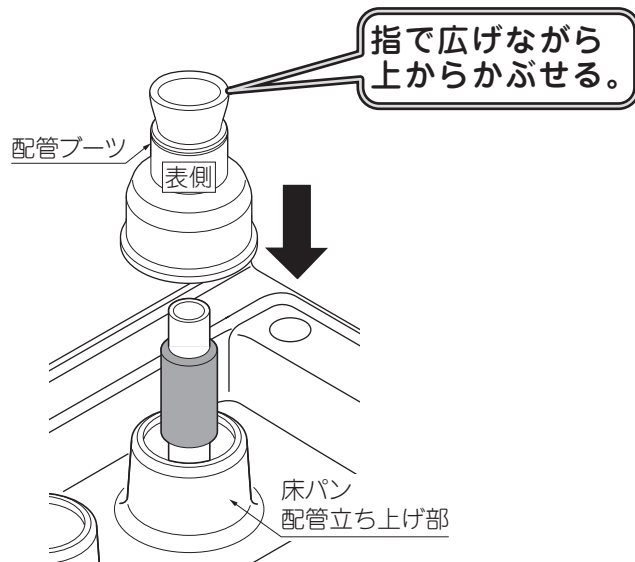
⑤かぶせた配管ブーツの根元に結束バンド（長）を巻き、配管ブーツが抜けないように固定する。

⑥配管ブーツの先端に結束バンド（短）を巻き、架橋ポリエチレン管（ポリブデン管）と配管ブーツを固定する。

⑦以下の場所にシーリング材を塗布する。

- ・ 配管ブーツ下端と床パン配管立ち上げ部の間
- ・ 配管ブーツ上端と止水材との間
- ・ ねじの頭

〈アダプタがない場合〉



止水材
20mm程度
はみ出すように

結束バンド（短）

結束バンド（長）

締められなくなるまで
しっかりと
引っ張る。

シーリング材

結束バンド
の先端を
カットする。

架橋ポリエチレン管（ポリブデン管）に
シーリング材が付着しないよう注意

架橋ポリエチレン管
（ポリブデン管）

止水材

シーリング材充てん

結束バンド

⚠ 注意



禁止

- シーリング材を架橋ポリエチレン管（ポリブデン管）に付着させない
(シーリング材の成分が架橋ポリエチレン管（ポリブデン管）を侵食してひび割れし、水漏れの原因となります。)



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

14 アジャスター調整穴キャップの取り付け

- ①アジャスター調整穴キャップ裏面のはく離紙をはがし、アジャスター調整穴にはめてはり付ける。
(4か所)

⚠ 注意



必ず守る

- アジャスター調整穴の周囲を、清掃する
(ごみなどが付着したままキャップをすると、水漏れの原因となります。)

アジャスター調整穴
キャップ

はく離紙を
はがして
はり付ける。

はり付け
位置を事前
に清掃する。

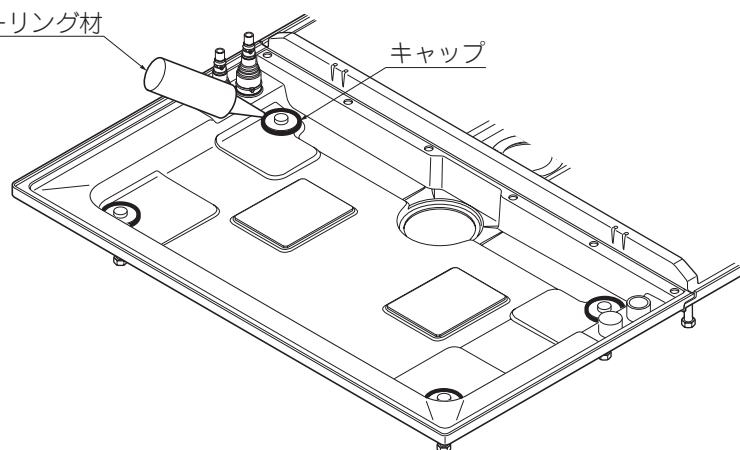
浴槽床パン
アジャスターボルト調整穴部

- ②浴槽パンの上に乗って、床パン連結のねじを増し締めする。

- ③下図の個所にシーリング材を塗布する。

シーリング材

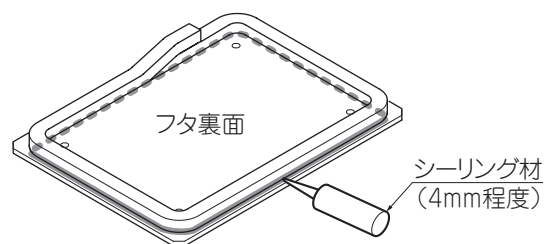
キャップ



15 床点検口ふたの取り付け（オプション）

①床点検口フタのパッキンの横に、シーリング材（4mm程度）を塗布する。

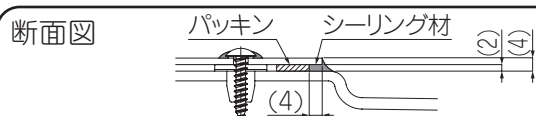
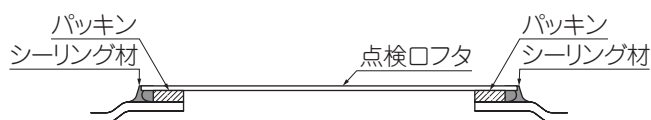
・床点検口フタの取り付け前に塗布してください。



②床パンにグロメットを挿入する。

③床点検口フタを床パンに固定後、必ずシーリング材をフタの周囲に充てん、ねじ頭部分に塗布する。

・シーリング材は切れ目なく、多めに塗布してください。

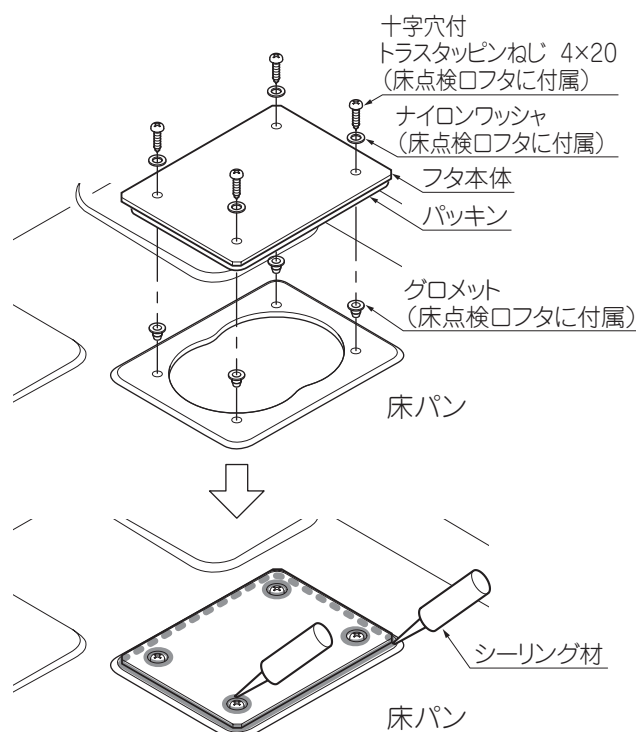


⚠ 注意



必ず守る

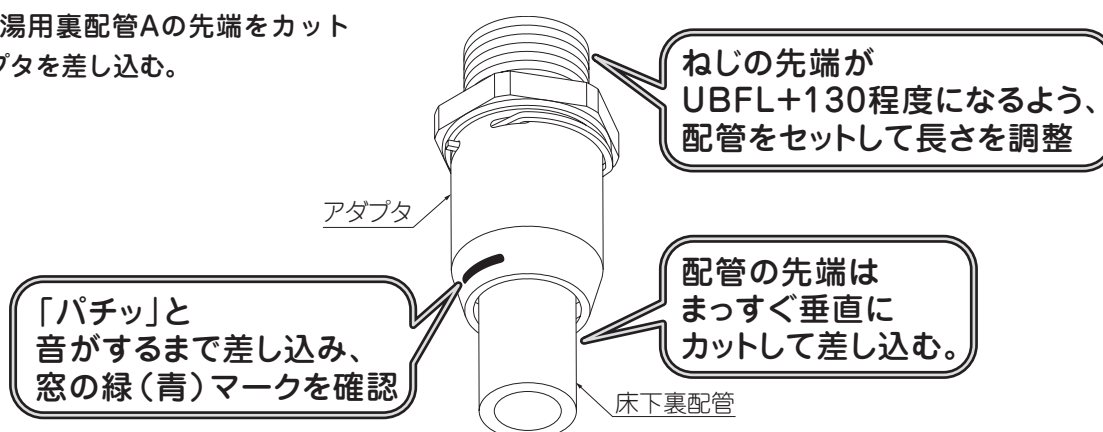
- 点検口取り付け部分は事前によく清掃してください。
(清掃しないと水漏れの原因となります。)
- 点検口周囲・ねじ頭部にはシーリング材を充てん・塗布してください。
(シーリング材を充てん・塗布しないと、水漏れの原因となります。)



事前にアダプタがない場合

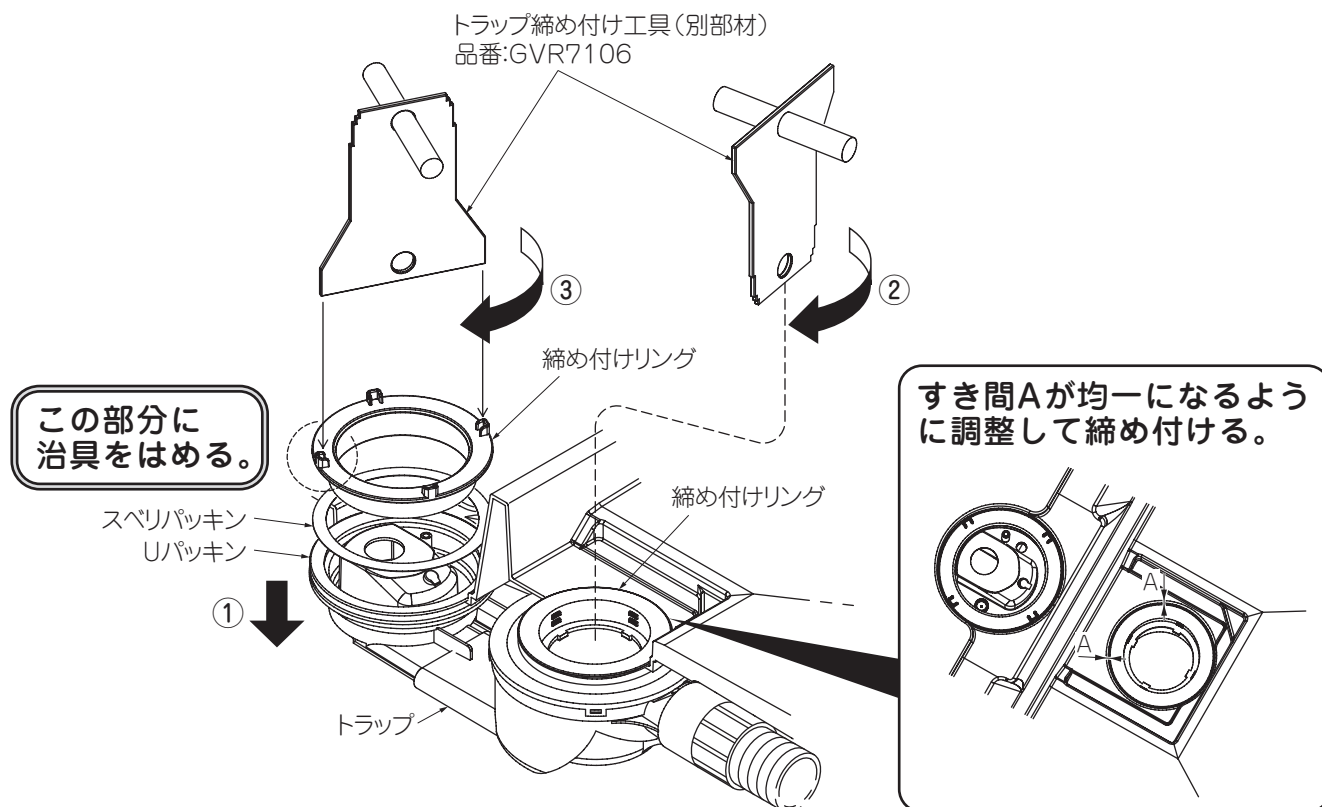
16 給水・給湯用裏配管Aおよび床下裏配管先端部の取り付け

①給水・給湯用裏配管Aの先端をカットし、アダプタを差し込む。



17 浴槽パンと排水トラップの取り付けと本締め

- ①浴槽パンに排水トラップを取り付ける。
- ②洗い場側排水トラップの締め付けリングを増し締めする。
- ③浴槽側排水トラップの締め付けリングを増し締めする。



⚠ 注意



必ず守る

- トラップを締め付ける際にトラップ締付工具の下端でトラップ底を傷付けない
(トラップが割れると、水漏れの原因となります。)

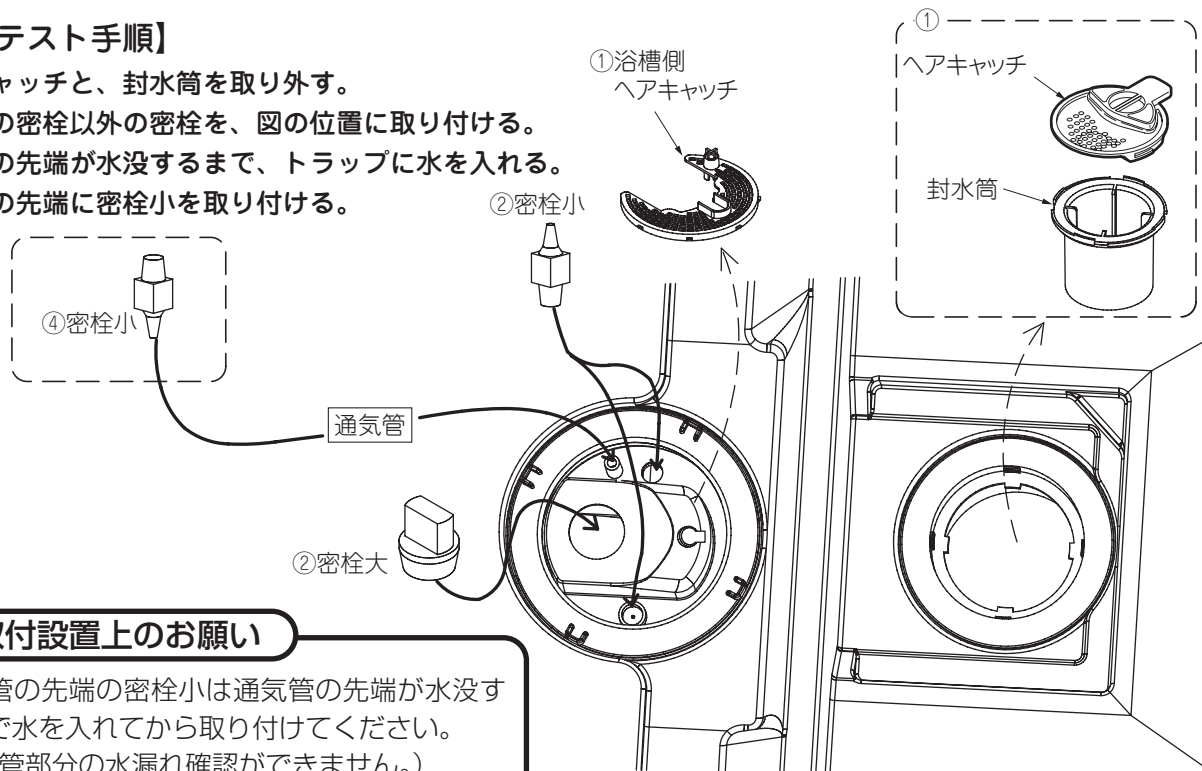
18 水張りテスト

※下記手順で水張りテストを行い、水漏れのないことを確認してください。

・水張り時間、方法、場所などの詳細は件名ごとに打ち合わせ、決定してください。

【水張りテスト手順】

- ①ヘアキャッチと、封水筒を取り外す。
- ②通気管の密栓以外の密栓を、図の位置に取り付ける。
- ③通気管の先端が水没するまで、トラップに水を入れる。
- ④通気管の先端に密栓小を取り付ける。



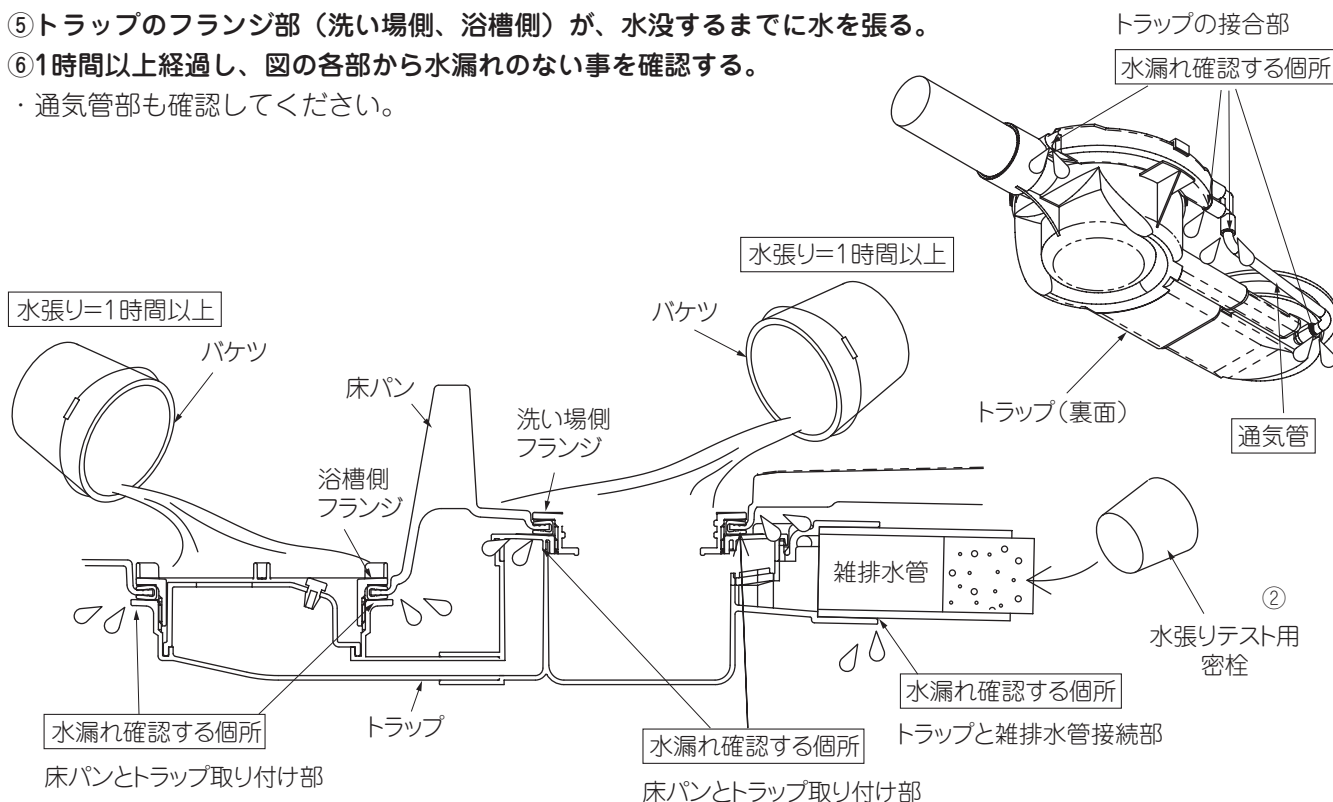
取付設置上のお願い

- 通気管の先端の密栓小は通気管の先端が水没するまで水を入れてから取り付けてください。
(通気管部分の水漏れ確認ができません。)

- ⑤トラップのフランジ部（洗い場側、浴槽側）が、水没するまでに水を張る。

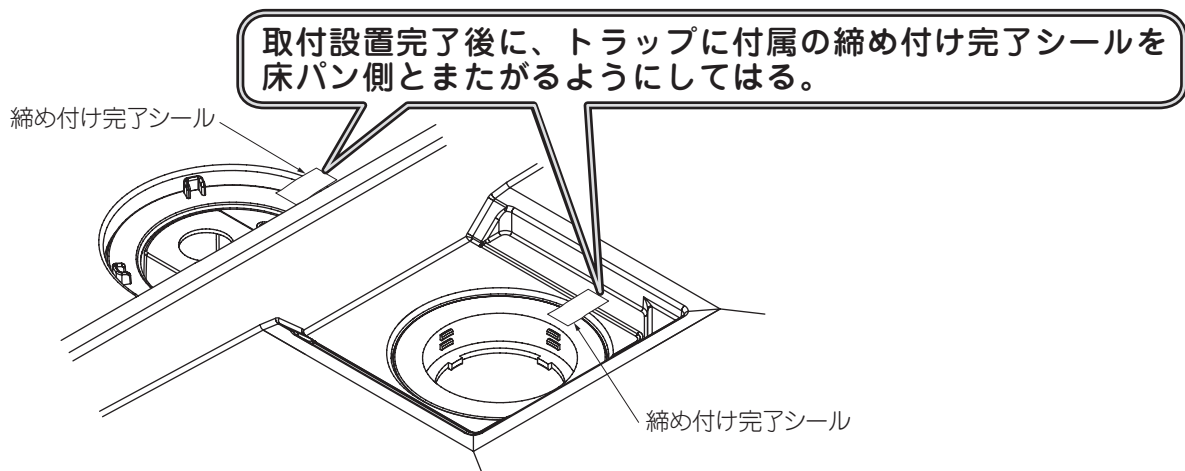
- ⑥1時間以上経過し、図の各部から水漏れのない事を確認する。

・通気管部も確認してください。



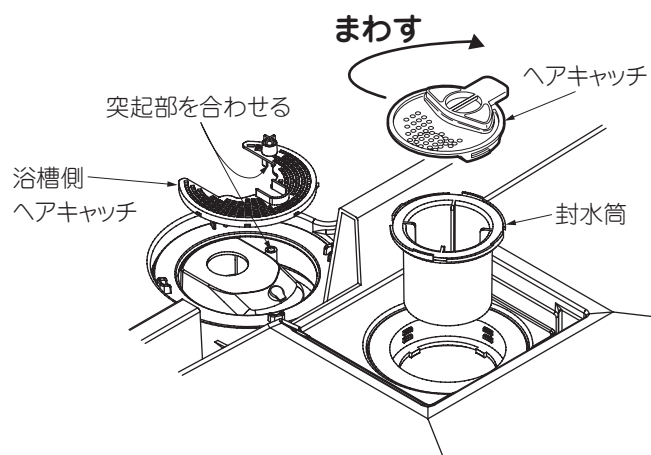
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

⑦水張りテストの完了後に、洗い場側排水トラップに付属の締め付け完了シールをはる。(2か所)

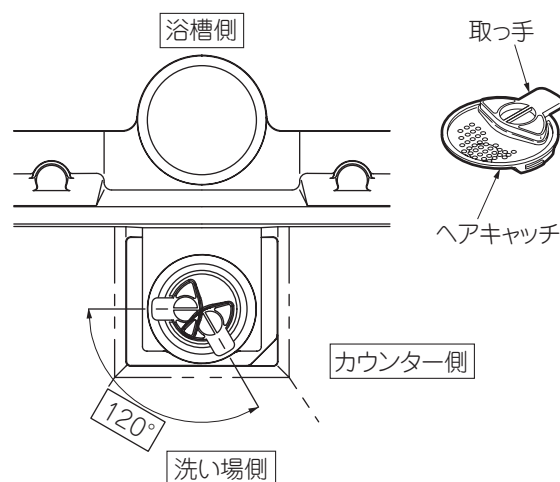


19 封水筒・ヘアキャッチ取り付け

①ヘアキャッチと封水筒を取り付ける。



●ヘアキャッチの取っ手が下図の範囲で収まるよう、取り付ける。



2 床パンの固定

1 躯体チェック

①ユニット周りの建築間仕切り工事前に、床、壁、天井、建具など躯体各部のチェックを行う。

・各部の納まり寸法は、取付設置図で確認のうえチェックしてください。

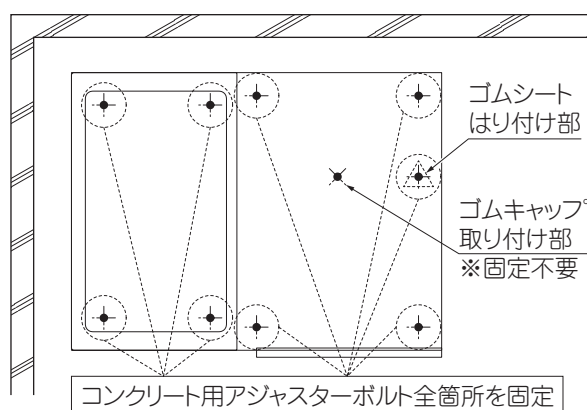
2 床固定

下記は、アジャスターボルトの調整（53ページ）の作業後に行ってください。

取付設置上のお願い

- 固定前に床鳴りのないことを確認してください。
（床パンの上に乗る足踏みして確認してください。）

① ゴムキャップが取り付け指示位置にあることを確認する。



② 床パン中央付近のアジャスターを調整する。

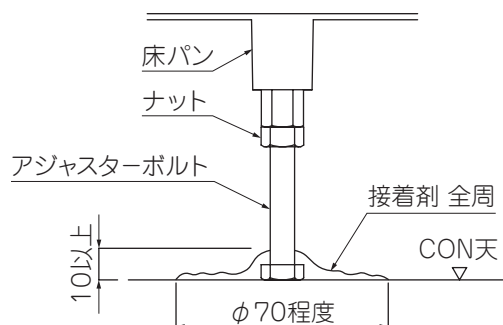
- ・ ゴムキャップ取り付け部のアジャスターボルトは、ゴムが設置してから1～1.5回転つき上げてください。
※ スパナが使用できない場合は、プライヤーで回してください。

③ 下図の要領で固定する。

- ・ コンクリート用アジャスターボルト：全箇所
（ゴムキャップ取り付け部は固定不要です。）

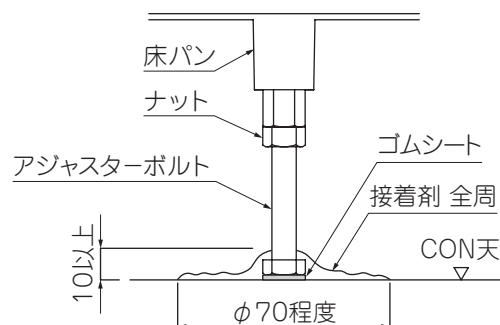
④ 調整したアジャスター部のナットをロックする。

【ゴムシートなし】



【ゴムシート貼付部】

（2024年10月2日発売仕様以降から変更）



アジャスターボルトの接着は、同梱の接着剤を使用する。
接着面の砂や塵、水、油などは、取り除いてから、取付設置する。

3. 壁の組み立て

単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 壁パネル加工の注意事項

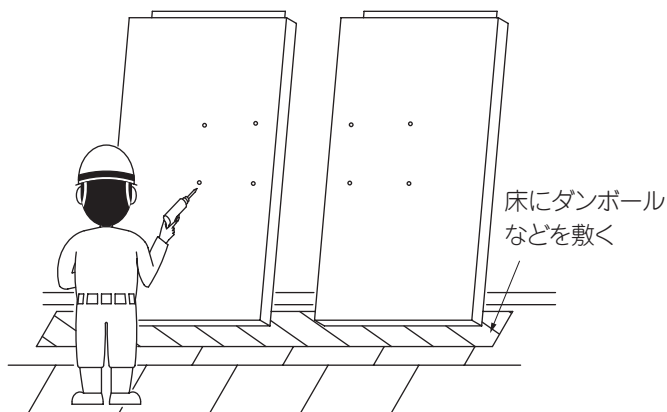
1 壁パネル加工の注意事項

※加工は、下記の事に注意して行ってください。

- ・加工時に発生する鉄粉により、もらいさび、すり傷などを防止するためです。

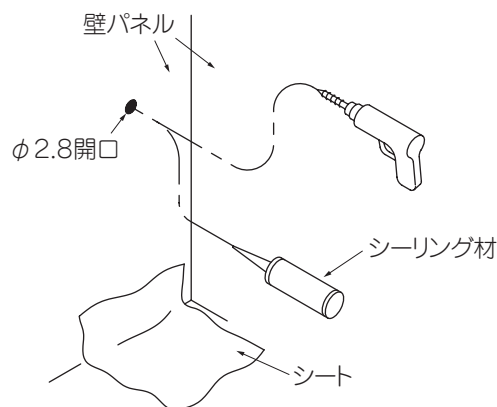
〈壁パネル組立前に加工する場合〉

- ①加工は「壁パネル加工図」を参照に、必ずユニット外にて行う。



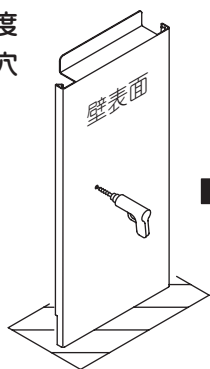
〈壁パネル組立後、現物合わせなどで加工する場合〉

- ①作業場所の下に、シートなどを敷く。
- ②加工個所にシーリング材を塗布する。
 - ・上記の作業をしてから、加工を開始してください。（鉄粉の飛散防止、すり傷などを防止するためです。）
 - ・加工後はシーリング材をふきとってください。（強く擦らないでください。すり傷になるおそれがあります。）

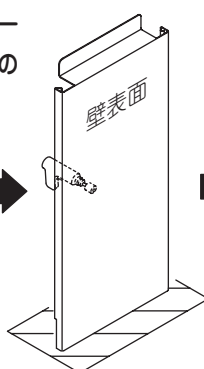


〈ホールソーでの穴開口手順〉

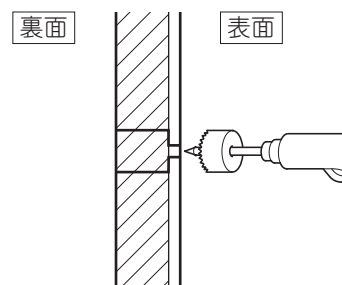
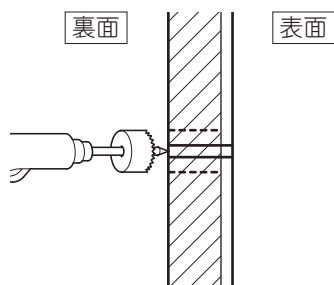
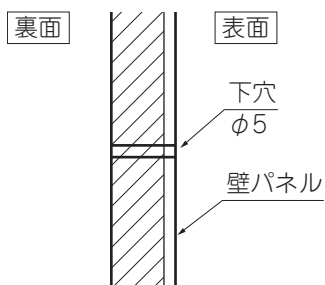
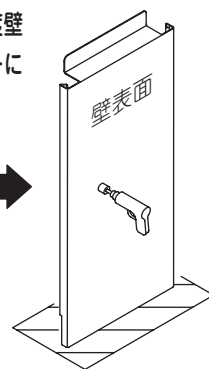
- ①表面からφ5程度のキリにて下穴を開ける。



- ②裏面からホールソーにて石膏ボードのみ穴開口する。



- ③最終仕上げに、再度壁表面からホールソーにて穴を開く。



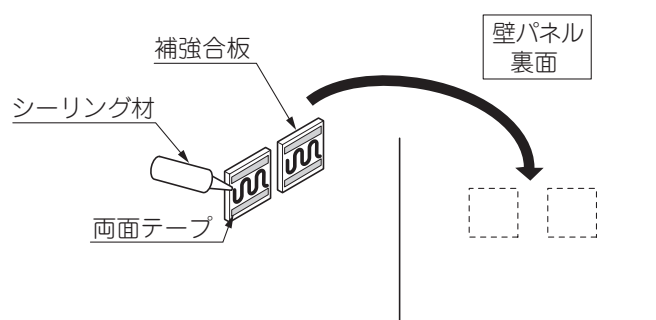
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 壁パネルの前加工

1 補強合板のはり付け

①壁パネル裏面に補強合板をはり付ける。

- ・器具のはり付け位置については、24～44ページの「器具取り付け穴開口位置図」を参照ください。



取付設置上のお願い

- ・作業後は少し時間をおき、完全にはり付いていることを確認のうえ、次の下穴開口を行ってください。

⚠ 注意



必ず守る

- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、補強合板が十分に固定されません。)

※ミラーシェルフ・シャワーバーは部品同梱の取付設置説明書を参照ください。

2 水栓固定金具・裏配管Aの取り付け

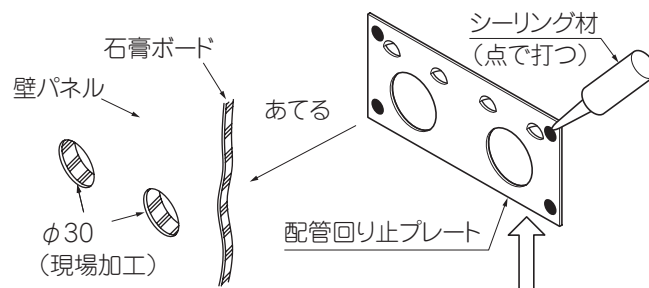
〈配管回り止プレート取り付け〉

- ① 壁パネルにφ30で開口する。
(加工位置は、壁パネル加工図参照)
- ② 配管回り止プレートを穴に合わせて、壁パネルにあてる。

⚠ 注意



- 専用工具の使用箇所では必ず専用工具を使用する
(専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。)



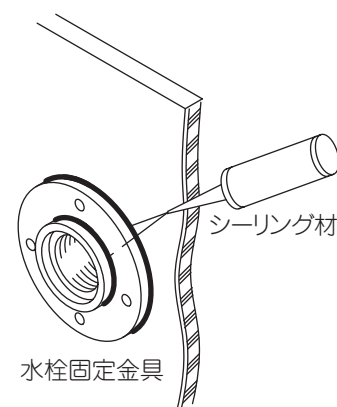
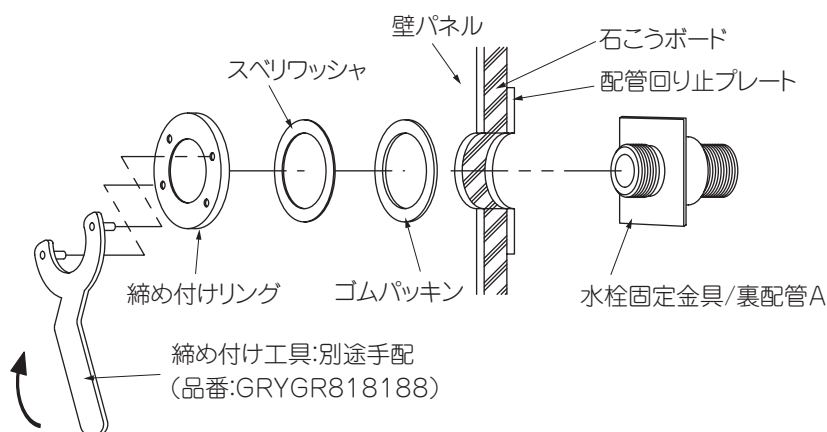
養生テープ

- ※シーリング材が固まらず不安定な場合は、養生テープなどで固定してください。
- ※配管回り止プレートの向きを上下逆に取り付けた場合にも、性能に問題はありません。

〈水栓固定金具の取り付けに関する打ち合せのポイント〉

- ・ 建築納まり図面および設備配管図面を確認のうえ、取り付け工程(時期)を打ち合せ、調整してください。

- ・ 締め付けリングの外・内周にシーリング材を塗布する。

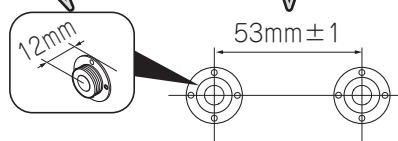


● 水栓固定金具の本固定

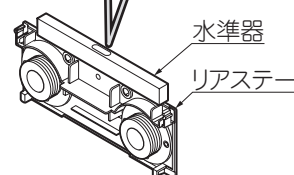
〈クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)・メタルスクエアサーモ水栓の場合〉

水栓固定金具の出代が壁パネルから12mmになるよう調整してください

水栓固定金具間の寸法は、中心から中心が53mmになるよう調整してください



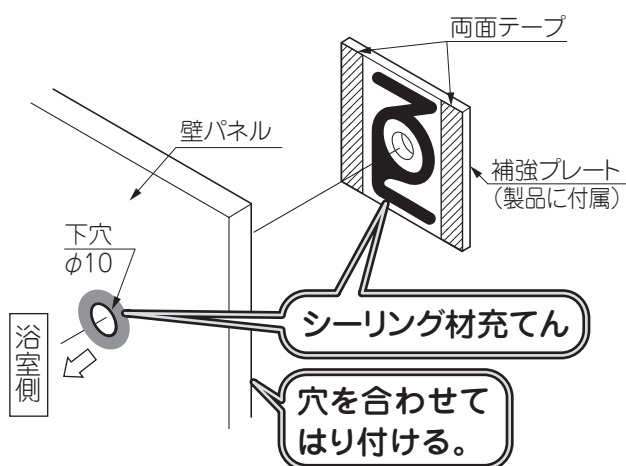
水栓に付属のリアステーを締め付けリングにあてて、水準器を載せ、水平になることを確認してください



3 握りバー取り付け

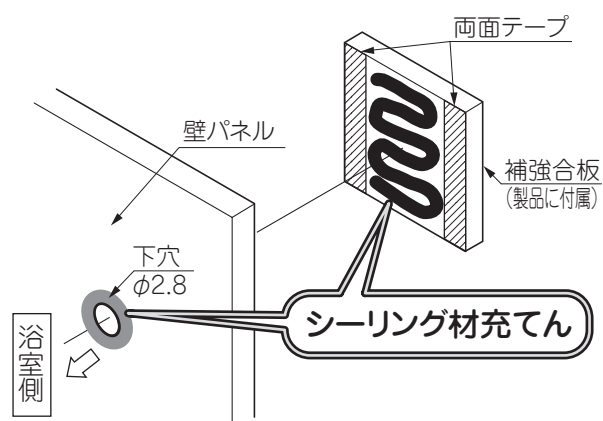
〈握りバー兼用スライドバー〉

- ①壁パネル裏面に補強プレートをはり付ける。
- ・シーリング材で、壁パネルの裏から穴に合わせて、しっかりとはり付けてください。



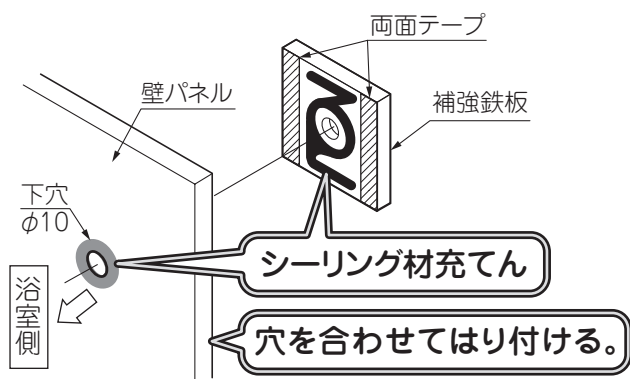
〈シャワースライドバー〉

- ①壁パネルの裏面にスライド式シャワーフックの補強合板をはり付ける。
- ・シーリング材でしっかりとはり付けてください。



〈握りバー（樹脂）〉

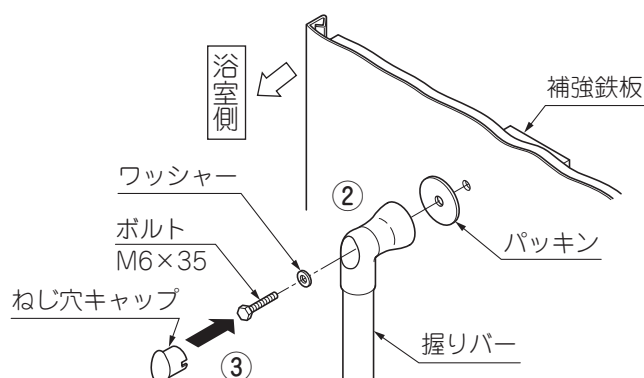
- ①壁パネル裏面に握りバーの補強鉄板をはり付ける。
・シーリング材で、壁パネルの裏から穴に合わせて、しっかりとはり付けてください。



- ②握りバーを壁に取り付ける。

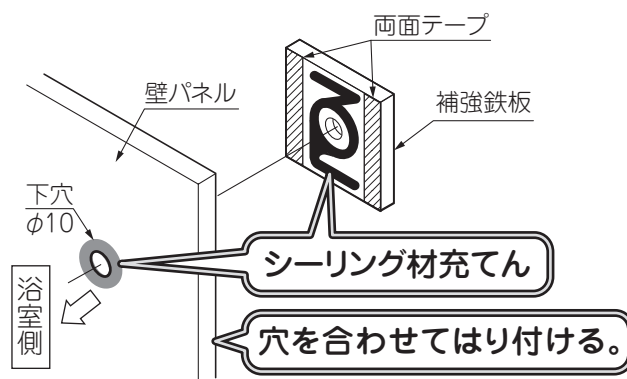
I型：2箇所

- ③握りバーにねじ穴キャップを取り付ける。

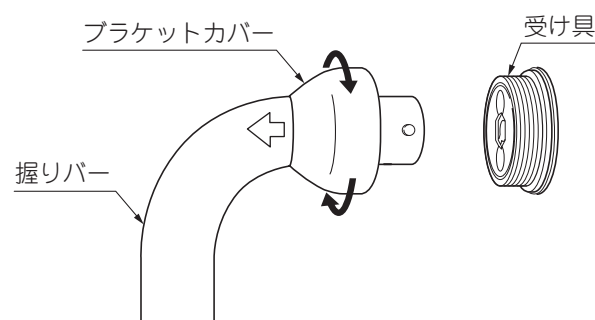


〈握りバー（メタル製）〉

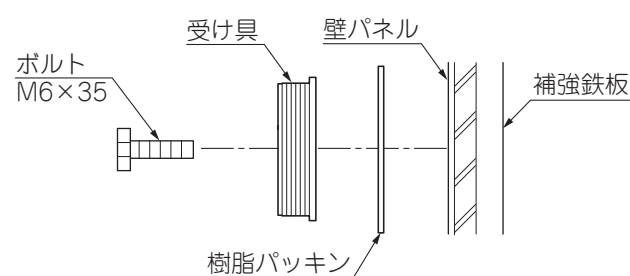
- ①壁パネル裏面に握りバーの補強鉄板をはり付ける。
・シーリング材で、壁パネルの裏から穴に合わせて、しっかりとはり付けてください。



- ②ブラケットを分解する。

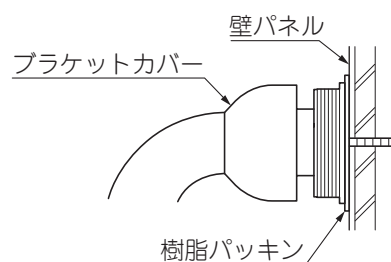


- ③受け具を壁パネルに取り付ける。



- ④握りバーを取り付け、ブラケットカバーを締めつける。

- ・樹脂パッキンが周囲に均等にはみ出すように、受け具の位置をうまく調整しながら締めつけてください。



4 照明の取り付け

〈照 明〉

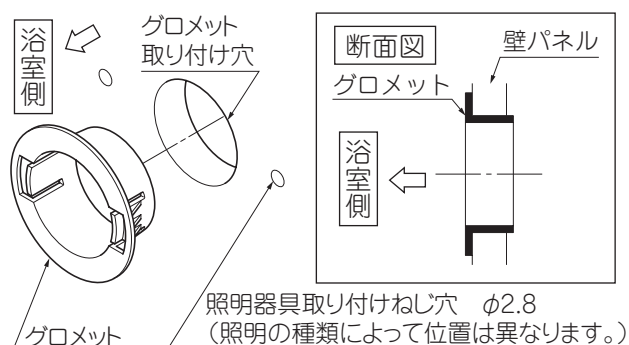
①グロメット取り付け穴にグロメットをはめる。

- ・穴の周囲がすべてグロメットの溝に入ったか確認してください。

警告



- グロメットは確実に取り付ける
(確実に取り付けないと、火災や感電の原因となります。)



②照明取り付けねじ穴 (φ2.8) に、シーリング材を塗布する。

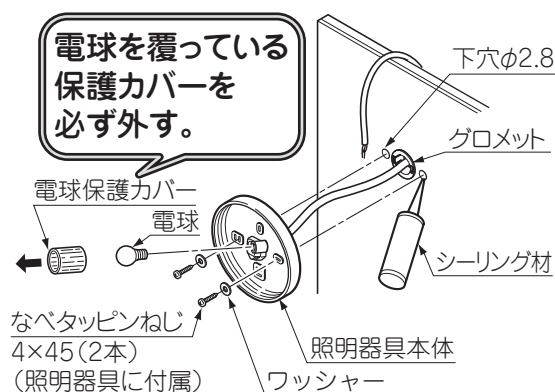
③グロメットに照明コードを通し、照明器具本体をねじとワッシャーで取り付ける。

- ・電源線およびアース線は天井上に載せておいてください。

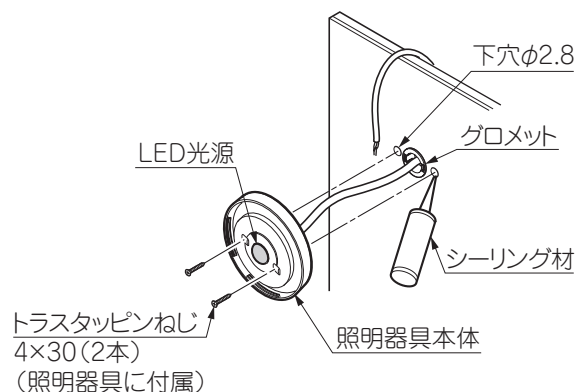
警告



- 電球を覆っている保護カバーは、器具取り付け時に必ず外す
(保護カバーを付けたまま点灯させると、火災の原因となります。)



〈サークルLED照明〉



取付設置上のお願い

- 照明器具本体取り付け時は、LED光源が傷つかないように注意してください。

5 壁パネルの開口

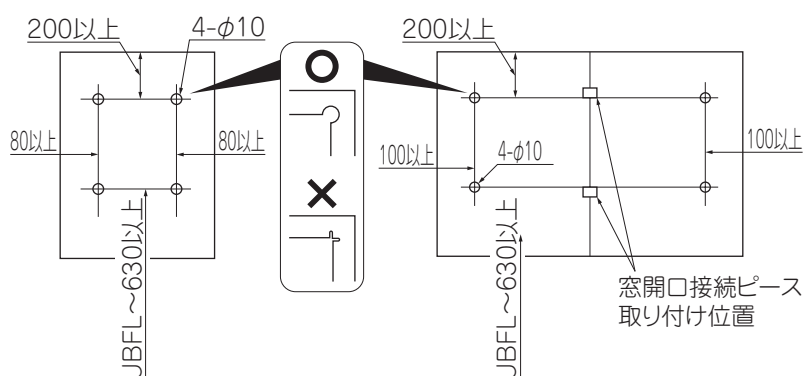
①開口部の外側をマスキングテープで保護する。

②下記の「窓開口パネル仕様の断面取り合い図」を参照のうえ、開口する四隅にφ10の穴を開ける。

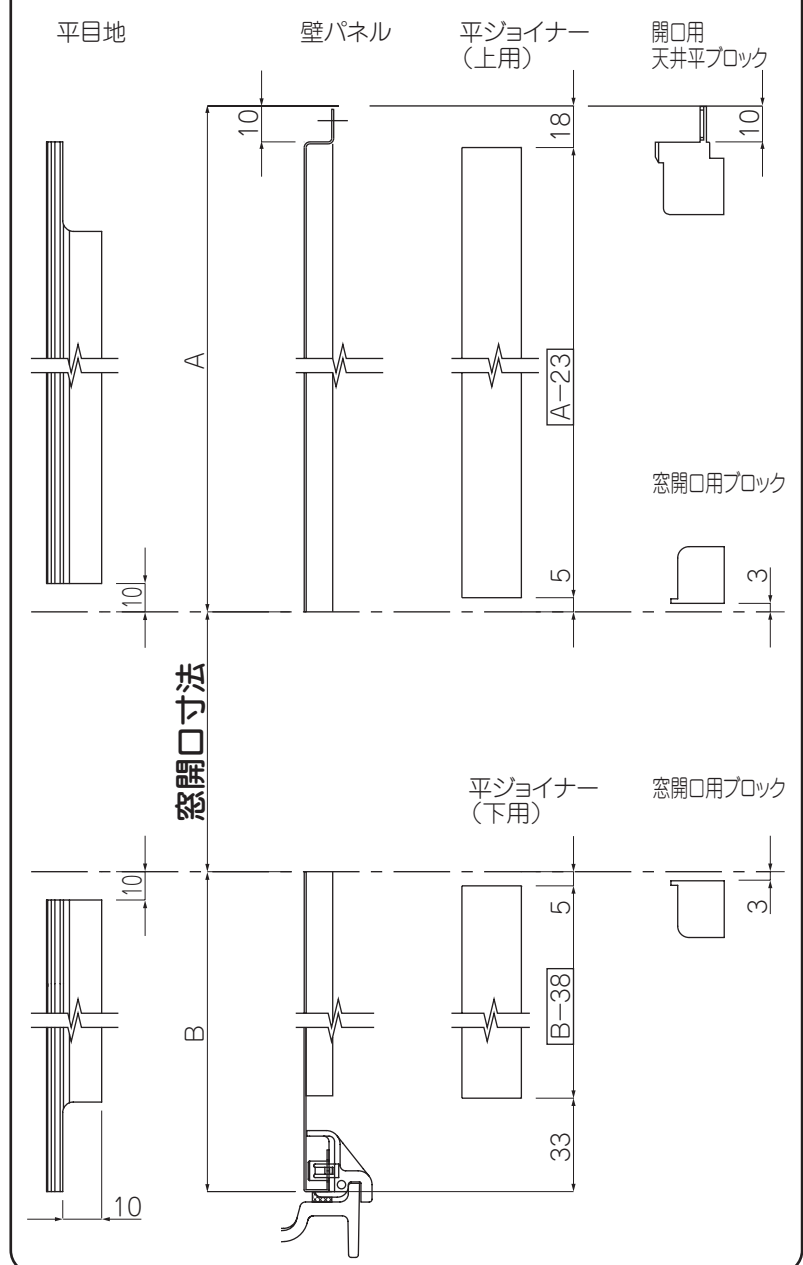
③ジグソーまたはスレートノコで開口する。

・開口幅はパネルにより異なります。
窓開口が2枚の壁パネルにまたがる際は、壁パネル間に挟まる目地幅(=3mm)分を考慮して開口してください。

④切断部が凸状に残らないよう、きれいに仕上げる。



【窓開口パネル仕様の断面取り合い図】



取付設置上のごお願い

- 窓開口を行う場合は、壁パネルを開口後、開口に沿って補強合板をはり付けてください。
- 壁パネルを開口する際は、切りくずが壁パネルに飛び散らないよう、ご注意ください。

警告



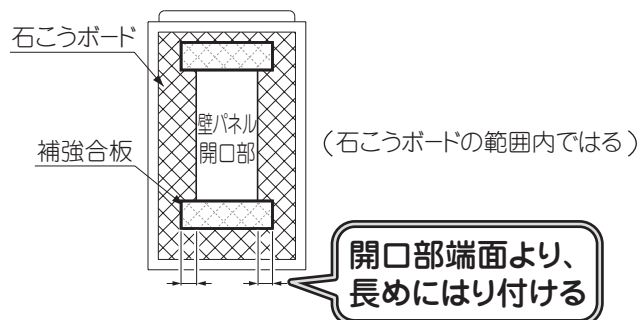
必ず守る

- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。)

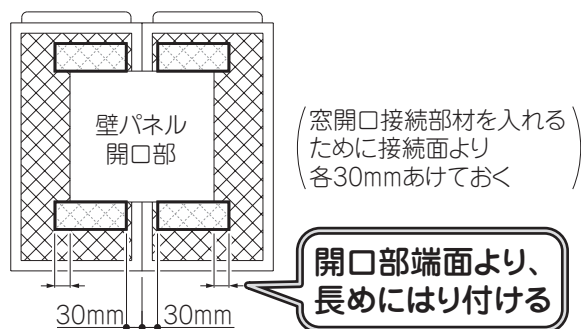
6 補強合板の取り付け

①下図を参照し、補強合板をはり付ける。

〈壁パネル1枚で納まる場合〉



〈壁パネル2枚で納まる場合〉



①窓開口部の上辺・下辺の幅より長い寸法に補強合板をカットしてください。

②両面テープを開口側にはり付けて、はく離紙をはがしてください。

③付属のシーリング材を塗布してください。

④補強合板をパネル裏面にはってください。

⚠ 注意



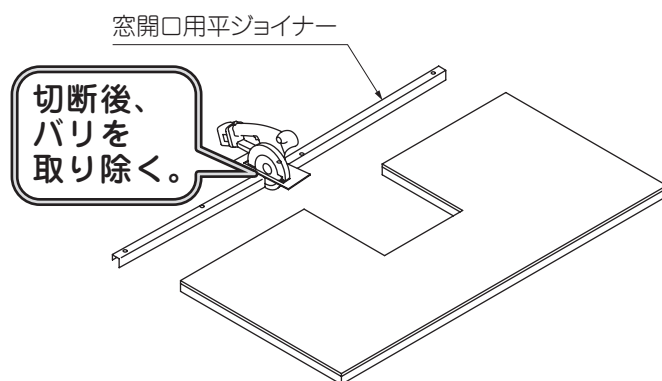
必ず守る

- 窓開口を行う場合は、壁パネルを開口後、開口に沿って補強合板をはり付ける
- 開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する
(裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されません。)

7 平ジョイナーの切断

①補強なし平ジョイナーを開口位置に合わせて切断する。
・断面取り合い図を参照してください。

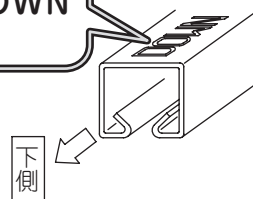
②ジョイナー切断部は、平らにし、バリを取り除く。



取付設置上のお願い

- 平ジョイナーには上下がありますので、ご注意ください。

背側にDOWN
の表示



⚠ 注意



必ず守る

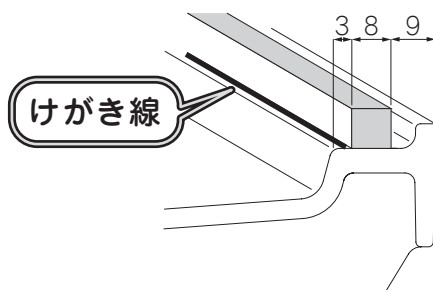
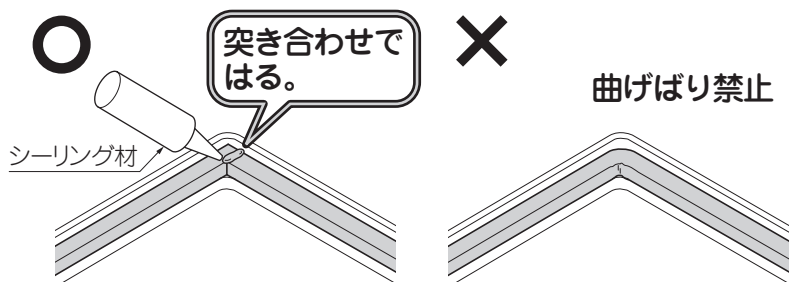
- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入ってけがをするおそれがあります。)

8 床パン壁載せ面へのパッキンはり付け

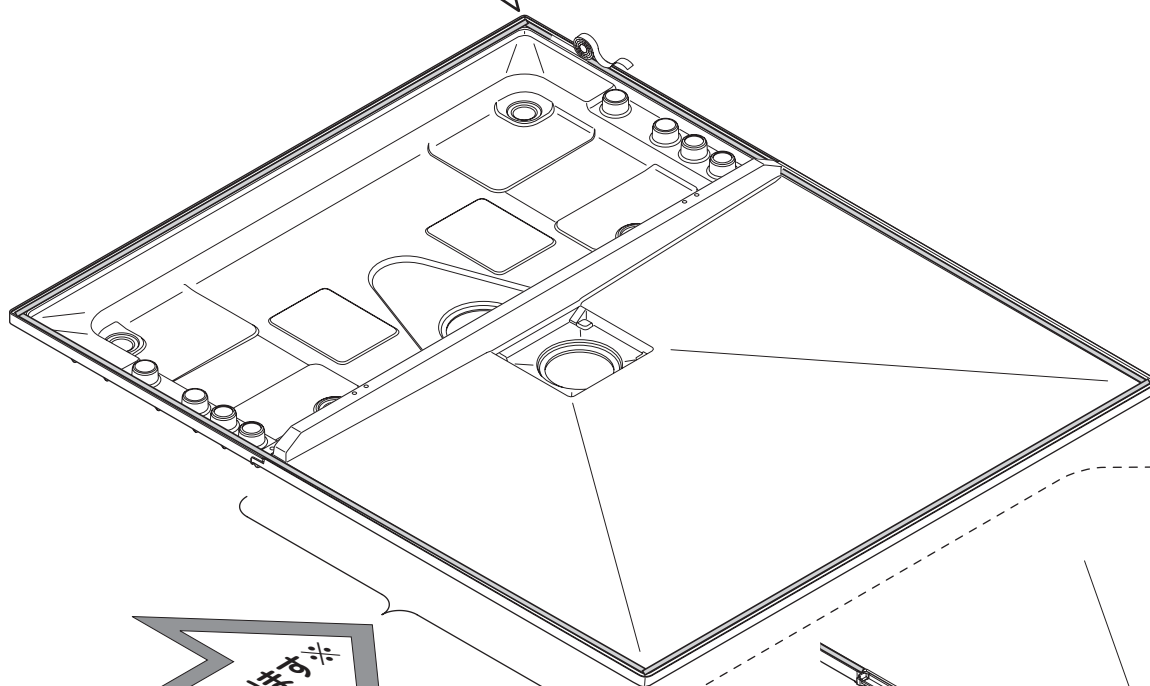
①床パン壁載せ面に、壁下パッキンをはり付ける。

重ねばり・曲げばり禁止

パッキンは一本もののため、必ずカッターナイフなどで切ってパッキンを突き合わせてください。



※けがき線がぎりぎり見えるようにパッキンをはってください。
(十分な壁下シーリング材代を確保するため、けがき線より手前にはらないでください。)



※2枚引き戸選定時、
ドア受け桟部分には
はりません。

ドア受け桟

⚠ 注意



禁 止

●壁下パッキンは重ねばりしない
(重ねばりすると、パッキン
の間にすき間が生じ、水漏
れの原因となります。)



必ず守る

●壁組立前に全周（ドア下含む）にパッキンをはり付ける
(パッキンをはり忘れると水漏れの原因となります。)
●シーリング材充てんは指定個所に確実に
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

3 壁パネルの建て込み

1 コーナー下ブロックと平下ブロックとジョイナーの配置

①床ブロックを各床コーナー部、壁平ジョイント部に取り付ける。

②ジョイナーの取り付け位置を事前に確認する。

⚠ 注意

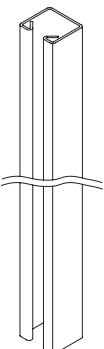
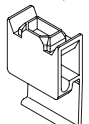
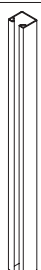
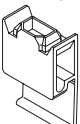
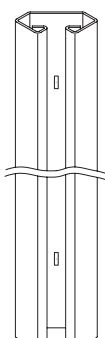
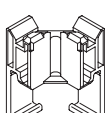


- 床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける
(必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)

取付設置上のお願ひ

- コーナー下ブロックは、壁パネル建て込み前に壁載せ部に配置してください。
- 平下ブロックは、壁パネルの建て込み中に取り付けてください。
- 平ジョイナーには上下がありますので、ご注意ください。



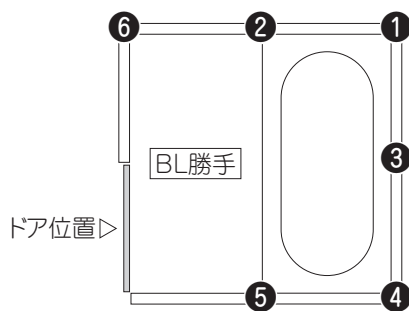
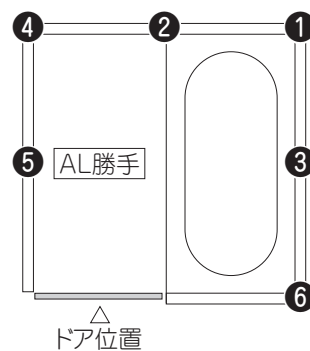
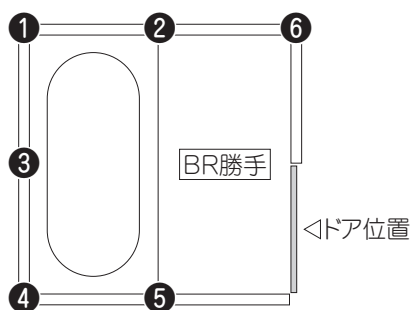
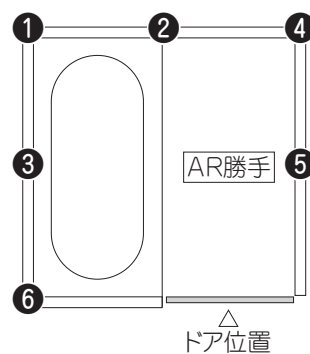
A	B (浴槽下接続の場合使用)	C	D	E
平ジョイナー  平下ブロック (ブロックセットに付属) 	薄納まり配管用平ジョイナー  薄納まり配管用 ジョイントブロック (壁ブロックセットに付属)  薄納まり配管用 平ジョイナー (L=153)  平下ブロック (ブロックセットに付属) 	コーナージョイナー  コーナー下ブロック (ブロックセットに付属) 	ドアコーナー ジョイナー  ブロックなし	ドア 平ジョイナー  ブロックなし

■ブロック・ジョイナー配置図

※本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

	標準	ドア位置移動	1418サイズ ドア幅700
A勝手			
B勝手			

2 壁パネル組立て順序



組立て順序

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥

※組立て基準となる壁パネルは、取付設置図（納まり図）および、現場状況により決定する。

※壁パネルの中には、建て込み前に加工や取り付け作業が必要な場合がありますので、事前によくご確認ください。

3 壁掛けハンガーの取り付け

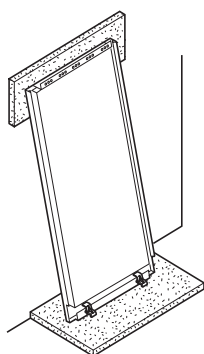
①壁掛けハンガーを取り付ける。

- ・壁パネル下端の丸穴に、壁掛けハンガーを取り付けます。

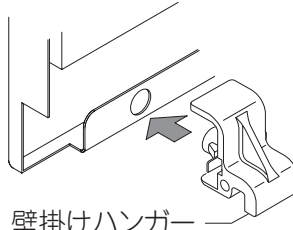
②しっかり取り付いたか、確認する。

取付設置上のお願

- 壁パネルは地面に直接置かないで、発泡材などの上に置いてください。

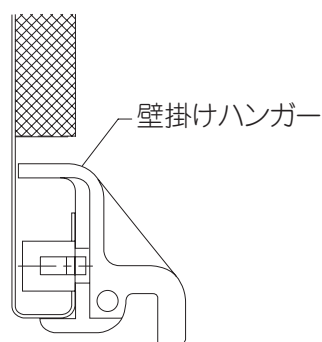


壁パネル下端部



壁掛けハンガー

壁パネル下端部



しっかり取り付くと、壁掛けハンガーのツメが戻ります。



ツメが戻っている



ツメが引っ込んでいる

4 薄納まり配管用ジョイナーの組み立て

- #### ①平ジョイナー（L=153）（ジョイント長物セットに付属）に薄納まり配管用ジョイントブロック（壁ブロックセットに付属）を差し込む。

薄納まり配管用
ジョイントブロック

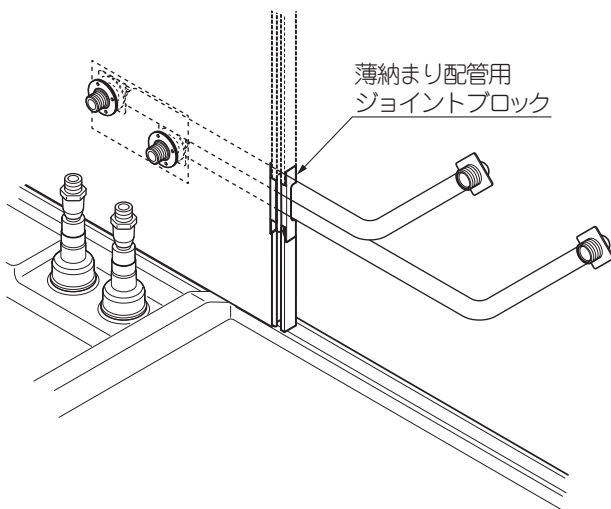
平ジョイナー
L=153



取付設置上のお願

- 壁建て込み時に、薄納まり配管用ジョイントブロックを取り付けるようにしてください。（89ページ）

薄納まり配管用
ジョイントブロック



5 最初の壁パネルの建て込み

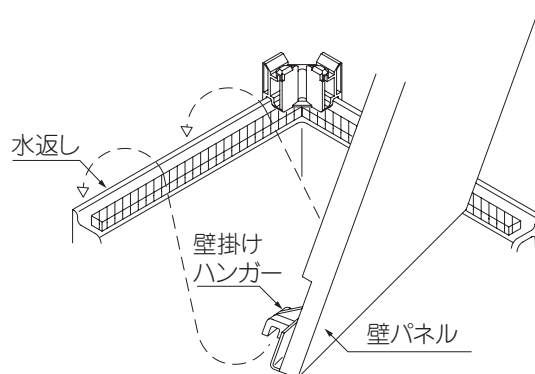
- ①壁パネルに取り付けた壁掛けハンガーを水返しにはめ込んで建て込む。

⚠ 注意



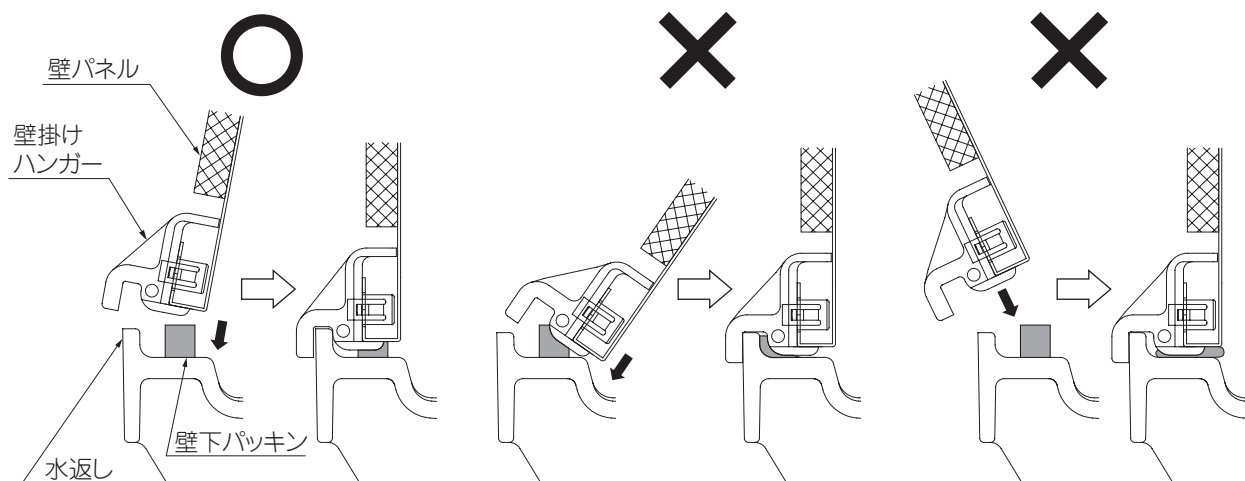
必ず守る

- コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく
(壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)



取付設置上のお願い

- 壁パネルを建て込む際に、壁掛けハンガーや壁パネル下端で壁下パッキンを倒さないようにしてください。
※浴室内侧にパッキンを倒すとシーリング代が無くなるため、特に注意をしてください。



6 壁パネルコーナー部の接続

- ①壁パネルAにコーナージョイナーを取り付ける。
- ②コーナー上ブロックをジョイナー上部にはめて仮固定する。

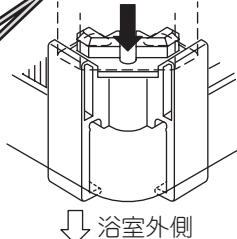
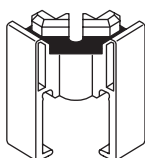
取付設置上のお知らせ

- コーナージョイナー下端をコーナーブロックにはめ込み（部）ジョイナーを壁パネル側面に合わせてください。

コーナージョイナー底部納まり図

はめ込む。

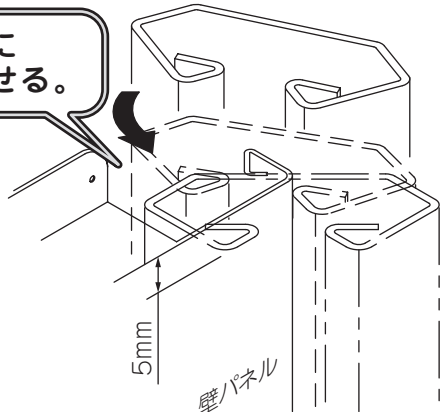
下図の部分にコーナージョイナーの下端を差し込む。



↓ 浴室外側

ジョイナー～壁取り付け納まり

側面に合わせる。



5mm

壁パネル

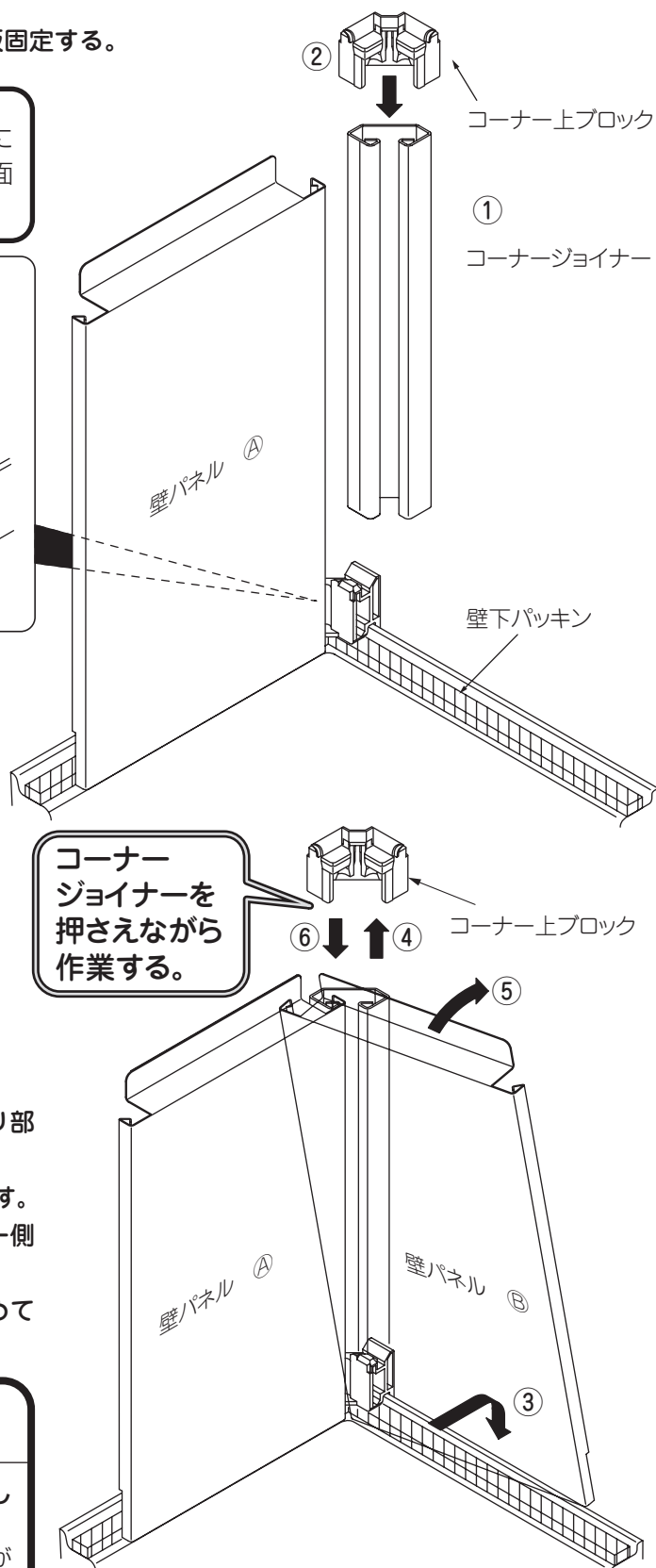
- ③壁パネルBの壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部に、はめ込む。
- ④ジョイナーにはめたコーナー上ブロックを一旦取り外す。
- ⑤ジョイナーを支えながら壁パネルBをジョイナー側に倒し、壁とジョイナーを合わせる。
- ⑥コーナー上ブロックを再度ジョイナー上部にはめて固定する。

⚠ 注意



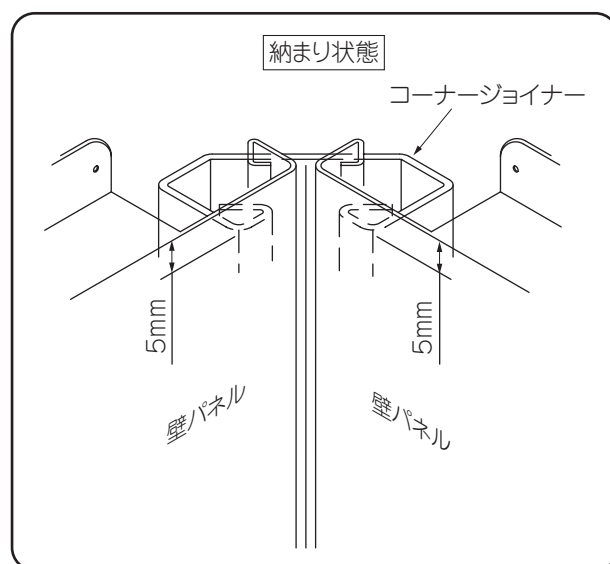
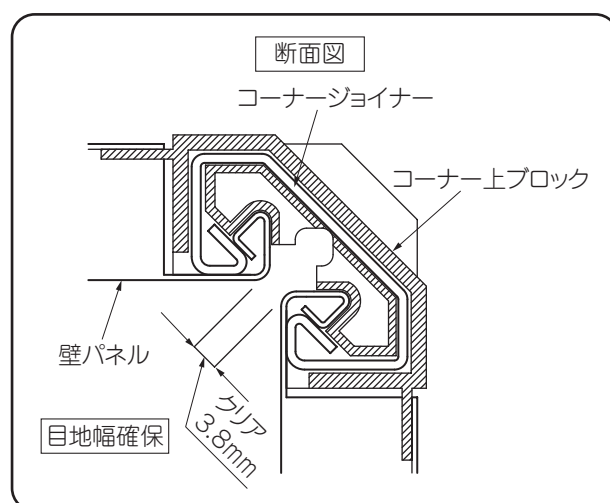
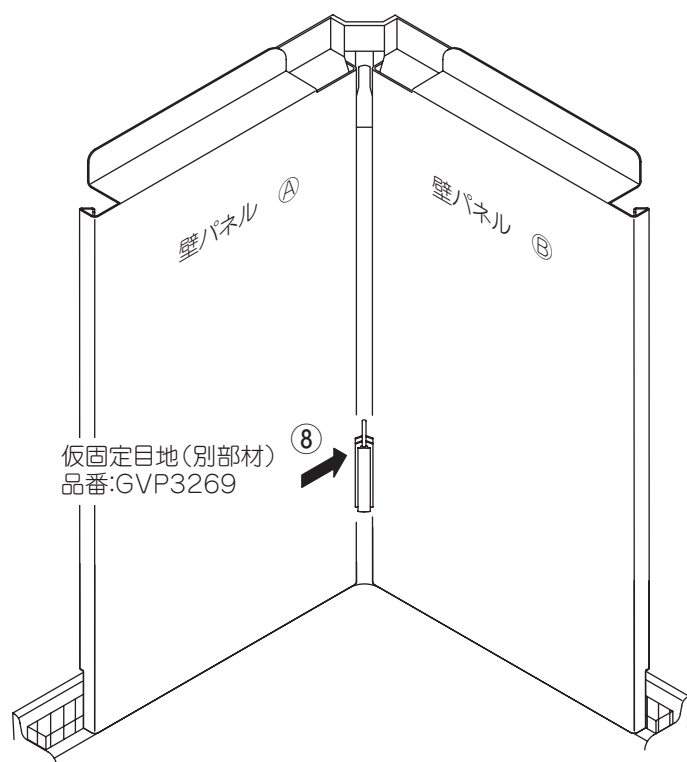
必ず守る

- 壁パネル、ジョイナーを確実に固定しブロックを取り付ける
(確実に固定をしないと、落下によるけがの原因となります。)



⑦仮固定目地をパネル下端から200～300mmの位置に
仮打ちする。

- ・壁パネルの間に斜めに打ち込んでください。



7 壁パネル平部の接続

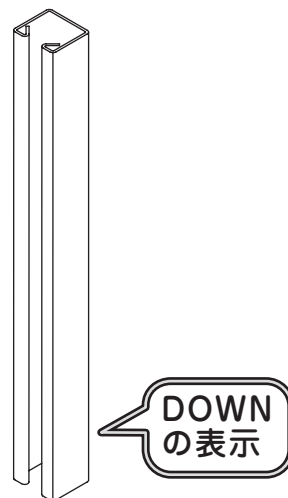
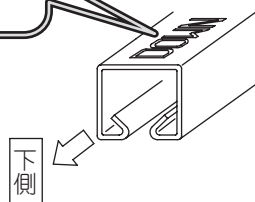
①平ジョイナーの上下を確認する。

- ・平ジョイナー端部のDOWN表示が下側になるように取り付けてください。

取付設置上のお願い

- 平ジョイナーには上下があるので注意する。

背側にDOWN
の表示



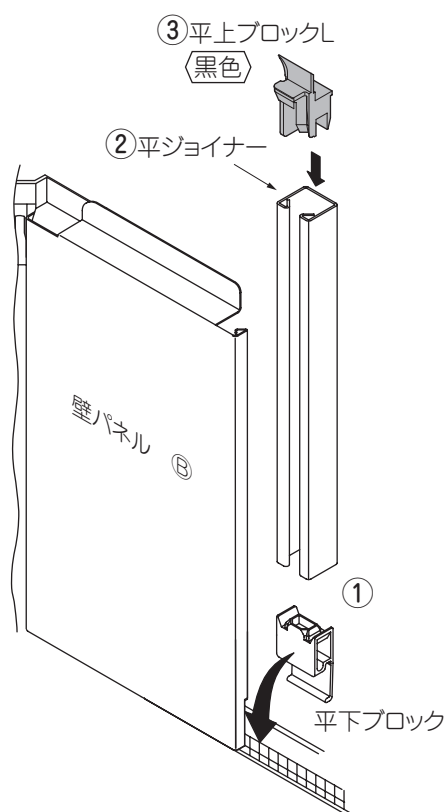
②壁パネルBに、平下ブロックを取り付けて、壁外側に引き寄せる。

③壁パネルBに平ジョイナーを取り付ける。

④平上ブロックL〔黒色〕をジョイナー上部にはめて壁パネルBを固定する。〔「平上ブロックの取り付けかた」(88ページ)を参照〕

取付設置上のお願い

- 平ジョイナー下端を平下ブロックにはめ込み(■部)ジョイナーを壁パネル側面に合わせてください。

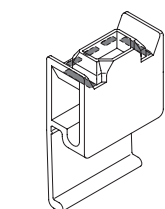


納まり詳細図

平ジョイナー

(2) はめ込む。

下図の■部分に
平ジョイナーの
下端を差し込みます。



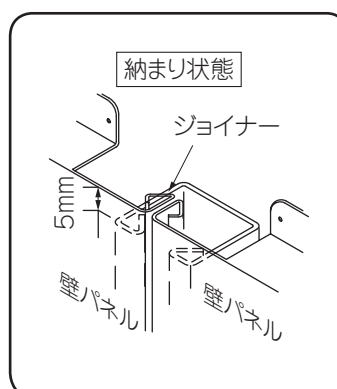
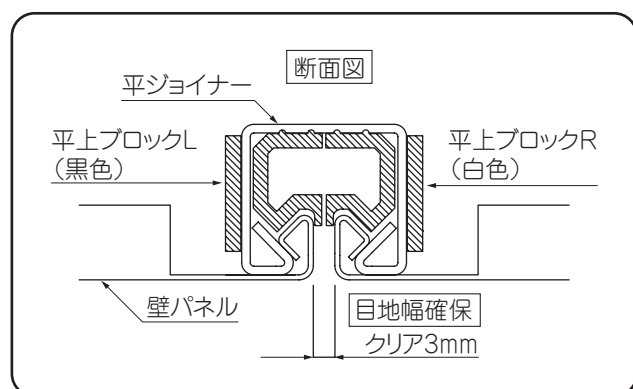
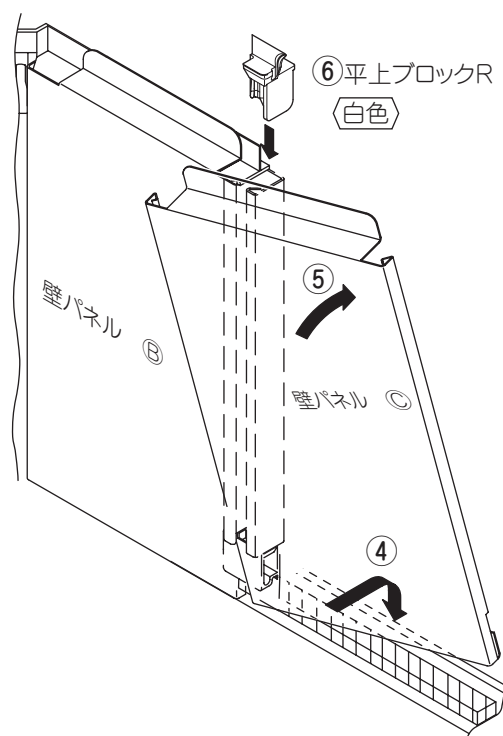
壁パネルの折り返し

(1) 壁パネルの折り返しに当てる。

⑤壁パネルCの壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部にはめ込む。

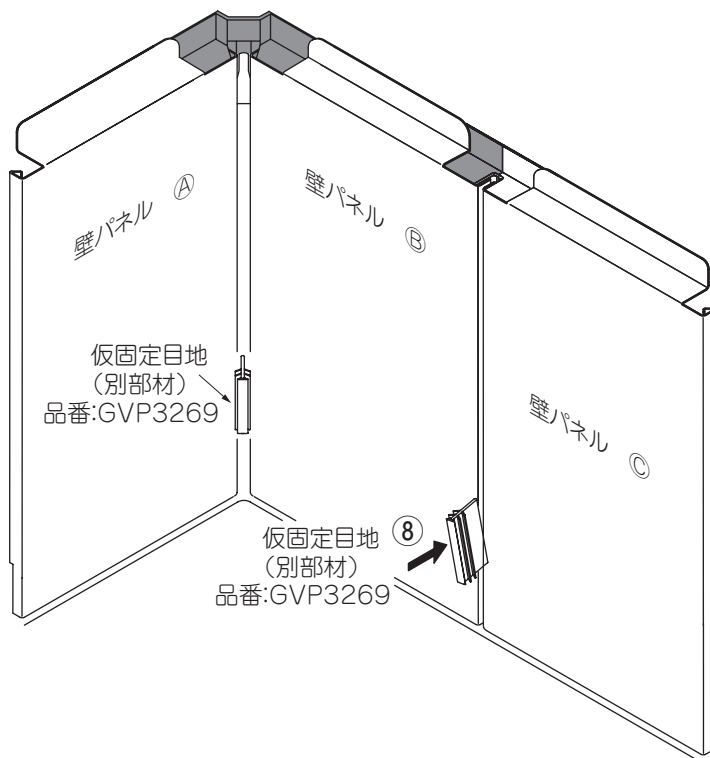
⑥壁パネルCをジョイナー側に倒し、壁とジョイナーを合わせる。

⑦平上ブロックR〔白色〕をジョイナー上部にはめて壁パネルCを固定する。（「平上ブロックの取り付けかた」（88ページ）を参照）

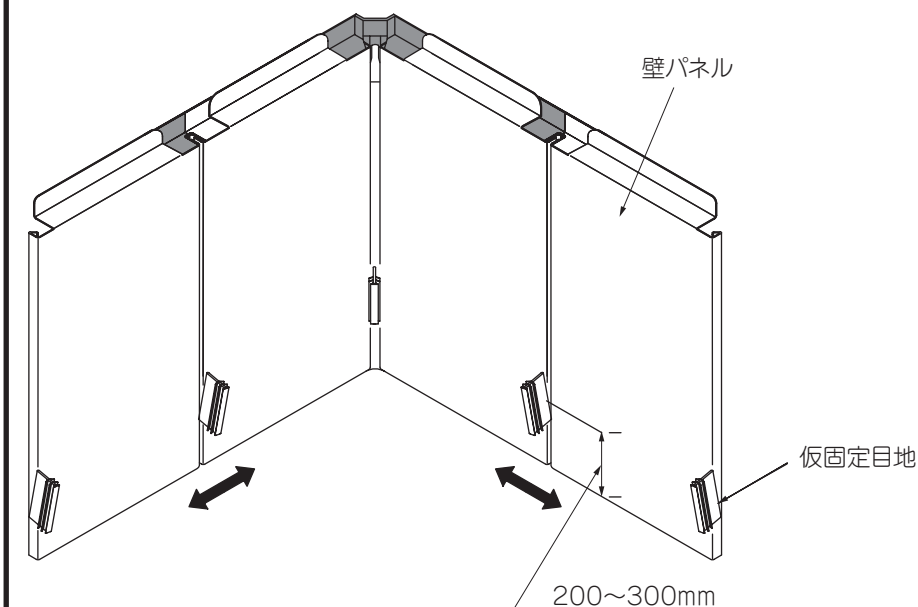


⑧ 仮固定目地をパネル下端から200～300mmの位置に仮打ちする。
(壁パネルの間に斜めに打ち込む)

⑨ ジョイナー固定治具をスリットから取る。



取付設置上のお願い



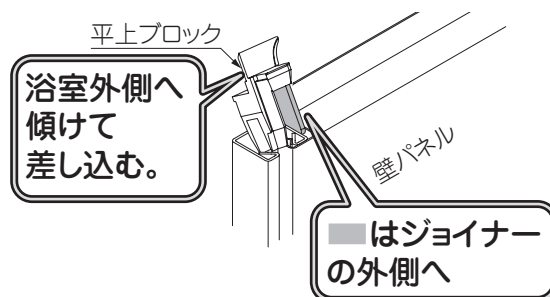
- 壁パネル組み立て都度、仮固定目地を打ち込んでください。(仮固定目地を打たないと、壁パネル間の寄り寸法が一定になりません。)
- 仮固定目地は、壁パネル下端より200～300mmを目安に打ち込んでください。
- 仮固定目地は目地打ち前まで、外さないでください。

取付設置上のお願い

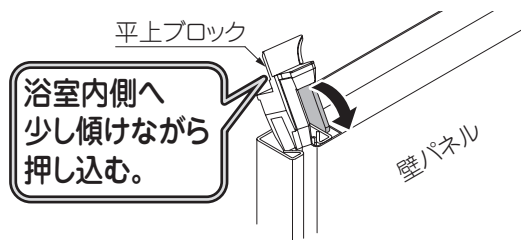
〈平上ブロックの取り付けかた〉 上からのぞきこみながら取付設置してください。

①平上ブロックをジョイナーと壁パネル間に差し込む。

- ・平上ブロックは浴室外側に傾けてください。
- ・平上ブロックのドア側の壁（■部）は、ジョイナーの外側にはまるように差し込んでください。



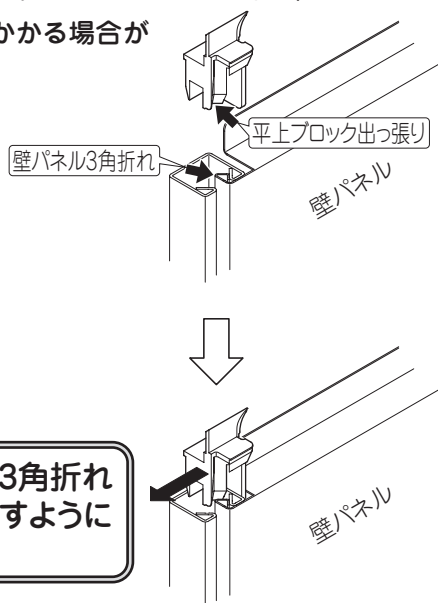
②平上ブロックを浴室内側に倒しながら押し込む。



●平上ブロックが引っかかるとき

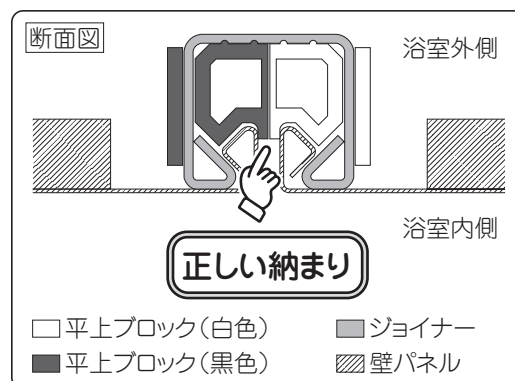
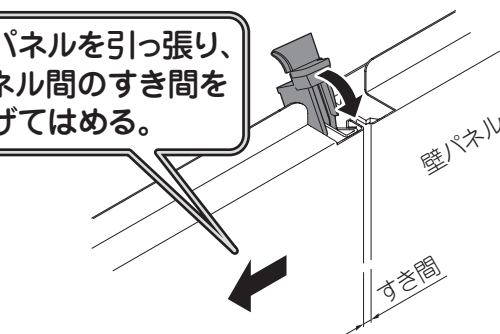
〈最初の平上ブロックの場合〉

➡部分が引っかかる場合があります。



〈2個目の平上ブロックの場合〉

壁パネルを引っ張り、パネル間のすき間を広げてはめる。



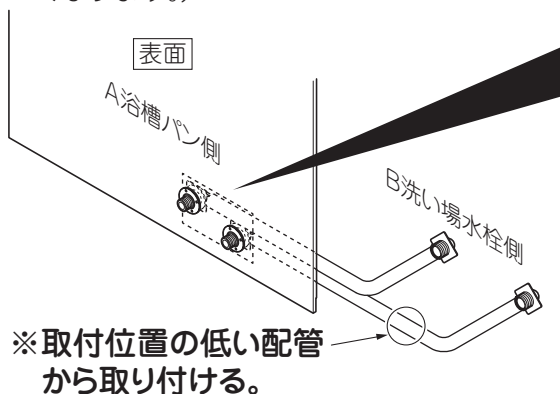
8 壁裏配管の取り付け

①浴槽側の壁パネルに、取付位置の低い配管から順番に壁裏配管を取り付ける。

・締め付けリングの増し締めは、壁パネル建て込み、配管の高さ調整後に行います。

※「A浴槽パン側」を先に固定し、「B洗い場水栓側」が後になるようにしてください。

(先に「B洗い場水栓側」を固定すると、配管の遊び(動き代)が少なく「A浴槽パン側」が固定しにくくなります。)

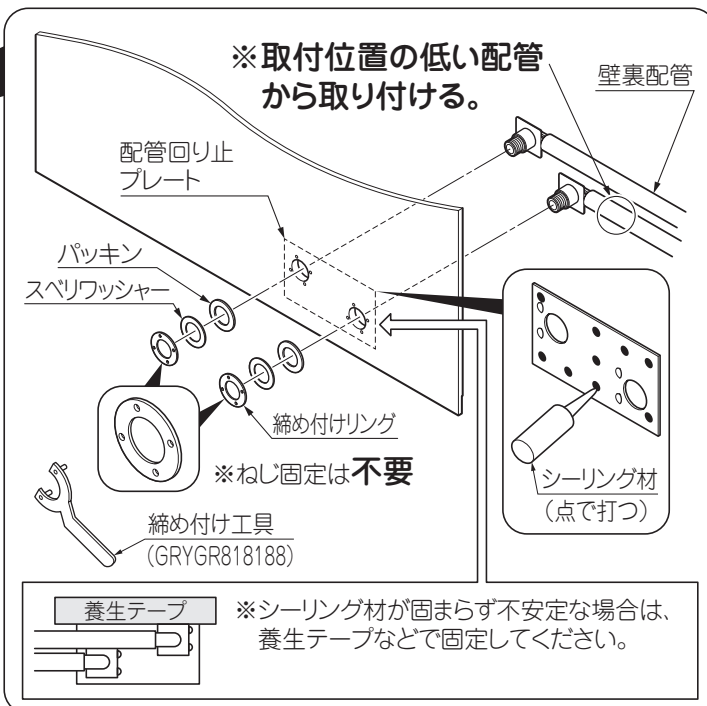


⚠ 注意

●水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する
(専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。)

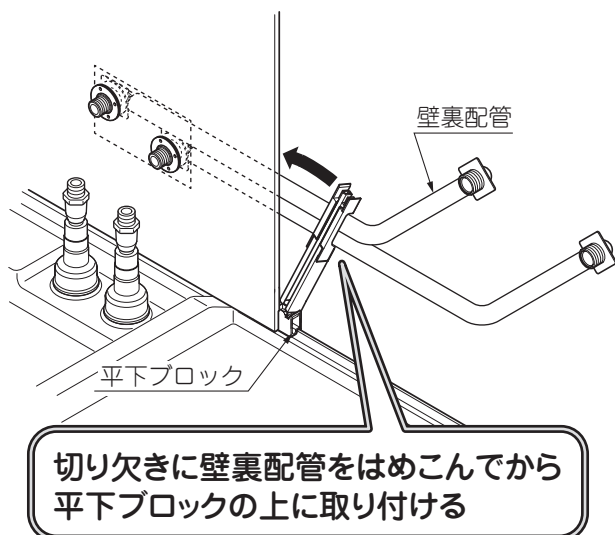
!

必ず守る

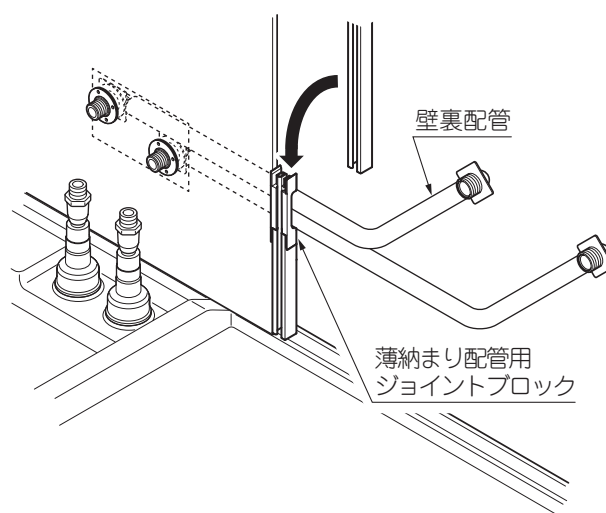


9 壁の建て込み

①壁パネル建て込み時に、薄納まり配管用ジョイントブロックを取り付ける。(81ページ参照)



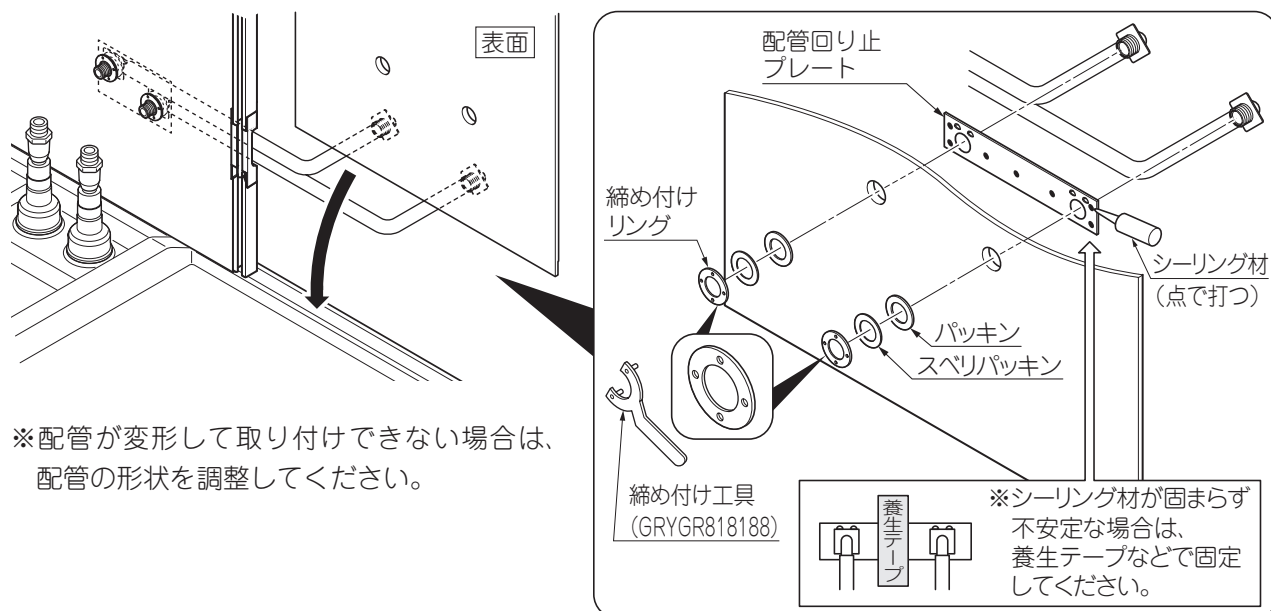
②薄納まり配管用ジョイナーに平ジョイナーを取り付ける。(81ページ参照)



③隣り合う壁パネルを建て込む。(85ページ参照)

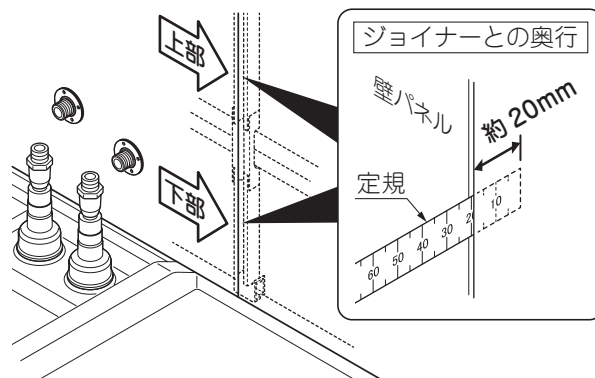
・壁裏配管に、シーリング材を塗布した配管回り止プレートを取り付けてください。

④パッキン、スベリワッシャーを取り付け、締め付けリングを固定する。



取付設置上のお願い

- 壁パネルを建て込んだ際にジョイナーとの奥行きを測定して、上部・下部で約20mmになっていることを確認してください。
(ジョイナーが確実に壁にはまっていないと、壁目地が落ち込むおそれがあります。)



⚠ 注意

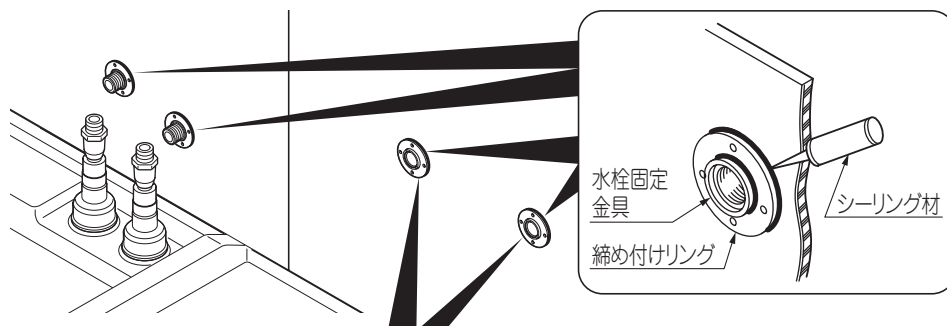


必ず守る

- 専用工具の使用個所では必ず専用工具を使用する
(専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実にを行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

⑤浴槽側の締め付けリングを増し締めする。

⑥締め付けリングの外・内周部分にシーリング材を塗布する。



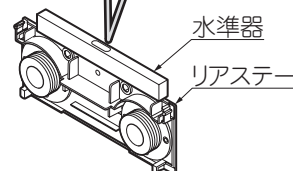
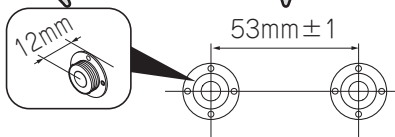
●水栓固定金具の本固定

〈クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)・メタルスクエアサーモ水栓の場合〉

水栓固定金具の出代が壁パネルから12mmになるよう調整してください

水栓固定金具間の寸法は、中心から中心が53mmになるよう調整してください

水栓に付属のリアステーを締め付けリングにあてて、水準器を載せ、水平になることを確認してください



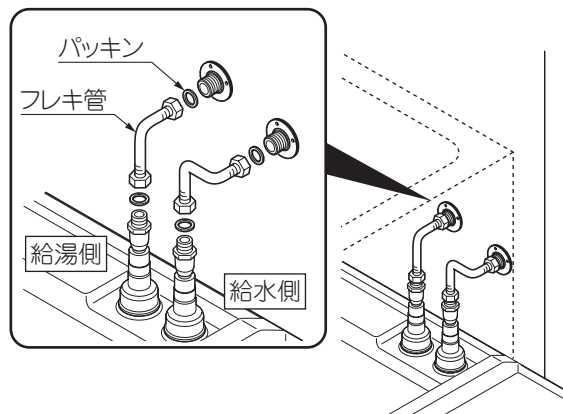
10 浴槽の設置

117ページを参照ください。

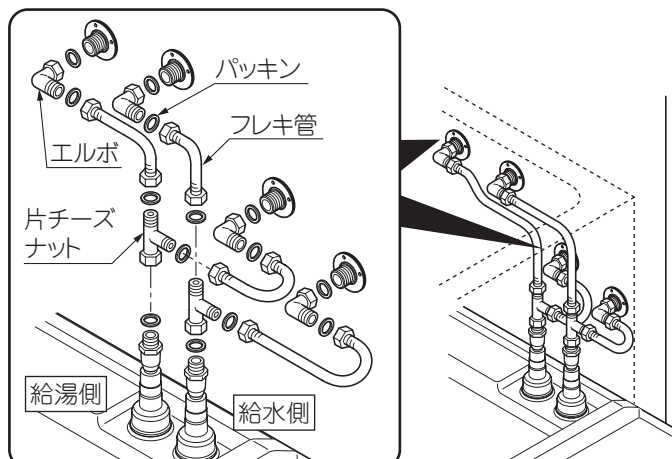
11 給水・給湯裏配管と壁出し金具の接続

①給水・給湯裏配管と壁出し金具をフレキ管で接続する。

〈浴槽側水栓なしの場合〉



〈浴槽側水栓ありの場合〉

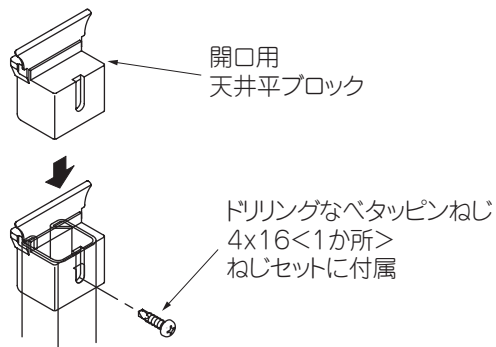


本図はR勝手の場合を示します。L勝手の場合は、給湯側立ち上げが洗い場側となります。

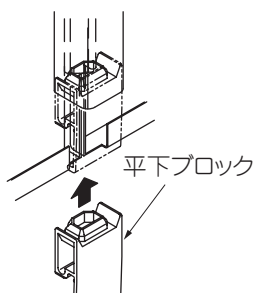
12 現場開口した壁パネルの建て込み

①壁パネルAを建て込む。

②切断した平ジョイナー（上用）に開口用天井平ブロックをねじで固定する。

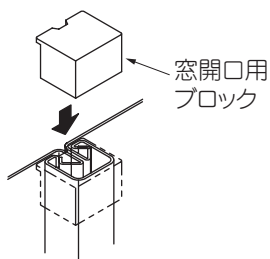


③平下ブロックを取り付ける。



④平ジョイナー（上用）（下用）を取り付ける。

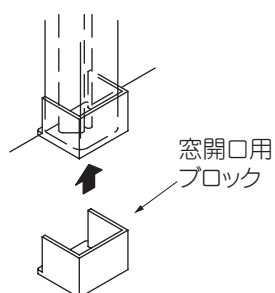
⑤窓開口用ブロックを平ジョイナー（下用）の上部にはめ込む。



⑥壁パネルBを建て込む。

・窓開口用ブロック、平ジョイナー（上用）を上下にスライドさせながら建て込んでください。

⑦窓開口用ブロックを平ジョイナー（上用）の下部にはめ込む。



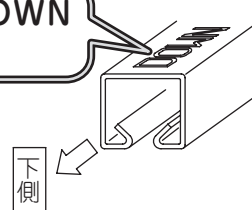
⑧仮固定目地を仮打ちする。

・浴槽側より上下2か所に打ち込んでください。

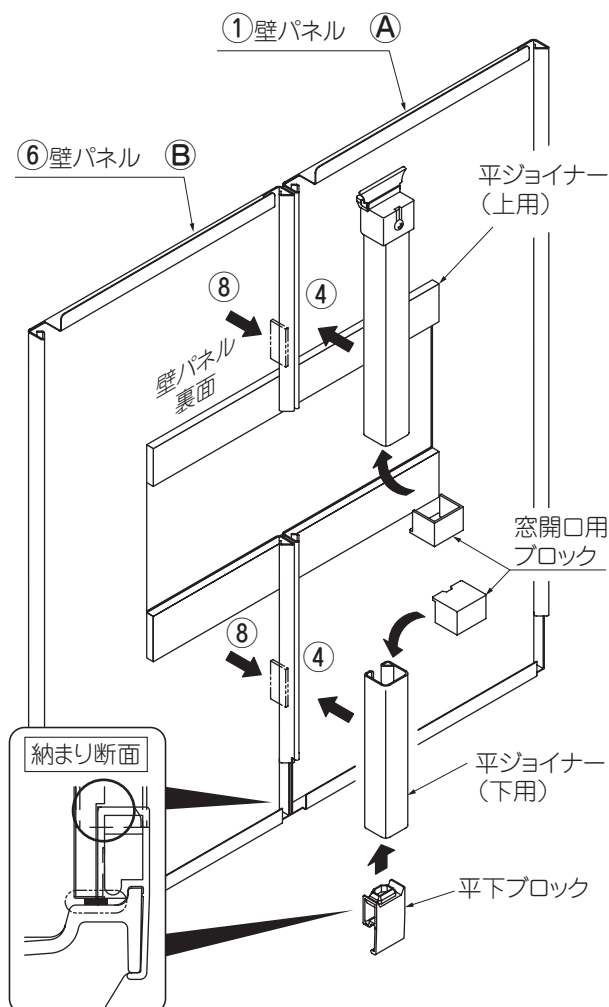
取付設置上のお願い

- 平ジョイナーには上下がありますので御注意ください。

背側にDOWN
の表示



- 仮固定目地は目地打ち前まで外さないでください。
- 仮固定目地により、パネルの寄りを均一にしてください。



・太線部平下ブロック下端と
パネル下端面一

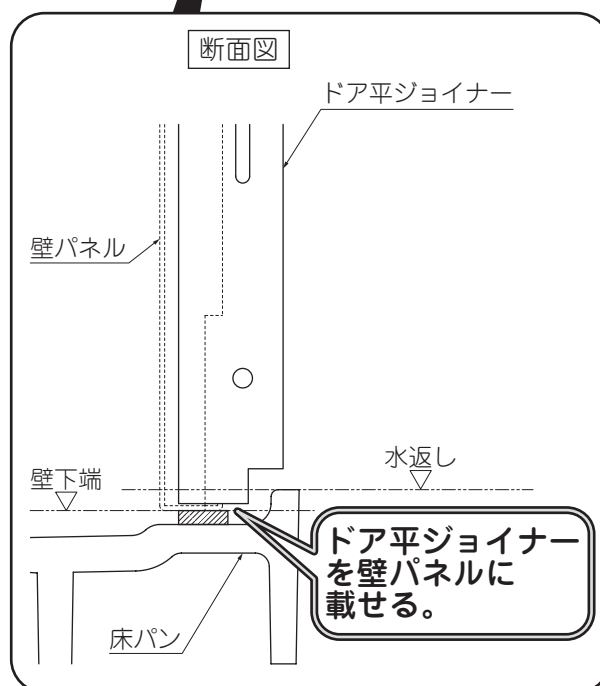
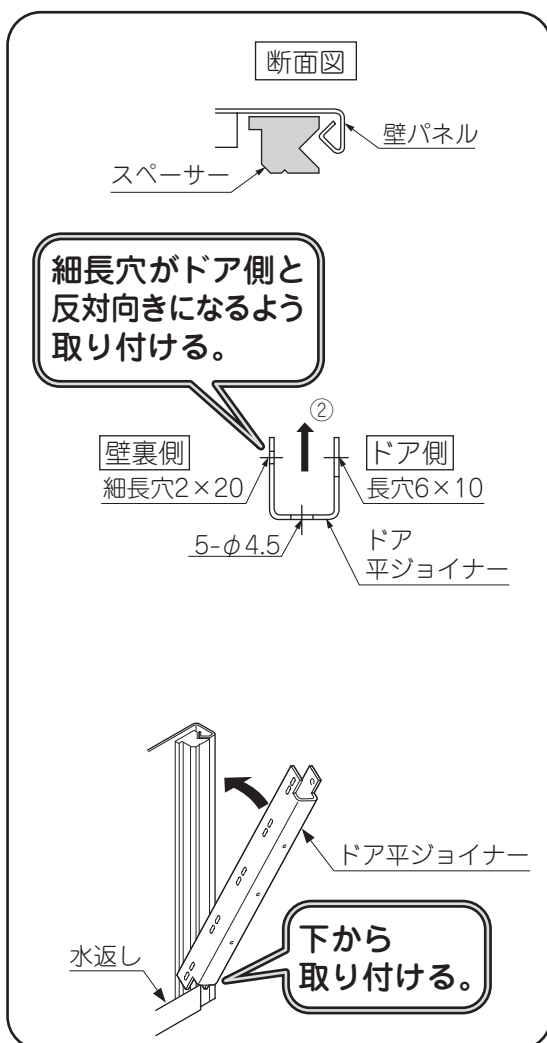
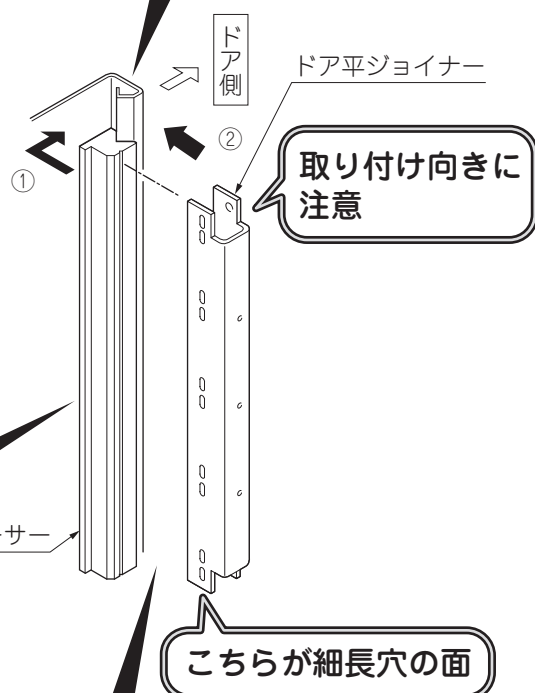
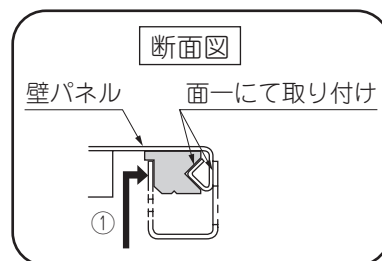
13 ドア平ジョイナーの取り付け

①壁パネルのドア枠側にスペーサーを取り付ける。

②ドア平ジョイナーを取り付ける。

取付設置上のお願い

- ドア平ジョイナーを取り付ける際は、向きを確認し、下から順に奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わないおそれがあります。)

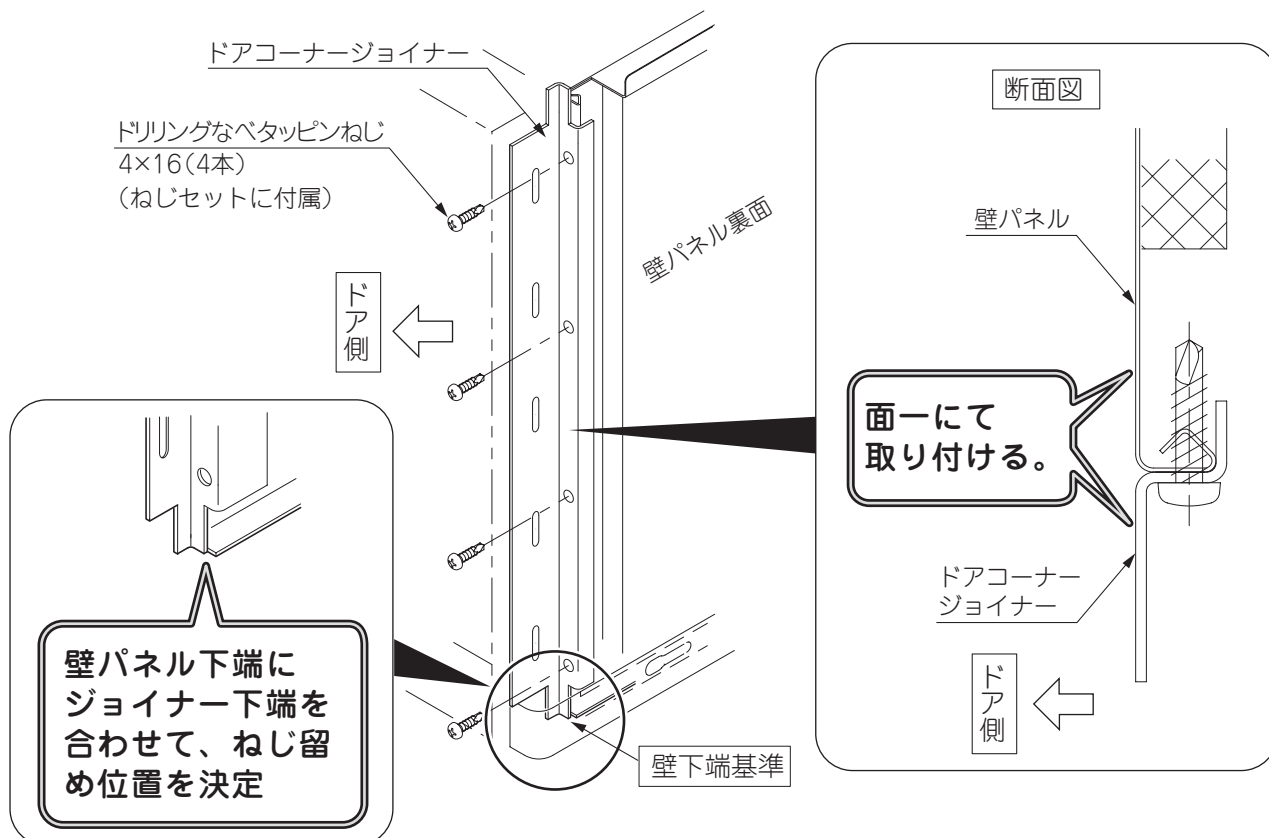


14 ドアコーナージョイナーの取り付け

- ① ドアコーナージョイナーを
壁パネルに取り付ける。

取付設置上のお願い

- ドアコーナージョイナーを取り付ける際は、奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わなくなるおそれがあります。)



4. ドア枠の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

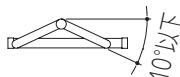
1 2枚折りドア・スイングドア

1 ドア本体の取り外し

〈2枚折りドアの場合〉

取付設置上のお願ひ

- ドア本体の取り外しは、10° 以下に開いた状態で行ってください。（開きすぎるとドアがせり上がり取り外し手来ません。）
- ほこりやごみが付いた状態でドア面材を拭かない。（ドアに傷が付く原因となります。）



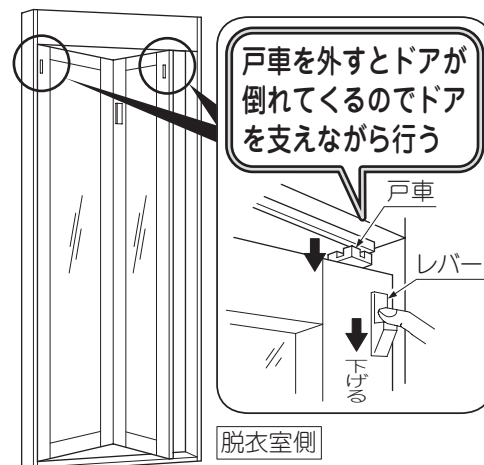
①脱衣室側からドア本体上部の着脱レバーを下げ、ドア枠から戸車を外す。

・ 2枚折戸の場合は、両側2か所とも下げてください。

②ドア本体を持ちながら、浴室側へ倒して外してください。

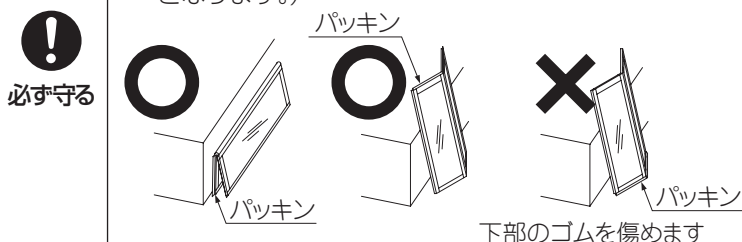
③ドア本体を安全な場所に仮置きする。

・ ドア本体の取り付けはドア枠や天井パネルの取付設置後に行います。

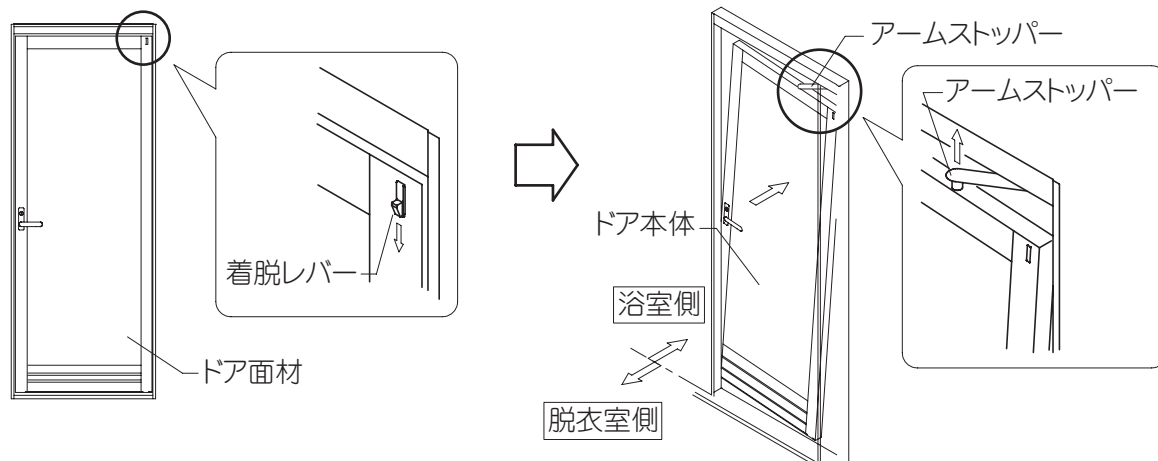


⚠ 注意

- 外したドアは、横置きまたはパッキンが上になるように縦置きする
（ドアの下部・縦部のパッキンが損傷し、水漏れの原因となります。）



〈スイングドアの場合〉



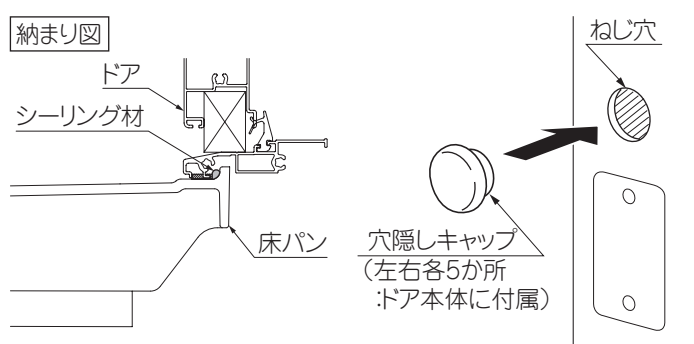
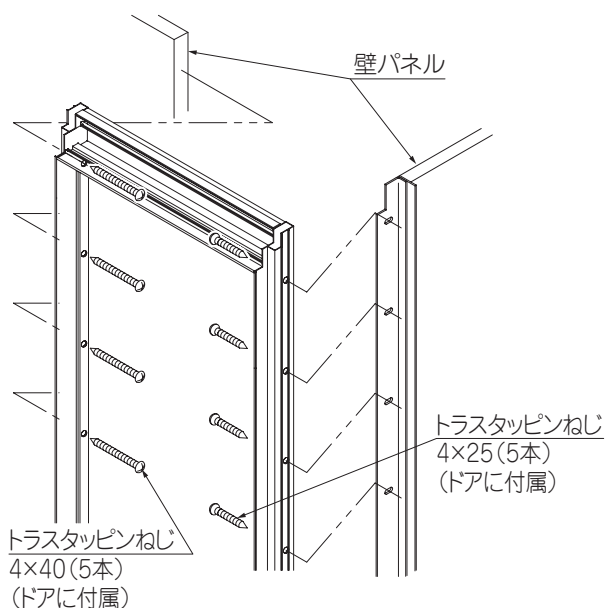
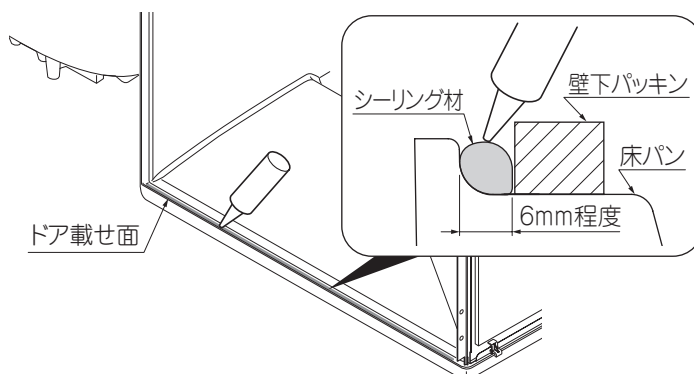
2 縦枠の仮固定

①床パンのドア枠載せ面に、シーリング材（6mm程度）を充てんする。

②ドア縦枠と壁パネルを、トラスタッピンねじで仮固定する。

※ドアと壁は面一になるように調整する。

※ドア建て起こしは、天井とドア枠接続時に調整し、その後、本固定してください。



⚠ 注意

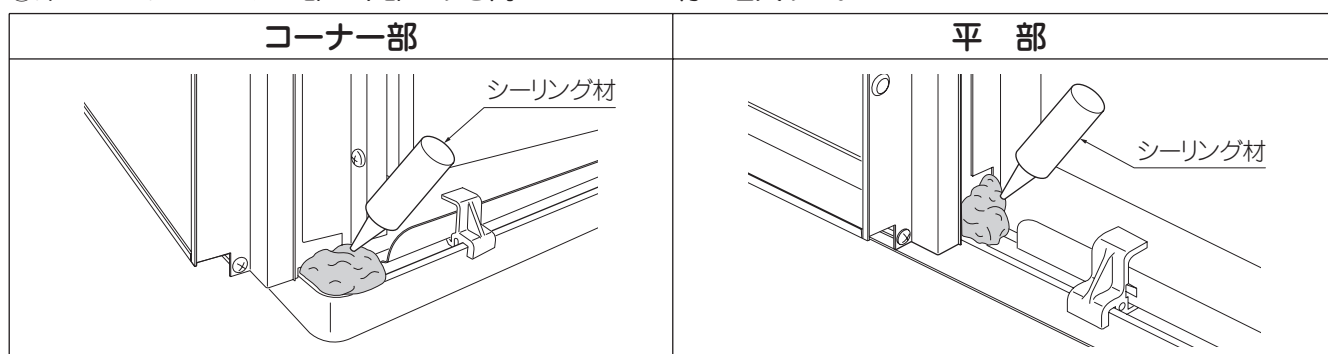


必ず守る

●穴隠しキャップはドア枠ねじ穴に確実にはめる
(取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります。)

③ドア枠ねじ穴に穴隠しキャップをはめる。

④床パンのドアコーナー部・平部のすき間にシーリング材を注入する。



⚠ 注意



必ず守る

●シーリング材充てんは指定個所に確実に
(確実にシーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。)

〈ドア上小壁ありの場合〉

⑤ドア上小壁を取り付ける。

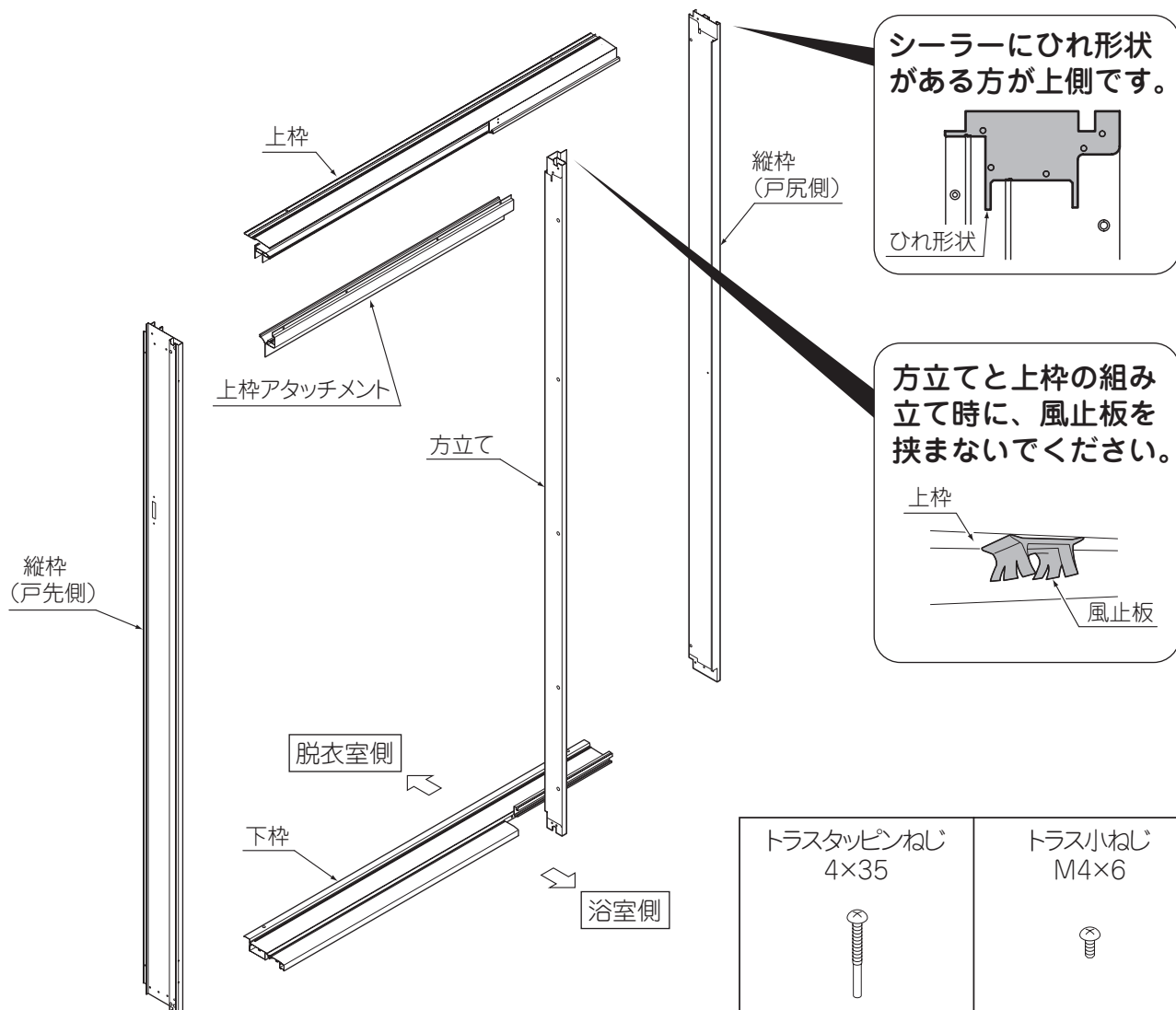
※詳細はドア上小壁に添付の設置説明書を参照ください。

本文中の図は、すべてAR・BL勝手の例です。AL・BR勝手は本図と対称になります。

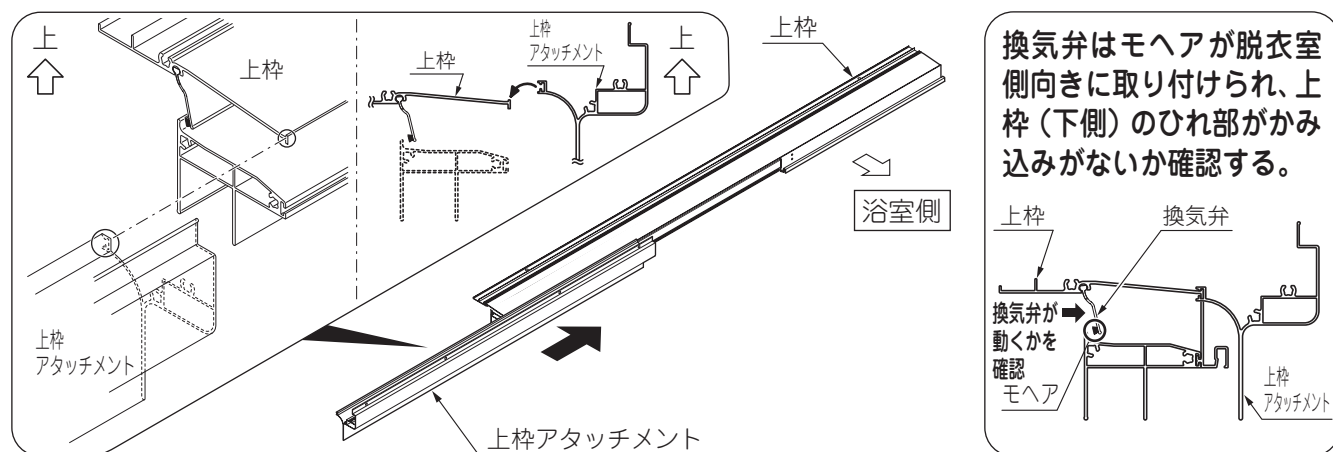
2 2枚引き込戸

1 ドア枠の組み立て

・ドア枠の構成は図のようになっています。下記以降の手順で組み立ててください。

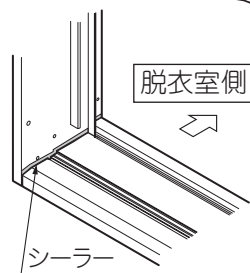


①上枠・上枠アタッチメントをスライドさせて取り付ける。



- ②上枠・下枠に縦枠（戸先側）・縦枠（戸尻側）を取り付ける。
 ・縦枠（戸先側）と下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。
- ③下枠防水パッキン・縦枠防水パッキンを折り返して、縦枠にはり付ける。

シーラーのはみ出し部は均一に



⚠ 注意



必ず守る

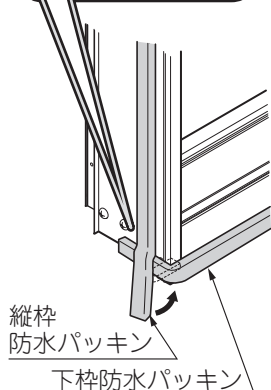
- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにするまた、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
 （切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。）
- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
 （すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。）

すべてのねじを仮固定してから本固定する。

トラスタッピンねじ
4×35

《縦枠側》

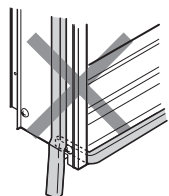
穴を隠すように曲げる。



上枠

縦枠
（戸先側）

下枠防水パッキンを挟まない。

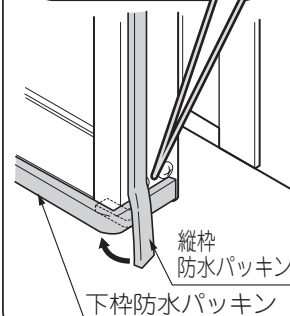


脱衣室側

下枠

《方立て側》

穴を隠すように曲げる。

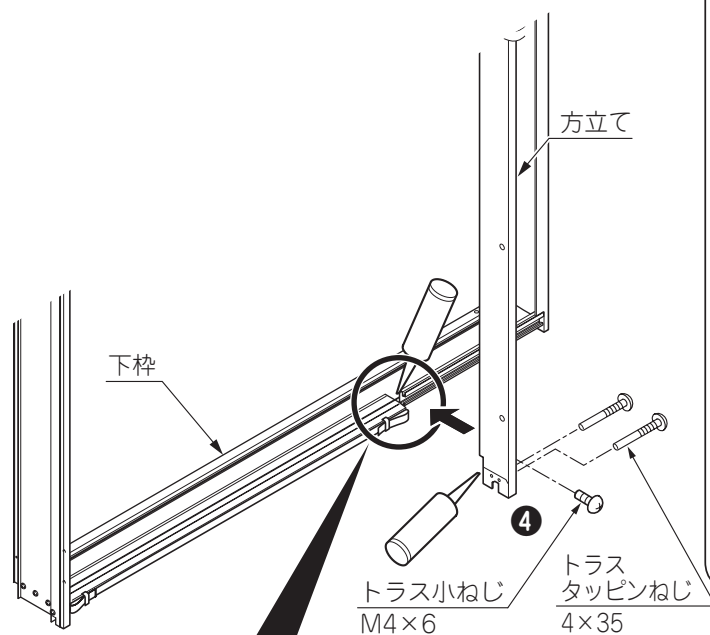


組み立て時、シーリング材を塗布しない。
 （はみ出したシーリング材により、水が流れにくくなります。）

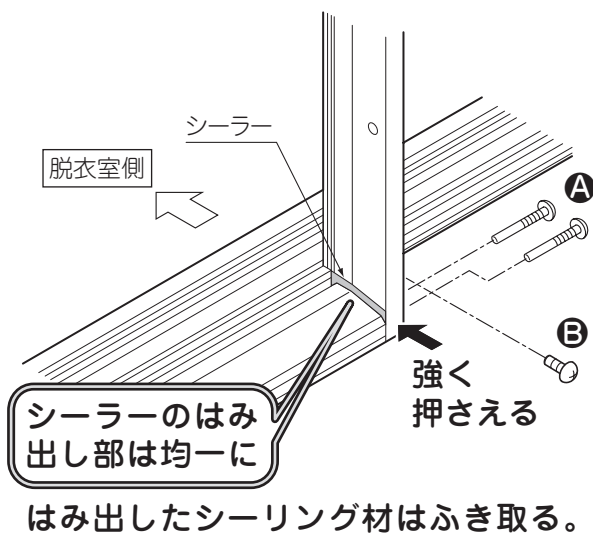
※A部（2か所）

④下枠に方立てを取り付ける。

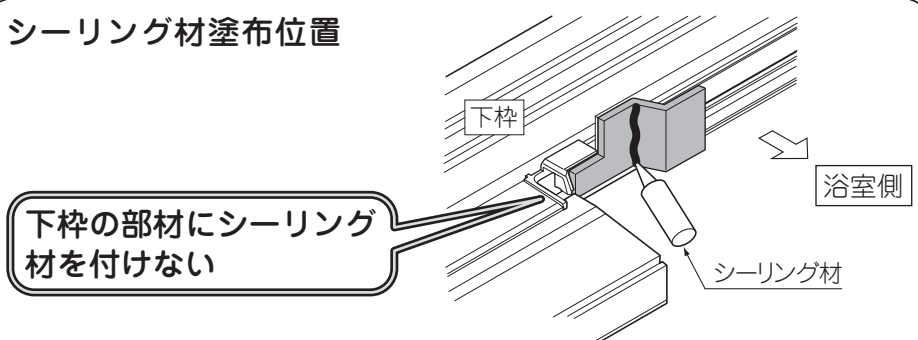
- ・方立ては下枠に対し、垂直にセットしてください。
- ・方立てと下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。



方立てを強く押さえ、**A**のねじを固定した後、**B**のねじを固定する。

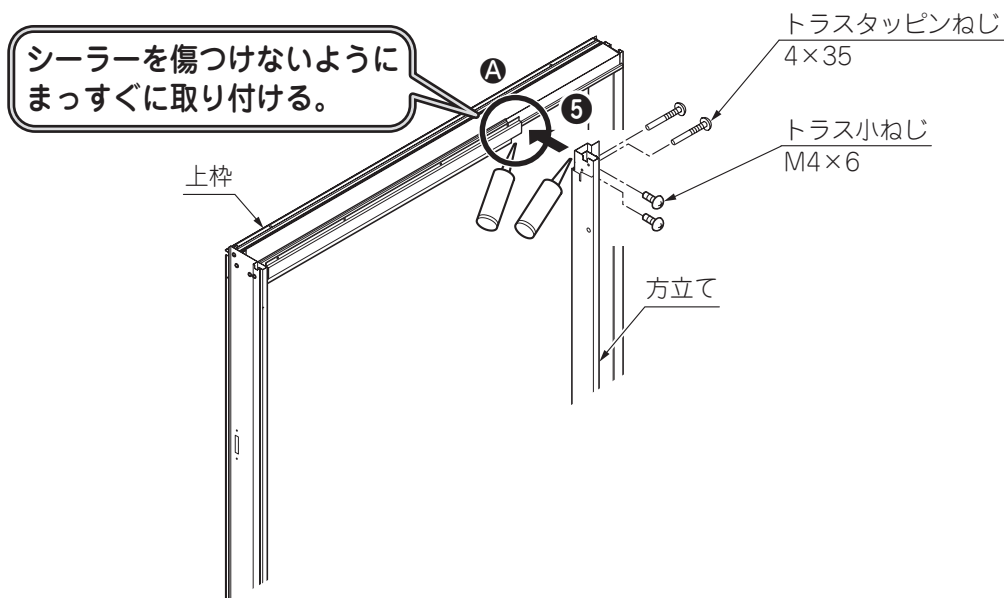


シーリング材塗布位置



⑤上枠に方立てを取り付ける。

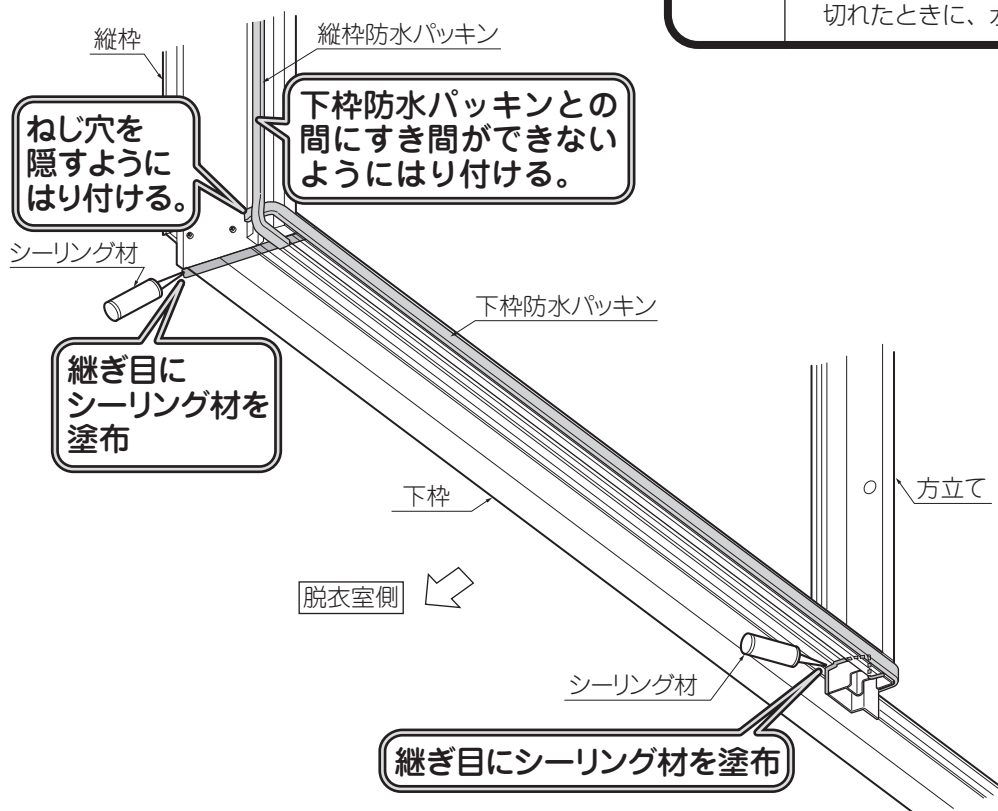
・方立ては上枠に対し、垂直にセットしてください。



⑥下枠と縦枠の継ぎ目、下枠と方立ての継ぎ目にシーリング材を塗布する。

⑦下枠防水パッキンを縦枠側に折り返して、縦枠にはり付ける。(反対側も同様)

⑧同様にして縦枠防水パッキンを折り返して、下枠にはり付ける。(反対側も同様)



⚠ 注意



必ず守る

●引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける

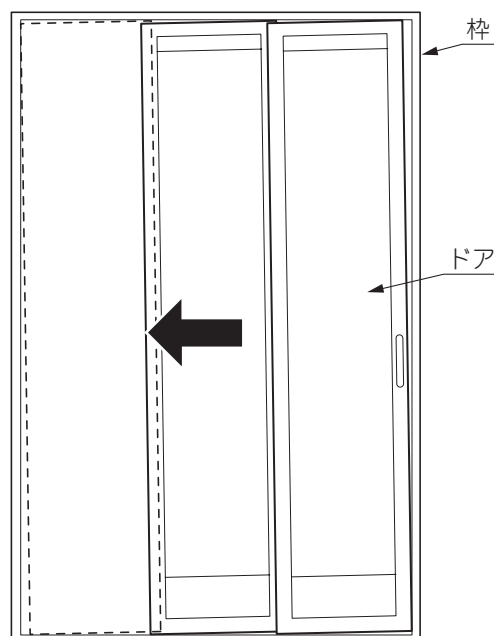
(すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。)

2 ドア枠のレベル出し

<重要>

- ・ 次の「ドア下のシーリング材充てん」を行う前に、必ずドア枠を仮置きして、正確にレベル出しを行ってください。

少しでもレベルが出ないと、いくら戸先でスキ間の調整を行っても、方立て部で上下のスキ間が発生します。

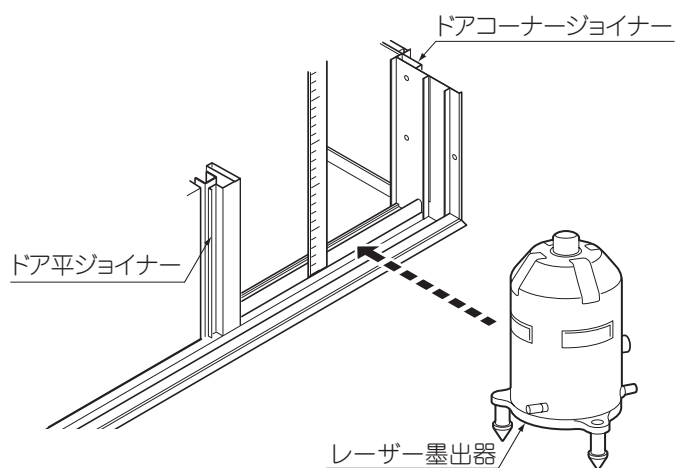


① ドア枠を仮置きし、下枠の水平度を確認する。

- ・ 障子を入れると、枠とのスキ間が確認できます。

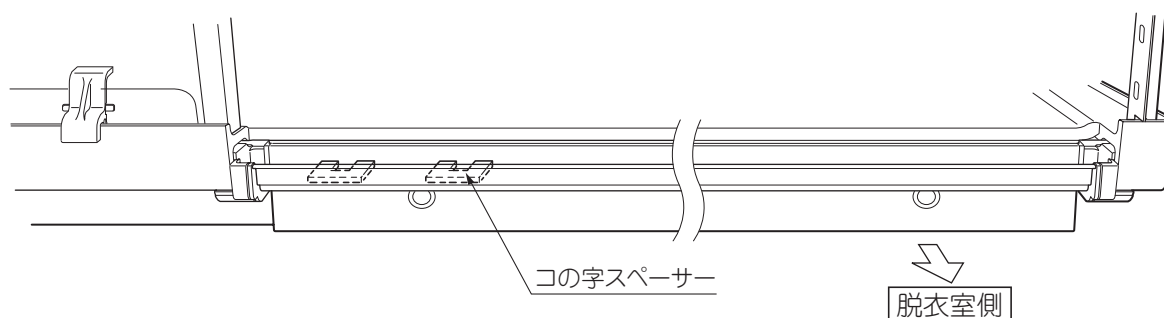
② 上下にスキ間違いが生じた場合、床のアジャスターボルトで再度床の水平調整を行う。

- ・ 上下2mmまでのスキ間違いは許容範囲内です。



③ 床での調整がうまくいかない場合のみ、床パンのドア載せ面にコの字スペーサーを入れる。

- ・ ②でレベルが出た場合、この作業は不要です。



3 ドア下のシーリング材充てん

①床パンのドア載せ面（部）にシーリング材を塗布する。

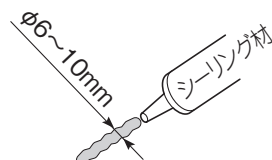
⚠ 注意



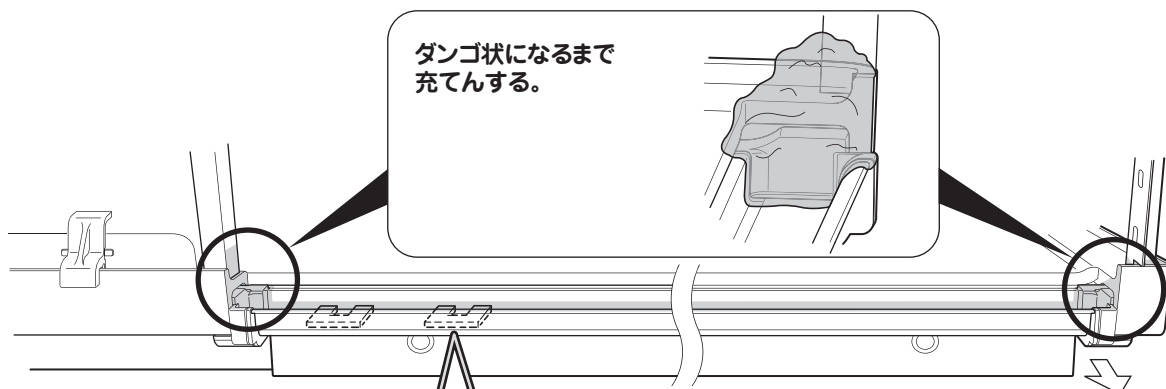
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

取付設置上のお願

- φ6～10mm程度
の太さになるまで、
シーリング材を塗
布してください。



ダンゴ状になるまで
充てんする。



コの字スペーサーを入れた場合は、すき間ができないよう十分にシーリング材を塗布する。

脱衣室側

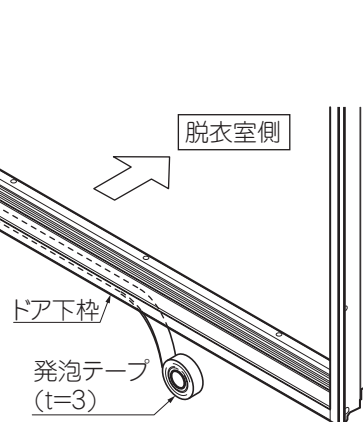
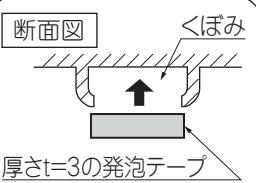
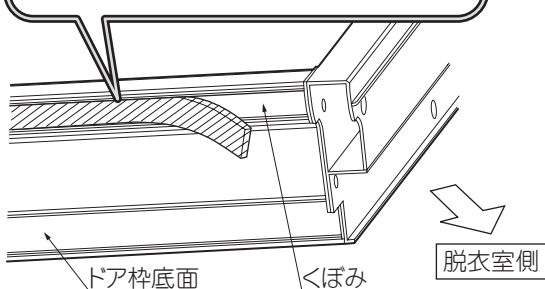
4 ドア下枠の発泡テープはり付けとドア枠の取り付け

①ドア下枠の底面に、床パン壁載せ面に使用した厚さ
t=3の発泡テープ（ドアに付属）をはり付ける。

- ・厚さt=3の発泡テープは、くぼみの端から端までは
り付けてください。

ドア下枠底部に厚さt=3の発泡テープをはり付け
ることにより、ドア交換時にドア枠が外しやすくな
ります。

くぼみに端から端まで
厚さt=3の発泡テープをはる。



5 縦枠の仮固定

96ページを参照ください。

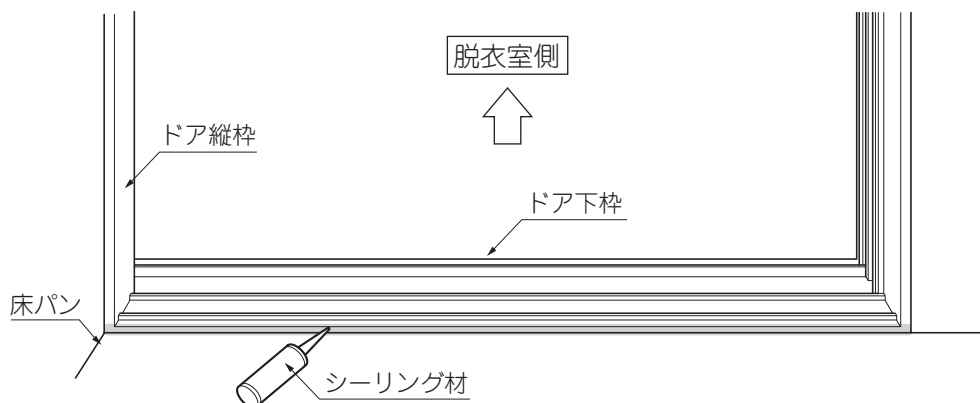
6 下枠レール・下枠前カバーの取り付け

- ①ドア枠と洗い場床パンの境い目にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意

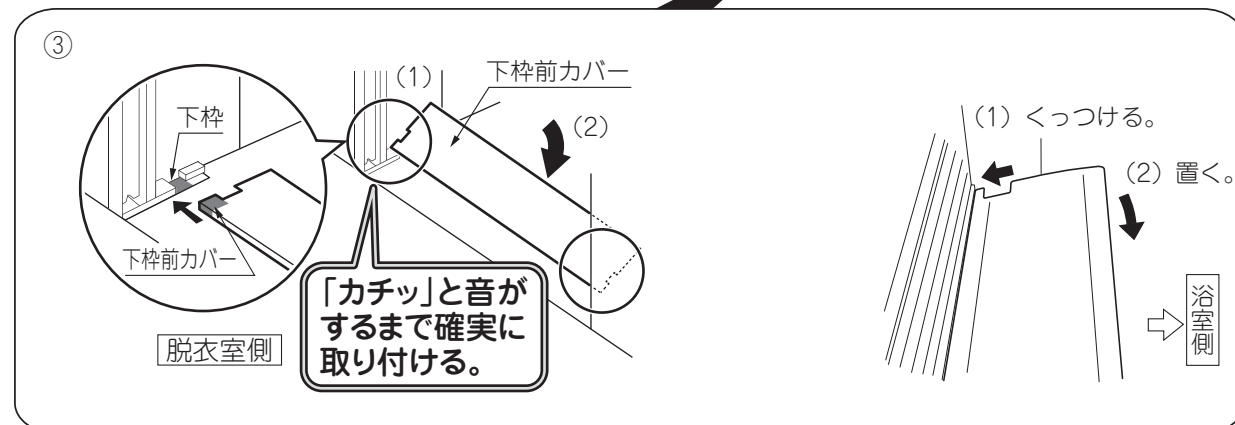
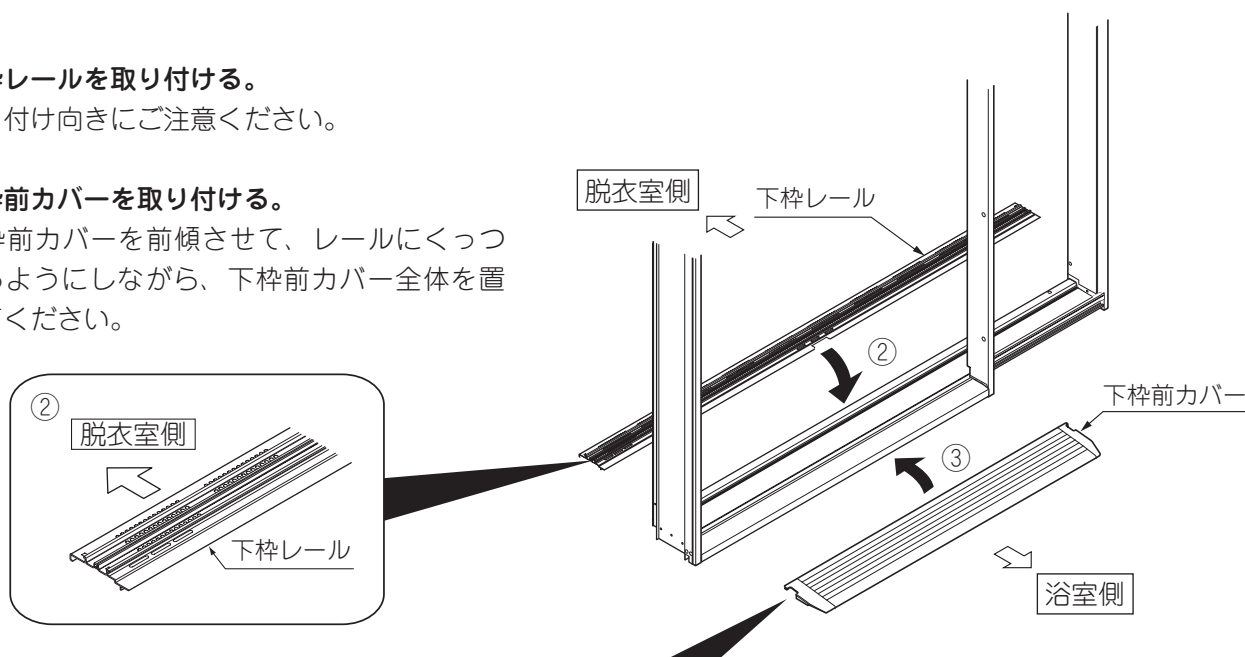


- シーリング材充てんは指定個所に確実に
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



- ②下枠レールを取り付ける。
・取り付け向きにご注意ください。

- ③下枠前カバーを取り付ける。
・下枠前カバーを前傾させて、レールにくっつけるようにしながら、下枠前カバー全体を置いてください。



5. 天井の設置

単位：mm

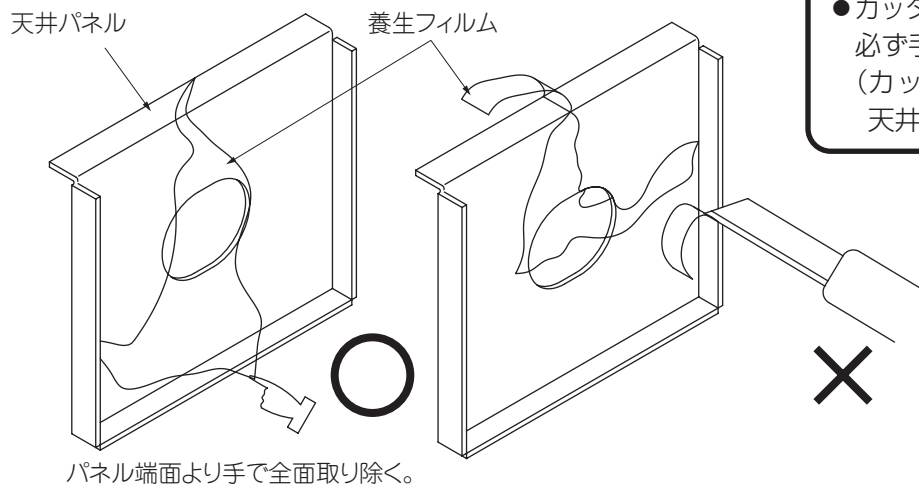
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 天井組み立て前の作業

1 天井養生フィルム取り外し

【組立前確認、準備】

- ①養生フィルムの取り外しと併せてパネル表面の損傷の有無を確認する。

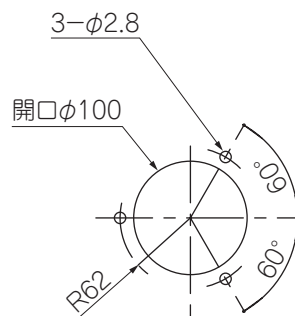


取付設置上のお願

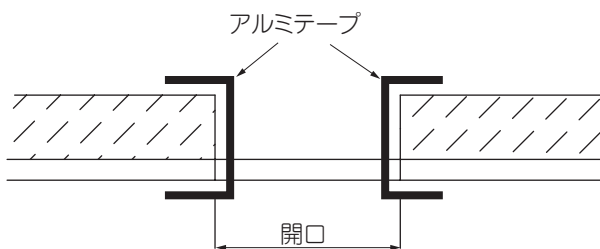
- 天井パネルの養生フィルムは組立前に全面取り除いてください。
- カッター、ナイフなどの使用は厳禁です。必ず手で取り除いてください。(カッター、ナイフなどで取り除くと天井を傷付けるおそれがあります。)

2 換気グリル取り付け

- ①換気グリル取り付け位置に、下記図の通り、穴加工する。



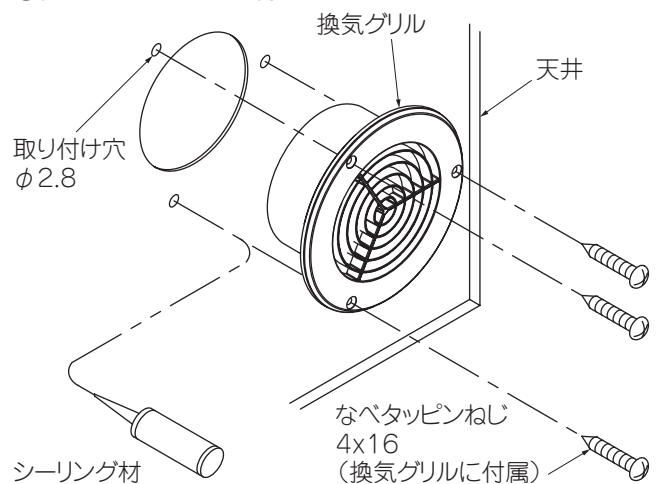
- ②φ100の穴開口部に、アルミテープをはる。



取付設置上のお願

- 天井開口部分をアルミテープ（現場手配）ばかりによる端面被覆をしてください。

- ③換気グリルを取り付ける。



⚠ 注意



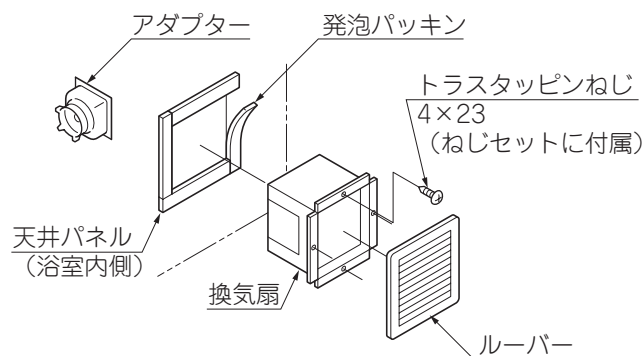
必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

3 換気扇の取り付け

※換気扇の取り付けは、天井パネルを壁パネルの上に載せる前に行ってください。

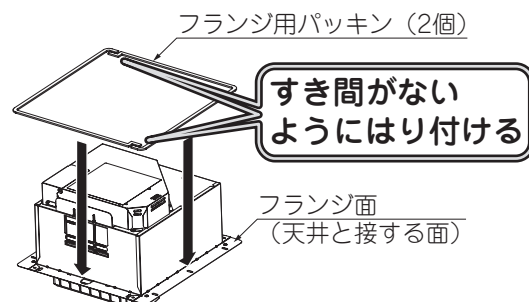
- ①浴槽側天井パネルの換気扇取り付け位置の周囲に
発泡パッキンをはり付ける。
- ②換気扇を取り付ける。



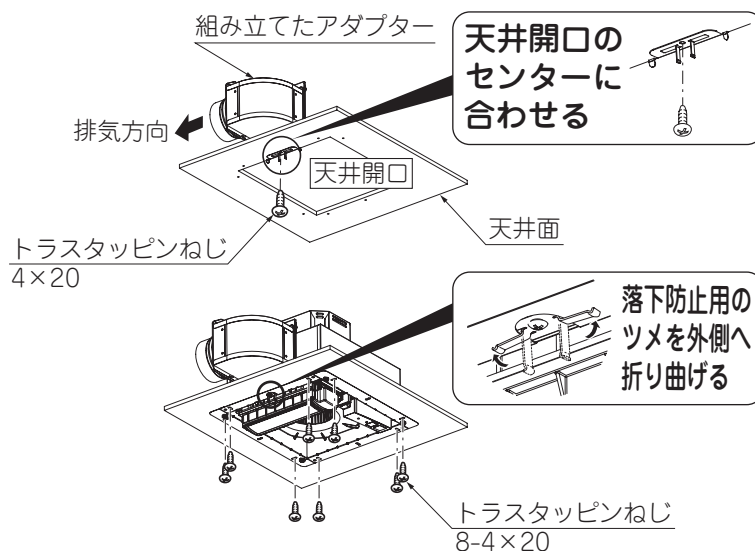
4 オートルーバー暖房換気乾燥機の実取り付け

・詳細については、商品に付属の取付設置説明書を参照ください。

- ①フランジ用パッキンをはり付ける。

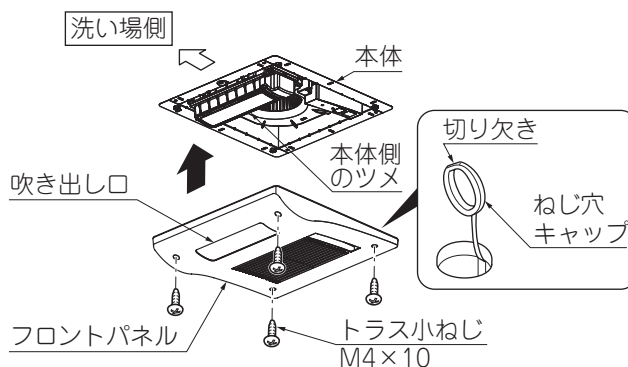


- ②オートルーバー暖房換気乾燥機本体を、天井に取り付ける。
- ・ダクトを接続する前に、アダプターを組み立て、天井に取り付けてください。



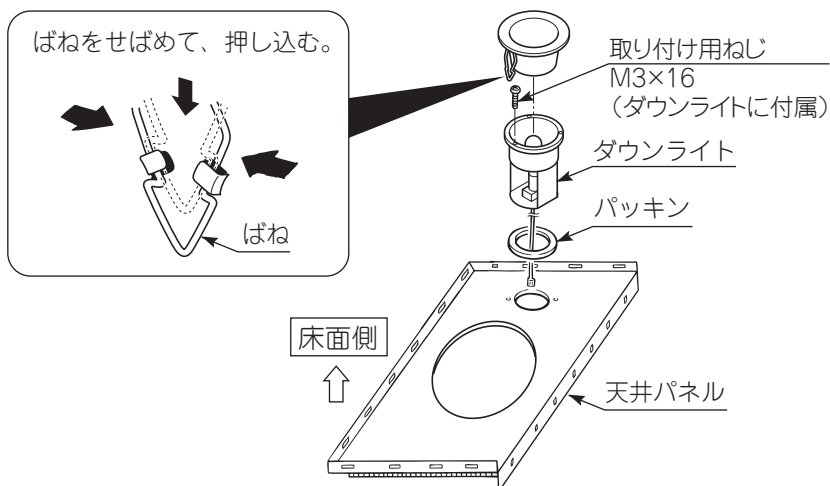
③フロントパネルを取り付ける。

- ・フロントパネルに付いているねじ穴キャップ(4個)をはずし、ねじ留めしてください。
- ・ねじ留め後、ねじ穴キャップを元通り取り付けてください。
- ・吹き出し口が洗い場側を向くように、フロントパネルを取り付けてください。



5 ダウンライトの取り付け

①ダウンライトを取り付ける。



警告



必ず守る

- 取付設置は取付設置説明書にしたがい確実に行う
(取付設置に不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。)
- 照射近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける
(照射物の変色・火災によるけがのおそれがあります。)
- 屋内配線の電源・ケーブル等はダウンライトに接触しないようにする
(火災によるけがのおそれがあります。)
- 付属の補強合板は必ずはり付け、ダウンライトを天井面に着くまでしっかりと差し込む
(補強合板をはらなかつたり差し込みが不十分な場合、ダウンライトが落下するおそれがあります。)
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しない
(火災の原因となります。)

【補強合板のはり付け】

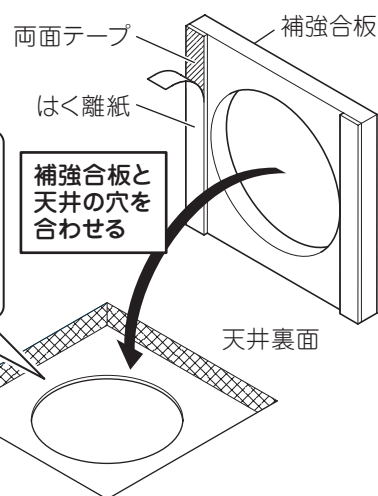
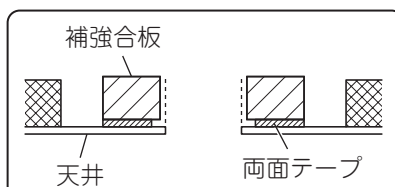
①補強合板（付属）のテープのはく離紙をはがす。

※天井穴の位置に合わせてはり付けてください。

警告



- ・補強合板は必ずはり付ける
はり付けない場合、器具が
落下するおそれがあります。



注意



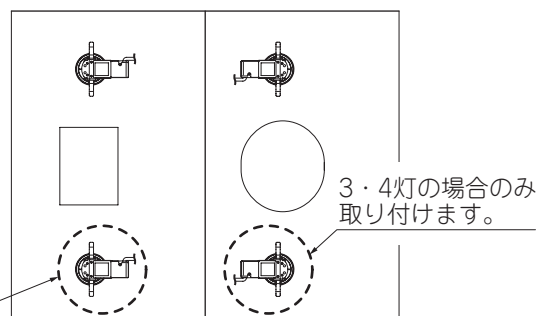
- ・補強合板と天井の穴の位置を確実に合わせる
ずれると器具の差し込みができなかったり、
すき間が発生し水漏れのおそれがあります。

〈器具の取り付け方向〉

取付設置上のお願

- ・取り付け前に必ず向きを確認してください。

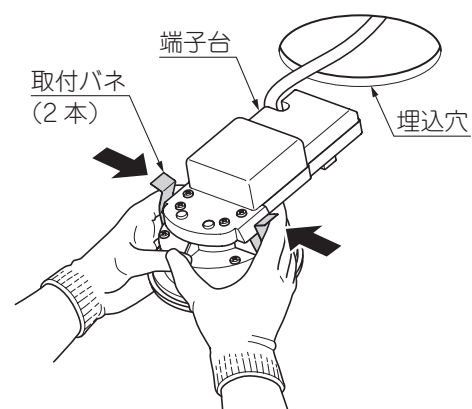
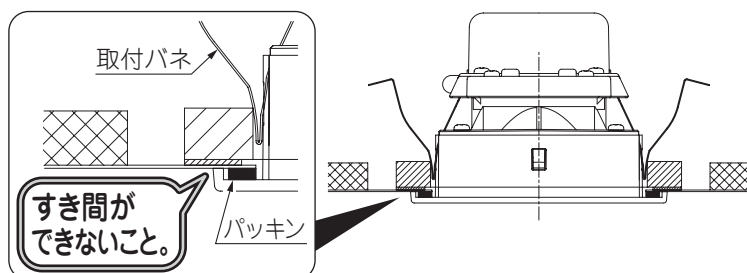
4灯の場合のみ
取り付けます。



【器具の取り付け】

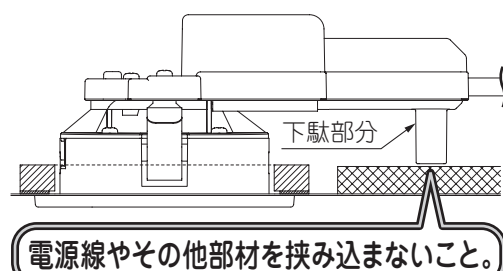
①電源線を埋込穴へ先に通しておく。

②取付バネ（2本）を同時に押さえながら、端子台側から埋込穴に押し込む。



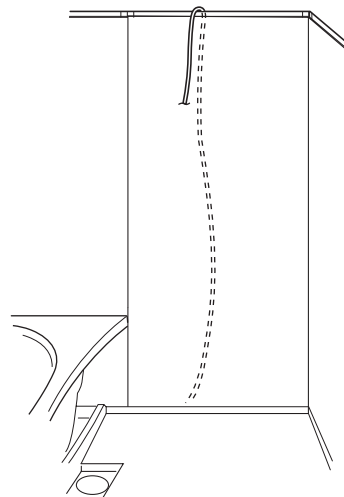
取付設置上のお願

- ・器具取り付けの際、天井を傷付けないように注意してください。
- ・取り付け時にパッキンを破損しないようにしてください。
- ・本体後方の下駄部分に電源線やその他部材などが挟み込まれると天井との間にすき間ができてしまうため、挟み込まないようにしてください。



6 電気器具類の取り付け準備

- ①照明器具用電源ケーブルの先端を壁パネルの上から浴室内側に垂らしておく。

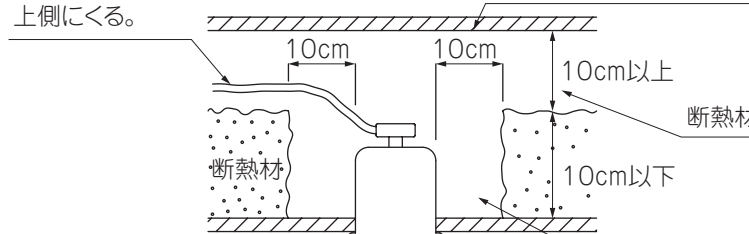


〈断熱材・防音材等をご使用の場合の取付設置上のご注意〉

※ダウンライトを取付設置する場合、以下のことにご注意ください。

電気配線は
断熱材・防音材の
上側にくる。

器具から断熱材・防音材の
距離を10cm以上離す。



断熱材・防音材の上部は最低10cmの空間が必要。

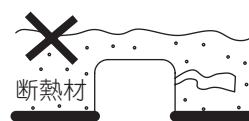
断熱材・防音材で器具本体の
放熱穴などをふさがない。

警告



禁止

- ダウンライトには、断熱材・防音材をかぶせて使用しない（火災の原因となります。）

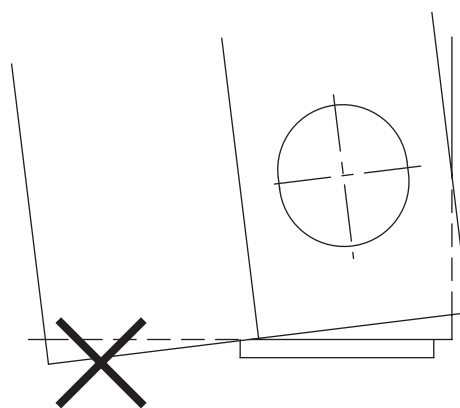
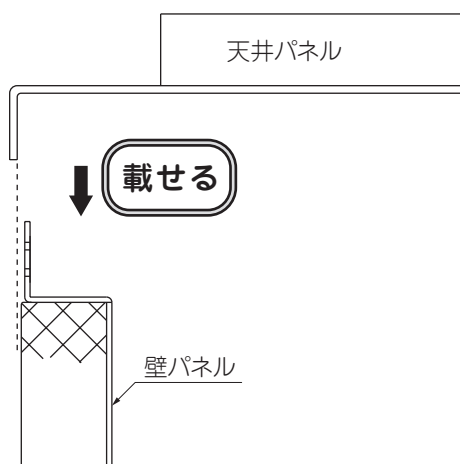


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 フラット天井の組み立て

1 天井取り付け

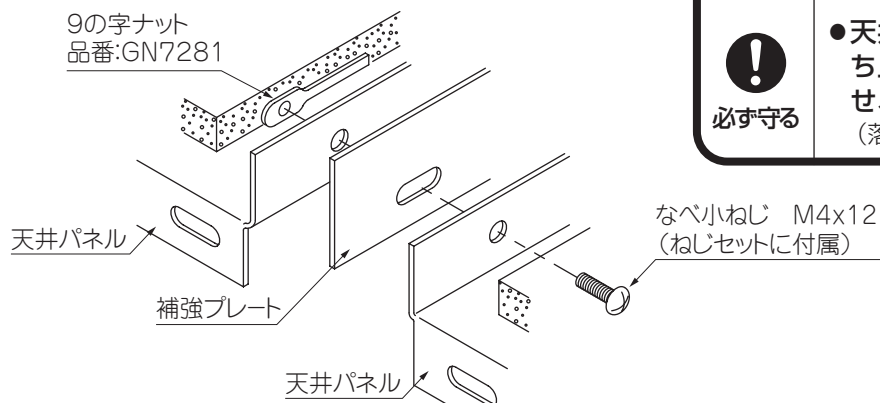
①天井点検口と換気グリルの位置（方向）を取付設置図で確認し、壁パネルに天井パネルをのせる。



天井パネルは壁面と平行に納めること。

2 2枚割り天井の接続

①天井パネルと天井パネルの間に補強プレートをはさみ固定する。



⚠ 注意



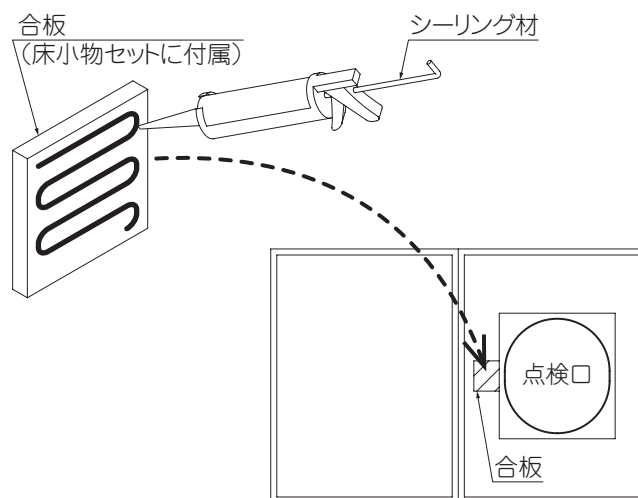
必ず守る

- 天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する
(落下し、けがや破損のおそれがあります。)

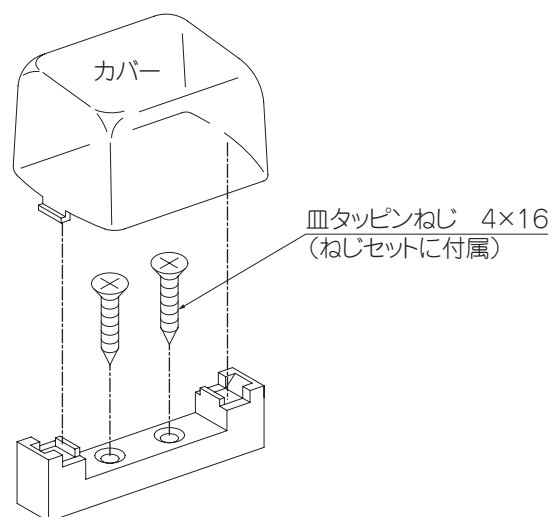
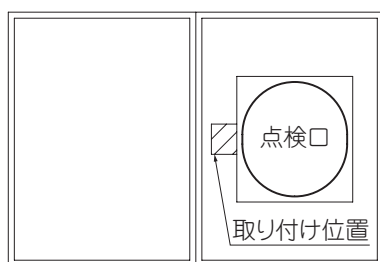
3 ジョイントボックス取り付け

①点検口側の天井裏面に□100×t5.5合板をはり付ける。

- ・合板のはり付け位置は、換気扇ダクト経路の下にならない点検口の周囲に、シーリング材ではり付けてください。



②天井裏面の□100×t5.5合板に取り付ける。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

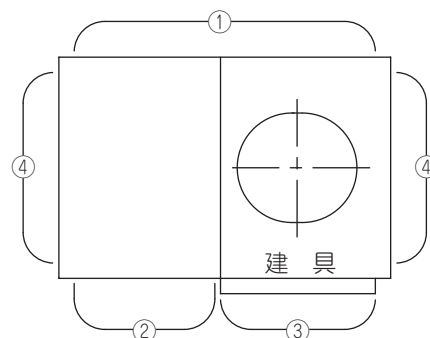
3 壁パネル・ドア枠と天井の接続

1 天井固定順序

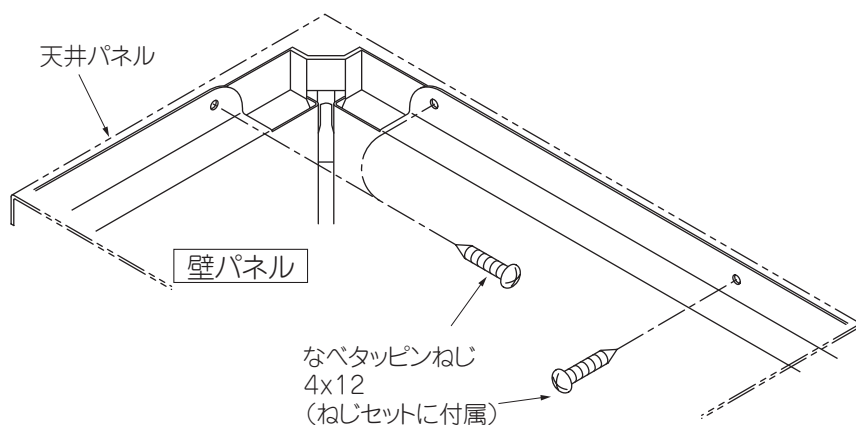
※パネル・受け具と壁天井をタッピンねじで固定する。

天井一壁固定順序
《図示例：ARタイプ》

- ①天井一壁固定
- ↓
- ドア建て起こし
- ↓
- ②天井一壁固定
- ↓
- ③ドアー天井固定
- ↓
- ④天井一壁固定



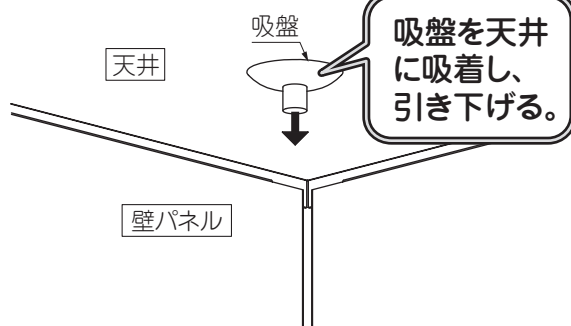
天井一壁固定①②④



タッピンねじで固定するときに天井を傷付けないようにする。

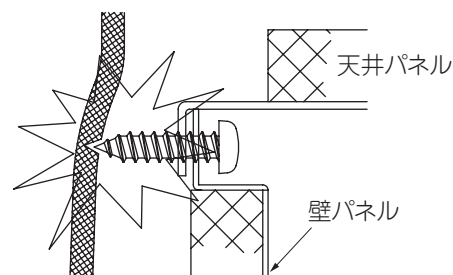
取付設置上のお願い

- 天井のコーナー部が反り上がり天井固定の穴位置が合わない場合は、吸盤（現場調達）（耐荷重2Kg以上）を使用して天井のコーナー部を引き下げてください。



⚠ 注意

- ねじ固定の際、裏側に電気配線や設備配管などがいないか確認する
(タッピンねじが壁裏の配線や配管を貫通し漏電・水漏れの原因となります。)

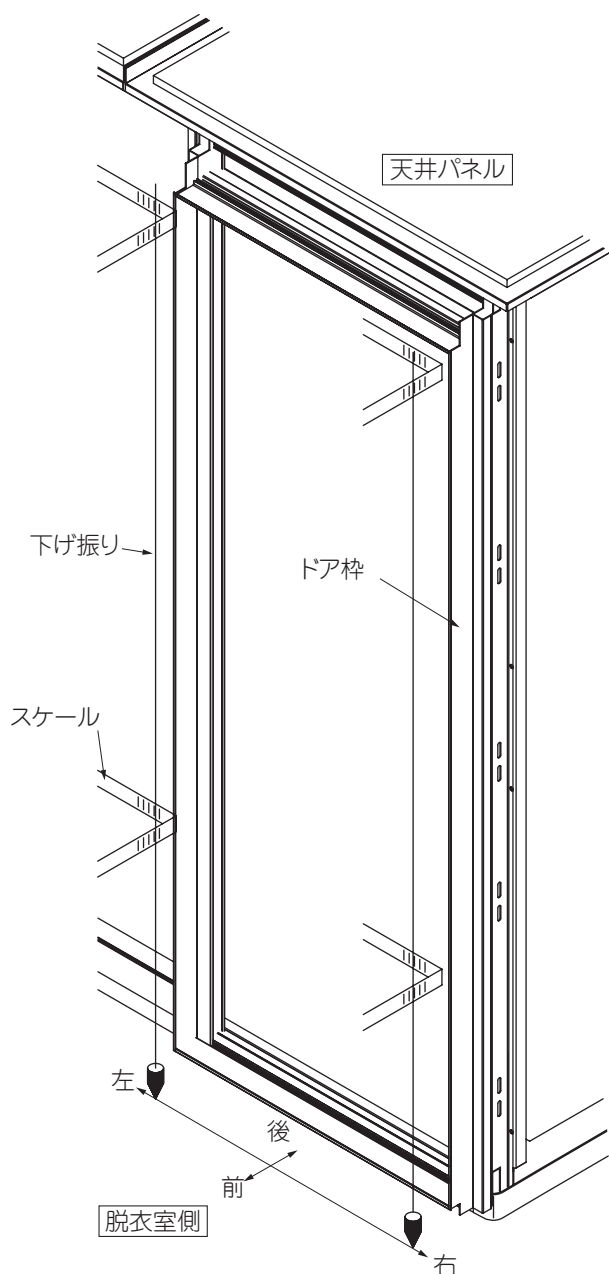


2 ドアの建て起こし（ドア枠鉛直度の調整）

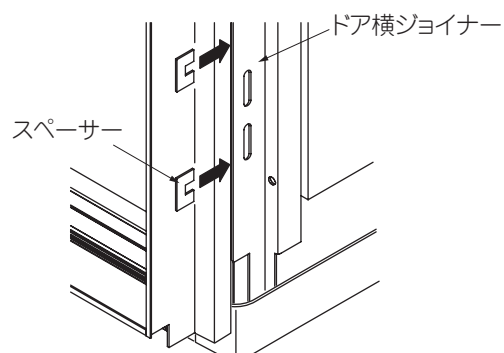
①下げ振り（レーザー）を使用してレベルを調整しながら、必要に応じて縦枠内側よりスペーサーを挿入する。

取付設置上のお願い

- ドア枠の前後・左右の垂直度（たおれ）を測定し、たおれは2mm以下に調整してください。
- あわせてドア枠（先端）の位置を再確認してください。
- ドア枠の建て起こし調整は天井～ドア枠のねじ固定時の調整とあわせて、ドア縦枠～ドア固定アングルの間にスペーサーを入れて調整してください。
（建て起こし調整を行わないと、ドア開閉がスムーズにできなくなるおそれがあります。）



ドア固定アングルとドア枠の間にスペーサーを入れて調整する事もできます。

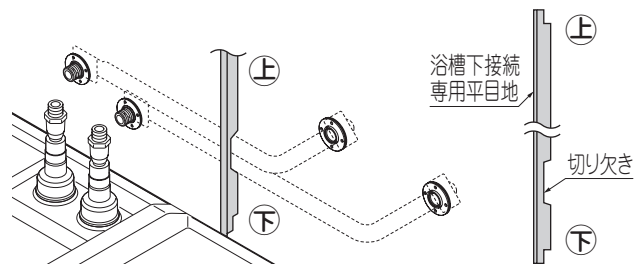


4 壁と天井の仕上げ

1 壁パネルの目地打ち込み

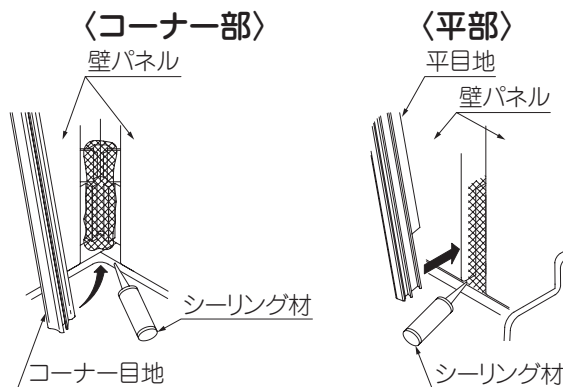
取付設置上のお願い

- 目地は力まかせに一気に打ち込まず、少しずつまんべんなく、打ち込み治具を使用して打ち込んでください。(直接目地をたたいたり無理に打ち込むと、目地が割れたり壁が変形するおそれがあります。)
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。)
- 壁裏配管が壁パネルをまたぐ場合、切り欠きのある目地を正面壁に使用してください。

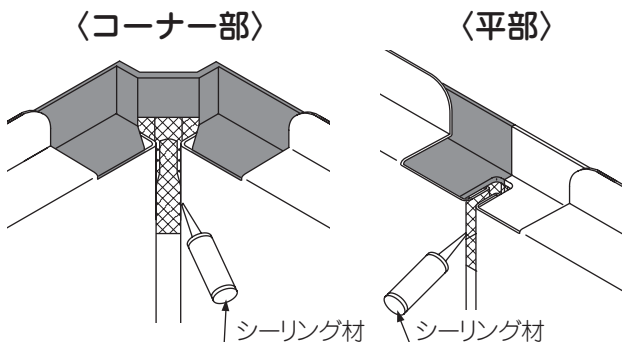


①目地を打ち込む前に下端から2～3cm程度シーリング材を塗布する。

※切り欠きが大きな平目地は、正面パネルに取り付けてください。



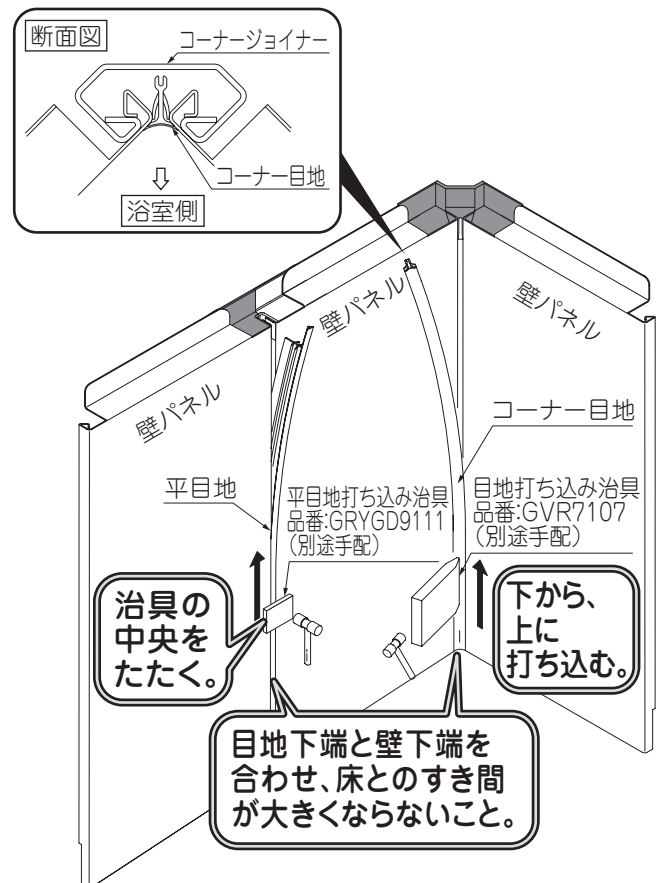
②上端から2～3cm程度、シーリング材を塗布する。



③仮打ちした仮固定目地を外す。

④平目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。

⑤コーナー目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。
※壁上端よりも目地が飛び出す場合はカットしてください。



⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

必ず守る

⚠ 注意



- 平目地と壁パネルの下端を合わせ、必
ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)

必ず守る

- ⑥平目地は、治具を縦にし奥目地になるように、目地を打ち込む。
(平目地納まりは、下図参照ください。)



・目地の打痕を防ぐため、平目地打ち込み治具 (GD9111) は、角を削って使用してください。



⚠ 注意

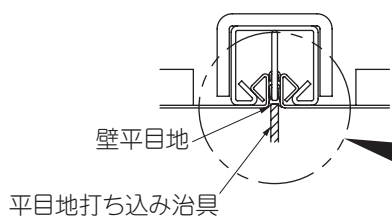


必ず守る

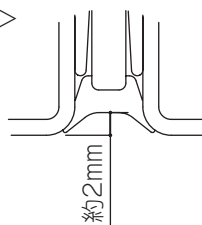
- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 壁平目地は一度に打ち込まないで徐々に叩き込んでください。
(一度に打ち込むと、目地が破損するおそれがあります。)
- 打ち込み治具は平目地のセンターに当てて打ち込んでください。
(センターに当てないと、ひれが入り込むおそれがあります。)
- ひれが入り込んだ場合は先がとがった物で壁を傷付けないようにひれを起こしてください。



<良い例>



<悪い例>



ひれを起こす。

- 治具を壁パネルと平行にして中央を叩いてください。
(治具の端部だと目地に打痕が付く場合があります。)

<良い例>



治具、壁と水平



壁面

治具

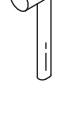
<悪い例>



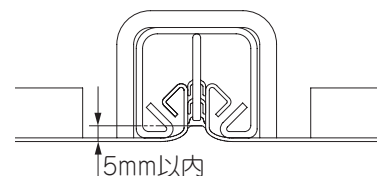
壁面

治具

<悪い例>



- 壁パネルは平目地部で盛り上がる場合がありますが、品質上問題はございません。



2 壁パネルの目地打ち込み

- ①平目地を打ち込む前に下端から2～3cm程度シーリング材を塗布する。

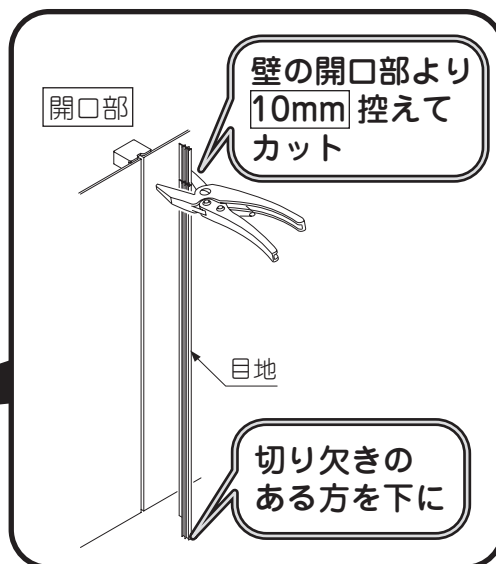
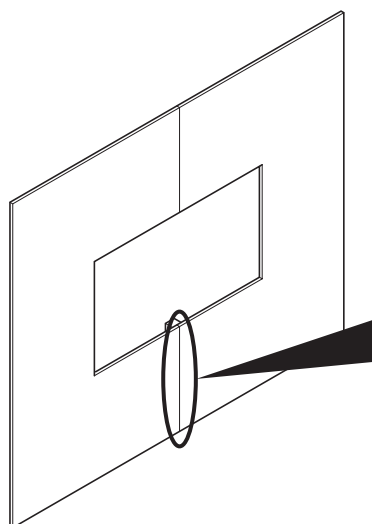
⚠ 注意



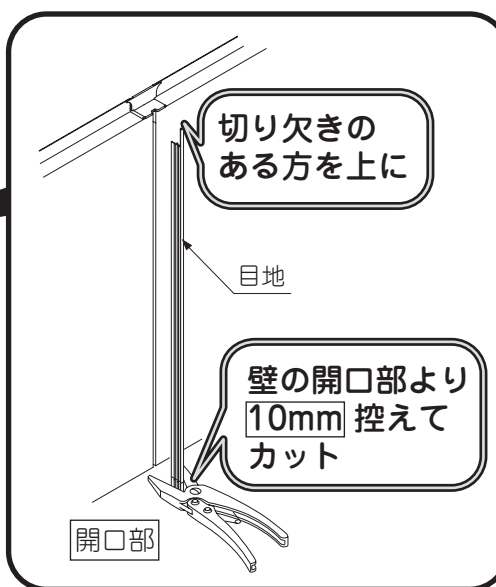
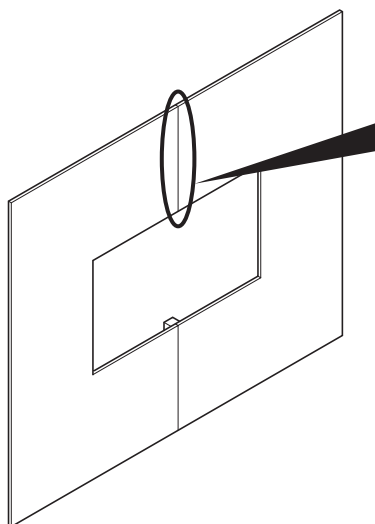
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

- ②平目地を下部の壁に合わせて、壁の開口部より10mm控えてカットする。

- ③壁に平目地を打ち込む。
・目地は下（床側）から上へと打ち込んでください。



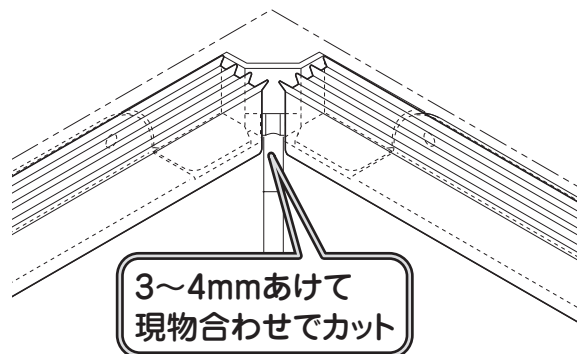
- ④上の②でカットした目地の残りを、上部の壁に合わせて壁の開口部より10mm控えてカットする。



3 天井回し縁取り付け

①天井回し縁をカットする。

- ・コーナー部分は、内寸から3～4mmあけ、シリコンバックアップに当たるようにカットしてください。
(天井回し縁カット長さの目安はユニット内寸－6mmになりますが、現物を確認してカットしてください。)



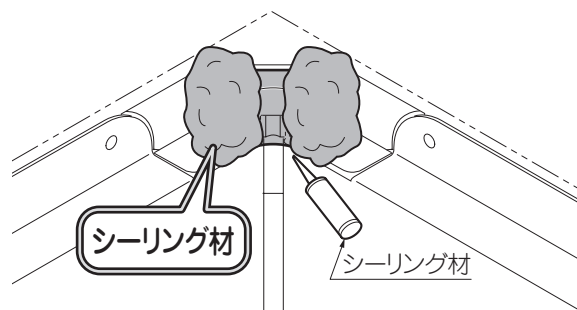
②コーナーブロックに先行シーリング材を打つ。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水
漏れの原因となります。)

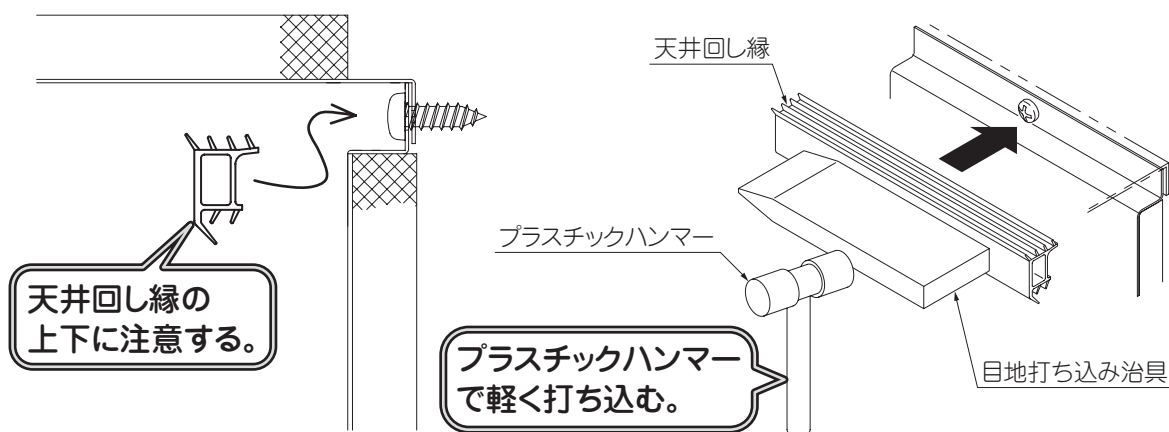


③天井回し縁を取り付ける。

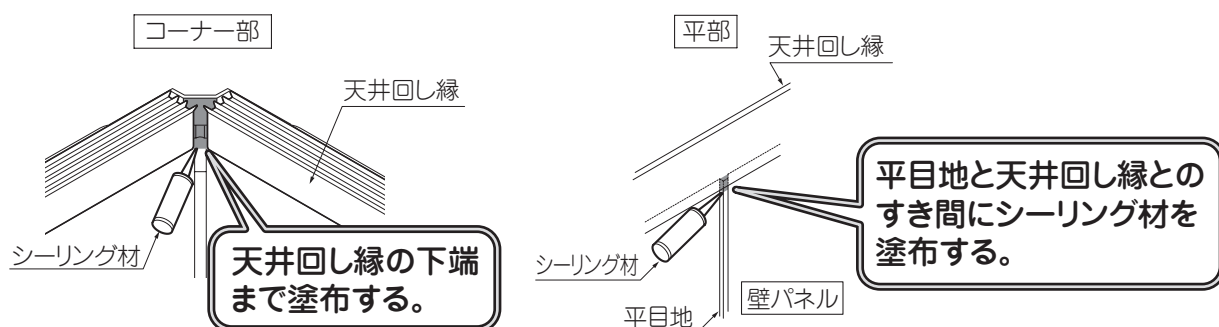
- ・天井回し縁を取り付けるときは、ねじ位置をプラスチックハンマーで軽く打ち込んでください。
- ・天井回し縁はドアを含む全周取り付けます。

取付設置上のお願ひ

- 天井回し縁が倒れた場合は、天井を軽く押し上げると戻ります。



④天井回し縁の突き合わせ部にシーリング材を塗布する。



6. 浴槽の設置

単位：mm

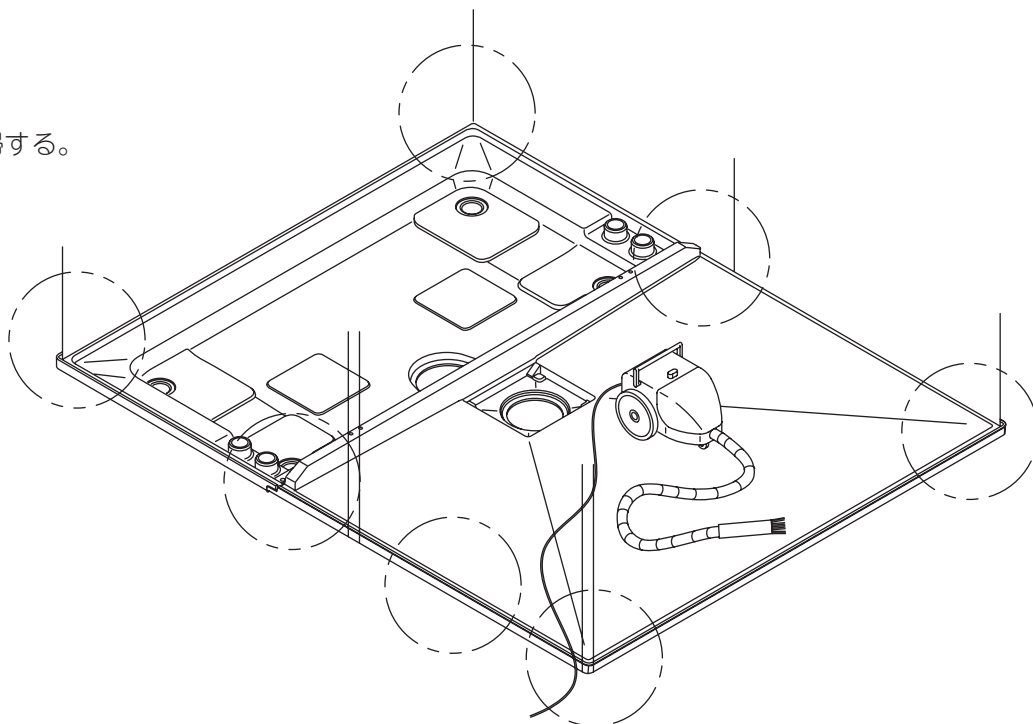
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 浴槽の据え付け

1 浴槽据え付け前作業

- ・コーナー部
- ・浴槽側の床
- ・トラップ周辺（内部）
- ・ドア枠（溝部）

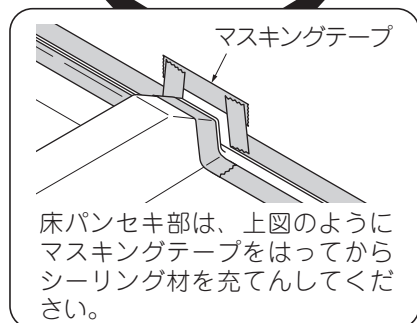
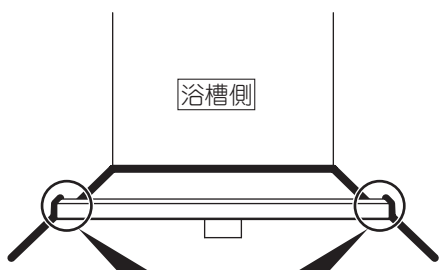
上記場所は重点的に清掃する。



2 先行シーリング処理

①浴槽据え付け前に、壁パネルと床パンの取り合い部の接続部（目地）をシーリング材充てんする。

- ・下図の — 部をシーリング材充てんしてください。



⚠ 注意



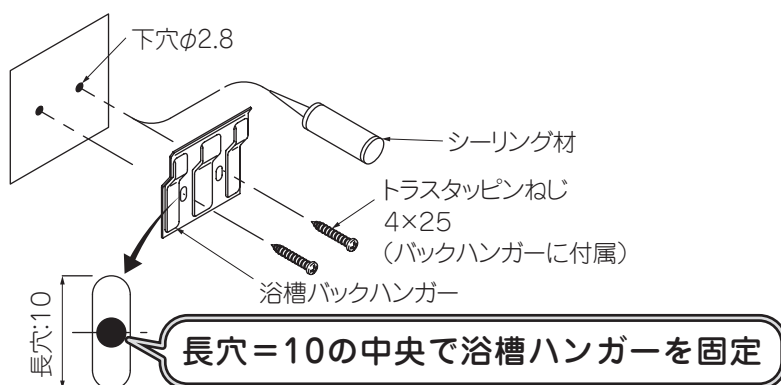
必ず守る

- 浴槽バックハンガーを取付指定位置に確実に取り付ける
(確実に取り付けないと使用中に外れたりして、けがの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

3 浴槽バックハンガー取り付け

①浴槽バックハンガーを取り付ける。

- ・浴槽バックハンガー取り付け穴にシーリング材を注入してください。
- ・浴槽バックハンガーは取り付け穴（長穴＝10）の中央で固定してください。

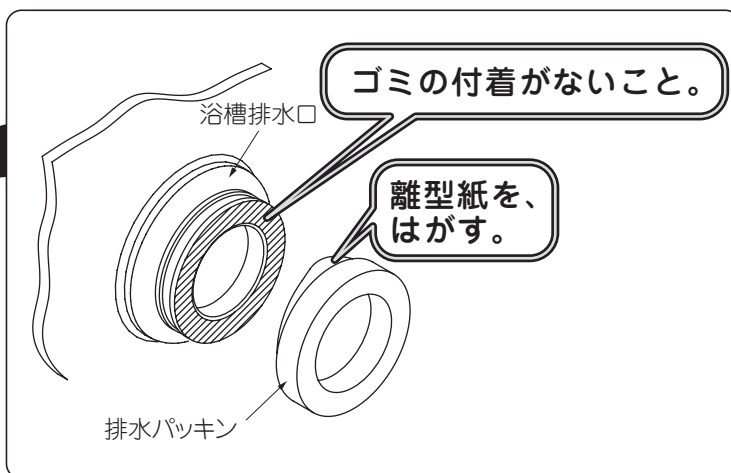
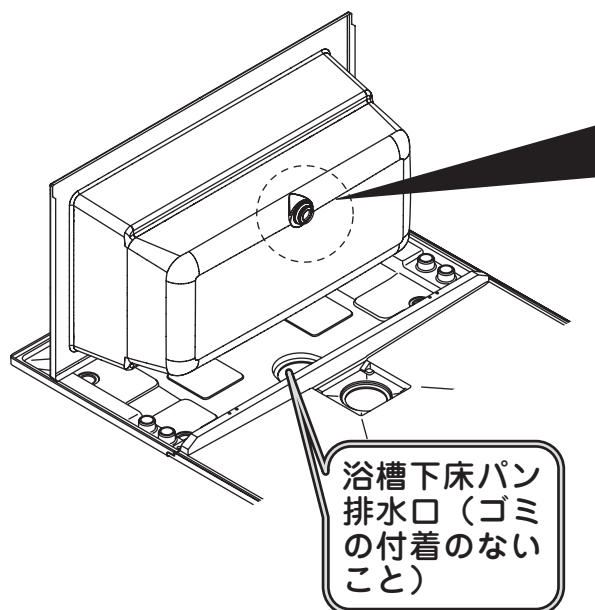


4 排水パッキンの取り付けと浴槽の据え付け

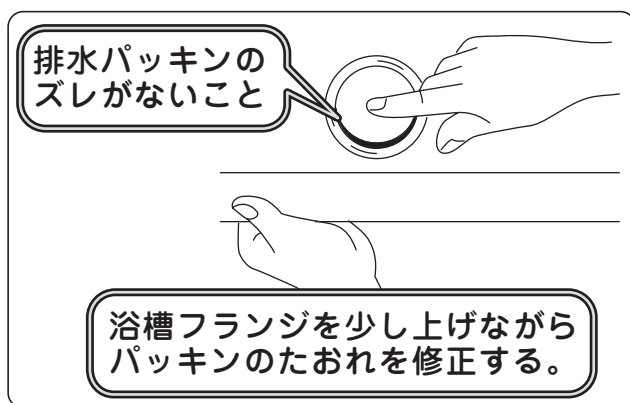
取付設置上のお願い

- 保温浴槽の保温材が汚れたときは、溶剤を使用せず中性洗剤で汚れを落としてください。
- 排水パッキンはユニットバスルームに浴槽設置する直前に、取り付けてください。
- 浴槽排水口裏面および浴槽下床パン排水口にゴミの付着がないことを確認してください。
- 排水パッキンの「たおれ」「ズレ」がないことを確認してください。

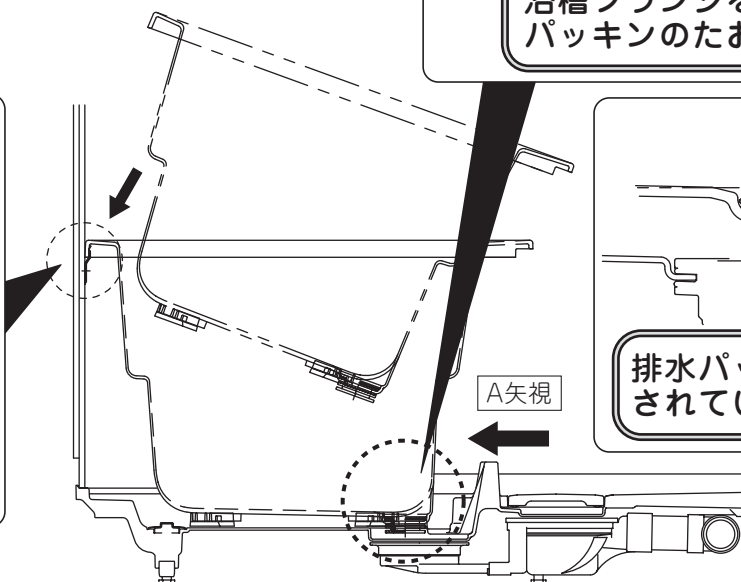
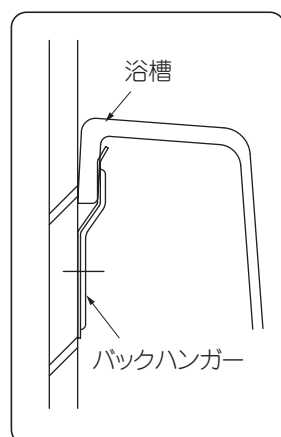
①浴槽を床パン据え付け部に仮置きし、排水パッキンを取り付ける。



②浴槽をバックハンガーにはめ込み、据え付ける。
・浴槽据え付け時に、排水パッキンを破損しないようにしてください。



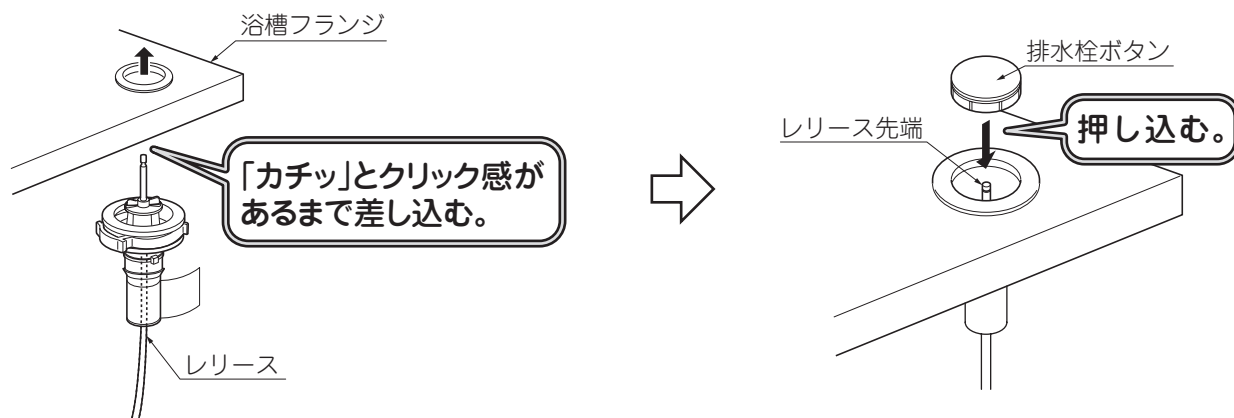
③浴槽据え付け時に排水パッキンを確実にトラップ上面に密着させる。



5 ポップアップ排水栓の取り付け

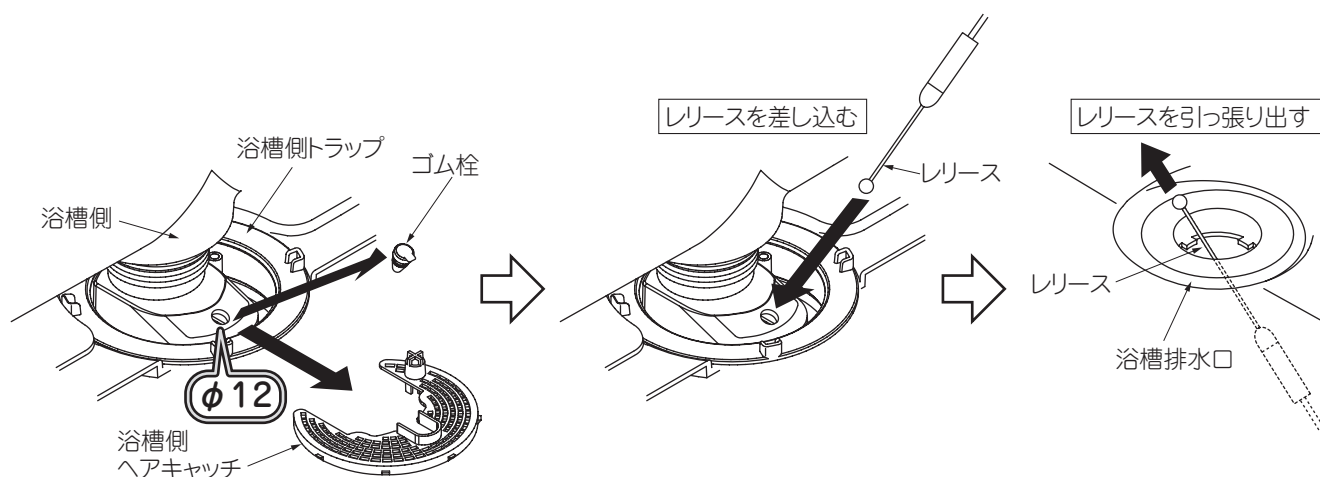
【排水ボタン側の取り付け】

- ①排水ボタンボックスを浴槽フランジの下側から通し、カチッと音がするまで差し込む。
- ②排水栓ボタンをリリース先端に押し込んで取り付ける。



【浴槽排水口側の取り付け】

- ①浴槽側トラップのヘアキャッチとゴム栓を取り外す。（取り外したゴム栓は使用しない。）
- ②ゴム栓を取り外した穴から、リリースを差し込む。
- ③浴槽排水口からリリースの先端を引っ張り出す。

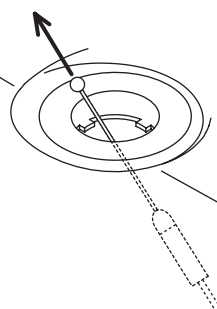
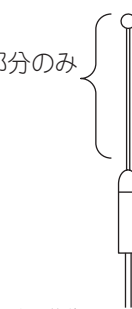


⚠ 注意



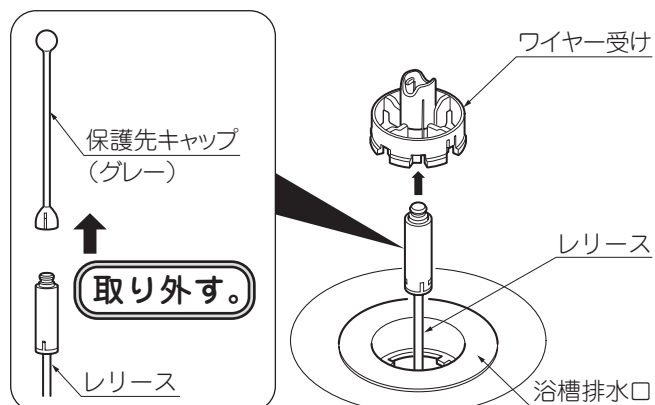
必ず守る

- 浴槽排水口からリリースを引き出す際は無理に引っ張らない
(無理に引っ張るとリリースが折れ曲がるなど、変形して作動不良となります。)

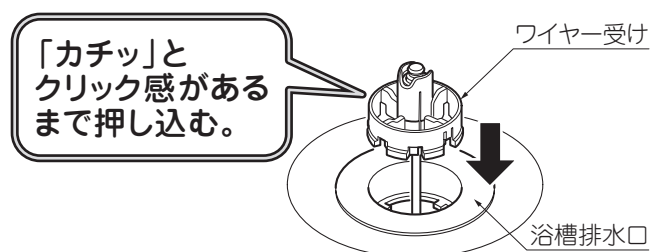
無理に引っ張ると
折れ曲がる先端の柔らかい部分のみ
折り曲げ可

保護先キャップ

- ④リリース先端の保護先キャップを取り外し、ワイヤー受けを取り付ける。



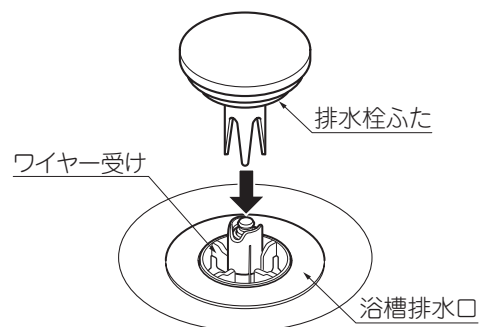
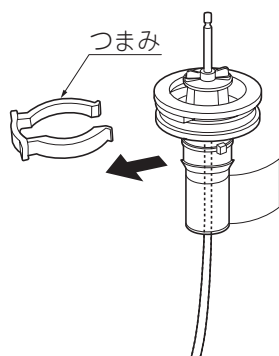
- ⑤ワイヤー受けを浴槽排水口に押し込む。



- ⑥リリース先端に排水栓ふたを取り付ける。

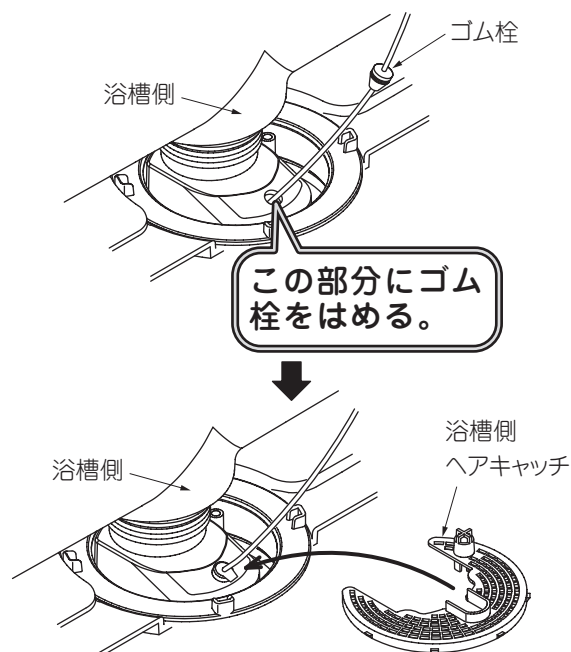
取付設置上のお知らせ

- 万一、もう一度外したい場合は、リリースのつまみを持って引っ張ると、つまみがとれてリリースが外れます。取り付ける際は、つまみを戻してから差し込んでください。



⑦トラップのリリースを通した穴にゴム栓をはめる。

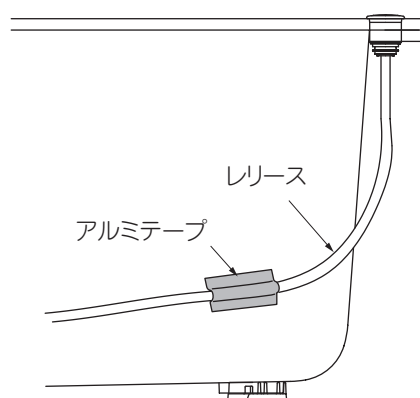
⑧浴槽側ヘアキャッチをトラップに取り付ける。



⑨リリースがエプロンに当たらないように、付属のアルミテープで浴槽に固定する。

・リリースを極端に曲げないでください。(たるみをもたせてください。)

⑩ポップアップ排水栓の取り付け作業が終わったら、ポップアップ排水栓を2～3回開閉させて、異常がないかチェックする。



取付設置上のお願い

以下の点をご確認してください。

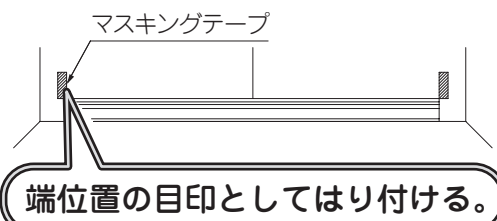
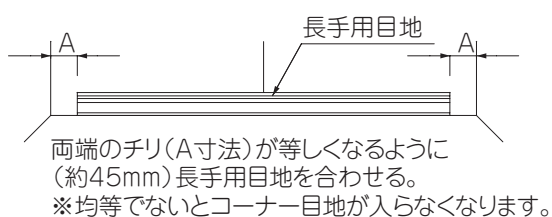
- 排水栓ボタンを押すたびに、排水栓ふたが正しく上下するか。
- 排水栓ふたが下がった状態の時、浴槽排水口との間にすき間ができていないか。
- 排水栓ボタンを押す際、引っ掛かりや異常に重い感じがしないか。
- 水張り検査を行い、排水栓ふたから水抜けがないか。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

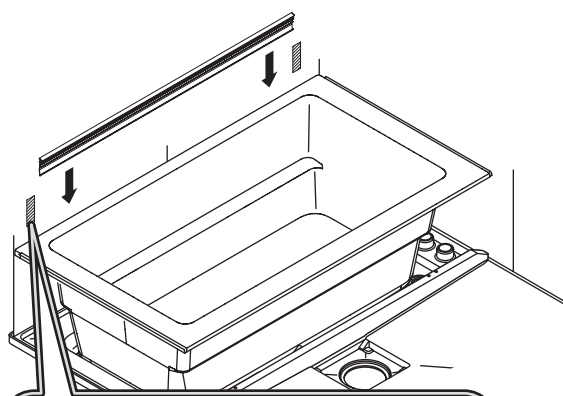
2 浴槽目地の取り付け

1 長手用目地の取り付け

- ①長手用目地を壁に当てて、両側のコーナーまでのすき間が均等になるように、マスキングテープを壁にはり付ける。



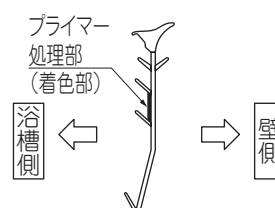
- ②長手用目地を手で押し込む。



端位置を目じるしの
マスキングテープに合わせる。

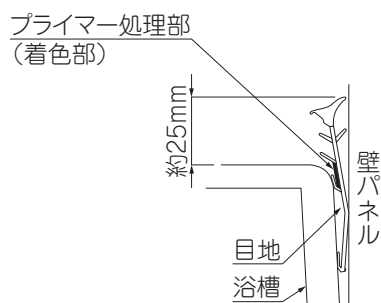
取付設置上のお願い

- 浴槽目地をご確認のうえ、左右逆に取り付けないようにご注意ください。
下端のひれ先を浴槽側に向けて取り付けます。
※プライマー処理部にシーリング材充てんしてください。



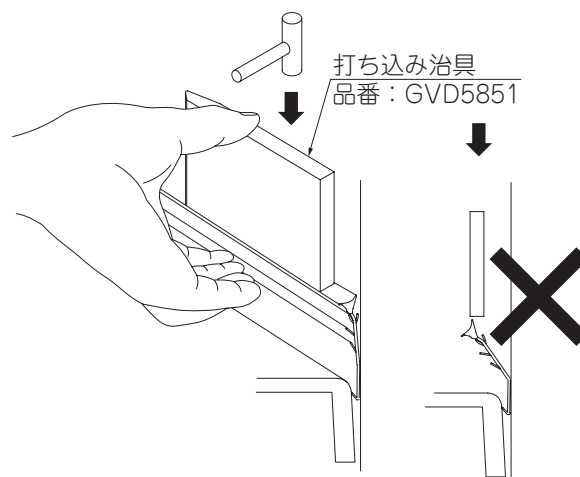
- ③浴槽目地を手で押し込みシーリング材充てん部（プライマー処理部）が出ている位置で止める。

断面図



取付設置上のお願い

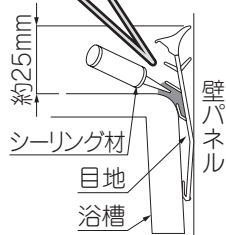
- 目地が入りにくい場合は、目地の中央部に手を添えて折れないようにして、たたいてください。



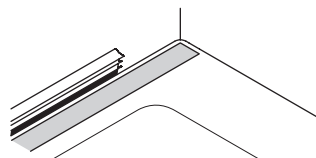
④浴槽目地のプライマー処理部にシーリング材を塗布する。

断面図

シーリング材は、ひれより高くなるように充てんする。



マスキングテープはり付け位置



目地を打ち込んだ際に少しかかる位置にはる。

断面図



はみ出たシーリング材を除去しやすいようにマスキングテープをはりつけて、目地を打ち込んでください。

シーリング材を通して塗布する。

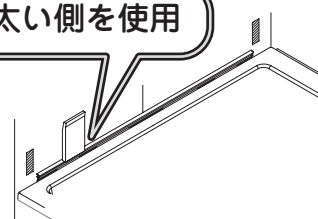


⑤打ち込み治具の太い側にて、目地を押し込む。

取付設置上のお願

- 浴槽と目地のすき間ができないように取り付けてください。

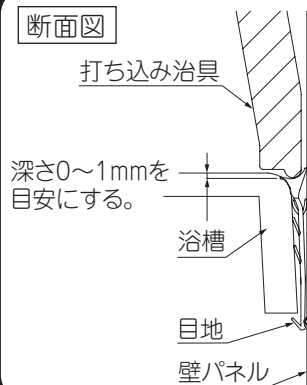
太い側を使用



⑥打ち込み治具の細い側を下にして、プラスチックハンマーでたたき、浴槽目地を納める。

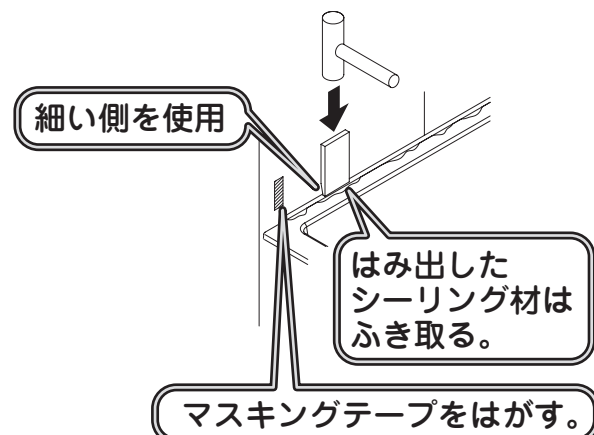
- ・納まり深さにばらつきができないよう、均等に打ち込んでください。
- 浴槽目地天面の中央（一番凹んでいるライン）が、浴槽部分より0～1mm程度の深さを目安としてください。

断面図



目地の折り返しが、浴槽よりも下にあることを目視で確認する。

細い側を使用



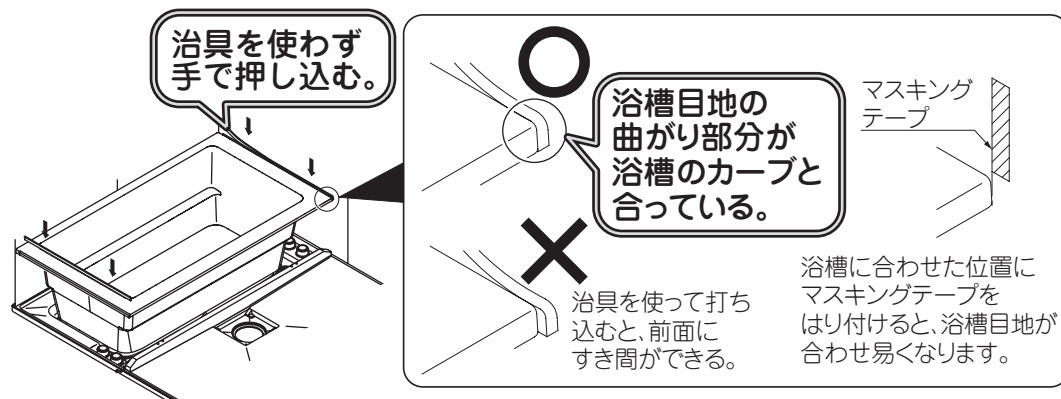
⑦マスキングテープをはがす。

⑧はみ出したシーリング材をふき取る。

2 短手用目地の取り付け

①短手用目地を手前（洗い場側）の曲がり部分から手前側（垂直部分）を手で押し込む。

・浴槽目地の向きは長手側の場合と同様です。



②浴槽目地全体の高さが10mm程度すき間に埋まるまで押し込む。

・取り付け時の注意事項は長手側の場合と同様です。

③浴槽目地を手で押し込みシーリング材充てん部（プライマー処理部）が出ている位置で止める。

断面図

プライマー処理部
（着色部）

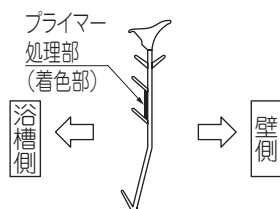
約25mm

目地
浴槽

壁
パネル

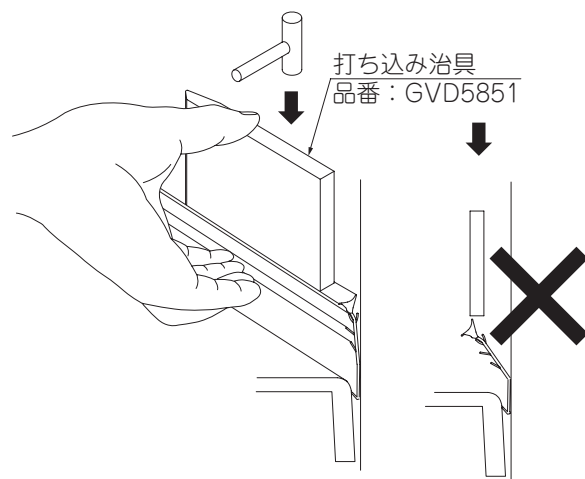
取付設置上のお願い

- 浴槽目地をご確認のうえ、左右逆に取り付けないようご注意ください。
下端のひれ先を浴槽側に向けて取り付けます。
※プライマー処理部にシーリング材充てんしてください。



取付設置上のお願い

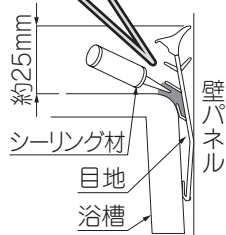
- 目地が入りにくい場合は、目地の中央部に手を添えて折れないようにして、たたいてください。



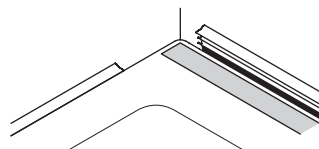
- ④浴槽目地のプライマー処理部にシーリング材を塗布する。

断面図

シーリング材は、ひれより高くなるように充てんする。



マスキングテープはり付け位置



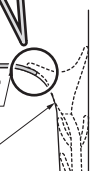
はみ出たシーリング材を除去しやすいようにマスキングテープをはりつけて、目地を打ち込んでください。

目地を打ち込んだ際に少しかかる位置にはる。

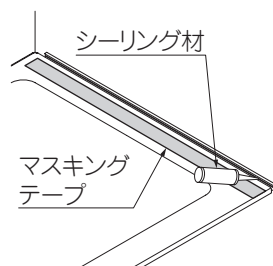
断面図

マスキングテープ

目地



シーリング材を通して塗布する。

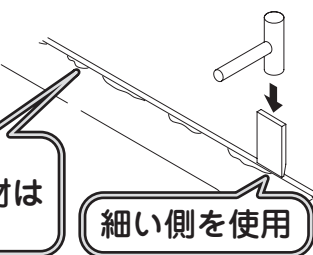


先端部にもシーリング材を塗布する。

- ④打ち込み治具の太い側にて、目地を押し込む。
・取り付け時の注意事項は長手側の場合と同様です。
- ⑤打ち込み治具の細い側を下にして、プラスチックハンマーでたたき、浴槽目地を納める。
・注意事項は長手側の場合と同様です。
- ⑥マスキングテープをはがす。
- ⑦はみ出したシーリング材をふき取る。

はみ出したシーリング材はふき取る。

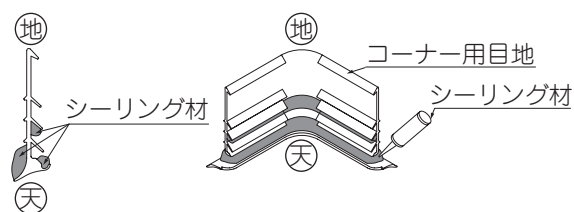
細い側を使用



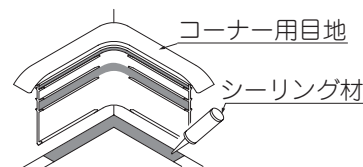
3 コーナー用目地の取り付け

- ①コーナー用目地裏側の立ち上がり部分に沿って、全周シーリング材を塗布する。

・目地を天地逆にすると、容易に塗布できます。



- ②浴槽コーナー部と壁の間に付属のシーリング材を塗布する。

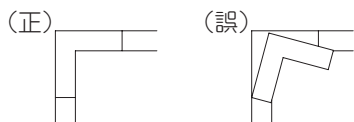


- ③コーナー用目地を手で押し込む。

- ・コーナー用目地に浮きやすき間がないように納めてください。
- ・どうしてもうまく入らない場合は、打ち込み治具を手で押して納めてください。

取付設置上のお願い

- ・左右均等にゆっくり押し込んでください。(斜目入れすると、曲がって取り付けます。)



取付設置上のお願い

- ・コーナー用目地は奥まで打ち込み過ぎないようにご注意ください。



- ④はみ出したシーリング材をふき取る。

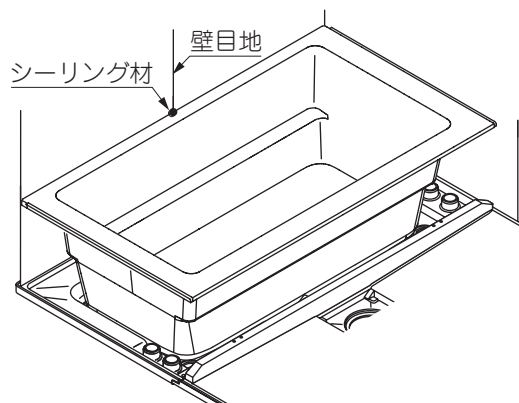
どうしても入らない場合は太い側を使用

はみ出したシーリング材はふき取る。



4 浴槽目地取り付け後のシーリング材充てん

- ①浴槽上端の壁～壁の合わせ部（コーナー部は不要）に少量シーリング材を塗布する。



取付設置上のお願い

- ・保温浴槽の場合、保温材が汚れた時は、溶剤を使用せず中性洗剤で汚れを落としてください。

⚠ 注意



必ず守る

- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

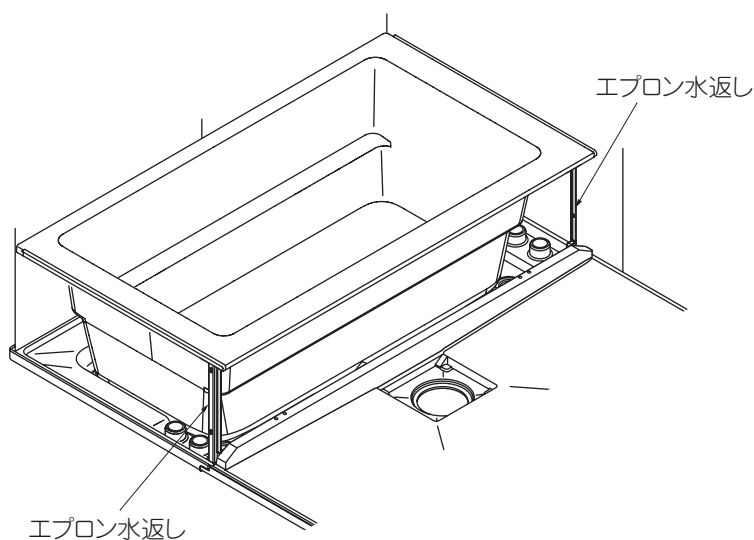
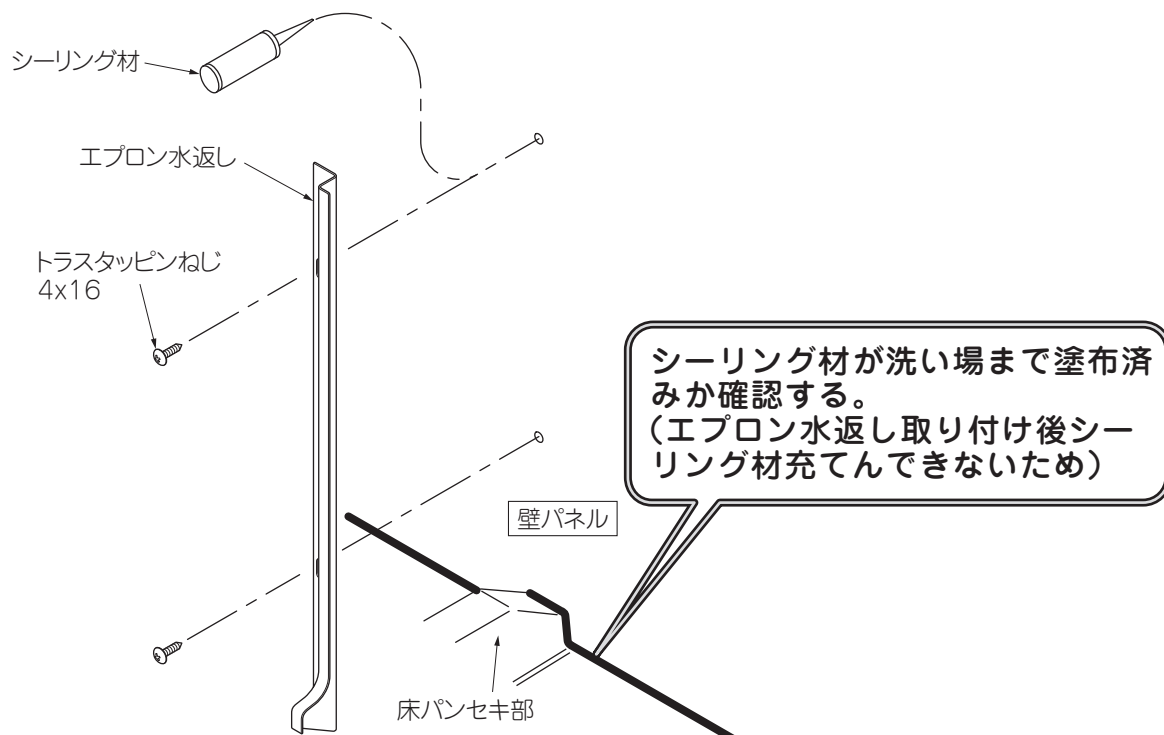
7. 浴槽周辺部材の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 エプロンの取り付け

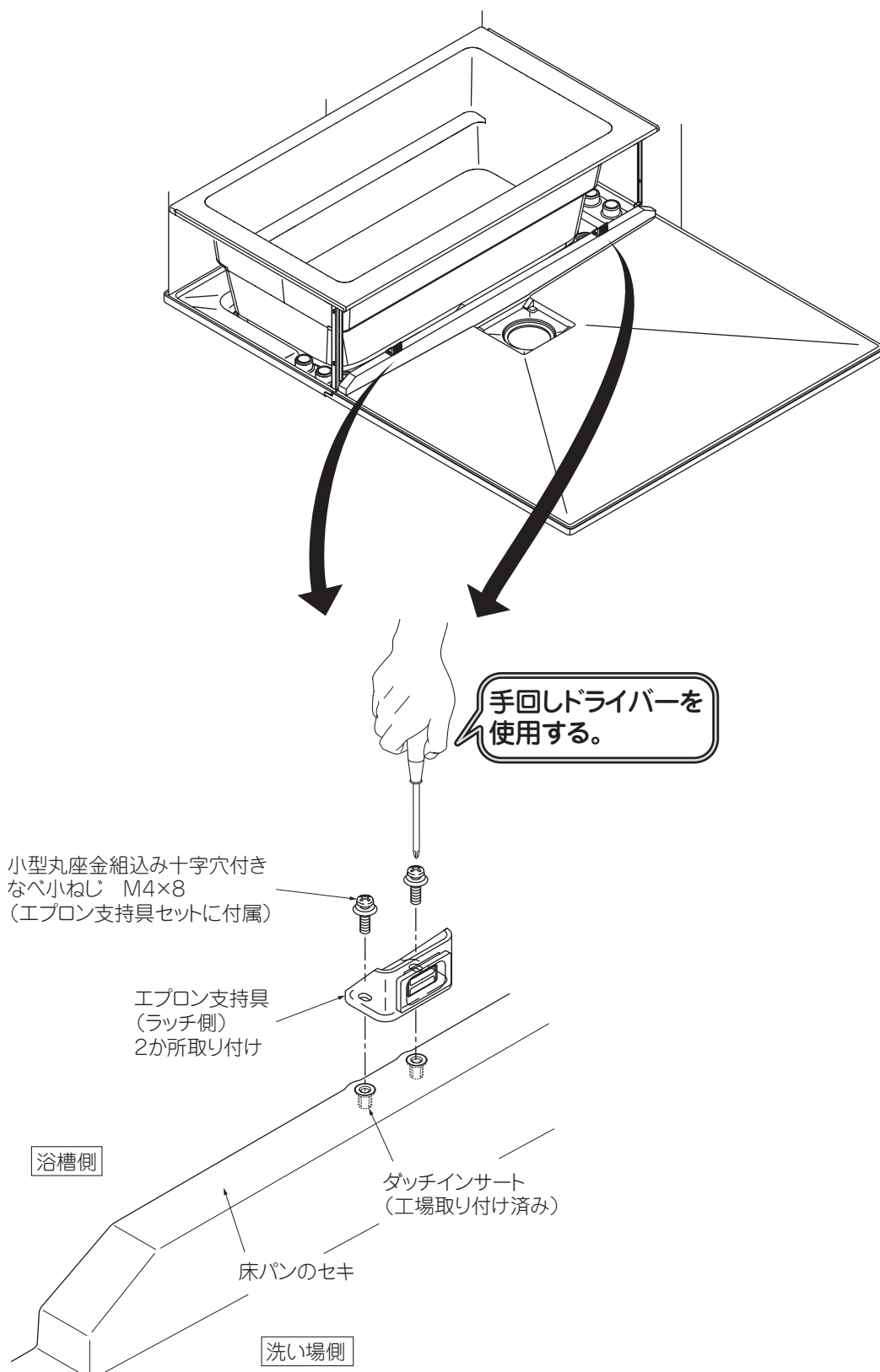
1 エプロン水返し取り付け

①エプロン水返しを2か所、壁パネルに取り付ける。(下図参照)



2 エプロン支持具取り付け

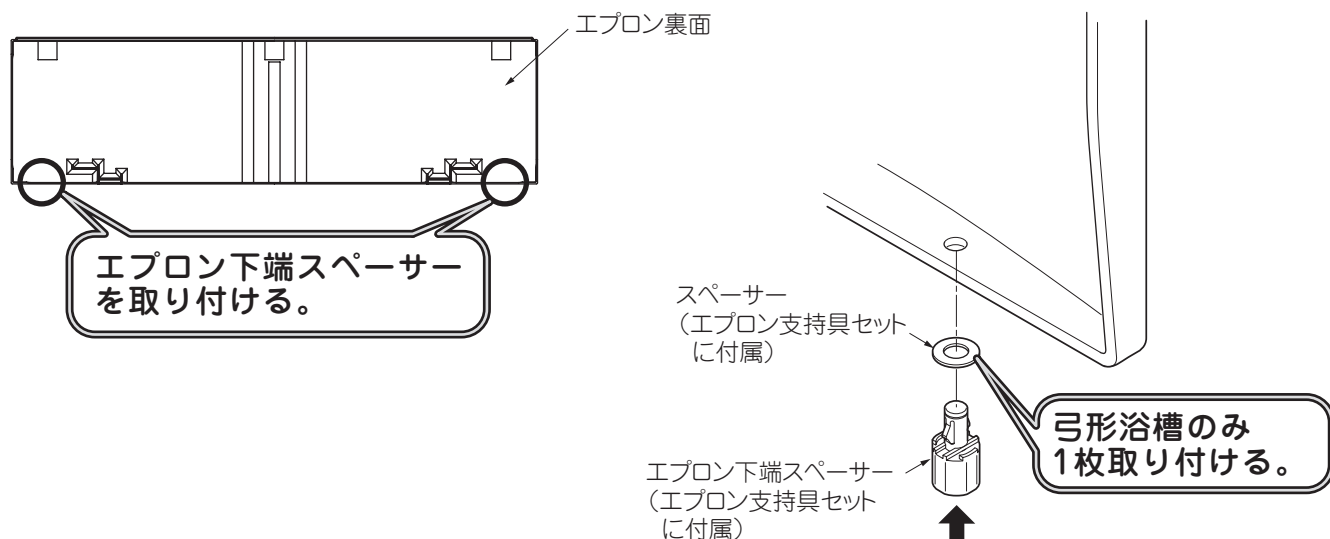
①床パンのセキに、エプロン支持具を取り付ける。



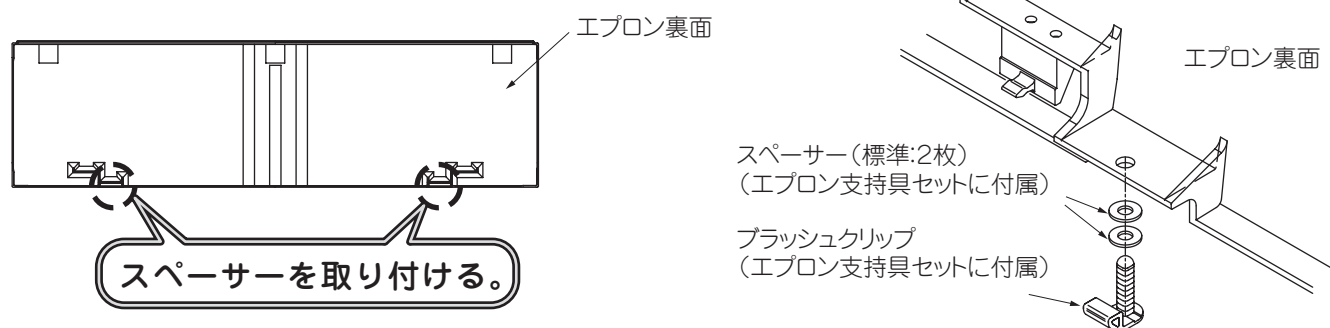
3 エプロン取り付け

①エプロン裏面の下端部2か所に、エプロン下端スペーサーを取り付ける。

・弓形浴槽の場合は、スペーサーも取り付けてください。

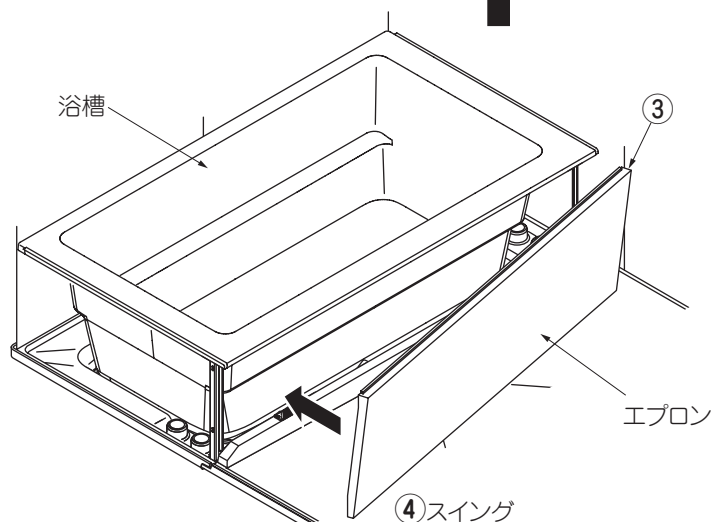


②エプロン裏面の下部2か所に、スペーサーをブラッシュクリップで取り付ける。



③エプロンをカウンターと浴槽のすき間に斜めに傾けた状態で差し込む。

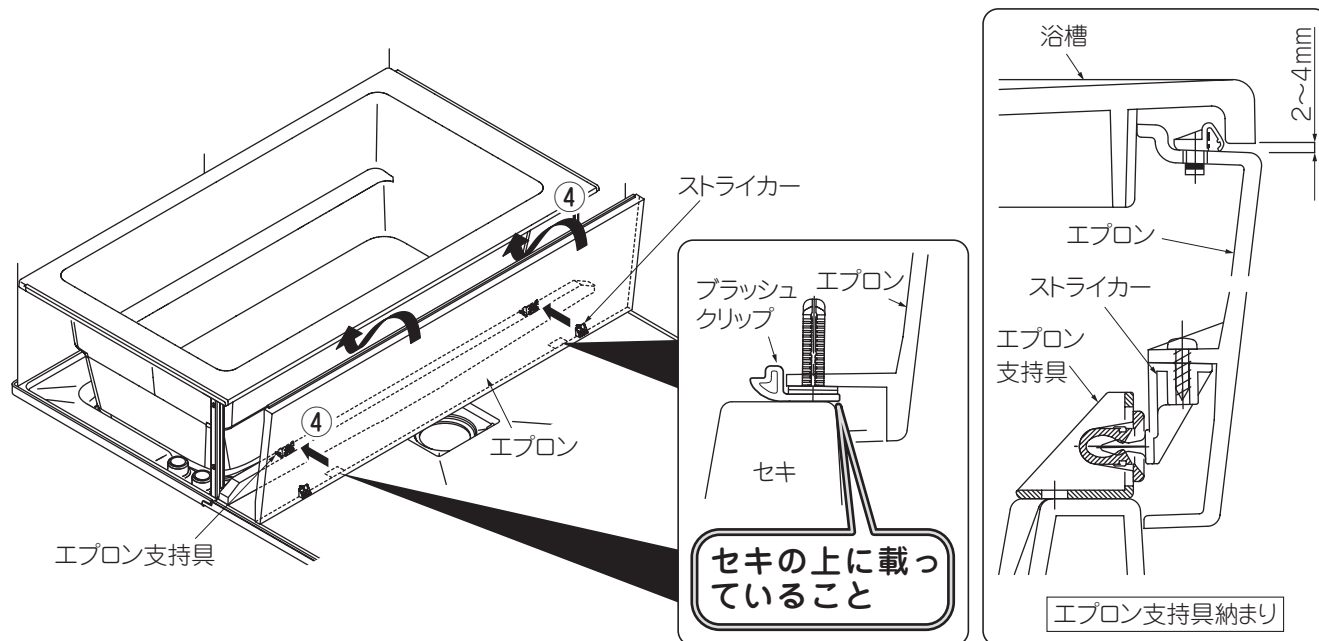
④エプロンをスイングさせて浴槽と水平にする。



⑤エプロンを浴槽フランジにはめ込む。

⑥エプロン下端にあるストライカーを、エプロン支持具にはめ込む。

・エプロンのブラッシュクリップが、確実にセキの上に乗るように、エプロンを取り付けてください。

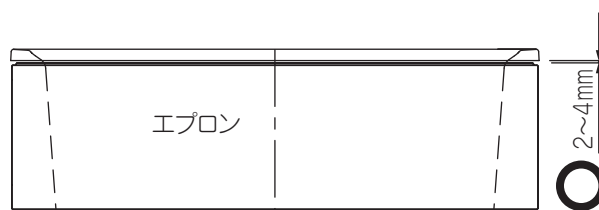


4 エプロン高さ調整

① 〈エプロン下スペーサーを使用する場合〉

浴槽フランジ下端とエプロンのすき間が大きい場合、また、エプロンのすき間が2～4mm内に入らない場合はエプロン支持具に、付属のエプロン下スペーサーを使い、正しい納まりに調整する。

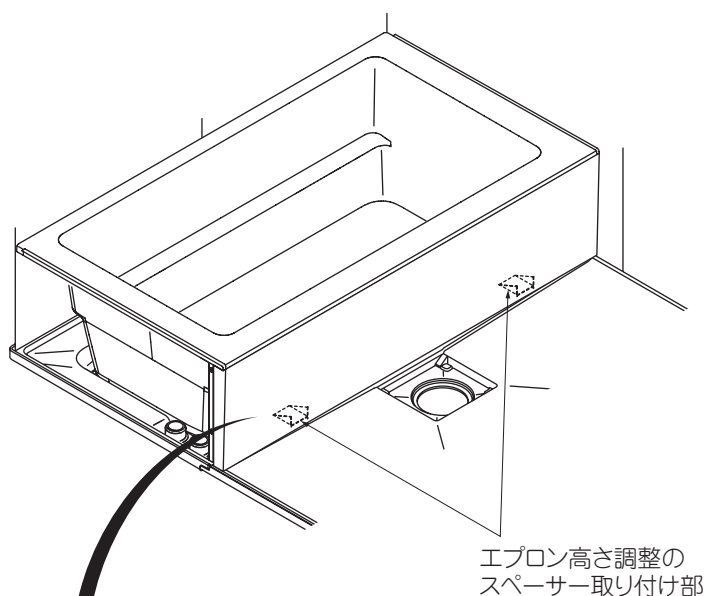
- ・ すき間は均一に調整してください。(2mm以内の不均一については問題ありません。)



② 下図の位置に、スペーサーを入れて調整する。

- ・ スキマ調整用スペーサーは、エプロン支持具セットに付属しています。

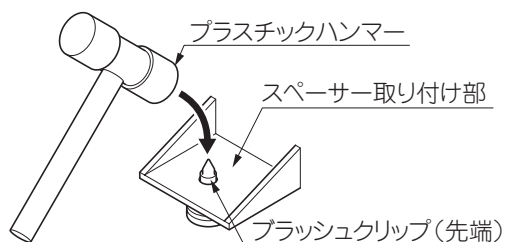
③ 浴槽とエプロンのすき間がエプロン下スペーサーで調整できない場合(浴槽を上げる調整が必要な場合)は、付属の浴槽下スペーサー (GN7810) を浴槽脚の下に敷いて高さ差を調整してください。



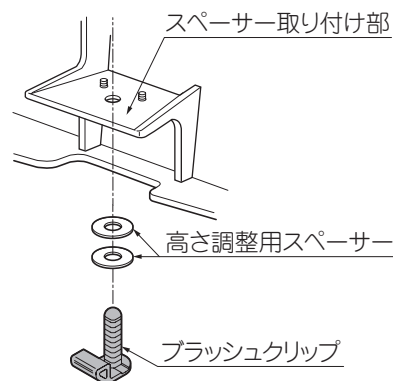
ブラッシュクリップの外しかた

★スペーサーは、標準2mm(1mm品×2枚)で付けます。
必要に応じて高さ調整してください。→2mm+3mmの高さ調整可能です。
(エプロン支持具セットに同梱[スペーサー10枚(1mm品)])

- ・ エプロンを高くする場合
…標準スペーサー2mm+付属スペーサーを追加。
- ・ エプロンを低くする場合
…標準スペーサー2mmを外す。



ブラッシュクリップの付けかた

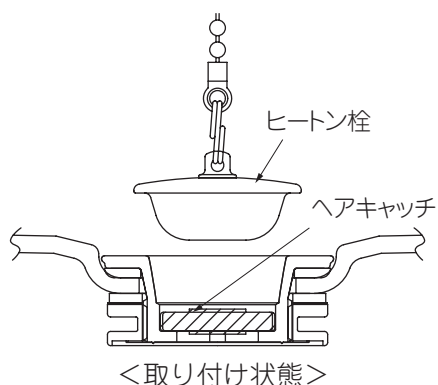
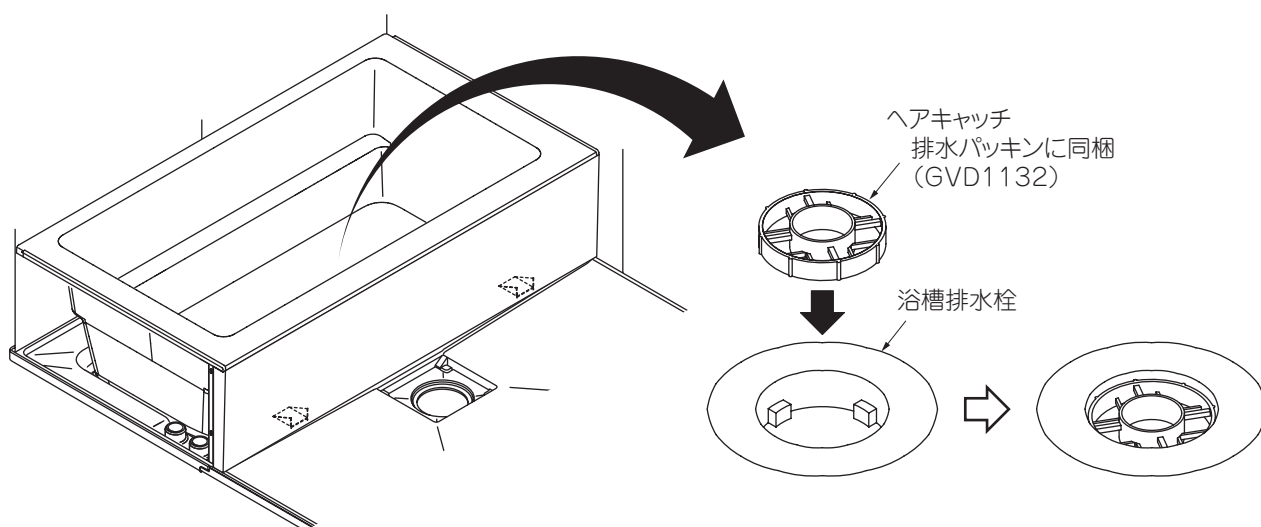


本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 排水口部品の取り付け

1 排水目皿取り付け

①浴槽排水栓に排水目皿を、はめ込む。

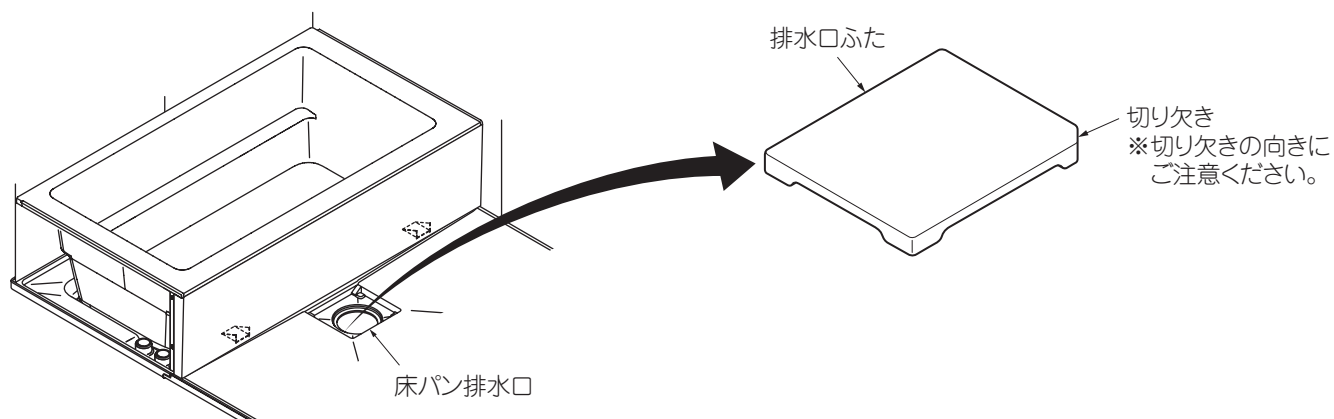


取付設置上のお願い

- ヒートン栓がきっちり入ることを確認してください。

2 排水口ふた取り付け

①床パン排水口に排水口ふたを取り付ける。



8. 水栓の取り付け

クリーンスクエアサーモ水栓（ホワイト・ブラック）

メタルスクエアサーモ水栓

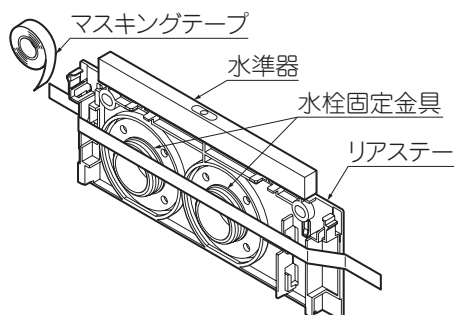
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 クリーンスクエアサーモ水栓（ホワイト・ブラック）、メタルスクエアサーモ水栓の取り付け

1 水栓本体の組み立て

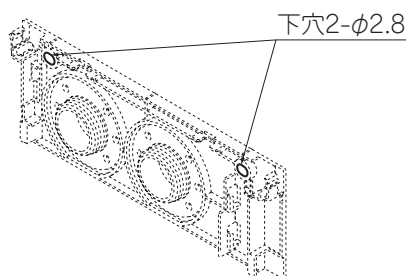
① リアステーを壁パネルに取り付ける。

- ・ 下穴を現物合わせでけがく。
- ・ 水栓固定金具に合わせて水平を確認し、マスキングテープで仮固定してください。



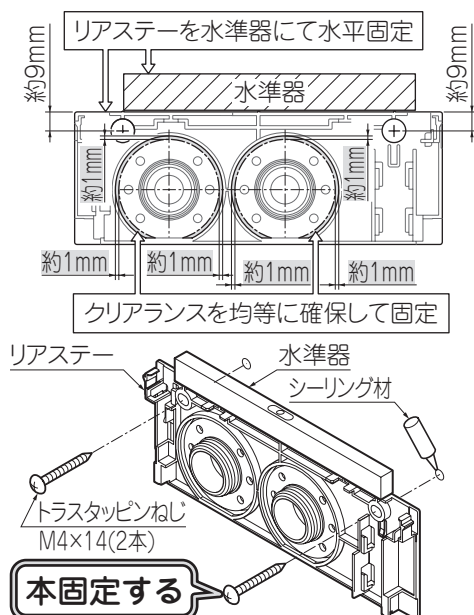
② 下穴開口（φ2.8）する。

- ・ リアステーを外してから下穴開口をしてください。

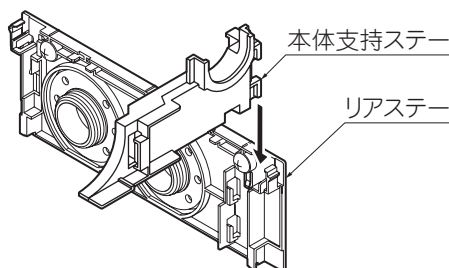


③ リアステーを本固定する。

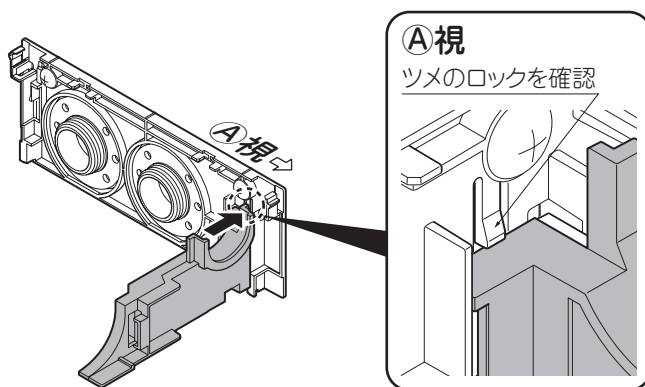
- ・ 水平を確認しながら行ってください。



④ リアステーに本体支持ステーを取り付ける。

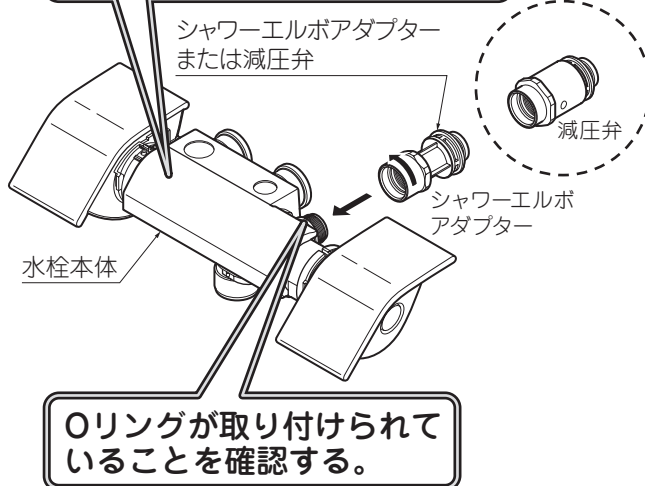


⑤ ツメのロックを確認する。



⑥ 水栓本体にシャワーエルボアダプターまたは減圧弁を取り付ける。

水栓に取り付けられているスチロールは、保温材です。取りはずししないでください。



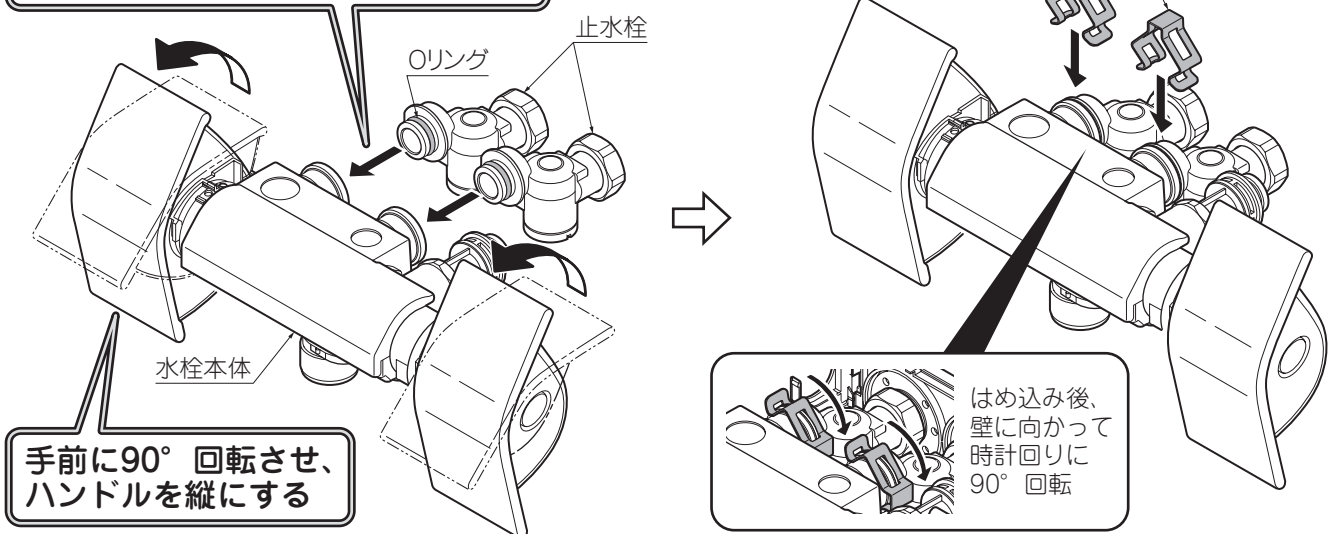
⑦ハンドルを手前に90°回転させてから、水栓本体に止水栓を取り付けて、クイックファスナーで固定する。

- ・止水栓を水栓本体にまっすぐに差し込んでください。
- ・Oリングがスムーズに入り込む状態を確認してください。
- ・クイックファスナーで固定したあと、90°回転させてください。

取付設置上のお願い

- Oリングが噛み込まないようにしてください。

差し込み時、Oリングのねじれに注意

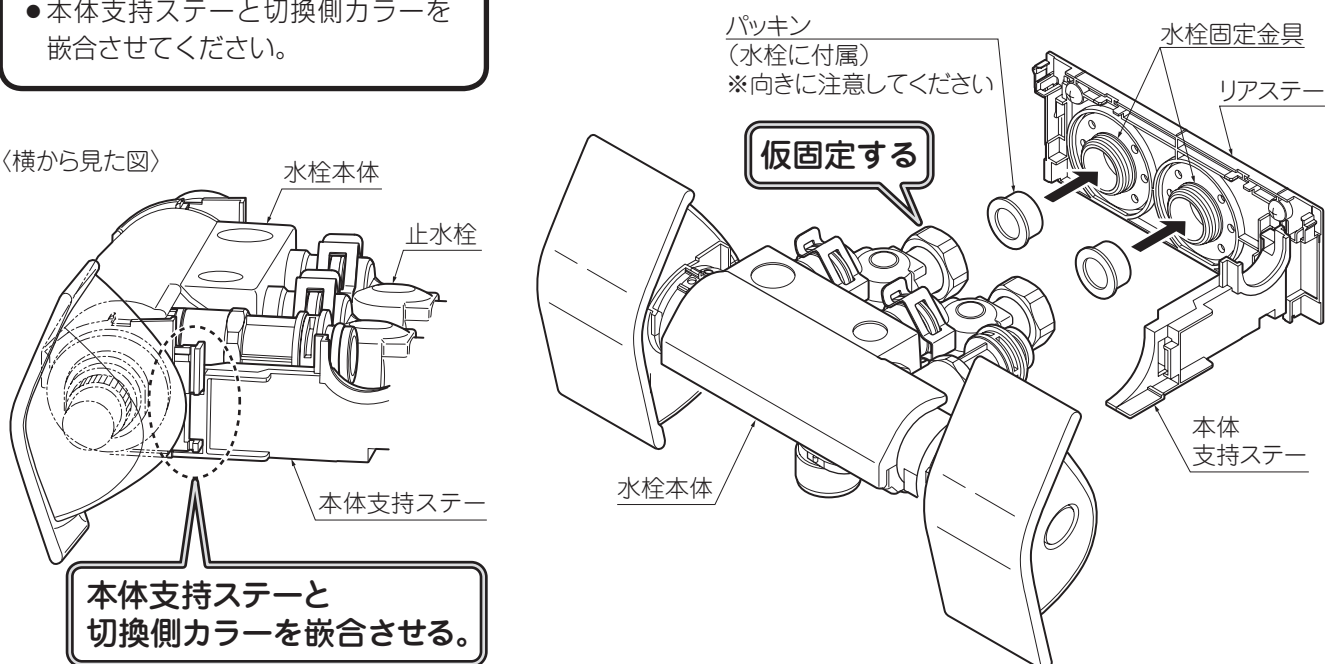


⑧水栓本体を水栓固定金具、本体支持ステーに仮固定する。

取付設置上のお願い

- 本体支持ステーと切換側カラーを嵌合させてください。

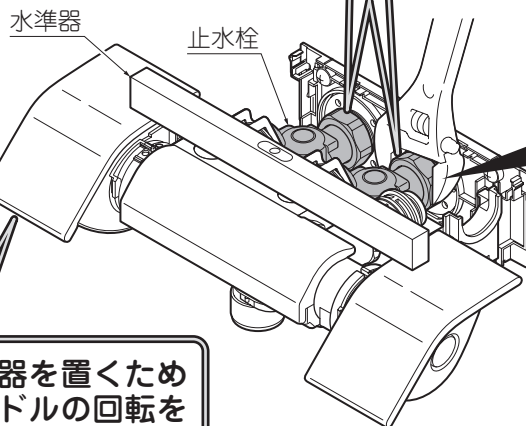
〈横から見た図〉



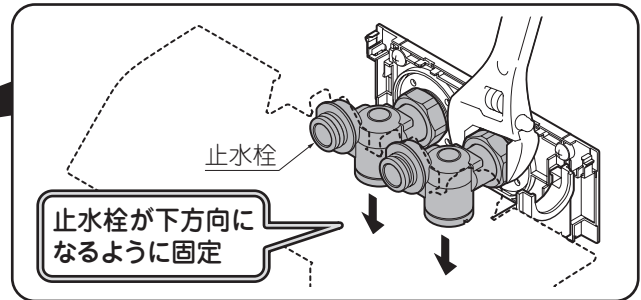
⑨ 止水栓を本固定する。

- ・ 水平を確認しながら行ってください。
- ・ 止水栓が下方向になるように本固定してください。

止水栓が回転しないように締め付ける。



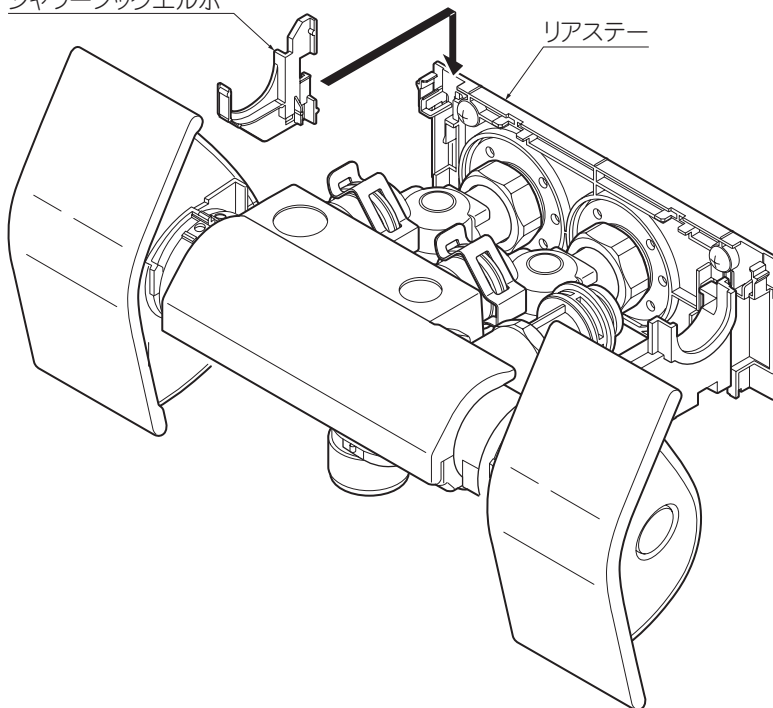
水準器を置くため
ハンドルの回転を
一時的に戻す。



⑩ 〈R勝手の場合のみ〉 リアステーにシャワーエルボフックを取り付ける。

〈R勝手の場合のみ〉
シャワーフックエルボ

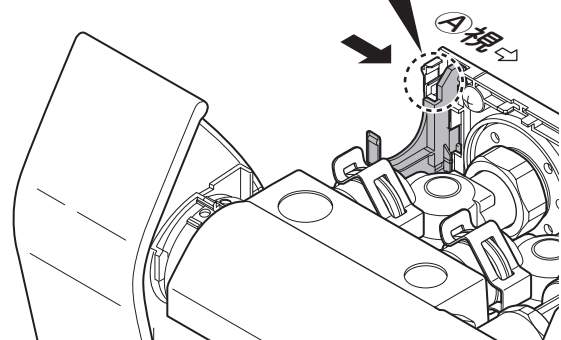
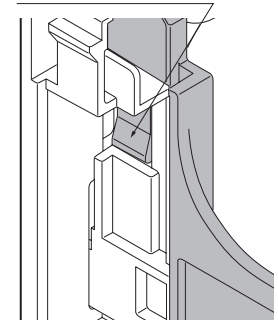
リアステー



④ 視

〈R勝手の場合〉

ツメのロックを確認

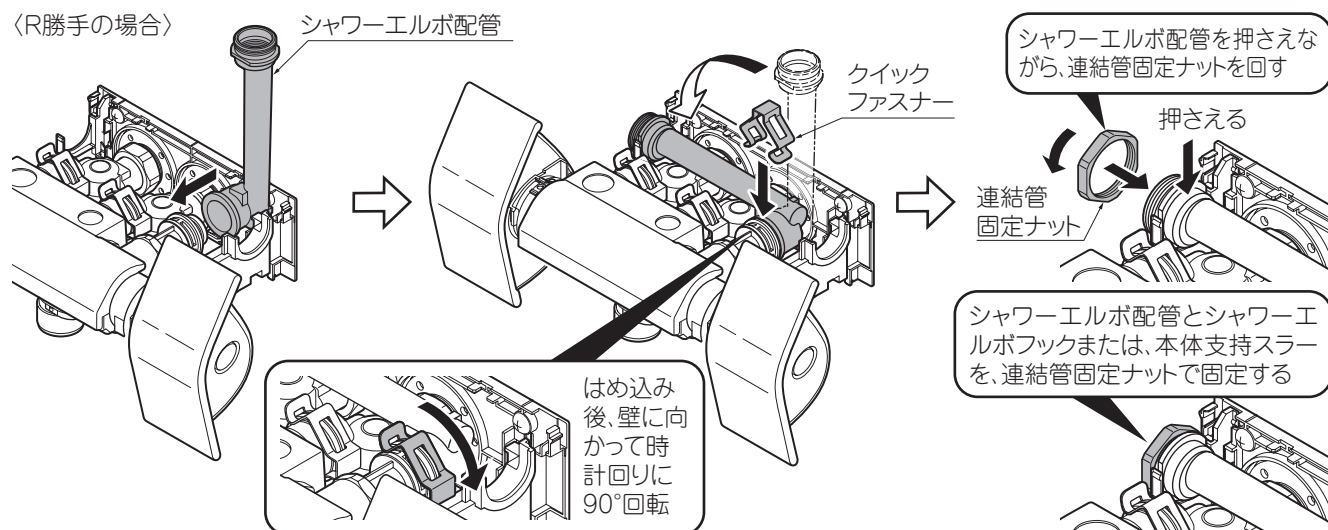


⑪シャワーエルボ配管を水栓本体に取り付け、固定する。

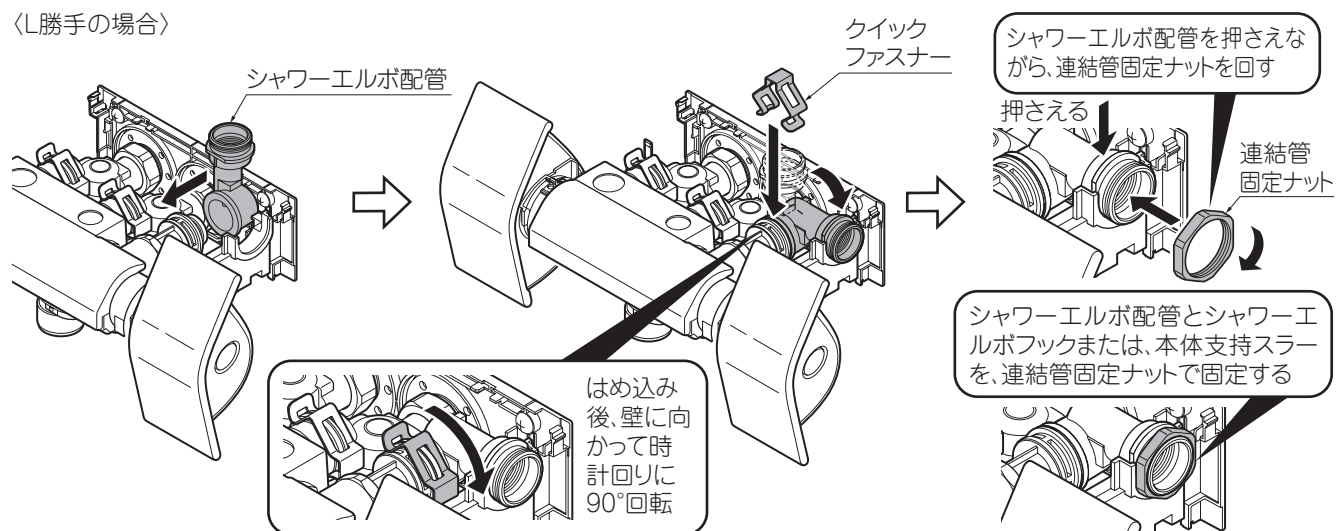
※シャワーエルボ配管は取り付け後、水栓本体側に90°回転させてください。

・クイックファスナーで固定したあと、90°回転させてください。

〈R勝手の場合〉

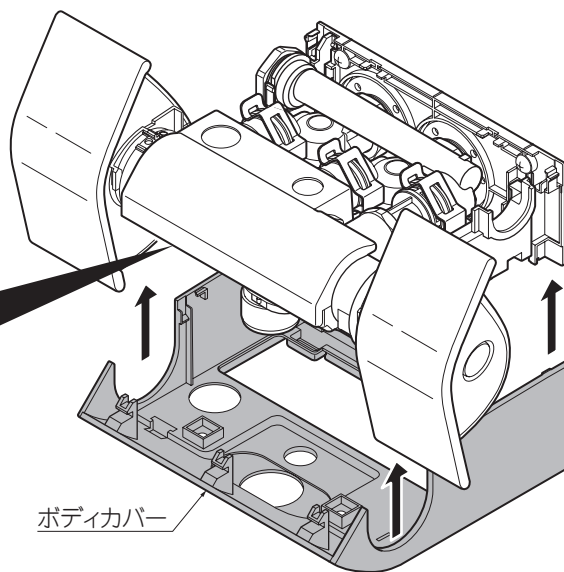
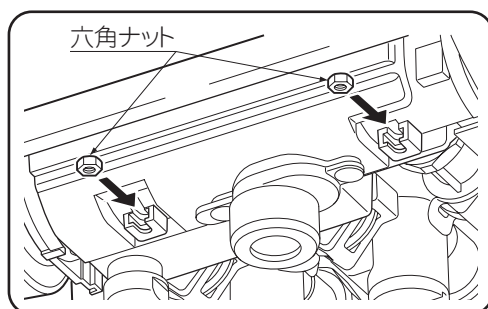


〈L勝手の場合〉

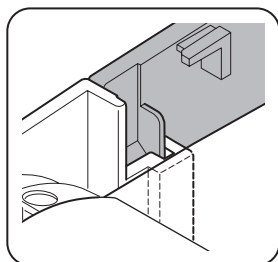
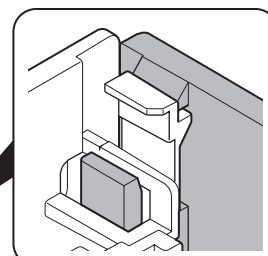
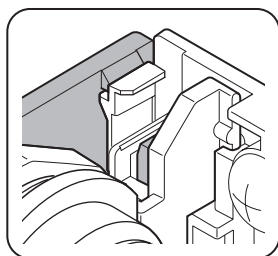


⑫ 本体下に六角ナット（2箇所）を取り付ける。

⑬ ボディカバーを下から水栓本体、リアステー、本体支持ステー、シャワーエルボフックに取り付ける。

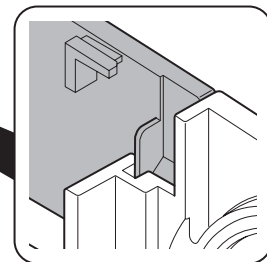


⑭ ツメのロックを確認後、固定する。



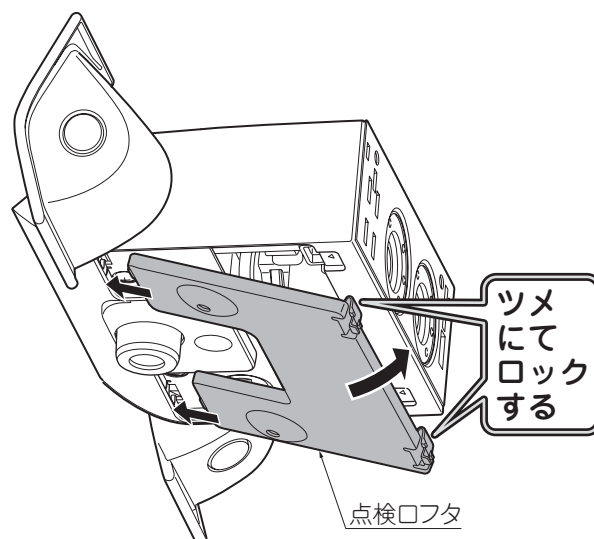
ボディカバー

トラスねじM4×8 (2本)



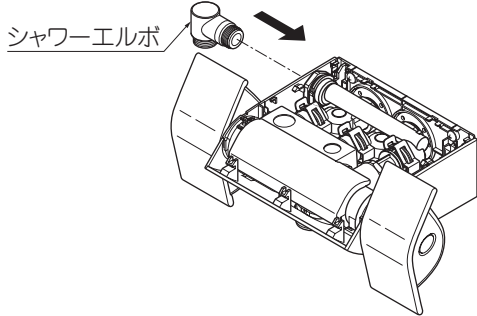
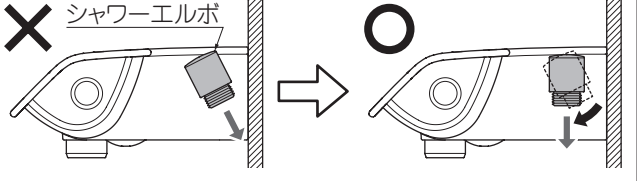
⑮ 点検口フタを取り付ける。

・スライドさせながらはめ込んでください。



点検口フタ

⑩ シャワーエルボを取り付ける。

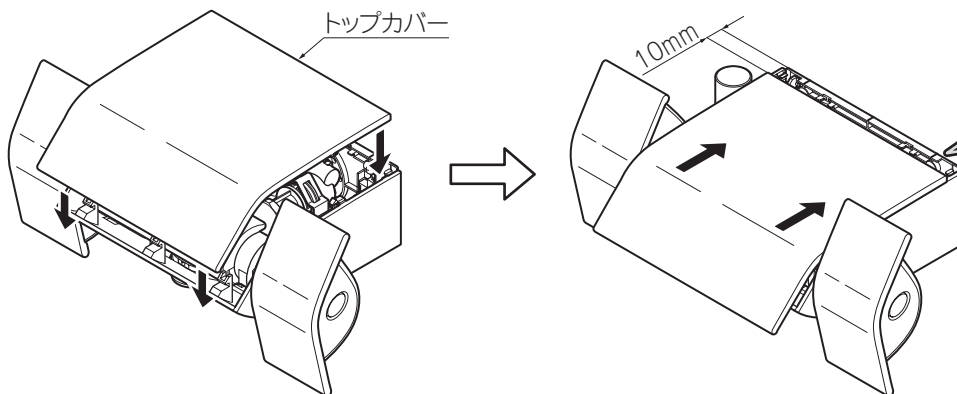
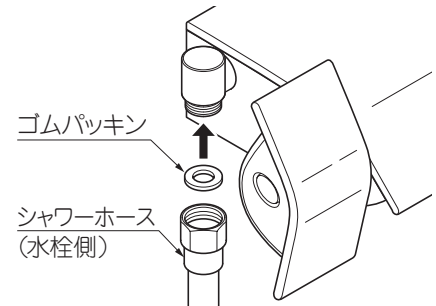
R勝手の場合	L勝手の場合
・シャワーエルボをシャワーエルボ配管にしめ込み、シャワーホース口が下に向くように戻してください。 	・シャワーエルボをシャワーエルボ配管に最後までしめ込み、シャワーホース口を下方向で固定してください。しめ込む際、シャワーエルボが途中で止まりますが、シャワーホース口が下方向になるようにさらにしめ込んでください。  ※下方向で固定しないと、ハンドルとホースが干渉します。

⑪ シャワーホース、シャワーヘッドをシャワーエルボに取り付ける。

⑫ トップカバーを前側からスライドさせて固定する。

取付設置上のお願

- ・トップカバーの取り付けは全ての部材取り付け後に行ってください。



トップカバーを壁から10mm程度手前で水栓全体に載せてスライドする。

〈トップカバーのはずし方〉

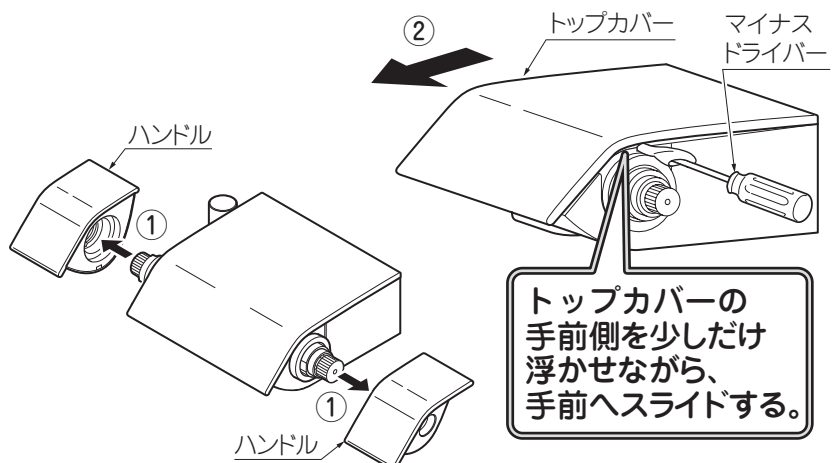
① ハンドルをはずす。

- ・ハンドルの角度は正規位置ではずしてください。

② トップカバーのツメをはずす。

- ・ウエスなどで巻いたマイナスドライバーを差し込みトップカバーを少し浮かせてください。

③ 手前にひっぱる。



トップカバーの手前側を少しだけ浮かせながら、手前へスライドする。

9. ドア本体の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 2枚折りドア

1 ドア本体の取り付け

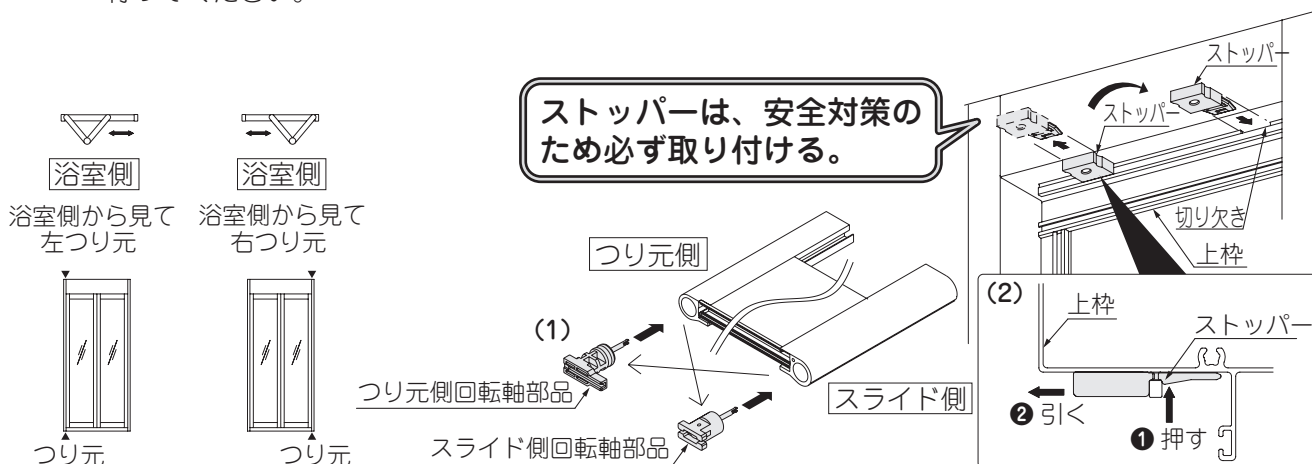
① つり元が逆の場合は、つり元の交換をする。

- 商品出荷時、部品は浴室側から見て左つり元にセットされています。右つり元で使用する場合は、つり元交換作業を行ってください。

- 上枠に取り付いているストッパーを引き抜き、反対側の切り欠きにはめ込んでください。
- 障子下部の戸車を引き抜き、吊元側と可動側の差替えを行ってください。

取付設置上のお願

- ストッパーは安全対策のため必ず取付けてください。



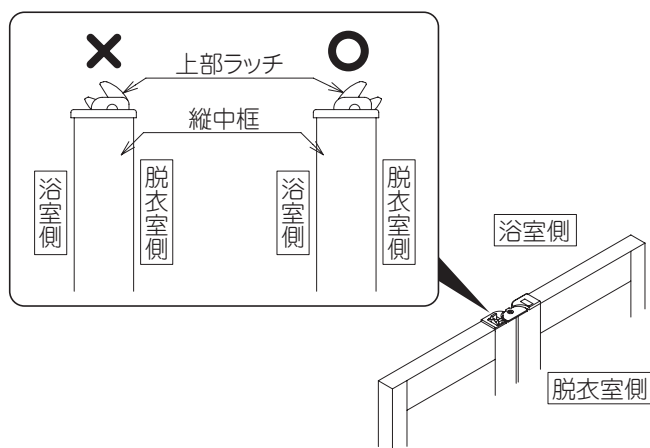
② ドア本体のつり込み前の確認をする。

- 上部ラッチの向きを必ず確認してください。
- 上部ラッチ(つめ部分)が浴室側に向いている場合は、脱衣室側に向きを直してください。

⚠ 注意



- 上部ラッチは正しい向きで取り付ける
(上部ラッチ(つめ部分)が浴室側に向いているまま使用すると、ドア本体が閉まりきらない場合があります。)

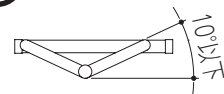


③ドア本体をつり込む。

- ・浴室側から見て左側がつり元のときの説明図です。
右側がつり元のときは、左右逆でつり込んでください。

取付設置上のお願い

- ・10°以下に開いた状態で
行ってください。

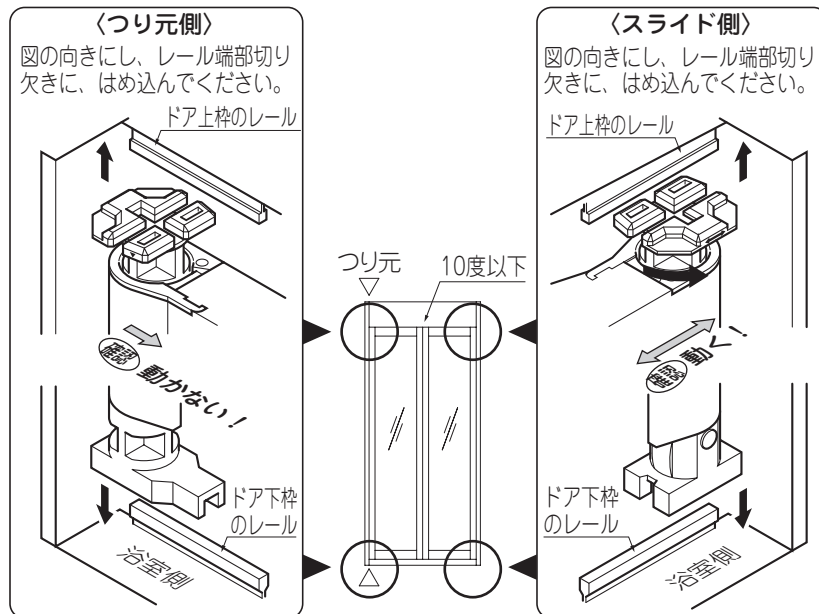


注意



必ず守る

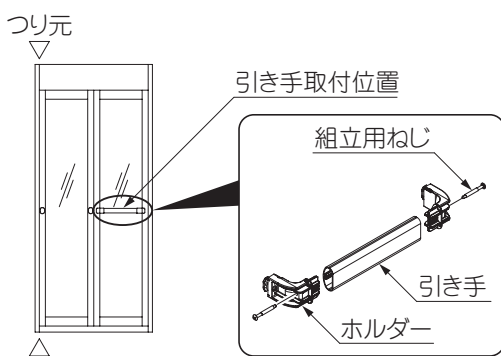
- ドア本体のつり込みは、
上下の戸車を正しく
セットする
(ドア本体がはずれるおそれ
があります。)
- 上戸車はめ込むときは、
向きに注意して取り付
ける
(上戸車を90°回転させ
ると、つり元側とスライド側
の使い分けができます。)



2 引き手の取り付け

①引き手とホルダーを固定する。

- ・引き手組立用ねじで固定してください。



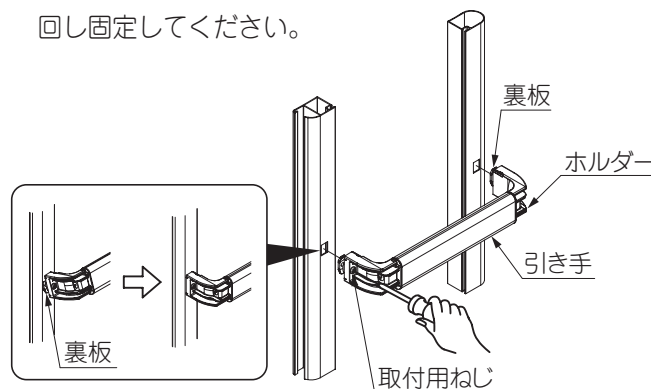
②引き手を取り付けなかった穴にねじカバーを取り付ける。

つり元側の縦框には、
ねじカバーを取り付け
てください。



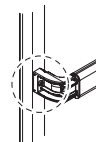
③浴室側引き手を取り付ける。

- ・ホルダーに付いている裏板を、縦框の加工穴に入れ
てください。
- ・引き手全体を軽く手前に引きながら、ホルダーに組み
込まれている取り付け用ねじを
回し固定してください。



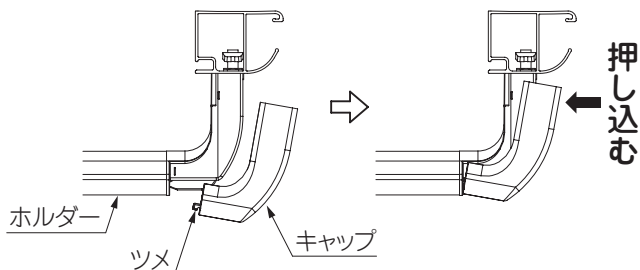
取付設置上のお願い

- 縦框に取り付け後、すき間・がたつき
が無いことを確認してください。



④ホルダーにキャップを取り付ける。

- ・キャップのツメをホルダーに差し込み、キャップ根元側を押し込んでください。

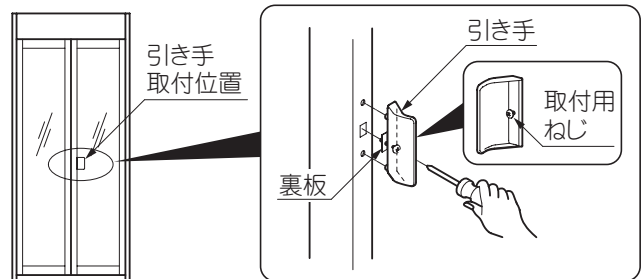


取付設置上のお願い

- キャップ取り付け後、がたつきが無いことを確認してください。

⑤脱衣室側引手を取り付ける。

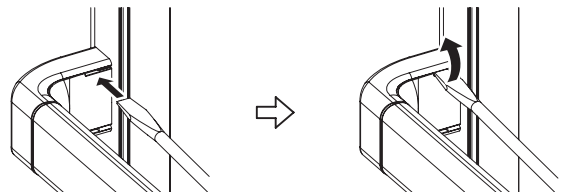
- ・引手を右側の縦中框に取り付けてください。



※裏板は、浴室側引手と同様に縦中框に入れてください。

〈キャップの取り外し方〉

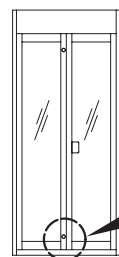
ホルダーの内側の溝にマイナスドライバーなどを差し込み、キャップの根元側を広げるように、マイナスドライバーなどを回転させる。



3 可動ラッチの調整

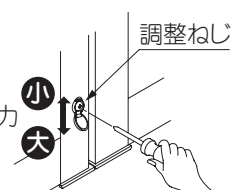
①開閉の確認をし、先に下部ラッチが開く場合は、下部ラッチとレールのかかり代を調整する。

- ・下部ラッチは、上部ラッチと同じタイミングで開閉ができるように、ドア本体を開いた状態で下部ラッチを開閉力 **大** の方へ調整してください。



●下部ラッチ

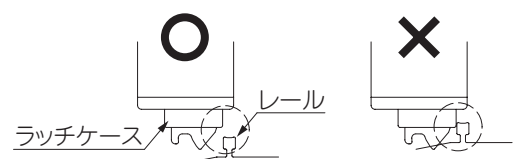
開閉ねじに付いているキャップをあけて調整してください。



開閉が重い場合→ねじ位置を上へ
開閉が軽い場合→ねじ位置を下へ

取付設置上のお願い

- 開閉に支障が出る場合がありますので、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。
- レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合は再度調整してください。



取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿木ねじ (3.1×20) は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

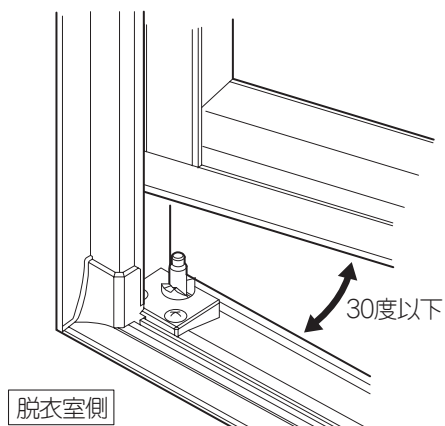
2 スイングドア

1 ドア本体の取り付け

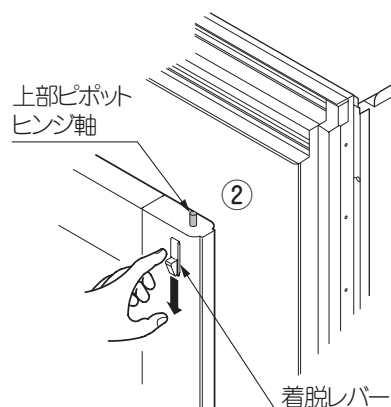
- ①ドア本体は必ず開いた状態で、下枠ピボットヒンジの軸を下枠ピボット受けの穴にはめ込む。
- ・吊り元側下部のみ、フラップ起こしを破損させないように注意してください。

取付設置上のお願い

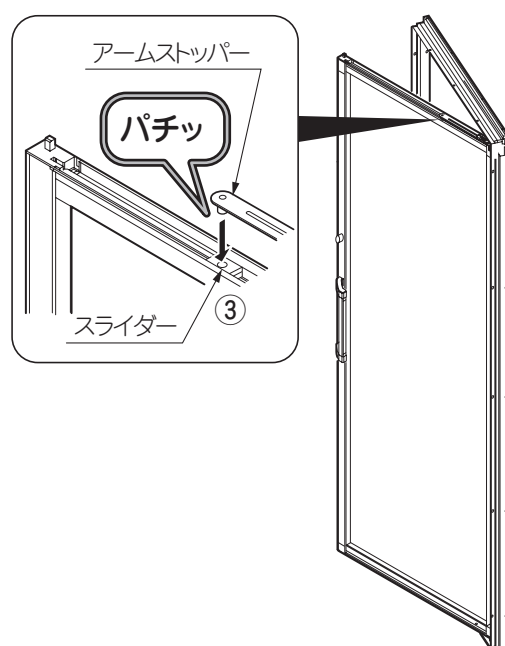
- グラビティーヒンジを使用しているため、ドアを30度以上開いた状態では枠に取り付けることはできません。



- ②ドア上部をドア枠に取り付ける。
- ・着脱レバーを押し下げながら、上部ピボットヒンジ軸をドア枠にはめ込む。

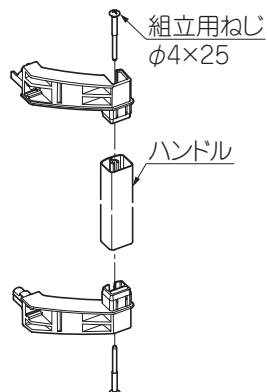


- ③アームストッパーをスライダーに差し込む。
- ・パチッと音がするまで押し込んでください。



2 ハンドルの取り付け

①ハンドルを組み立てる。



②ハンドルをドアに取り付ける。

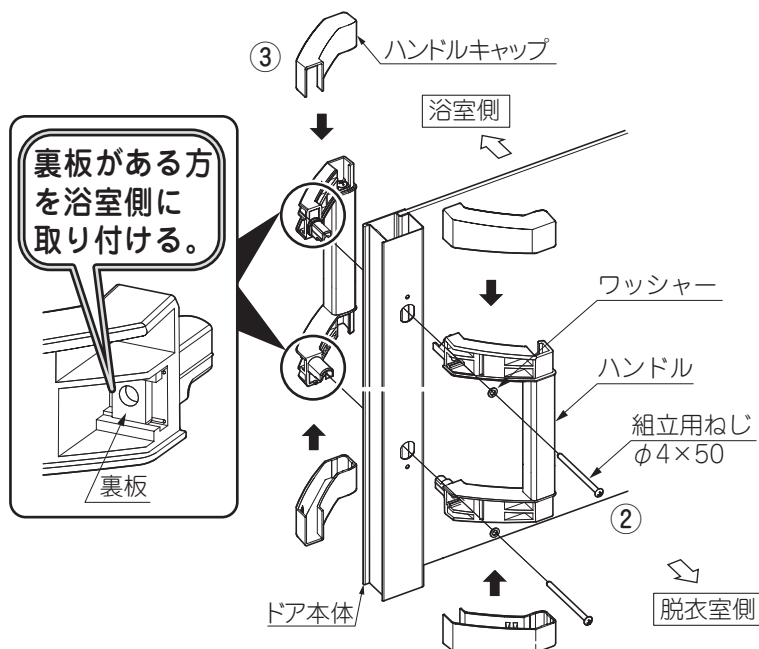
- ・⊕手回しドライバーでねじを脱衣室側からしっかりと締め付け、ハンドルを固定してください。

取付設置上のお願い

- 電動ドライバーは使用しないでください。頭がつぶれるおそれがあります。



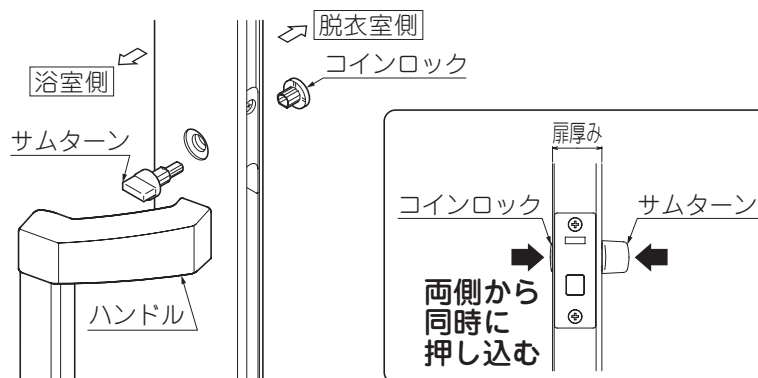
③ハンドルキャップを取り付ける。



3 サムターンとコインロックの取り付け

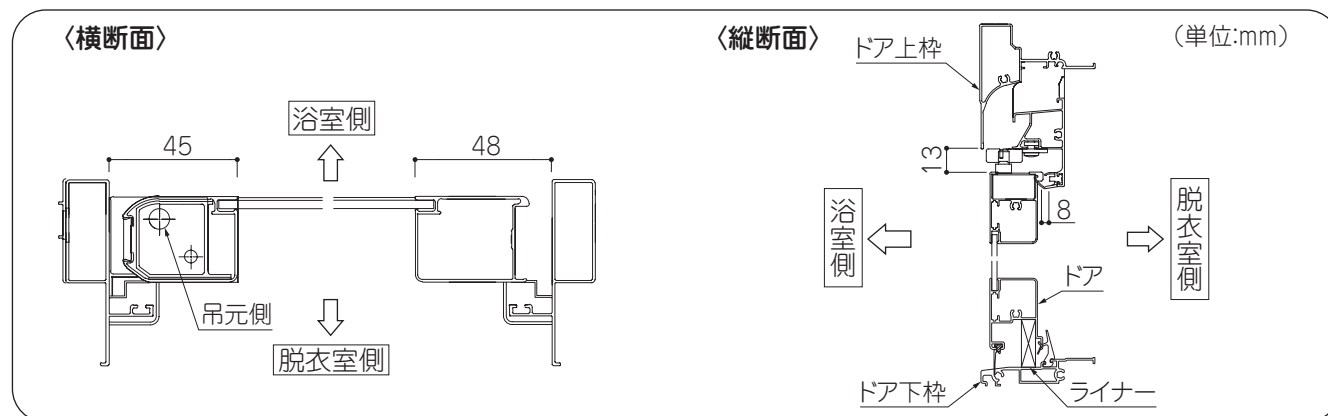
①サムターンとコインロックを内外から挟み込むように取り付ける。

- ・サムターンが浴室側になるように取り付けてください。
- ・パチンと音がするまではめ込み、サムターンをつまんで、しっかりはまっていることをご確認ください。



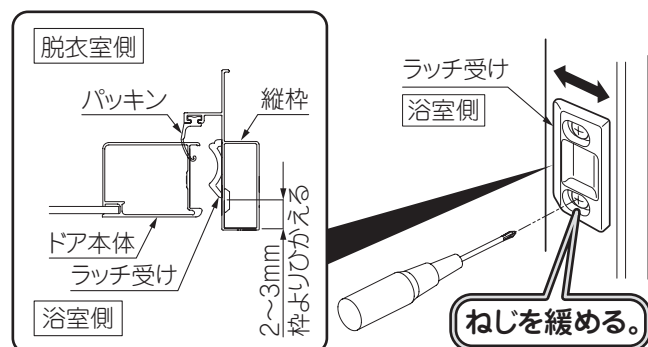
4 枠の取り付け確認

- ①ドア枠は、はらみ、つずみ状態、対角ずれのないように取り付ける。
- ②図のように障子を基準に枠の取り付けをチェックする。
・ 障子鉋側下部にはり付けてあるライナーを取り付けたままで枠につり込むと、下部のチリは確保されます。



5 ラッチ受けの調整

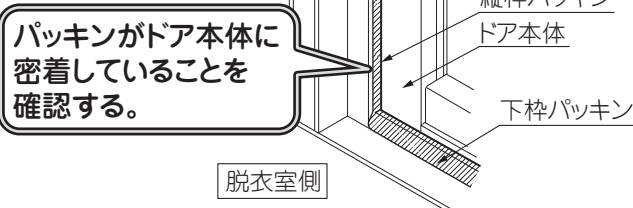
- ①ラッチ受けの前後調整を行う。
・ 縦枠パッキンと下枠パッキンがドア本体と密着するように、ラッチ受けを前後調整してください。



⚠ 注意

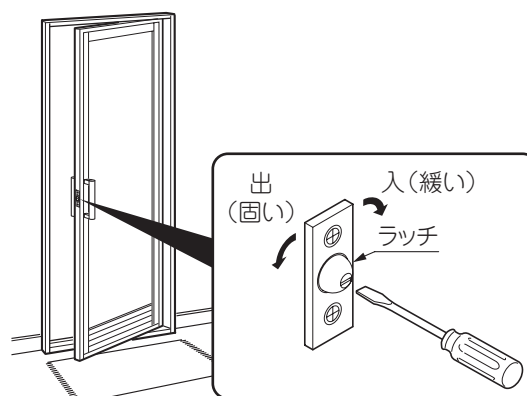


- ラッチの確認・調整は必ず行う
(ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因となります。)



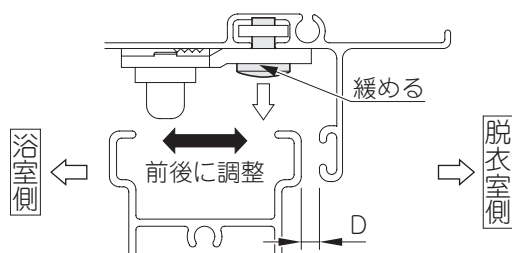
6 ローラーの調整

- ①ドアの開閉力調整が必要な場合、マイナスドライバーなどを使用して調整を行う。
・ ラッチを回してください。

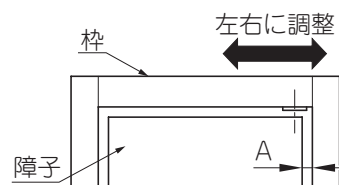


7 ピボットヒンジの調整

- ①パッキンの当たりが強いときは浴室側へ、すき間があるときは脱衣室側に前後方向の調整をする。
- ・見込みチリ寸法Dを3～7mmの範囲で調整できます。(初期設定は3mm)



- ②枠と障子のチリがくるっているときなどは、左右方向の調整を行う。
- ・縦のチリ寸法Aを2～7mmの範囲で調整できます。



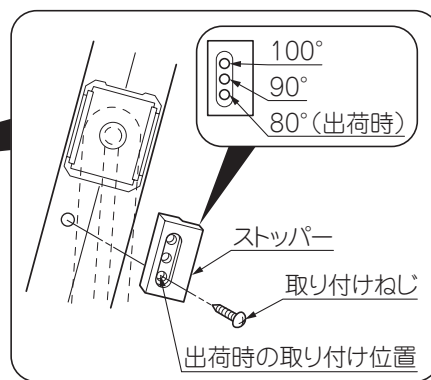
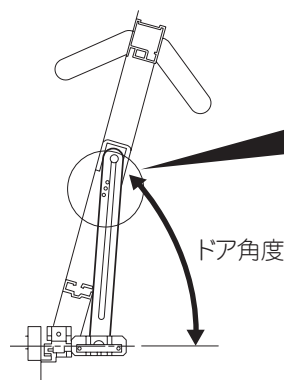
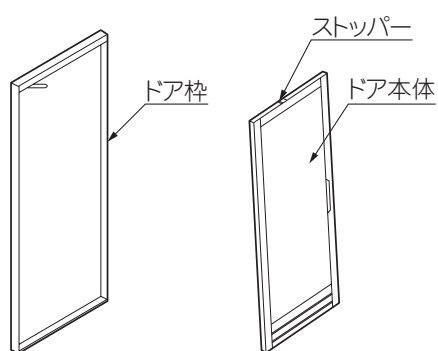
取付設置上のお願い

- A寸法を小さくすると調整すると、パッキンの当たりが大きくなり、異音が発生したり、開閉に支障が出たりするので注意してください。

8 アームストッパーの調整

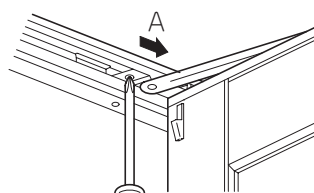
- ・出荷時のドア角度は、80度開きです。
- ・ドア角度を変更したい場合は、以下の作業を行ってください。

- ①ドア本体の上にあるストッパーの取り付けねじを外す。
- ・ドア本体を外すと、上からストッパーを確認することができます。
- ②部品をスライドさせて、任意の穴位置で固定する。



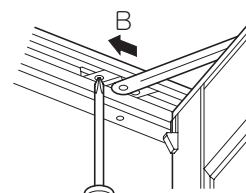
- ・ドアを全開にすると、壁やタオル掛けなどの部材に干渉する場合は、右図の作業を行ってください。

〈開き角度を大きくする〉



アームストッパー取り付けねじを2個緩め、Aの方向にずらす。

〈開き角度を小さくする〉



アームストッパー取り付けねじを2個緩め、Bの方向にずらす。

9 開閉の確認

- ①開閉を確認して異常があった場合は、前述の調整を繰り返し、場合によっては取り付け開口部の垂直度、水平度を確認する。

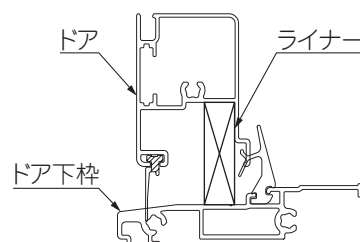
⚠ 注意



必ず守る

- 下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する
(パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。)

- ②調整後、ライナーは取り外す。



取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿タッピンねじ (φ4×16) は、額縁を取り付ける工事店に引き渡してください。直接引き渡しができない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手にはり付けるなどして、すぐに見つけられるようにしてください。

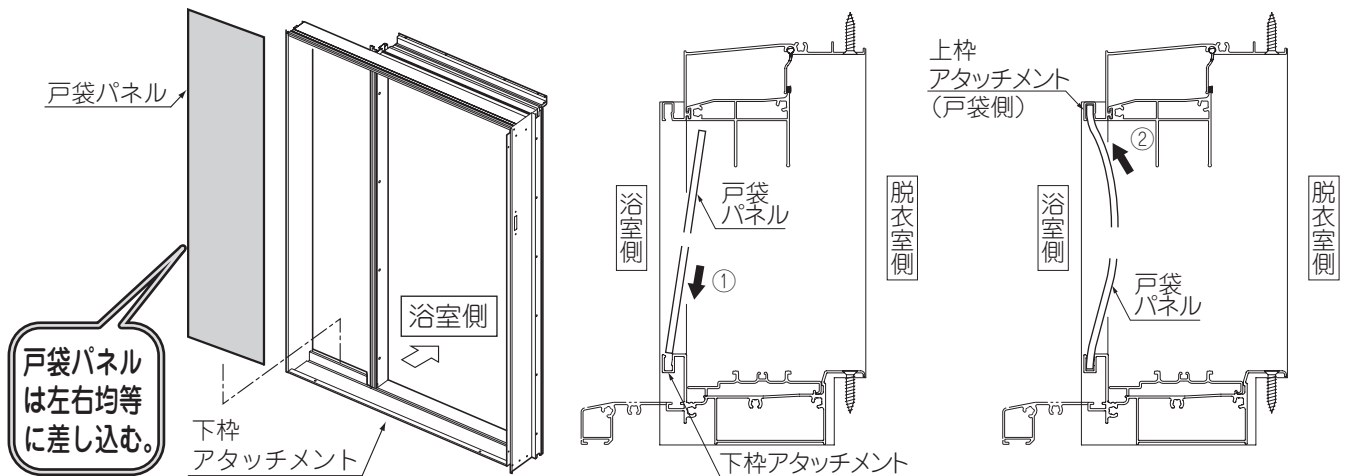
3 2枚引き込戸

1 戸袋パネルの取り付け

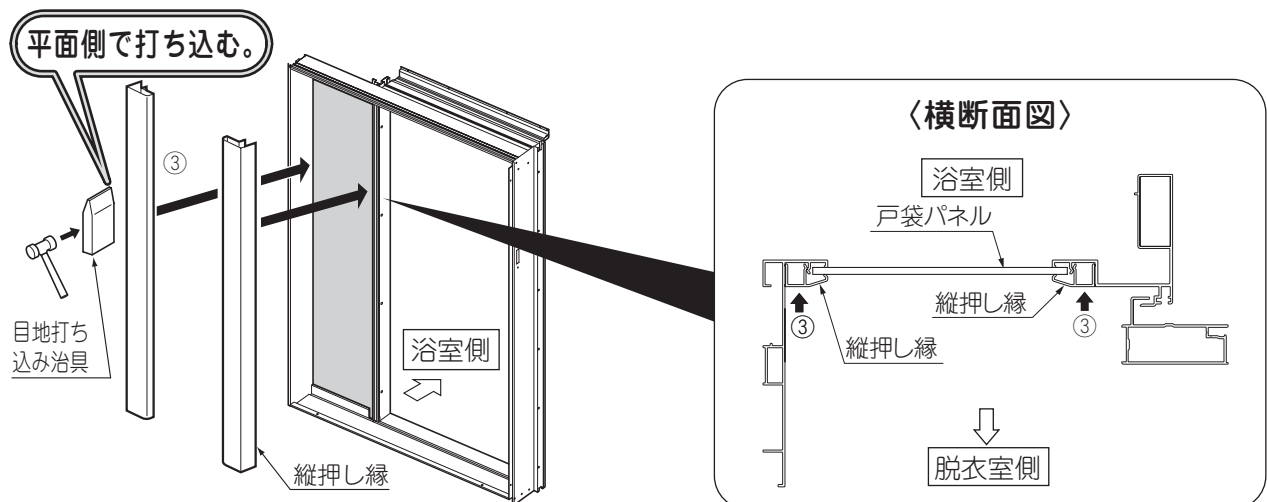
- ①戸袋パネルを脱衣室側から、下枠アタッチメントへ差し込む。
- ②戸袋パネルの中央部を脱衣室側へ反らし、パネル上部を上枠アタッチメント（戸袋側）に差し込む。

取付設置上のお願い

- 戸袋パネル取り付け前に養生シートをはがしてください。

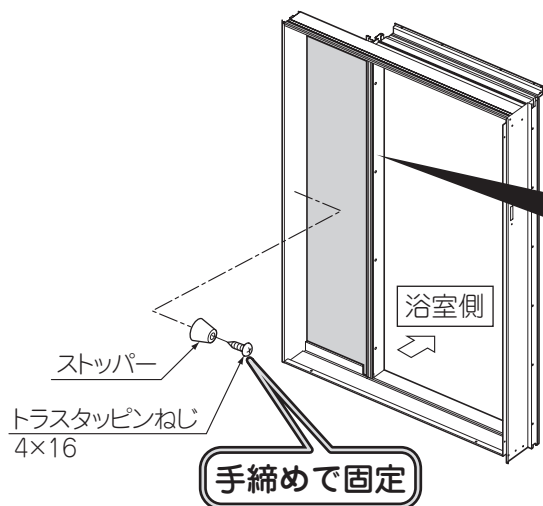


- ③縦押し縁を脱衣室側からはめ込む。
・縦押し縁の取り付けが固い場合は目地打ち込み治具を使用してください。

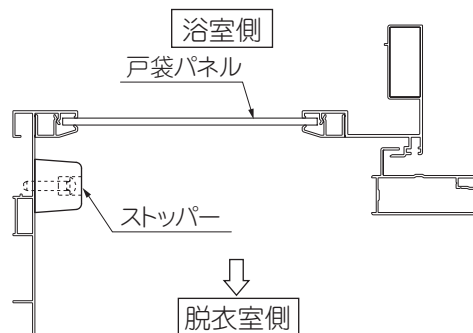


④縦枠にストッパーを取り付ける。

- ・ストッパーが変形しない程度にねじ留めしてください。

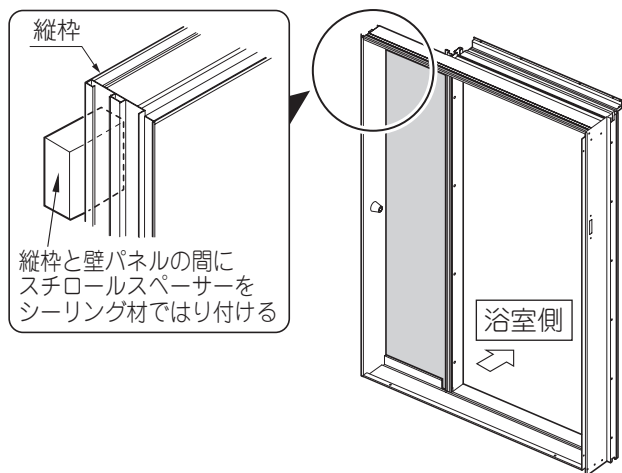


〈横断面図〉



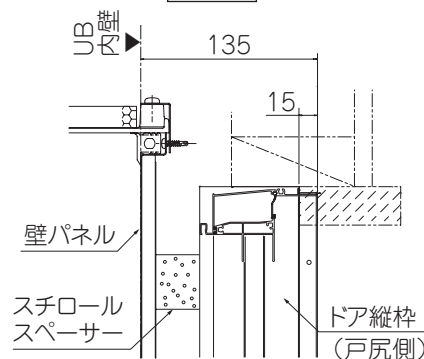
⑤戸尻側の縦枠上部にスチロールスペーサーをはり付ける。

- ・スチロールスペーサーのサイズは、厚さ30mm程度としてください。



断面図

(単位：mm)



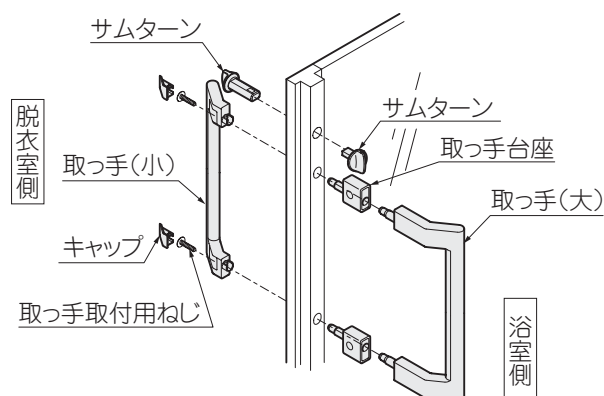
2 取っ手・サムターンの取り付け

①浴槽側が取っ手(大)になるように取り付け、キャップをはめる。

- ・取っ手取り付けねじで固定してください。
- ・取っ手(大)には、取っ手台座を取り付けてください。

②サムターンを取り付ける。

- ・サムターンの大小は、どちらを浴室側へ取り付けても構いません。



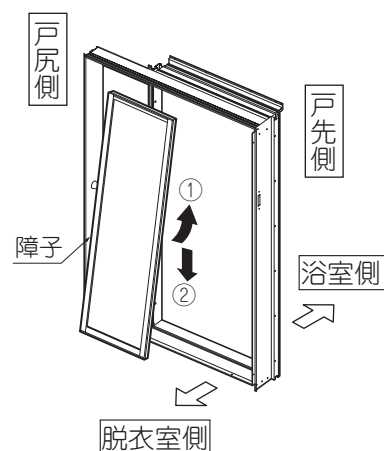
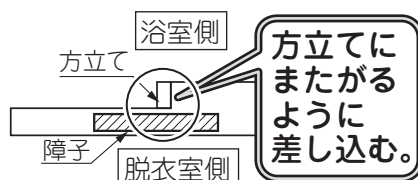
3 障子のつり込み

①下図のように障子を脱衣室側からつり込む。

・2枚引き込戸の場合は、戸尻側の障子を先につり込んでください。

取付設置上のお願い

- 2枚引き込戸の戸尻側の障子は、方立てをまたぐように障子をつり込んでください。



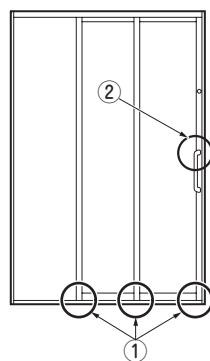
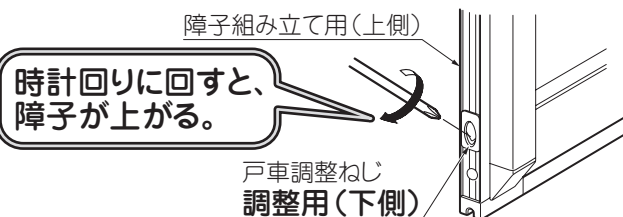
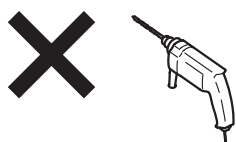
4 建て付け調整

①建て付けが悪い場合は、戸車を上下に調整する。

- ・⊕手回しドライバーで戸車調整ねじを時計回りに回すと障子が上がります。
(3.5mmまで調整可能)

取付設置上のお願い

- 電動ドライバーは使用しないでください。頭がつぶれ、戸車調整ができなくなります。
- 調整は下側の穴を確認してから行ってください。
(上側の穴は障子組み立て用ねじなので、回さないでください。)



②錠のかかりが悪い場合は、錠受け取り付けねじを緩めて上下方向に調整し、再度ねじを締め直す。

取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿木ねじ (3.1×20) は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

10. 器具の取り付け

単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付ける場合は、必ず鋼板用樹脂アンカー（白）挿入後、シーリング材充てんしてください。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に（確実にシーリング材充てないと、水漏れの原因となります。）
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付ける（確実に行わないと、落下事故の原因となります。）

1 ミラー・スライドバー

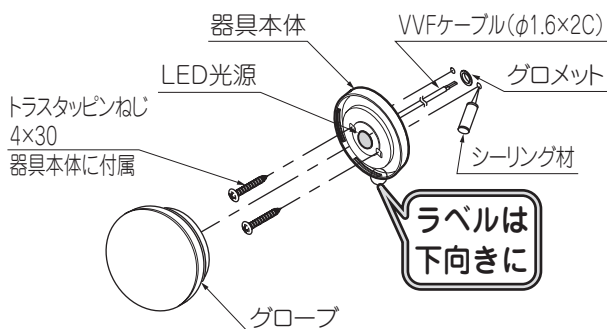
※ミラーシェルフ・シャワーバーは部品同梱の取付設置説明書を参照ください。

2 天井周辺器具

1 照明用カバーの取り付け

①照明用カバーを取り付ける。

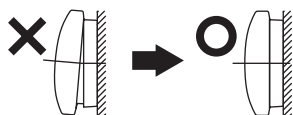
〈サークルLED照明〉



⚠ 注意



- 照明カバーは確実に取り付ける（守らないと落下し、けがをするおそれがあります。）



取付設置上のお願

- サークルLED照明の場合、LED光源に触れたり傷つかないように注意してください。（傷がつき、光むらの原因となります。）
- 照明カバーは最後まで締め切って使用してください。（カバー内部に水が浸入して故障の原因となります。）
- 照明器具を横側から見て、器具本体とグローブの間にすき間がある場合は、取り付けが不完全です。一度グローブを取り外し、確実に取り付けてください。

2 物干しバー（オプション）の取り付け

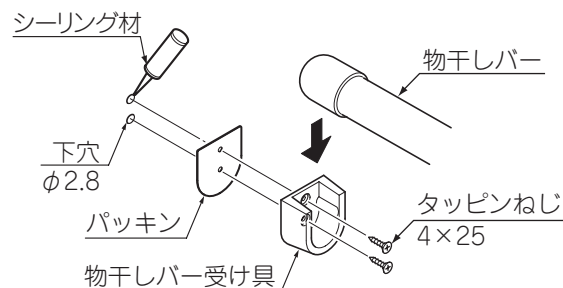
①下穴にシーリング材を塗布する。

②物干しバー受け具を取り付ける。

⚠ 注意

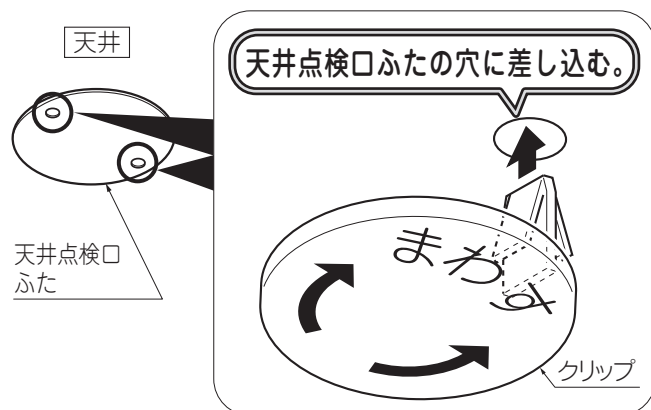


- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

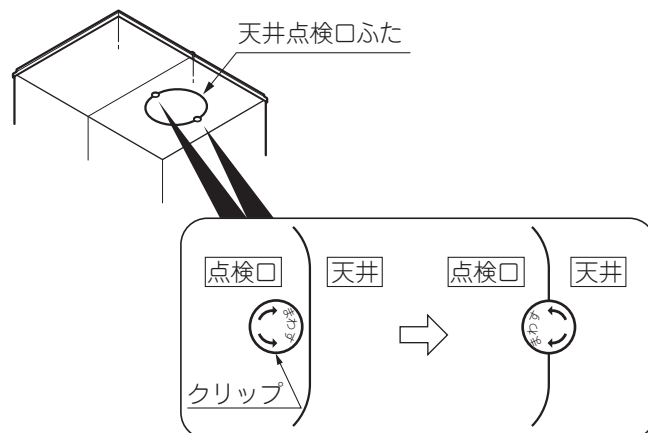


3 天井点検口ふたの取り付け

①天井点検口ふたに天井点検口クリップを取り付ける。(2か所)



②天井点検口ふたを取り付け、クリップを回してふたが浮かないように止める。



3 その他器具

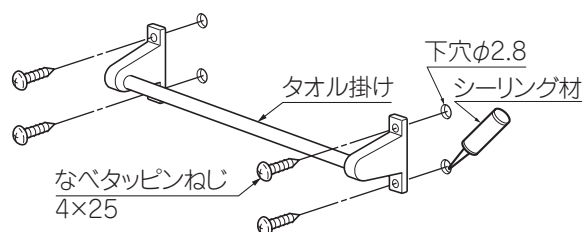
1 タオル掛けA・Bの取り付け

①下穴にシーリング材を塗布し、取り付ける。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)



※図はタオル掛けAの場合

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 タオル掛け Bの取り付け

【2024年10月2日発売以降仕様】

①下穴にシーリング材を塗布し、取り付ける。

注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

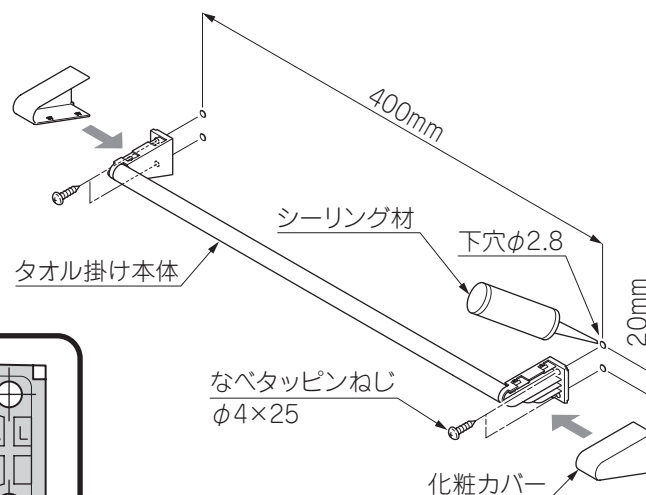
取付設置上のお願い

- 上下の向きにご注意ください。



ブラケット
取付面

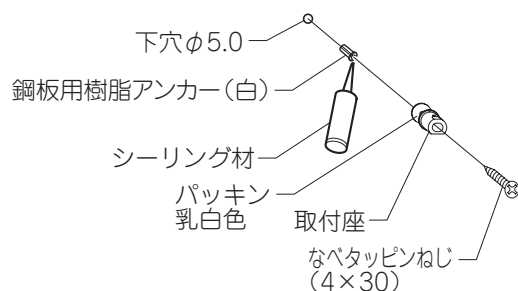
ブラケットの取付面の **上** マークの向きを確認



3 タオル掛け Cタイプの取り付け

①壁に取付座を取り付ける。

- ・取付座を仮固定し、パイプが差し込めるように調整してねじを増し締めしてください。



調整方法

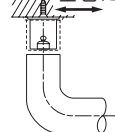
取付座をパイプ
ピッチに調整

取付座の方向性
を調整

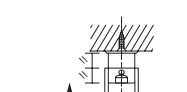
確認

パイプを実際に
差し込んで確認

左右に移動



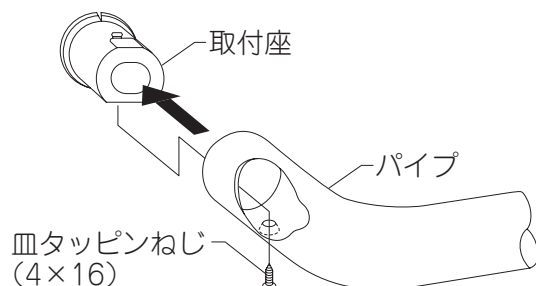
中心を合
わせるた
めの溝



半分程度
差し込む

※全部差し込むと抜けにくくなります

②取付座にパイプを差し込み固定する。



取付設置上のお願い

- 取付座は樹脂製品のため、ねじを締め込む際はご注意ください。(無理やり締め込んだり、斜めに入れたりするとねじ部が破損します。)
- パイプは水平にして同時に差し込んでください。(左右傾いて差し込むと、パイプの変形および取付座の破損の原因となります。)

4 オートルーパー暖房換気乾燥機 リモコンの取り付け

- ①下穴にシーリング材を塗布し、リモコンホルダーを取り付ける（2箇所）。

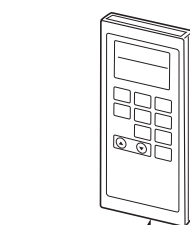
・シーリング材がはみ出した場合は、ふき取ってください。

⚠ 注意

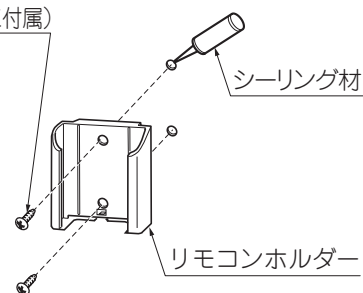


- シーリング材充てんは指定個所に確実にを行う（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

なべタッピンねじ（製品に付属）
φ4×16



ワイヤレス
リモコン



シーリング材

リモコンホルダー

5 組みフタフックの取り付け

- ①下穴を開け、補強木を取り付ける。

・φ2.8で穴開けしてください。

- ②フック本体とキャップを、それぞれ図のように組み立てる。

- ③取り付け用下穴に直接シーリング材を充てんし、スリーブをトラスタッピンねじで固定する。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実にを行う（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）



補強木

両面テープ

下穴サイズ：
φ2.8

シーリング材

シーリング材
キャップ

フック本体

切り欠きを合わせる。

シーリング材
下穴に直接
シーリング材充てん

トラスタッピンねじ
4×25

③

スリーブ

④

フック本体

- ④スリーブにフック本体を差し込む。

※フック本体が確実に固定されたことを確認してください。

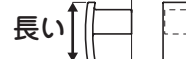
6 3点フックの取り付け

①図のように壁に取り付ける。

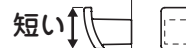
取付設置上のお願い

- 3点フックは回転しません。
取り付け方向にご注意ください。

● 上側

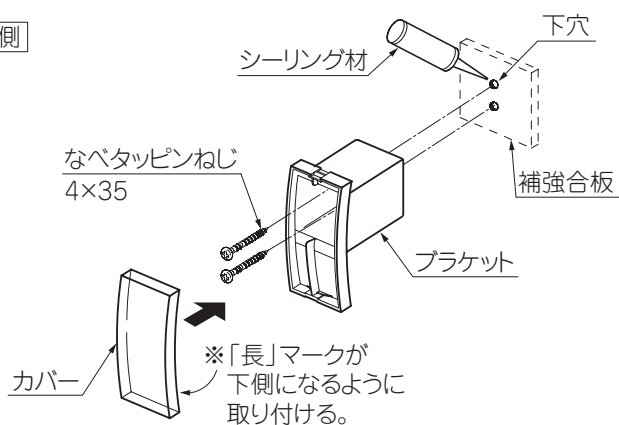


● 下側

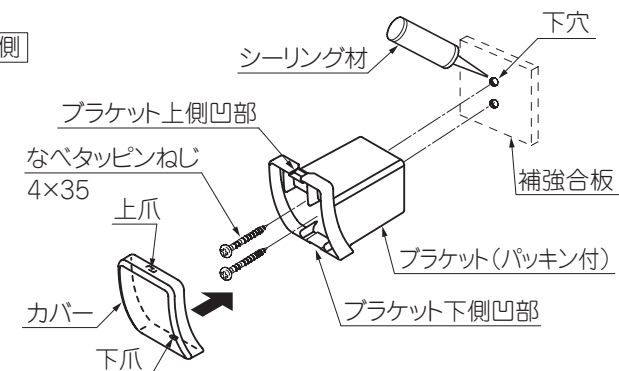


〈標準仕様の場合〉

上側

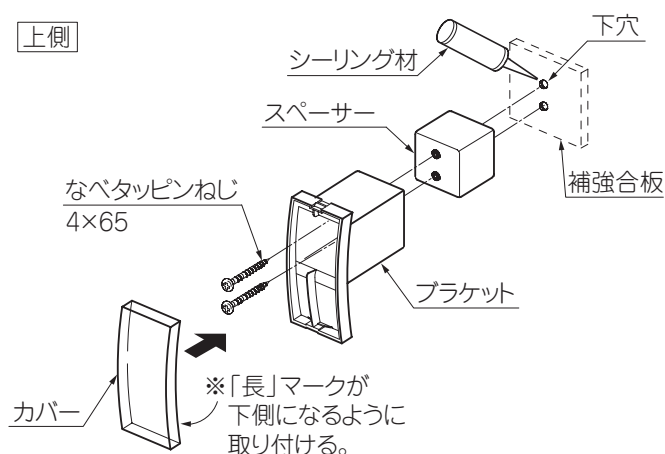


下側

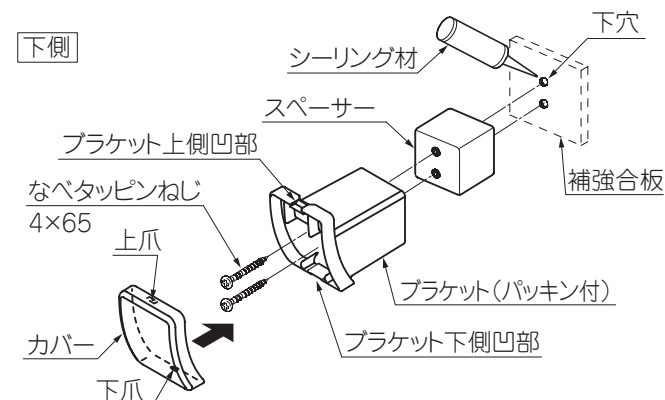


〈スペーサーがある場合〉

上側



下側



※風呂フタにラベルをはり付けてください。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

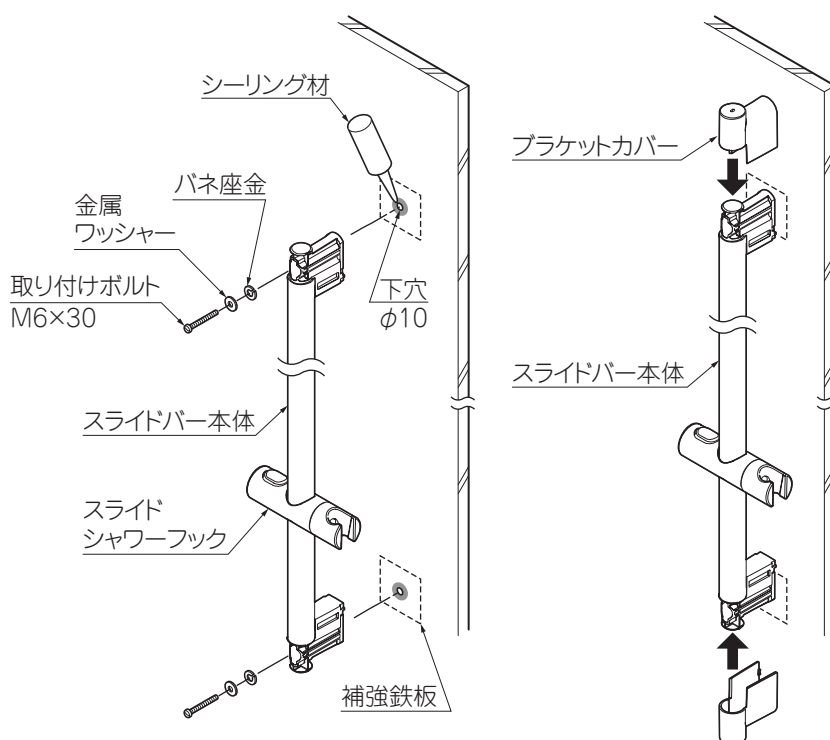
4 収納関連器具

1 握りバー兼用スライドバーの取り付け

①下穴の中と周囲にシーリング材を塗布する。

②スライドバー本体を取り付ける。
・シーリング材が乾く前に、手早く行ってください。

③ブラケットカバーをはめ込む。



⚠ 注意



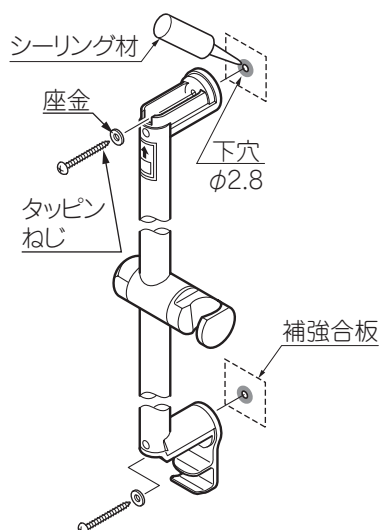
必ず守る

●シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

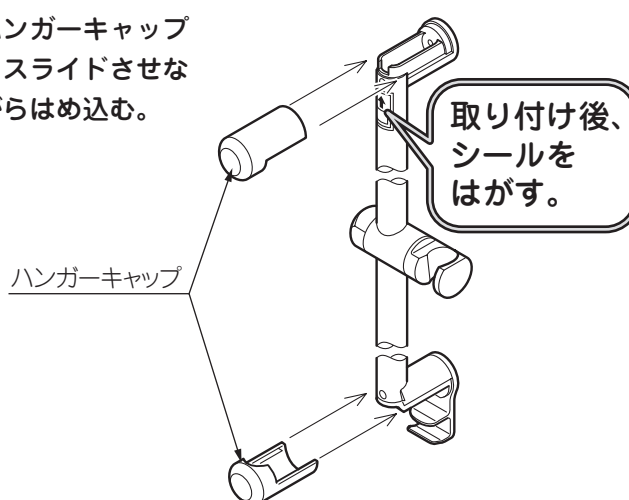
2 シャワースライドバーの取り付け

①下穴の中と周囲にシーリング材を塗布する。

②スライドシャワーフック本体を取り付ける。
・シーリング材が乾く前に、手早く行ってください。



③ハンガーキャップをスライドさせながらはめ込む。



⚠ 注意



必ず守る

●シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

3 シャワーフックの取り付け

①下穴に鋼板用樹脂アンカー（白）を挿入し、シーリング材を塗布する。

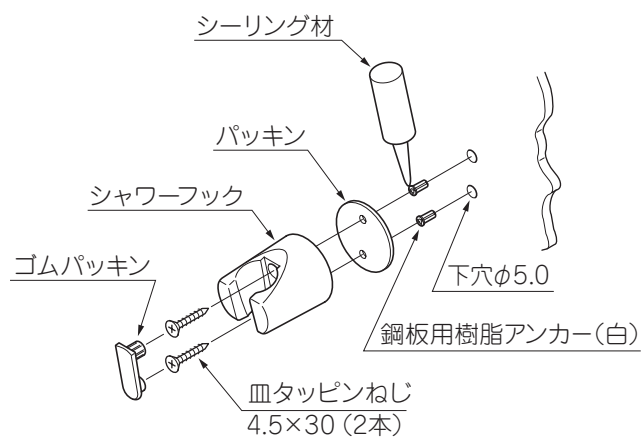
②シャワーフックを取り付ける。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水
漏れの原因となります。)
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して
取り付ける
(確実に行わないと、落下事故の原因とな
ります。)

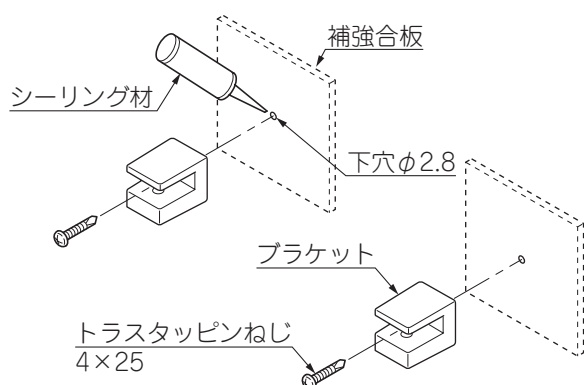


4 ガラス調収納棚の取り付け

①下穴に直接シーリング材を塗布する。

- ・はみ出したシーリング材はウエスなどでふき取ってください。

②下穴に直接シーリング材を塗布し、ブラケットを仮固定する。(補強合板固定)



⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

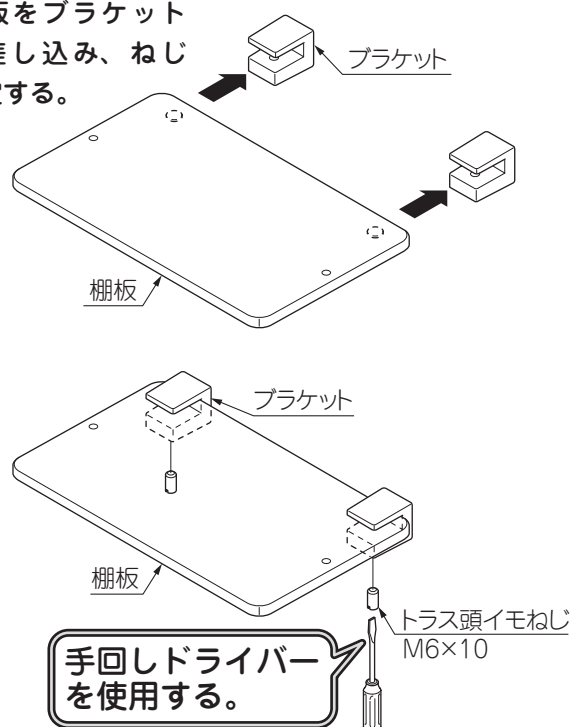
③ブラケットのレベルと位置を調整する。



取付設置上のお願ひ

- ブラケットの水平を確認し、レベル調整をする。

④棚板をブラケットに差し込み、ねじ固定する。



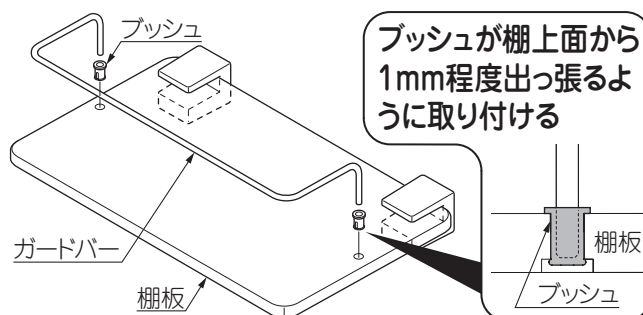
⚠ 注意



必ず守る

- ねじは、棚板の座繰りの穴の中に固定
する
(破損のおそれがあります。)

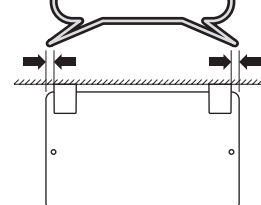
⑤棚板にプッシュとガードバーを差し込む。



取付設置上のお願ひ

- 棚板の端とブラケット
のすき間を均等にして
ください。

左右均等に

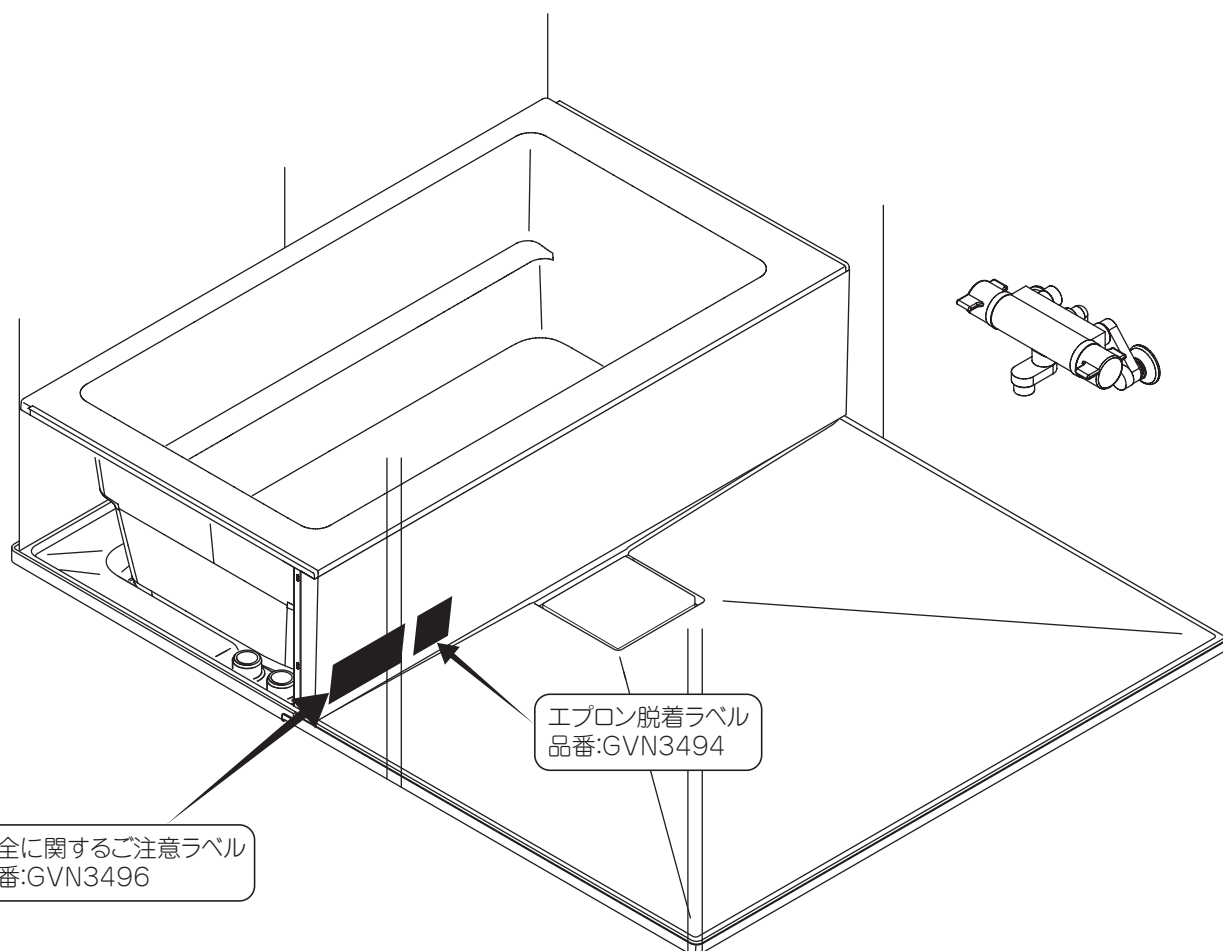


11. 仕上げ・清掃・検査

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 最終仕上げ

1 ラベルはり付け

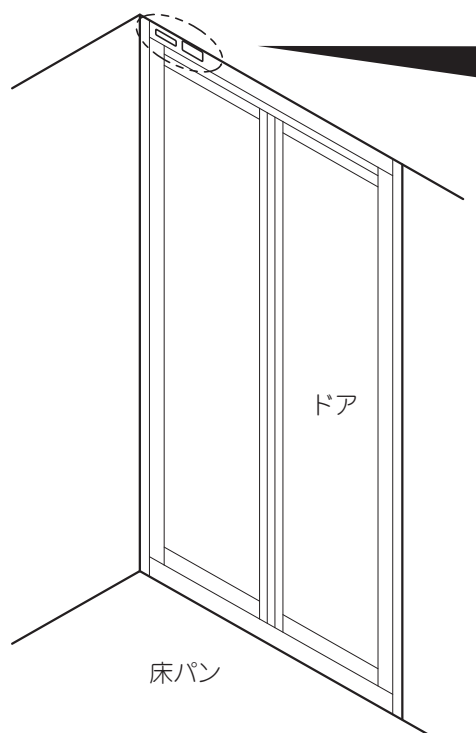


2 社名ラベル・件名管理ラベルのはり付け

①社名ラベル・件名管理ラベルはり付け

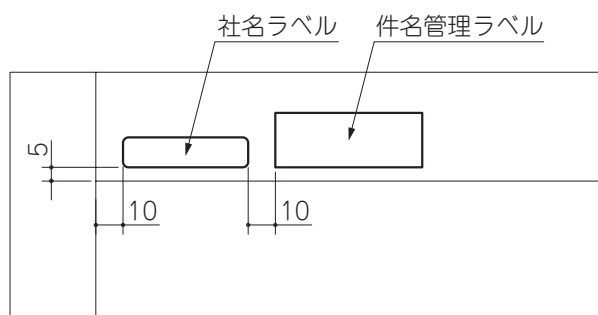
下記の位置に、社名ラベル・件名管理ラベルをはり付けます。

件名管理ラベルはアフターメンテナンス時に、商品の仕様・内容などの情報を知るために必要な重要なラベルです。エプロン着脱ラベルと共に、必ずはり付けてください。



はり付け位置
・浴室内から見てドア枠左上

(はり付け位置目安)



【例－件名管理ラベル】

****年 **月
件名NO. AWA127

【例－社名ラベル】

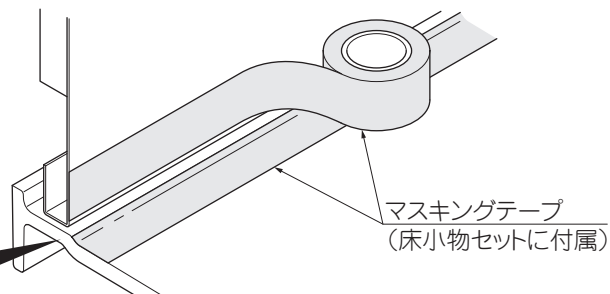
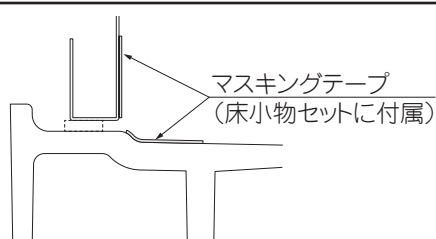
miratap

3 シーリング材の準備

①シーリング材幅に合わせてマスキングテープをはり付けた後、シーリング材充てんを行う。

- ・床・洗い場側にはマスキングテープを使用してください。

断面図



※シーリング材充てんの幅は、2～4mmのすき間を確保してください。

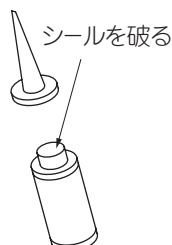
⚠ 注意



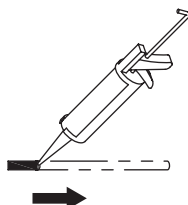
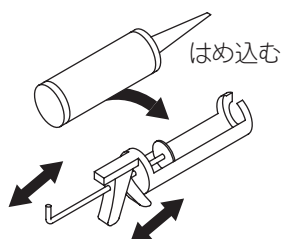
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

②指定個所に、シーリング材充てんを行う。

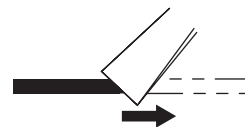
- (1)ノズルを使用個所にあわせて (2)シールを破る。
切断する。



- (3)シーリング材をコーキングガンにセットする。 (4)シーリング材充てん



- (5)目地用ヘラなどでおさえ
表面仕上げ



(はみ出したシーリング材はウエスなどでふき取ってください。)

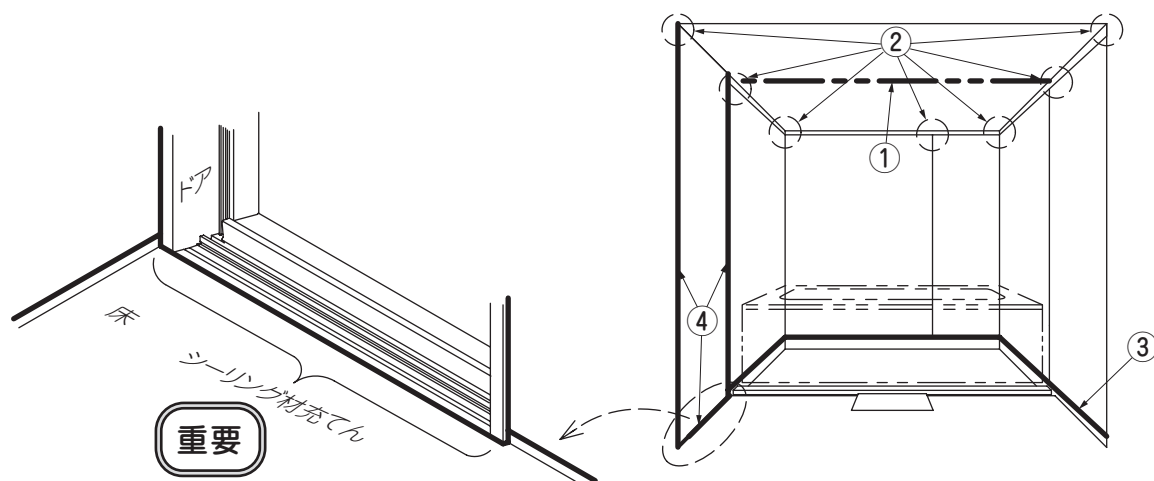
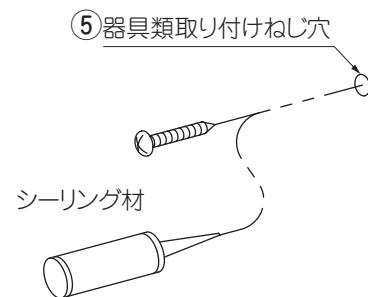
取付設置上のお願

- シーリング材個所の汚れ、水分などは事前にきれいにふき取ってください。
- パッキンとシーリング材の併用止水部については、充てん部に空気が入り込まないように、ゆっくりとシーリング材充てんを行ってください。
- 付属のシーリング材を、必ず使用してください。

4 その他のシーリング材充てん指定個所

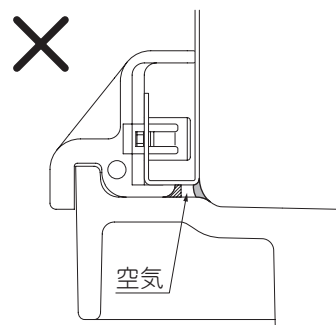
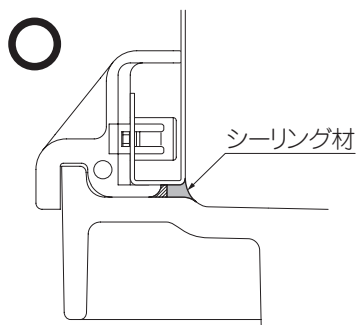
番号	部 位	壁	
		薄色	濃色
①	天井ジョイント部	○	○
②	天井回し縁～壁目地接合部	○	○
③	床～壁取り合い部	21、22ページ参照	
④	ドア枠回り（上部以外のドア枠：ホワイト・シルバー）	○	○
	ドア枠回り（上部以外のドア枠：ブラック）	○	●
⑤	器具類取り付けねじ穴	○	○

○：シーリング材（ホワイト） ●：シーリング材（ブラック）



取付設置上のお願い

- 上図の太線部分にシーリング材を塗布します。シーリング材の色は上表をご参照ください。
- シーリング材の奥に空気が残らないよう、シーリング材の塗布・仕上げを行ってください。



壁下にシーリング材を塗布する際は、奥までしっかり充てんしてください。シーリング材の塗布が途切れた部分は空気が残りやすいので、指で仕上げる際、特に注意してください。（空気が残るとシーリング材が切れやすくなり、水漏れの原因になります。）

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
（確実にシーリング材を充てんしないと、水漏れの原因となります。）

2 最終チェック・清掃と後片付け

1 清掃と仕上げ

①清掃と仕上げを行う。

清掃・仕上げは通水、通電その他現場の仕上げ状況を確認、打ち合わせのうえ行ってください。
養生材や残材などは前もって搬出し、各部の清掃とあわせて混合水栓の止水状態、床、壁、天井、建具、器具類、の損傷の有無も点検してください。

- ・床～排水トラップ、浴槽などは工事中的ごみ、砂などがたまる場合があります。必ず点検してください。
- ・床パン、浴槽部は水洗いしてください。（各目地部のシーリング材充填完了まで水洗いは厳禁）水洗いで落ちない汚れは「中性洗剤」でふいてください。（中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。）
- ・浴室部材は有機溶剤（シンナー、ラッカーなど）でふかないでください。
（表面が変色、白化あるいは、ザラついたり溶けるおそれがあります。）
- ・水洗い時に器具類にかかった水滴は、乾いたきれいな布でふき取ってください。
- ・床排水口（トラップ）に床排水口カバーをセットしてください。
- ・`件名管理ラベル`・`社名ラベル`・`安全に関するご注意ラベル`・`エプロン脱着ラベル`
などを指定位置にはってください。（159、160ページ参照）
- ・`取扱説明書` はタオル掛け、ドアノブなどに取り付けてください。
- ・養生テープはガラス面（ドア・FIX窓・ミラー）に直接貼らないでください。
※テープのノリ残りが発生する可能性があります。

2 通水（排水）チェック

通水～排水のテストは通水日、パイプシャフトの開栓順序、階別順序など詳細打ち合わせのうえ、通水～排水状態、水漏れの有無を確認してください。

3 最終チェック

巻末に記載されている「取付設置後のチェック」の項目をチェックし、
問題がなければチェック印を記入する。

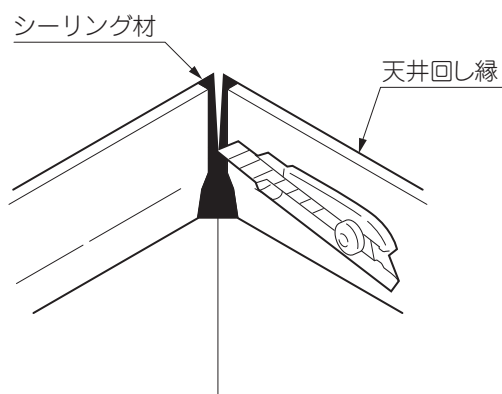
12. 付録

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

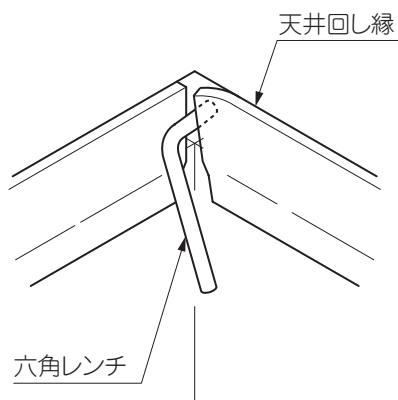
1 天井回し縁の取り外しかた

1 天井回し縁の取り外しかた

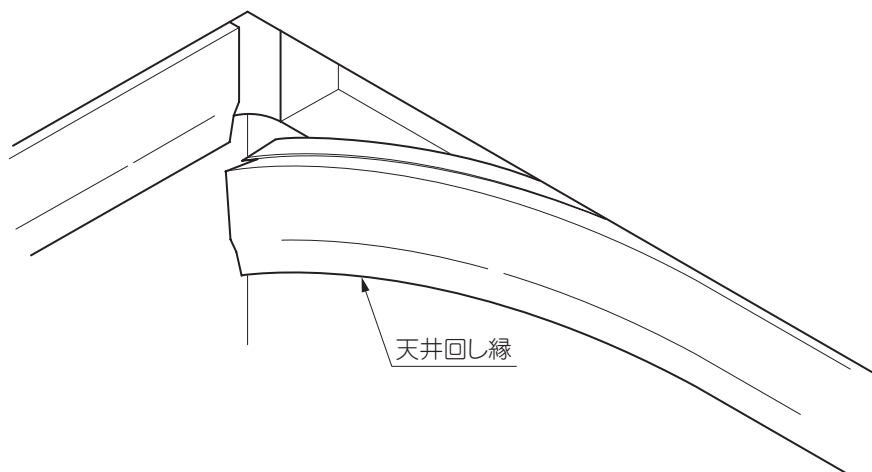
①コーナー部のシーリング材をカットする。



②六角レンチなどを差し込んで浮かせる。



③天井回し縁を取り外す。



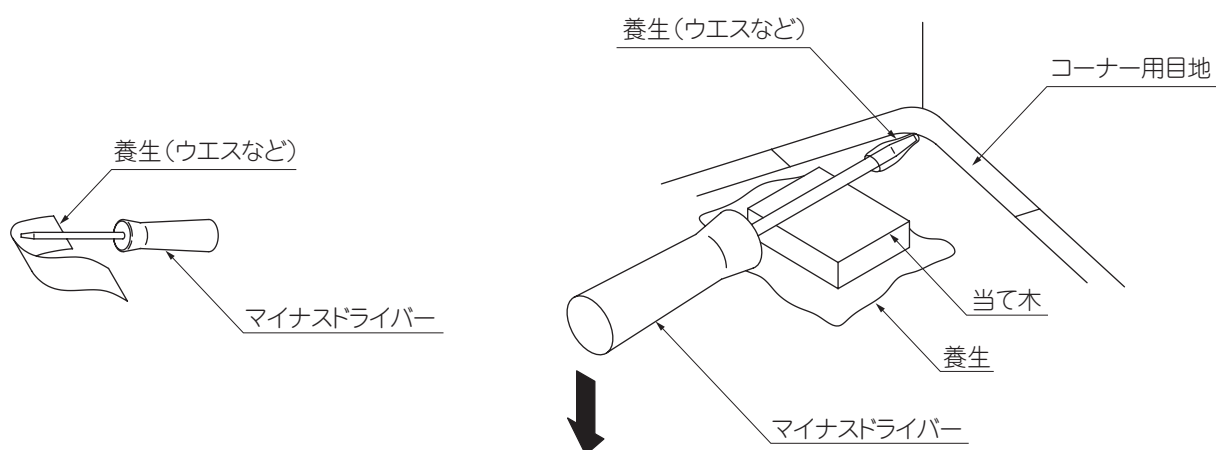
2 浴槽目地の取り外しかた

1 コーナー用目地の取り外しかた

① マイナスドライバーに養生（ウエスなど）をする。

② マイナスドライバーを浴槽とコーナー用目地の間に挿し、当て木などを使用し、てこの原理で外す。

・ 当て木の下に養生（布）してください。

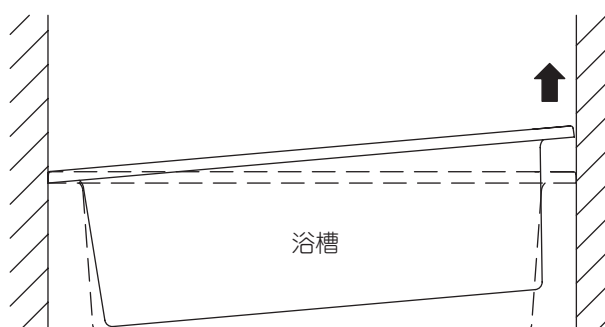
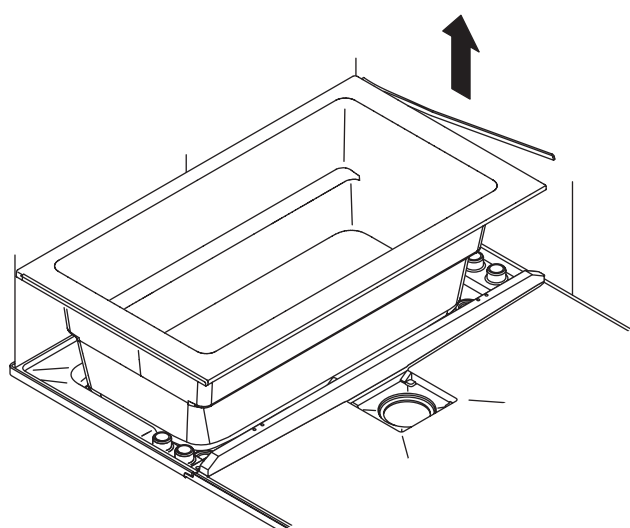


取付設置上のお願い

- 浴槽、壁を傷付けないように注意してください。

2 平目地部の取り外しかた

① 浴槽を持ち上げて取り外す。



取付設置上のお願い

- 浴槽、壁を傷付けないように注意してください。

3 目地の取り外しかた

1 目地の取り外しかた

⚠ 注意



禁止

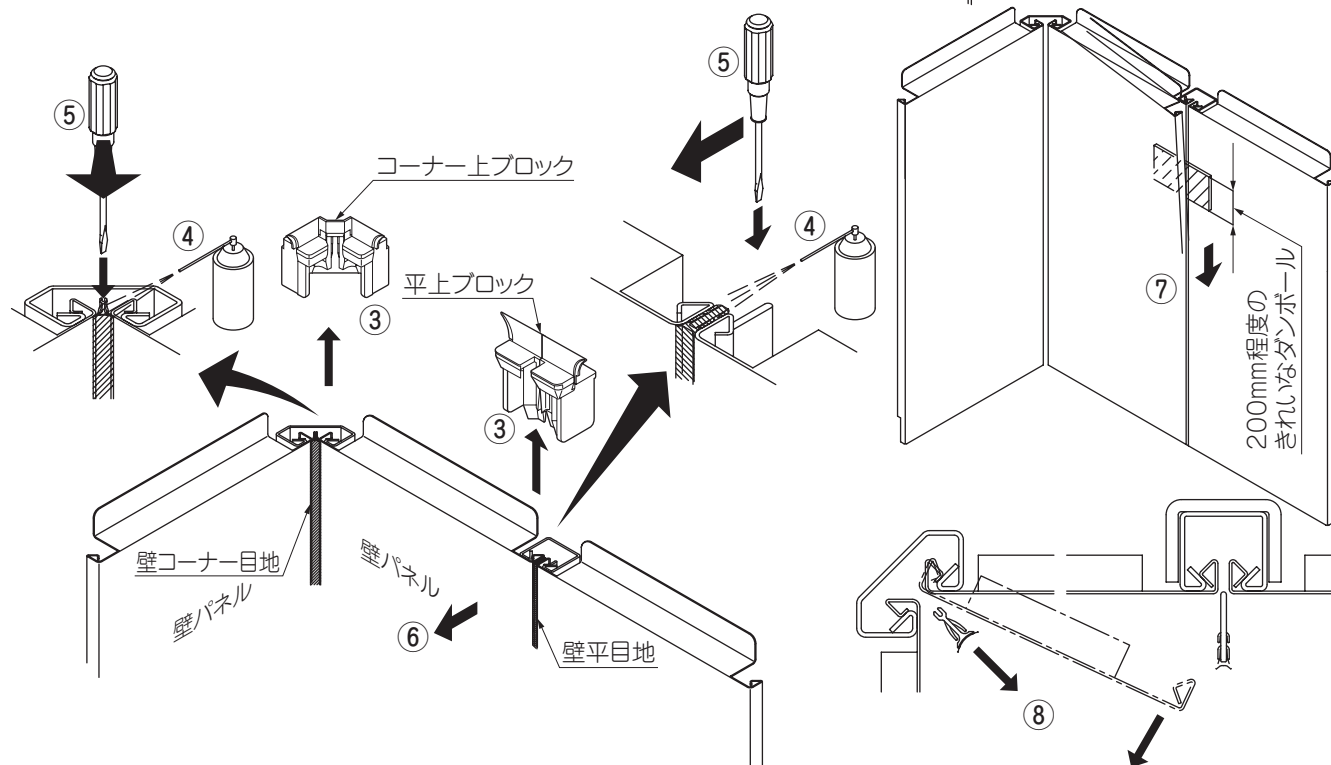
- 目地の再利用は絶対にしない
(破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。)



必ず守る

- 目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。)

- ①天井回し縁を取り外す。
- ②天井固定ねじ取り外し、天井パネルを取り除く。
- ③コーナー上・平上ブロックを取り外す。
- ④潤滑剤を壁コーナー・平目地のひれ部に、噴きつける。
シリコンスプレー KURE 1046 (HTRC21)
- ⑤マイナスドライバーなどで、目地を引っ掛け、先端部を引き抜く。
- ⑥平目地側の壁の上部を持って、引っ張って外す。
- ⑦壁とのすき間に、きれいなダンボールをはさんで下にスライドし、壁と平目地を外す。
・壁および目地を折らないように少しずつ慎重に外してください。
- ⑧コーナー目地は一方の壁を外して折りたたむようにすると簡単に外せる。



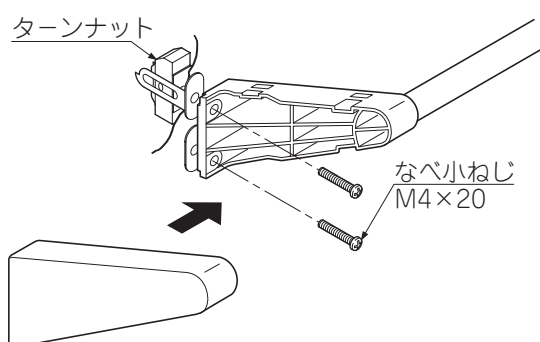
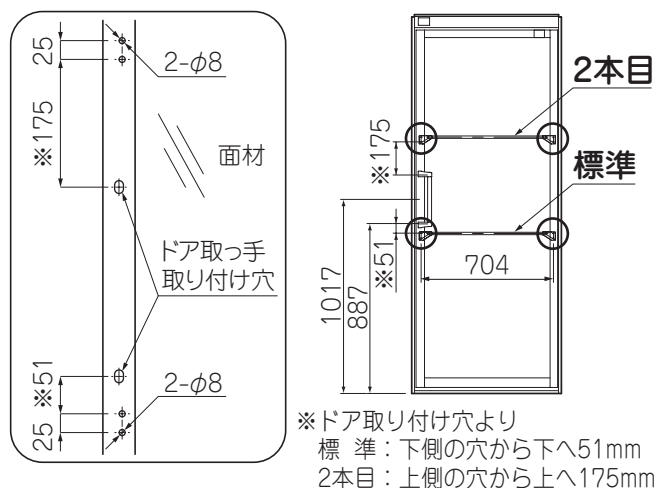
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

4 ドア外タオル掛けの標準取り付け位置

1 ドア外タオル掛けの標準取り付け位置

・脱衣室側にタオル掛けを取り付ける場合は、以下の作業を行ってください。

〈スイングドア〉



①ドア本体の脱衣室側にタオル掛けの取り付け穴を現物合わせでけがき、開口を行う。

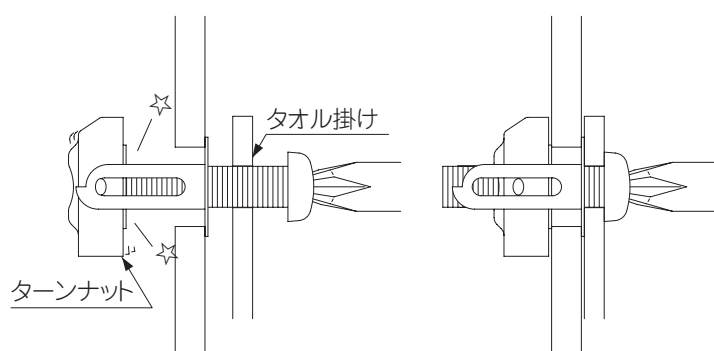
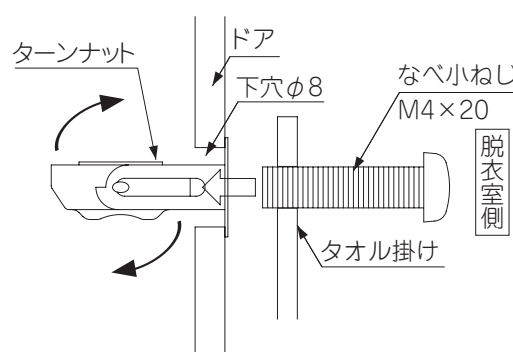
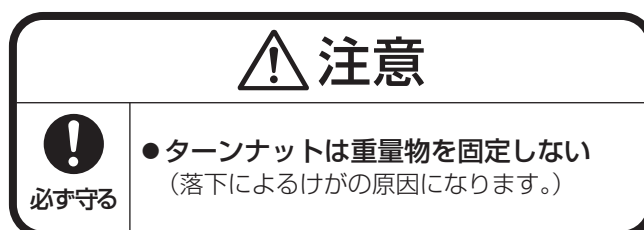
②ターンナットを穴に差し込む。

③脱衣室側にタオル掛けを取り付け、なべ小ねじを差し込む。

・なべ小ねじを軽く押すと、ターンナットが矢印の方向に回転します。

④ターンナットとタオル掛けをねじで固定する。

・手回しドライバーでなべ小ねじを押しながら1～2回左に回し、そのまますぐに2～3回右に回して軽くねじ込み、そのまま締め付けます。



取付設置後のチェック

本表は、取付設置後に行う点検項目です。本表に従いチェックしてください。
(物件毎の組み合わせにより該当しない部位もあります。)

項 目	チェック
1. 床・浴槽・カウンターに傷・割れはないか	
2. 壁に傷・割れ・変形はないか	
3. 天井に傷・割れ・変形はないか	
4. グロメットは確実に取り付けたか（火災や感電の原因となります。）	
5. ランプのランプ保護カバーは取り外されているか（火災の原因となります。）	
6. 照明グローブのゆるみ、照明カバー固定用化粧ねじのゆるみはないか	
7. 各器具の取り付けは行なったか、各器具にがたつきはないか、点灯に異常はないか	
8. シーリング材充てんの必要個所にシーリング材充てんは行ったか	
9. 目地の浮き、はずれはないか（天井回し縁、壁目地、浴槽目地など）	
10. 床パン連結部にシーリング材充てんは行ったか	
11. 床パン連結部に防水テープがはり付けられているか	
12. 水張り試験は行ったか、排水トラップ接続部・排水管の水漏れはないか	
13. 給水・給湯管、水栓固定金具からの水漏れはないか	
14. 浴槽の浮き・がたつきはないか	
15. エプロンのすき間は左右均等か、浴槽とのすき間は均等か	
16. エプロンのエプロン下端スペーサーは正しく取り付けられているか	
17. ミラーの取り付けにがたつきはないか、ミラー受金具のかかりは確実か	
18. 握りバーは確実に固定されているか	
19. ヘアキャッチ・排水口カバーなどは正しく取り付けられているか	
20. 配管点検口は正しく取り付けられているか（ある場合）	
21. 天井点検口は正しく取り付けられているか	
22. ラベルを所定の位置にはり付けたか	
23. 取扱説明書はタオル掛け・ドアノブなどに取り付けられているか	
24. ドアに傷・割れ・変形はないか、開閉はスムーズか	
25. ドア下枠のパッキンに汚れ・切れ・変形はないか	
26. ドア額縁固定用の皿木ねじを大工さんへ渡したか あるいはドア外側にマスキングテープではったか	
27. トラップに、ゴミなどが詰まっていないか	
28. もらいサビ防止のため「キリ粉などが残ってないか」	
29. ポップアップ排水栓は正常に作動するか	

取付設置上のお願ひ

- 床パンにはり付けた養生フィルムは、取付設置引き渡し直前まで外さないようにお願いします。

浴槽の廃棄処分について

- 人造大理石およびFRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
浴槽の取り替えなどでは、浴槽の材質をご確認ください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

03-NMP03S-03
GVN6178
Di1220-40724

